

平成 20 年度

杉並区青少年実態調査報告書

平成 20 年 9 月

杉 並 区

は じ め に

今日、少子化の進行や就業形態の多様化、情報化社会の進展等により、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。

このような状況の下、フリーターやニートと呼ばれる若者の増加、パソコンやインターネット、携帯電話などを媒体とした新たな生活空間など、グローバルな情報の氾濫等で、青少年の意識や行動の中に大人からは見えにくい部分が拡大しています。

本区では、こうした青少年が健やかに成長し、主体性や社会性を身につけていくため、さまざまな施策を推進しておりますが、今般、その一環として、小学生5年生から29歳までの青少年を対象に、5年に一度の基本調査として、青少年の意識や生活実態に関する調査を実施しました。

この調査結果を今後の青少年行政に反映させていくとともに、青少年問題に関わりをもたれる皆様に基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

最後に、この調査の実施にあたって、ご協力をいただきました青少年の皆さん、ご協力をいただきました実施校の小・中・高等学校の校長先生始め教職員の方々の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成20年9月

杉並区保健福祉部 児童青少年課

目 次

・ 調査の概要	1
1 . 調査の目的	3
2 . 調査の方法	3
3 . 調査内容	4
4 . 調査結果の見方	5
・ 調査結果の概要	7
1 . 小学生の生活に関する調査	9
2 . 中・高校生の生活に関する調査	23
3 . 青少年の生活に関する調査	39
・ 調査結果の分析	49
小学5・6年生と中・高校生	51
1 . 調査対象者・家族の状況について	53
1 - 1 性別	53
1 - 2 学年	54
1 - 3 居住状況・居住年数	55
1 - 4 同居している人	57
1 - 5 帰宅時に家にいる人	58
1 - 6 帰宅後の過ごし方	60
2 . 情報化社会（パソコン・携帯電話）について	61
2 - 1 携帯電話の所有状況	61
2 - 1 - 1 携帯電話の主な利用用途	63
2 - 1 - 2 フィルタリングの認知度	65
2 - 1 - 3 友だちづきあいにおける携帯電話の必要性	66
2 - 2 出会い系、アダルトサイトなどへのアクセス経験の有無	68
2 - 3 新聞（一般紙）を読む頻度	70
2 - 4 本を読む頻度	72
3 . 生活習慣について	74
3 - 1 起床時間	74
3 - 2 就寝時間	76
3 - 3 一人暮らしの意向	77
3 - 4 充実感を感じる時	79
3 - 5 普段の生活の満足度	80
3 - 6 朝食の状況	90
3 - 6 - 1 朝食の相手	91
3 - 6 - 2 朝食を食べない理由	92
3 - 7 夕飯の相手	93

4.	家族との関係について.....	94
4 - 1	家族との会話の平均時間.....	94
4 - 2	自分の考えに対する親の理解の程度.....	96
4 - 3	家族といるときの状況.....	98
4 - 4	家事分担の状況.....	100
5.	学校生活について.....	107
5 - 1	学校への感想.....	107
5 - 2	学校生活で大事だと思うこと.....	109
5 - 3	部活動への所属状況.....	111
6.	悩みごとなどについて.....	113
6 - 1	現在の悩みの内容.....	113
6 - 1 - 1	現在の悩みの相談相手.....	114
7.	いじめについて.....	115
7 - 1	周囲でのいじめの有無.....	115
7 - 1 - 1	いじめられたときの対応.....	116
8.	気分について.....	117
8 - 1	疲れていると思う頻度.....	117
9.	キレる行為について.....	119
9 - 1	キレる(キレそうになる)頻度.....	119
9 - 1 - 1	キレそうになった相手.....	121
10.	地域とのかかわりについて.....	123
10 - 1	参加経験のある区や地域の行事.....	123
10 - 1 - 1	参加したことがない理由.....	124
10 - 2	実践したボランティア活動の種類.....	125
11.	遊びについて.....	127
11 - 1	ポータブルゲーム機やテレビゲーム機の所持状況.....	127
11 - 2	平日にゲームをする時間.....	128
12.	まわりの人との関係について.....	129
12 - 1	友だちといるときの状況.....	129
12 - 2	友だちのつき合い方に関する意識.....	131
12 - 3	放課後を過ごす場所としてあればいいと思う施設の種類.....	147
12 - 4	自分が認められていると感じる時.....	149
13.	規範意識について.....	150
13 - 1	規範意識.....	150
14.	性や薬物の知識について.....	180
14 - 1	避妊・中絶・性感染症・薬物等の認知.....	180
14 - 1 - 1	避妊・中絶・性感染症・薬物等の情報源.....	184

15. 未成年の飲酒・喫煙について.....	187
15 - 1 喫煙の経験の有無.....	187
15 - 1 - 1 タバコを手に入れた場所.....	189
15 - 1 - 2 喫煙の健康への影響の認知.....	190
15 - 2 飲酒の経験の有無.....	191
15 - 2 - 1 飲酒をした場所.....	193
15 - 2 - 2 飲酒の健康への影響の認知.....	194
16. 将来の展望について.....	196
16 - 1 大人になることへの意向.....	196
16 - 1 - 1 大人になりたいと思わない理由.....	198
16 - 2 尊敬できる大人、モデルにしたいような大人の有無.....	199
16 - 3 子どもだと思いう期間.....	200
16 - 4 選挙権を持つことに妥当な年齢.....	202
16 - 5 子どものうちにすべきこと.....	203
16 - 6 将来なりたいものの有無.....	228
17. 区への意向について.....	230
17 - 1 永住（居住）意向.....	230
17 - 2 利用経験がある区の施設.....	232
17 - 3 区の広報やポスター・チラシを見る頻度.....	233
17 - 4 区のホームページ、モバイルのページを見る頻度.....	235
17 - 5 区に実施してほしい青少年向け事業.....	237
青少年.....	245
1. 調査対象者・家族の状況について.....	247
1 - 1 性別.....	247
1 - 2 年齢.....	247
1 - 3 居住年数.....	248
1 - 4 現在の状況.....	249
1 - 5 同居している人.....	250
1 - 5 - 1 同居している理由.....	251
1 - 6 最後に通った（現在通っている）学校.....	252
2. 仕事について.....	253
2 - 1 職業.....	253
2 - 2 現在の仕事内容.....	254
2 - 3 昨年の年収.....	255
2 - 4 転職経験の有無.....	256
2 - 5 今後の転職意向.....	257
3. 生活実態について.....	258
3 - 1 普段の生活の満足度.....	258
3 - 2 充実感を感じる時.....	270
4. 規範意識について.....	271
4 - 1 規範意識.....	271

4 - 2	親しい友人の有無	283
4 - 3	友人とのつき合い方に関する意識	284
5	自主性について	290
5 - 1	将来働くことへの意向	290
5 - 2	働いている理由	291
5 - 3	現在の悩みの内容	292
5 - 3 - 1	現在の悩みの相談相手	293
6	将来について	294
6 - 1	将来の夢	294
7	結婚について	295
7 - 1	結婚状況	295
7 - 1 - 1	結婚と子どもについての意識	296
8	地域について	297
8 - 1	参加経験のある区や地域の行事	297
8 - 1 - 1	参加したことがない理由	298
9	区政について	299
9 - 1	利用経験がある区の施設	299
9 - 2	区の広報やポスター・チラシを見る頻度	300
9 - 3	区のホームページ、モバイルのページを見る頻度	301
9 - 4	住みよさ	302
9 - 5	区に実施してほしい青少年向け事業	303

・ 調査の概要

1 . 調査の目的

この調査は、杉並区に在住・在学する児童・生徒及び19歳から29歳の青少年の行動や価値観、ニーズや規範に対する考え方などの生活意識の実態を把握し、子ども・子育て行動計画、保健福祉計画改定のための資料とし、また今後の青少年施策を効果的に進める資料とすることを目的とします。

2 . 調査の方法

(1) 調査対象

小学5・6年生
中・高校生
19～29歳の青少年

(2) 標本数

	配布数	有効回収数	有効回収率
小学5・6年生	461件	452件	98.0%
中・高校生	708件	685件	96.8%
19～29歳の青少年	600件	208件	34.7%

(3) 標本抽出方法

小学5・6年生・・・・・・・・小学校3校(8学級)抽出
中・高校生・・・・・・・・中学校・高校各2校(各9学級)抽出
19～29歳の青少年・・・・・・・・住民基本台帳より無作為等間隔抽出

(4) 調査方法

小学5・6年生、中・高校生・・・・・・・・各学校で配布回収
19～29歳の青少年・・・・・・・・郵送による配布回収

(5) 調査期間

平成20年6月13日(金)～7月4日(金)

3 . 調査内容

(1) 小学5・6年生と中・高校生

1. 調査対象者・家族の状況について
2. 情報化社会（パソコン・携帯電話）について
3. 生活習慣について
4. 家族との関係について
5. 学校生活について
6. 悩みごとなどについて
7. いじめについて
8. 気分について
9. キレる行為について
10. 地域とのかかわりについて
11. 遊びについて
12. まわりの人との関係について
13. 規範意識について
14. 性や薬物の知識について
15. 未成年の飲酒・喫煙について
16. 将来の展望について
17. 区への意向について

(2) 青少年

1. 調査対象者・家族の状況について
2. 仕事について
3. 生活実態について
4. 規範意識について
5. 自主性について
6. 将来について
7. 結婚について
8. 地域について
9. 区政について

4 . 調査結果の見方

(1) 構成

調査結果報告は、 . 調査結果の概要、 . 調査結果の分析で構成されています。

. 調査結果の概要では単純集計結果を記載してあります。本調査のおおよその傾向についてはここでわかります。

. 調査結果の分析では、各調査項目についての詳細な分析をしています。分析の視点としては、全体の傾向、性別・学年/年齢別クロス、設問間クロスがあります。設問ごとに適切な視点を用いて分析しています。

(2) 注意事項

回答比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、合計が100%にならない場合もあります。この場合、表記上の誤差は1%以内となっています。

2つ以上の選択肢を選ぶことのできる設問(複数回答)の場合、回答比率が100%を超えることがあります。また、クロス集計の回答者数の合計は、掛け合わされる設問のうちに複数回答がある場合、全体数を超えることがあります。

クロス集計による表・グラフにおいては、表側項目(表・グラフの縦軸にあたる項目を指し、当該クロス集計の分類元となる項目)の無回答については、項目間の各選択肢を掛け合わせて比較するというクロス集計の性質上無意味になりますので、表示していません。グラフや表中の数値の単位は、特に表記がない場合はすべて比率(%)となっています。基数となるべき実数(分母)は、 $n = \text{〇〇〇}$ として表記し、各比率は n を100%として算出しています。

回答者を限定する設問では、回答者数を基数 n として算出しています。

グラフや図表、本文中において、選択肢等の全表記が難しい場合は、語句を簡略化しています。

n が小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、 n が30未満の場合は注意を要します。したがって、 n が30を下回る場合、具体的なコメントは行っていません。

本文中における「ポイント」とは、各項目の%の差を表しています。なお、ポイントは小数点第1位を四捨五入しています。(例：50.5%と20.0%の差 約31ポイント)

・ 調査結果の概要

小学生の生活に関する調査（青少年実態調査）

< ご協力のお願い >

杉並区では、小学生のみなさんの学校や放課後の過ごし方、いろいろなものごとに対する考えや、区への希望などを小学校5年生と6年生に直接聞く調査を、5年に1回行っています。

『区で行っている子どもに関する仕事で、これからどのようなものが必要になるのか』『今、どのようなことが問題になっているのか』などを知り、これからの子どもに関する区の仕事をよりよいものにするために役立てていきたいと考えています。

調査票には名前を書く必要はありません。また調査の結果も、「こういう意見が何パーセント」という形でしか発表しませんし、答えられない質問には、無理に答えることはありません。したがって、この調査に回答していただいたことによって、ご迷惑がかかることはありませんので、ぜひご協力ください。

平成20年6月

杉並区 保健福祉部 児童青少年課
電話 3393 - 4760（直通）
担当：芝田・高橋

記入にあたってのお願い

1. 質問の答えは、あてはまる（あなたの考えに一番近い）ものの番号を 印で囲んでください。
2. 質問によっては、答えが1つではない場合もありますので、質問をよくお読みください。
3. 答えの中で、「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）のなかに、くわしく記入してください。

1. あなたご自身やご家族のことについておうかがいします。

問1 あなたは次のどれにあたりますか。（1つに ） [n = 452]

1. 小学5年生	50.7%	2. 小学6年生	48.9	無回答	0.4
----------	-------	----------	------	-----	-----

問2 あなたの性別はどちらですか。（1つに ） [n = 452]

1. 男性	49.8%	2. 女性	48.9	無回答	1.3
-------	-------	-------	------	-----	-----

問3 あなたが^{いっしょ}一緒に暮らしている人はだれですか。(あてはまるものすべてに)
 仕事や入院で一時的に別に暮らしている場合も^{いっしょ}一緒に暮らしているとします。 [n = 452]

1 . 父	91.8%	4 . 祖父母	15.5	無回答	1.3
2 . 母	97.3	5 . その他の人	1.5		
3 . 兄弟・姉妹	81.0	6 . 同居家族はいない	-		

問4 ふだんあなたが学校から帰宅した時に家にいる人はだれですか。(あてはまるものすべてに)
 [n = 452]

1 . 父	5.3%	4 . 祖父母	12.8	無回答	2.7
2 . 母	69.0	5 . その他の人	1.3		
3 . 兄弟・姉妹	38.7	6 . だれもいない	15.7		

問5 あなたは、帰宅後どのように過ごしますか。(主なもの2つまでに) [n = 452]

1 . 家で勉強やテレビを見て過ごす	61.9%
2 . 友だちと家や児童館などの屋内で遊ぶ	30.3
3 . 友だちと公園などの外で遊ぶ	28.8
4 . ^{じゅく} 塾などの習い事に行く	53.1
5 . ゲームセンターや買い物に行く	1.5
6 . その他()	6.0
無回答	1.1

2 . 情報化社会 (パソコン・^{けいたい}携帯電話) についておうかがいします。

問6 ^{けいたい}携帯電話は持っていますか。(どちらかに) [n = 452]

1 . 持っている	45.4%	2 . 持っていない	51.5	無回答	3.1
-----------	-------	------------	------	-----	-----

問7へ進む

問6 - 1 問6で「1 . 持っている」と答えた人にお聞きします。^{けいたい}携帯電話の主な利用目的は何ですか。(1つに) [n = 205]

1 . 相手の状況や居場所の確認	17.6%	5 . 相手とのおしゃべり	4.4
2 . いっしょに遊びに行く時の ^{さそ} 誘い	8.3	6 . 相手へのお願い事	0.5
3 . 待ち合わせ場所や時間の変更	5.4	7 . その他()	11.7
4 . 帰宅の連絡	51.7	無回答	0.5

問6 - 2 問6で「1.持っている」と答えた人にお聞きします。フィルタリングを知っていますか。(1つに) [n = 205]

1. 知っている	24.9%	3. ^{すで} 既に使っている	13.2
2. 知らない	61.5	無回答	0.5

フィルタリングとは、出会い系サイトやアダルトサイトなど、子どもに有害なインターネットのウェブサイトにつながらないようにするサービスです。

問7 ^{けいたい}携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトなどの情報にアクセスしたことはありますか。(1つに) [n = 452]

1. ない	89.2%	3. 時々見ている	1.3
2. 知らない間につながって見たことがある	3.1	4. いつも見ている	-
		無回答	6.4

3. 生活習慣についておうかがいします。

あなたのふだんの生活について、おうかがいします。

問8 起きるのは、だいたい何時ですか。(1つに) [n = 452]

1. 午前6時以前	5.3%	3. 午前7時台	63.7	無回答	1.5
2. 午前6時台	27.0	4. 午前8時以降	2.4		

問9 ^ね寝るのは、だいたい何時ですか。(1つに) [n = 452]

1. 午後10時以前	25.9%	3. 午後11時台	27.7	無回答	1.1
2. 午後10時台	38.5	4. 午前0時以降	6.9		

問10 あなたは朝ごはんを食べますか。(1つに) [n = 452]

1. 毎日食べる	93.1%	2. 時々食べる	3.3	無回答	1.3
		3. ほとんど食べない	2.2		

問10 - 2へ進む

問10 - 1 問10で「1.毎日食べる」と答えた人にお聞きします。朝ごはんはだれと食べますか。(あてはまるものすべてに) [n = 421]

1. 父	35.4%	3. 兄弟・姉妹	67.0	5. その他の人	1.0
2. 母	64.1	4. 祖父母	3.8	6. ひとりで食べる	12.6

問10 - 2 問10で「2.時々食べる」または「3.ほとんど食べない」と答えた人にお聞きします。食べない理由は何ですか。(1つに) [n = 25]

1. 時間がない	72.0%	4. その他 ()	8.0
2. 朝は体調が悪くて食べられない	16.0	無回答	4.0
3. 家族に朝ごはんを食べる習慣がない	-		

問11 夕食はだれと一緒に^{いっしょ}食べますか。(あてはまるものすべてに) [n = 452]

1. 父	36.7%	4. 祖父母	8.4	無回答	4.0
2. 母	85.6	5. その他の人	6.4		
3. 兄弟・姉妹	73.5	6. ひとりで食べる	2.9		

4. 家族との関係についておうかがいします。

問12 あなたは、ふだん同居の家族(親、兄弟姉妹、祖父母など)とどのくらい会話をしますか。(1つに) [n = 452]

1. 1日に15分未満	7.1%	4. 1日に1時間以上	50.2
2. 1日に30分程度	15.5	5. まったくしない	1.3
3. 1日に1時間程度	24.3	6. 同居家族はいない	-
		無回答	1.5

問13 親は自分の考えを理解していると思いますか。(1つに) [n = 452]

1. 理解している	47.6%	3. どちらかという理解していない	9.7
2. どちらかという理解している	36.3	4. 理解していない	5.1
		無回答	1.3

問14 あなたは家族といるとほっとしますか。(1つに) [n = 452]

1. ほっとする	67.9%	3. どちらかというほっとしない	5.8
2. どちらかというほっとする	22.3	4. ほっとしない	2.7
		無回答	1.3

問15 あなたはふだん家の手伝いをしていますか。(~ それぞれ1つに) [n = 452]

	毎日する	時々する	しあまいり	しまつたなく	無回答
^{せんたく} 洗濯(洗い、取り込み)	5.3%	42.7	25.7	22.8	3.5
食事の ^{したく} 支度や片付け	41.2	37.8	11.7	7.5	1.8
買い物	8.2	50.9	23.5	13.9	3.5
^{そうじ} 掃除	10.6	41.8	30.8	13.9	2.9

5 . 学校生活についておうかがいします。

問16 学校生活は楽しいですか。(1つに) [n = 452]

1 . 楽しい	62.4%	3 . どちらかというとなんか楽しくない	4.2
2 . どちらかというとなんか楽しい	28.3	4 . 楽しくない	4.0
		無回答	1.1

問17 学校生活で大事だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに) [n = 452]

1 . 勉強	78.1%	5 . 体力をつけること	34.5
2 . 友だちをつくること	82.5	6 . その他 ()	4.2
3 . 自分の得意な力を伸ばすこと	55.8	7 . 特になんか	3.8
4 . 運動会などみんなでいっしょに 1つのことに取り組むこと	51.3	無回答	1.1

6 . 悩みごとなどについておうかがいします。

問18 今困っていることや悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに) [n = 452]

1 . 勉強や成績のこと	34.7%	8 . 容姿のこと	2.9
2 . 将来や進路のこと	25.0	9 . お金のこと	7.7
3 . 友だちや仲間のこと	18.6	10 . 政治や社会のこと	7.3
4 . 家族のこと	8.2	11 . その他 ()	2.0
5 . 異性のこと	2.7	12 . 特に悩みや心配ごとはない	35.8
6 . 健康のこと	11.1	無回答	5.5
7 . 性格のこと	13.3		

▼
問19へ進む

問18 - 1 問18で悩みごとに1つでも をつけた人にお聞きします。困っていることや悩みごとを相談する人はだれですか。(あてはまるものすべてに) [n = 265]

1 . 父	24.9%	7 . 塾 や習いごとの先生	7.5
2 . 母	60.4	8 . 電話で相談にのってくれるところ	0.8
3 . 兄弟・姉妹	12.1	9 . メールで相談にのってくれるところ	1.5
4 . 祖父母	4.9	10 . その他 ()	1.9
5 . 友だち	30.2	11 . 相談できる人はいない、相談はしない	17.4
6 . 学校の先生	7.9	無回答	2.6

7. いじめについておうかがいします。

問19 現在あなたの周りではいじめがありますか。(1つに) [n = 452]

1. ない	64.6%	3. いじめたことがある	4.2
2. いじめられたことがある	14.8	4. いじめているのを見たことがある	14.4
		無回答	2.0

問19-1 問19で「2. いじめられたことがある」と答えた人にお聞きします。その時、あなたはどうしましたか。(あてはまるものすべてに) [n = 67]

1. じつがまんした	49.3%	4. 親に相談した	44.8
2. 自分で相手に文句を言ったり、ケンカしたりした	17.9	5. 先生に相談した	25.4
3. 友だちに相談した	19.4	6. カウンセラー、相談員に相談した	-
		7. その他()	9.0

8. 気分についておうかがいします。

問20 あなたは、^{いそが}忙しくて^{つか}疲れていると思うことはありますか。(1つに) [n = 452]

1. よくある	36.9%	3. あまりない	18.6	無回答	1.3
2. 時々ある	38.5	4. ない	4.6		

9. ^{こうい}キレる行為についておうかがいします。

問21 あなたは、キレたりキレそうになったことはありますか。(1つに) [n = 452]

1. よくある	14.8%	3. あまりない	36.5	無回答	1.8
2. 時々ある	38.5	4. ない	8.4		

問22へ進む

問21-1 問21で「1. よくある」または「2. 時々ある」と答えた人にお聞きします。あなたがキレそうになった相手はだれですか。(あてはまるものすべてに) [n = 241]

1. 親	46.9%	5. 友だち	65.6
2. 親以外の家族	24.1	6. 近所の人	6.6
3. 親せき	3.3	7. 外で出会った見知らぬ人	17.8
4. 先生	16.6	8. その他()	6.2

10. 地域とのかかわりについておうかがいします。

問22 あなたは、区や地域のイベントに参加したことはありますか。(あてはまるものすべてに)
[n = 452]

1. 青少年向けの教養、趣味などの講座	5.1%	5. バスハイク	3.5
2. 青少年向けスポーツ教室・大会	17.9	6. その他()	4.4
3. 町内行事(お祭り、盆踊り)	56.6	7. 参加したことはない	24.3
4. 音楽鑑賞、演劇鑑賞、映画鑑賞	28.8	無回答	1.8

問22 - 1 問22で「7. 参加したことはない」と答えた人にお聞きします。参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)
[n = 110]

1. 時間が合わないから	31.8%	4. その他()	5.5
2. イベントがあることを知らないから	37.3	無回答	1.8
3. このようなイベントに興味がないから	43.6		

問23 あなたは、地域で次のようなボランティアをやったことがありますか。

(あてはまるものすべてに) [n = 452]

1. 募金活動	18.8%	5. 駅頭などでの啓発活動	0.7
2. お祭りなどの行事の手伝い	12.6	6. その他()	1.1
3. 清掃活動	6.0	7. ボランティアはやったことがない	59.7
4. 保育園などでの子どもの遊び相手	6.6	無回答	4.4

11. 遊びについておうかがいします。

問24 あなたは、ポータブルゲーム機やテレビゲーム機を持っていますか。(1つに) [n = 452]

1. 持っている	90.3%	2. 持っていない	8.6	無回答	1.1
----------	-------	-----------	-----	-----	-----

問25へ進む

問24 - 1 問24で「1. 持っている」と答えた人にお聞きします。平日、1日どれくらいの時間ゲームをしますか。(1つに)
[n = 408]

1. 30分未満	49.8%	3. 1時間半程度	11.0	5. 2時間以上	4.4
2. 1時間程度	28.4	4. 2時間程度	5.1	無回答	1.2

問25 あなたは、本を読みますか。(1つに) [n = 452]

1. 毎日読んでいる	32.3%	3. ほとんど読まない	15.5	無回答	9.5
2. 時々読んでいる	39.2	4. まったく読まない	3.5		

12. まわりの人との関係についておうかがいします。

問26 友だちという時は楽しいですか。(1つに) [n = 452]

1. とても楽しい	76.8%	3. どちらかという楽しくない	1.3
2. どちらかという楽しい	17.3	4. 楽しくない	0.7
		無回答	4.0

問27 友だちのつき合い方について、次のことをどう思いますか。(~ それぞれ1つに)

[n = 452]

	そう思う	とどちらかという とそう思う	とどちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
友だちの数は多いほうがよい	79.2%	14.6	3.1	2.4	0.7
何をするかによって、友だちを選ぶほうだ	21.2	33.4	19.7	24.1	1.5
友だち関係はあっさりしていて、お互い ^{たが} 深入りしないほうだ	12.2	24.6	30.3	27.9	5.1
^{なや} 悩み事はあまり友だちに話さないほうだ	34.3	21.9	21.2	19.9	2.7
友だちというよりひとりでいるほうが大切だ	5.5	3.5	26.3	61.7	2.9
友だち同士はただの知り合いである	1.8	5.5	21.0	69.7	2.0
フルネームで本名がわからない友だちが結構いる	3.3	6.9	17.3	70.1	2.4

問28 自分が人に認められていると感じるのはどんな時ですか。(あてはまるものすべてに)

[n = 452]

1. 周りの人に感謝された時	60.6%
2. 大人や友だちに自分の話を聞いてもらった時	24.8
3. 周りの人が遊びなどに誘 ^{さそ} ってくれた時	49.8
4. 大人や親から役割をまかされたり、たよりにされた時	48.5
5. 周りの人が ^{なや} 悩みなどの相談をしてくれた時	40.5
6. その他()	2.2
7. 認められていると感じたことはない	7.5
無回答	3.5

13. 規範意識きはんについておうかがいします。

問29 あなたは、未成年者が次のようなことをすることについてどう思いますか。

(~ それぞれ1つに) [n = 452]

	いけないと思う	どちらかという いけないと思う	場合によっては いいと思う	してもいいと思う	無回答
髪 <small>かみ</small> を染めること <small>そ</small>	56.0%	21.9	13.9	7.5	0.7
ピアスをすること	59.3	19.7	11.7	8.2	1.1
夜遊びをすること	78.5	11.1	6.9	2.9	0.7
学校の帰りにゲームセンターや繁華街 <small>はんかがい</small> に出かけること	84.5	8.6	4.0	2.2	0.7
護身用のナイフを持ち歩くこと <small>ごしん</small>	89.2	5.5	4.0	0.7	0.7
親や学校との約束ごとを守らないこと	78.1	15.3	4.9	0.9	0.9
道路へゴミを捨てること	86.3	11.3	1.1	0.4	0.9
携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトを見ること <small>けいたい</small>	82.5	12.6	2.9	1.1	0.9
タバコを吸うこと	93.4	4.0	0.9	1.1	0.7
お酒を飲むこと	89.2	6.0	2.2	2.0	0.7
お金をもらってデートなどをすること	75.4	11.1	8.6	4.0	0.9
万引きをすること	97.6	0.9	0.4	0.4	0.7
いじめをすること	93.1	4.2	1.5	0.2	0.9
シンナーや覚せい剤 <small>かくざい</small> を使うこと	96.2	1.1	0.4	0.7	1.5

14．未成年のお酒とタバコについておうかがいします。

問30 あなたは、今までに1回でもタバコを吸ったことがありますか。(1つに) [n = 452]

1．ある	1.5%	2．ない	96.2	無回答	2.2
------	------	------	------	-----	-----



→ 問31へ進む

問30 - 1 問30で「1．ある」と答えた人にお聞きします。どこでタバコを手に入れましたか。
(あてはまるものすべてに) [n = 7]

1．自動販売機	28.6%	5．友だちにもらった	14.3
2．タバコ屋	14.3	6．飲食店	14.3
3．スーパー・コンビニ	14.3	7．駅の売店	14.3
4．家にあった	28.6	8．その他()	71.4

問30 - 2 問30で「1．ある」と答えた人にお聞きします。タバコを吸うことでの健康への
影響について知っていますか。(1つに) [n = 7]

1．害はほとんどないと思う	28.6%	3．大いに害があると思う	57.1
2．多少あるだろうがたいしたことはないと思う	14.3	4．わからない	-

問31 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。(1つに) [n = 452]

1．飲んだことがない	79.6%	→ 問32へ進む	
2．年1～2回	13.1	4．週1～2回	0.4
3．月1～2回	0.9	5．毎日	0.4
無回答			5.5



問31 - 1 問31で「2．年1～2回」から「5．毎日」と答えた人にお聞きします。あなたは
どのような場所でお酒を飲みましたか。(あてはまるものすべてに) [n = 67]

1．結婚式やお葬式などで	19.4%	5．部屋で友だちと	1.5
2．自宅で(正月等家族と過ごす中で)	74.6	6．一人で	3.0
3．レストラン	3.0	7．その他()	13.4
4．居酒屋	7.5		

問31 - 2 問31で「2．年1～2回」から「5．毎日」と答えた人にお聞きします。お酒を飲
むことでの健康への影響について知っていますか。(1つに) [n = 67]

1．害はほとんどないと思う	32.8%	3．大いに害があると思う	28.4
2．多少あるだろうがたいしたことはないと思う	23.9	4．わからない	11.9
無回答			3.0

15．将来の展望についておうかがいします。

問32 あなたは、大人になりたいと思いますか。(1つに) [n = 452]

1．そう思う 49.6% 2．どちらかというと思う 26.1	3．どちらかというと思わない 13.5 4．そう思わない 8.6
▶ 問33へ進む	無回答 2.2

問32 - 1 問32で「3．どちらかというと思わない」または「4．そう思わない」と答えた人にお聞きします。大人になりたいと思わない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに) [n = 100]

1．仕事や家庭を持ち責任が重くなるから 25.0% 2．自分の時間が少なくなるから 15.0 3．今が楽しいから 77.0	4．人生の選択肢 <small>せんたくし</small> が少なくなるから 11.0 5．大人は楽しそうに見えないから 23.0 6．その他() 7.0 無回答 3.0
---	---

問33 子どものうちにすべきことは何だと思いますか。(~ それぞれ1つに) [n = 452]

	そう 思 う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
勉強をすること	76.5%	16.4	3.1	1.8	2.2
友だちを作ること	86.3	9.3	2.0	0.4	2.0
自然とふれ合うこと	74.1	18.4	4.0	1.5	2.0
体力をつけること	74.1	19.7	2.2	1.5	2.4
特技を見つけること	69.0	22.8	4.4	1.3	2.4
将来の進路を決定すること	57.1	28.1	9.3	3.1	2.4
常識を身につけること	77.0	17.7	2.0	0.7	2.7
本を読むこと	56.0	30.5	8.8	1.3	3.3
遊ぶこと	77.7	14.6	3.3	1.8	2.7
料理や洗濯 <small>せんたく</small> など身の回りのことができること	63.9	28.3	3.5	1.8	2.4
社会のきまりやしきみを知ること	65.3	25.4	4.4	2.2	2.7
自分の考えや意見を身につけること	75.7	18.1	2.7	1.3	2.2

問34 あなたは、将来なりたいものがありますか。(1つに) [n = 452]

1. なりたいものが決まっている	48.0%
2. こんなものになりたいと思うものがいくつかある	28.1
3. いろいろ考えているが、まだ決めていない	14.2
4. 特に考えたことはない	7.7
無回答	2.0

16. 杉並区についておうかがいします。

問35 あなたは、杉並区に住み続けたいと思いますか(住んでいない人は住みたいと思いますか)、
(1つに) [n = 452]

1. そう思う	52.7%	3. どちらかというと思わない	11.1
2. どちらかというと思おう	29.9	4. そう思わない	4.9
		無回答	1.5

問36 あなたは、この1年間に区の施設しせつを利用したことがありますか。
(あてはまるものすべてに) [n = 452]

1. 児童館	77.9%	7. 科学教育センター	34.3
2. ゆう杉並	6.2	8. 郷土博物館	13.1
3. 図書館	75.9	9. 地域区民センター	17.5
4. 公会堂	54.4	10. 杉並会館	25.4
5. 学校以外の体育館やプール	62.8	11. その他()	0.7
6. 公園	82.3	12. 利用したことがない	4.2
		無回答	2.2

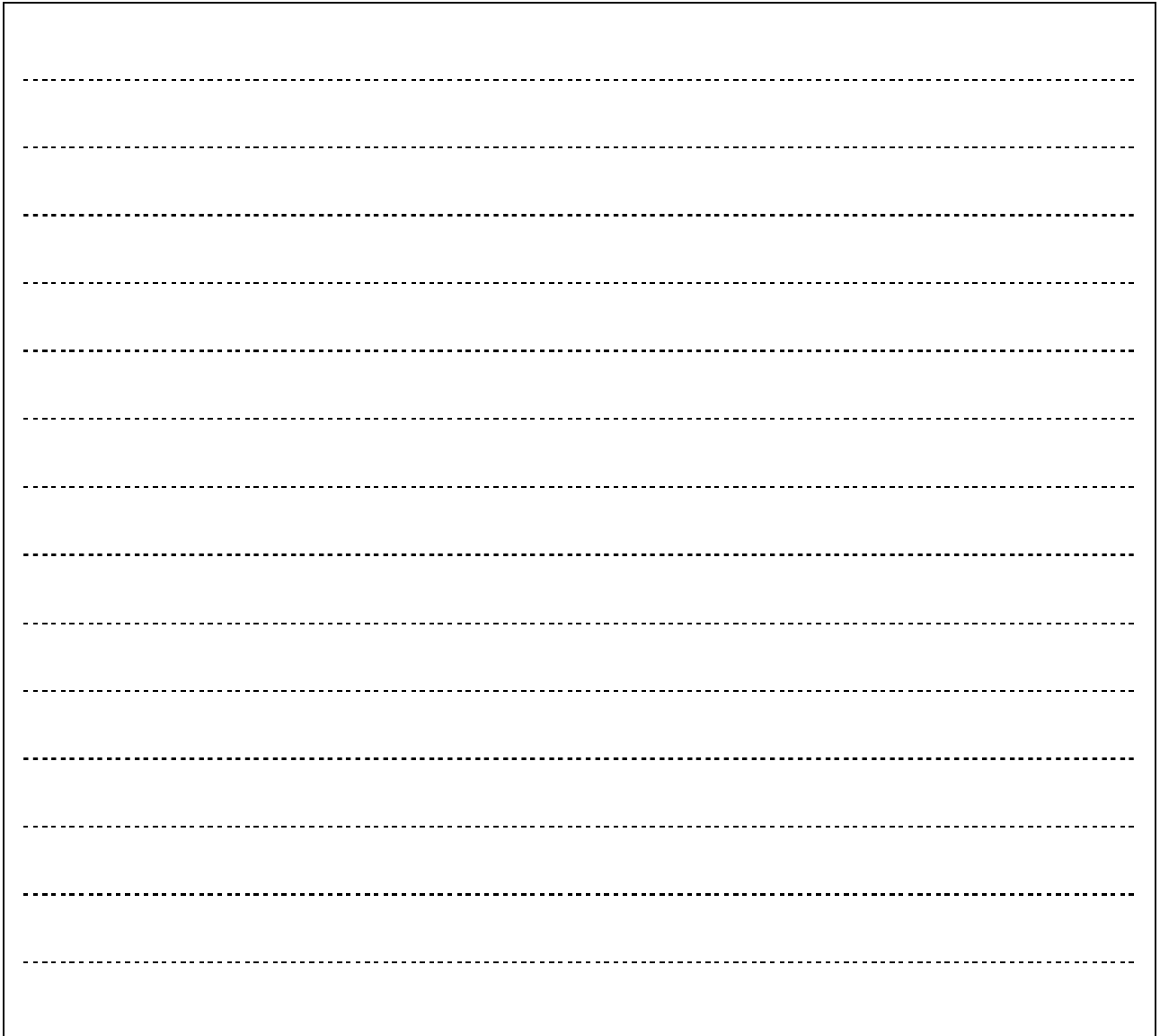
問37 あなたは、杉並区の広報(広報すぎなみ)や区の実施する講座等のポスター・チラシを見て
いますか。(1つに) [n = 452]

1. よく見る	13.5%	3. あまり見ない	33.0	無回答	2.2
2. 時々見る	35.2	4. まったく見ない	16.2		

問38 あなたは、区のホームページ、区けいたいのモバイル(携帯電話用)のページを見たことがありますか。
(1つに) [n = 452]

1. よく見る	1.8%	3. あまり見ない	24.3	無回答	1.8
2. 時々見る	9.5	4. まったく見ない	62.6		

問39 区にやってもらいたい、あったらいいものなどがあつたら自由に書いてください。



ご協力ありがとうございました。

中・高校生の生活に関する調査（青少年実態調査）

< ご協力のお願い >

杉並区では、中・高校生のみなさんの学校や放課後の過ごし方、いろいろな物事に対する考えや、区への希望などを聞く調査を、5年に1回行っています。

『今、中・高校生を対象に青少年行政として、どのようなことが必要なのか』『中・高校生の中では、今、何が問題となっているのか』などを知り、今後の青少年行政をよりよいものにするために役立てていきたいと考えています。

調査票には、名前の記入は必要ありません。また、調査の結果も統計的に処理をし、「こういう意見が何パーセント」という形でしか発表しませんし、答えたくない質問には答えなくても結構です。従って、この調査に回答していただいたことによって、ご迷惑がかかることはありませんので、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

平成20年6月

杉並区 保健福祉部 児童青少年課

電話 3393 - 4760（直通）

担当：芝田・高橋

記入にあたってのお願い

1. 質問の答えは、あてはまる（あなたの考えに一番近い）ものの番号を 印で囲んでください。
2. 質問によっては、答えていただく数が異なる場合もありますので、質問をよくお読みください。
3. 答えの中で、「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）のなかに、くわしく記入してください。

1. あなたご自身やご家族のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに) [n = 685]

1. 男性	48.9%	2. 女性	49.6	無回答	1.5
-------	-------	-------	------	-----	-----

問2 あなたの学年は何年生ですか。(1つに) [n = 685]

1. 中学1年生	18.4%	4. 高校1年生	16.4	無回答	1.0
2. 中学2年生	22.2	5. 高校2年生	9.8		
3. 中学3年生	21.8	6. 高校3年生	10.5		

問3 あなたは杉並区内には約何年住んでいますか。(1つに) [n = 685]

1. 住んでいる	65.1%	2. 住んでいない(在学のみ)	31.5
		無回答	3.4

(居住年数) [n = 446]

1. 1年未満	0.9%	4. 5~10年未満	19.3	無回答	0.4
2. 1~3年未満	4.9	5. 10~15年未満	59.4		
3. 3~5年未満	4.9	6. 15年以上	10.1		

問4 あなたと一緒に暮らしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに)

仕事や入院で一時的に別に暮らしている場合もいっしょに暮らしているとします。 [n = 685]

1. 父	84.8%	4. 祖父母	22.6	無回答	1.6
2. 母	93.7	5. その他の人	2.2		
3. 兄弟・姉妹	81.6	6. 同居家族はいない	0.3		

2. 日常生活についておうかがいします。

あなたのふだんの生活について、おうかがいします。

問5 起きるのは、だいたい何時ですか。(1つに) [n = 685]

1. 午前6時以前	7.3%	3. 午前7時台	58.4	無回答	0.9
2. 午前6時台	31.4	4. 午前8時以降	2.0		

問6 寝るのは、だいたい何時ですか。(1つに) [n = 685]

1. 午後10時以前	3.8%	3. 午後11時台	39.7	無回答	1.0
2. 午後10時台	13.7	4. 午前0時以降	41.8		

問7 あなたは家族といるとほっとしますか。(1つに) [n = 685]

1. ほっとする	32.7%	3. どちらかというとはっとしない	12.3
2. どちらかというとはっとする	44.8	4. ほっとしない	8.3
		無回答	1.9

問8 あなたは早く家を出て一人で暮らしたいと思いませんか。(1つに) [n = 685]

1. そう思う	19.6%	3. どちらかというと思わない	32.6
2. どちらかというと思おう	32.4	4. そう思わない	12.8
		無回答	2.6

3. 生活の充実感についておうかがいします。

問9 あなたは、どのような時に充実感を感じますか。(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1. 社会のために役立つことをしている時	21.3%
2. 勉強に打ち込んで成果が出た時	50.2
3. スポーツや趣味で結果が出た時	72.6
4. 家族とくつろいだり、一緒に過ごしたりしている時	32.3
5. 気の許せる親しい友だちや仲間と一緒に過ごしている時	70.2
6. 人に感謝をされた時	45.4
7. 一人でくつろいでいる時	48.3
8. その他()	4.1
9. 充実感を感じる時はない	2.3
無回答	1.8

問10 あなたの普段の生活の満足度についてお聞きします。(~ それぞれ1つに) [n = 685]

	満足している	どちらかという満足	どちらかという不満	不満である	無回答
家族との関係	49.6%	34.6	9.2	4.5	2.0
友人関係	58.1	32.3	6.3	1.9	1.5
現在の生活程度	37.8	44.5	11.7	3.9	2.0
今の自分の生き方	26.1	43.1	20.9	8.2	1.8
今住んでいる地域との関わり	30.1	50.7	13.0	3.6	2.6
今の社会	8.8	29.6	34.5	24.8	2.3
学校の生活	39.0	38.0	14.0	7.3	1.8
学校の授業	28.0	46.9	16.6	7.0	1.5
学校の友人	58.8	30.1	6.4	3.5	1.2

問11 あなたは朝ごはんを食べますか。(1つに) [n = 685]

1 . 毎日食べる	84.5%	2 . 時々食べる	9.8	無回答	2.2
		3 . ほとんど食べない	3.5		

↓
問11 - 2へ進む

問11 - 1 問11で「1 . 毎日食べる」と答えた人にお聞きします。朝ごはんは誰と食べますか。
(あてはまるものすべてに) [n = 579]

1 . 父	21.9%	4 . 祖父母	2.9	無回答	0.5
2 . 母	37.3	5 . その他の人	1.0		
3 . 兄弟・姉妹	46.6	6 . ひとりで食べる	37.5		

問11 - 2 問11で「2 . 時々食べる」または「3 . ほとんど食べない」と答えた人にお聞きします。食べない理由は何ですか。(1つに) [n = 91]

1 . 時間がない	64.8%	3 . 家族に朝ごはんを食べる習慣がない	5.5
2 . 朝は体調が悪くて食べられない	20.9	4 . その他 ()	6.6
		無回答	2.2

問12 夕食は誰と一緒に食べますか。(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1 . 父	41.8%	4 . 祖父母	12.1	無回答	3.4
2 . 母	75.6	5 . その他の人	3.6		
3 . 兄弟・姉妹	64.1	6 . ひとりで食べる	10.4		

4 . 悩みごとについておうかがいします。

問13 今困っていることや悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1 . 勉強や成績のこと	59.6%	8 . 性格のこと	25.7
2 . 将来や進路のこと	54.7	9 . 容姿のこと	20.1
3 . 部活動のこと	20.0	10 . お金のこと	28.8
4 . 友だちや仲間のこと	28.8	11 . 政治や社会のこと	12.8
5 . 家族のこと	13.9	12 . その他 ()	2.5
6 . 異性のこと	16.5	13 . 特に悩みや心配ごとはない	13.3
7 . 健康のこと	12.7	無回答	6.0

↓
問14へ進む

問13 - 1 問13で悩みごとがあると答えた人にお聞きします。困っていることや悩みごとを相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに) [n = 553]

1 . 父	12.7%	7 . 学校の先輩	6.0
2 . 母	37.4	8 . 塾や習いごとの先生	8.1
3 . 兄弟・姉妹	12.7	9 . 電話で相談にのってくれるところ	0.5
4 . 祖父母	2.5	10 . メールで相談にのってくれるところ	2.4
5 . 友だち	57.5	11 . その他 ()	3.6
6 . 学校の先生	6.0	12 . 相談できる人はいない、相談はしない	19.3
		無回答	4.7

5 . 気分についておうかがいします。

問14 あなたは、忙しくて疲れていると思うことはありますか。(1つに) [n = 685]

1 . よくある	42.3%	3 . あまりない	12.1	無回答	2.9
2 . 時々ある	39.7	4 . ない	2.9		

6 . キレる行為についておうかがいします。

問15 あなたは、キレたりキレそうになったことはありますか。(1つに) [n = 685]

1 . よくある	14.2%	3 . あまりない	33.0	無回答	4.5
2 . 時々ある	38.8	4 . ない	9.5		

問16へ進む

問15 - 1 問15で「1 . よくある」または「2 . 時々ある」と答えた人にお聞きします。

あなたがキレそうになった相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに) [n = 363]

1 . 親	61.7%	5 . 友だち	63.1
2 . 親以外の家族	27.8	6 . 近所の人	4.1
3 . 親せき	5.8	7 . 外で出会った見知らぬ人	22.0
4 . 先生	25.6	8 . その他 ()	8.5
		無回答	0.3

7. 性や薬物の知識についておうかがいします。

問16 あなたは次のことについて知っていますか。(~ それぞれ1つに) [n = 685]

	よく知っている	少し知っている	ほとんど知らない	無回答
避妊について	15.2%	37.5	41.2	6.1
中絶について	11.7	33.3	48.8	6.3
性感染症について(エイズなど)	18.5	49.5	26.4	5.5
シンナーや薬物が身体に与える影響について	34.3	46.3	14.2	5.3

問16 - 1 問16で「1.よく知っている」または「2.少し知っている」を1つでも選んだ人にお聞きします。どのようにその情報を知りましたか。

(~ それぞれあてはまるものすべてに)

	n	教科書の授業・学校の授業	インターネット	テレビ	雑誌	先輩・友人から	専門書	親から	その他	無回答
避妊について	361	49.9%	15.0	33.2	16.6	21.6	4.2	8.6	14.4	1.9
中絶について	308	39.0	10.7	43.5	14.9	16.2	4.5	7.8	16.9	2.6
性感染症について(エイズなど)	466	66.3	9.4	40.8	9.9	7.1	4.5	7.7	10.1	1.5
シンナーや薬物が身体に与える影響について	552	74.6	9.4	44.7	8.7	6.2	6.7	7.8	7.8	2.0

8．未成年の飲酒・喫煙についておうかがいします。

問17 あなたは、今までに1回でも喫煙したことがありますか。(1つに) [n = 685]

1．吸ったことがない 88.2% → 問18へ進む					
2．今までに一度程度	2.9	4．月1～2回	0.4	6．毎日	0.6
3．年1～2回	0.4	5．週1～2回	0.4	無回答	7.0

問17-1 問17で「2．今までに一度程度」～「6．毎日」と答えた人にお聞きします。

どこでタバコを手に入れましたか。(あてはまるものすべてに) [n = 33]

1．自動販売機	24.2%	5．友だちにもらった	27.3
2．タバコ屋	6.1	6．飲食店	3.0
3．スーパー・コンビニ	18.2	7．駅の売店	6.1
4．家にあった	24.2	8．その他()	24.2
		無回答	15.2

問17-2 問17で「2．今までに一度程度」～「6．毎日」と答えた人にお聞きします。

喫煙の健康への影響について知っていますか。(1つに) [n = 33]

1．害はほとんどないと思う	6.1%	3．大いに害があると思う	60.6
2．多少あるだろうがたいしたことはないと思う	24.2	4．わからない	3.0
		無回答	6.1

問18 あなたは、今までに飲酒をしたことがありますか。(1つに) [n = 685]

1．飲酒をしたことがない 64.2% → 問19へ進む					
2．年1～2回	18.7	4．週1～2回	1.2		
3．月1～2回	7.6	5．毎日	0.6	無回答	7.7

問18-1 問18で「2．年1～2回」～「5．毎日」と答えた人にお聞きします。あなたはどのような場所で飲酒をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに) [n = 192]

1．冠婚葬祭	20.8%	5．部屋で友だちと	16.7
2．自宅で(正月等家族と過ごす中で)	65.1	6．一人で	7.3
3．レストラン(行事等の打ち上げなど)	8.9	7．その他()	15.1
4．居酒屋	13.5	無回答	4.2

問18 - 2 問18で「2 . 年1 ~ 2回」 ~ 「5 . 毎日」と答えた人にお聞きします。飲酒の健康への影響について知っていますか。(1つに) [n = 192]

1 . 害はほとんどないと思う	12.0%	3 . 大いに害があると思う	22.4
2 . 多少あるだろうがたいしたことはないと思う	44.8	4 . わからない	5.2
		無回答	15.6

9 . 規範意識についておうかがいします。

問19 あなたは、未成年者が次のようなことをすることについてどう思いますか。

(~ それぞれ1つに) [n = 685]

	いけないと思う	どちらかというといけないと思う	場合によってはいいと思う	してもいいと思う	無回答
髪を染めること	14.3%	18.1	25.8	40.0	1.8
ピアスをすること	22.5	19.9	20.4	35.3	1.9
夜遊びをすること	27.7	25.1	27.4	17.8	1.9
学校の帰りにゲームセンターや繁華街に出かけること	27.6	22.5	22.0	25.8	2.0
護身用のナイフを持ち歩くこと	57.1	19.9	15.0	6.4	1.6
親や学校との約束ごとを守らないこと	43.9	32.0	18.0	3.9	2.2
道路へゴミを捨てること	67.2	23.5	5.0	2.3	2.0
携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトを見ること	53.9	24.4	9.6	9.5	2.6
喫煙をすること	78.8	14.2	2.3	2.8	1.9
飲酒をすること	62.6	17.4	12.3	5.7	2.0
援助交際をすること	70.5	14.0	6.1	4.7	4.7
万引きをすること	88.5	7.2	1.2	1.5	1.8
いじめをすること	76.6	17.7	2.9	1.2	1.6
シンナーや覚せい剤を使うこと	90.4	5.5	0.9	1.5	1.8

10．情報化社会（携帯電話・パソコン）についておうかがいします。

問20 あなたは、携帯電話を持っていますか。（どちらかに ） [n = 685]

1．持っている	77.8%	2．持っていない	19.6	無回答	2.6
---------	-------	----------	------	-----	-----



→ 問21へ進む

問20 - 1 問20で「1．持っている」と答えた人にお聞きします。携帯電話の主な利用用途は何ですか。（1つに ） [n = 533]

1．相手の状況や居場所の確認	9.9%	7．写真撮影	3.8
2．いっしょに遊びに行く時の誘い	9.4	8．インターネット	6.8
3．待ち合わせ場所や時間の変更	8.1	9．ゲーム	3.4
4．帰宅の連絡	9.0	10．相手へのお願い事	3.8
5．相手とのおしゃべり	6.0	11．その他（ ）	1.3
6．メールの送受信	37.7	無回答	0.9

問20 - 2 問20で「1．持っている」と答えた人にお聞きします。友だちづきあいに携帯電話は必要だと思いますか。（1つに ） [n = 533]

1．必要でない	5.4%	3．どちらかというとも必要だ	42.8
2．どちらかというとも必要でない	9.9	4．必要だ	39.0
		無回答	2.8

問21 携帯電話やパソコンでアダルトサイトなどの情報にアクセスしたことはありますか。（1つに ） [n = 685]

1．ない	74.7%	3．時々見ている	7.0
2．知らない間につながって見たことがある	10.7	4．いつも見ている	3.5
		無回答	4.1

問22 あなたは、新聞（一般紙）を読みますか。（1つに ） [n = 685]

1．毎日読んでいる	12.0%	3．まったく読まない	35.3
2．時々読んでいる	50.5	無回答	2.2

問23 あなたは、本を読みますか（教科書や教材は除く）。（1つに ） [n = 685]

1．毎日読んでいる	22.5%	3．まったく読まない	19.7
2．時々読んでいる	55.6	無回答	2.2

11．家族との関係についておうかがいします。

問24 あなたは、ふだん同居の家族（親、兄弟姉妹、祖父母など）とどのくらい会話をしますか。
（1つに ）〔n = 685〕

1．1日に15分未満	9.5%	4．1日に1時間以上	41.5
2．1日に30分程度	21.2	5．まったくしない	1.6
3．1日に1時間程度	22.8	6．同居家族はいない	0.3
		無回答	3.2

問25 親は自分の考えを理解していると思いますか。（1つに ）〔n = 685〕

1．理解している	23.1%	3．どちらかという理解していない	20.3
2．どちらかという理解している	41.6	4．理解していない	10.7
		無回答	4.4

問26 あなたはふだん家で手伝いはしますか。（～それぞれ1つに ）〔n = 685〕

	毎日する	時々する	しあまりしない	しまつたうしない	無回答
洗濯（洗い、取り込み）	9.1%	42.8	25.8	18.8	3.5
食事の支度や片付け	31.2	44.4	13.1	7.7	3.5
買い物	6.3	45.4	24.8	19.7	3.8
掃除	9.6	43.8	27.0	15.9	3.6

12．学校生活についておうかがいします。

問27 学校生活は楽しいですか。（1つに ）〔n = 685〕

1．楽しい	47.9%	3．どちらかという楽しくない	11.1
2．どちらかという楽しい	32.4	4．楽しくない	5.7
		無回答	2.9

問28 学校生活で大事だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに ）〔n = 685〕

1．勉強	73.7%	5．社会性をはぐくむこと	43.5
2．友達関係	85.3	6．体力をつけること	37.1
3．受験（就職）準備	41.6	7．その他（ ）	2.9
4．自分の得意分野を伸ばすこと	42.9	無回答	3.6

問29 部活動に入っていますか。(1つに)

[n = 685]

1. 文化部に入っている	19.6%	3. その他の部活動に入っている	2.6
2. 運動部に入っている	53.4	4. 入っていない	20.9
		無回答	3.5

13. 地域とのかかわりについておうかがいします。

問30 あなたは、区や地域のイベントに参加したことはありますか。

(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1. 青少年向けの教養、趣味などの講座	5.8%	5. バスハイク	1.5
2. 青少年向けスポーツ教室・大会	15.0	6. その他()	2.2
3. 町内行事(お祭り、盆踊り)	54.6	7. 参加したことはない	30.7
4. 音楽鑑賞、演劇鑑賞、映画鑑賞	14.5	無回答	5.8

問30 - 1 問30で「7. 参加したことはない」と答えた人にお聞きします。参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに) [n = 210]

1. 時間が合わないから	19.5%
2. イベントがあることを知らないから	29.5
3. このようなイベントに興味がないから	63.3
4. その他()	3.8
無回答	2.9

問31 あなたは、地域で次のようなボランティアをやったことがありますか(学校での「奉仕体験」は除く)。(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1. 募金活動	17.5%	5. 駅頭などでの啓発活動	1.0
2. お祭りなどの行事の手伝い	19.9	6. その他()	2.2
3. 清掃活動	21.9	7. ボランティアはやったことがない	46.4
4. 保育園などでの子どもの遊び相手	7.4	無回答	9.6

14. まわりの人との関係についておうかがいします。

問32 友だちという時は楽しいですか。(1つに)

[n = 685]

1. とても楽しい	68.3%	3. あまり楽しくない	3.8
2. どちらかという楽しい	22.9	4. 楽しくない	1.3
		無回答	3.6

問33 友だちとのつき合い方について、次のことをどう思いますか。(~ それぞれ1つに)

[n = 685]

	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
友だちの数は多いほうがよい	55.8%	25.3	10.1	5.3	3.6
何をするかによって、友だちを選ぶほうだ	27.9	32.4	22.8	12.7	4.2
友だち関係はあっさりしていて、お互い深入りしないほうだ	12.0	30.9	34.5	18.0	4.7
悩み事はあまり友だちに話さないほうだ	22.0	26.0	27.0	20.7	4.2
友だちといるよりひとりでいるほうが大切だ	5.1	13.4	42.3	35.3	3.8
友だち同士はただの知り合いである	3.8	7.9	29.2	54.7	4.4
フルネームで本名がわからない友だちが結構いる	5.5	10.8	21.9	57.5	4.2
直接話すよりメールや電話で話すほうが安心して話しやすい	6.7	13.3	33.7	41.9	4.4

問34 学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。

(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1. 中高校生が自由にスポーツができる体育館や運動場	56.5%
2. 中高校生が一人でも安心して過ごすことのできる集会施設	20.6
3. 中高校生が自由に安心して過ごすことのできる集会施設	30.2
4. 中高校生が音楽鑑賞やバンド活動、料理など、さまざまな活動ができる場所	34.6
5. 中高校生が安心して自由に勉強できる施設	39.0
6. 子どもから高齢者までいろいろな人が活動している施設	12.6
7. 中高校生が一人でも気軽に相談に行ける場所	16.4
8. 絵本づくり、雑誌づくりなど実際に体験をしながら学ぶ講座や、コミュニケーションなどの人間関係能力を向上させる講座などが、随時開催しているような場所	10.5
9. その他()	7.0
無回答	13.0

問35 自分が人に認められていると感じるのはどんな時ですか。(あてはまるものすべてに)

[n = 685]

1 . 周りの人に感謝された時	61.6%
2 . 大人や友だちに自分の話を聞いてもらった時	27.9
3 . 周りの人が遊びなどに誘ってくれた時	46.4
4 . 大人や親から物事の自己決定をまかされた時	25.4
5 . 周りの人が悩みなどの相談をしてくれた時	51.7
6 . 学校の成績が上がったり、部活動などで入賞した時	36.5
7 . その他 ()	3.1
8 . 認められていると感じたことはない	6.3
無回答	6.7

15 . 将来についておうかがいします。

問36 あなたは、大人になりたいと思いますか。(1つに)

[n = 685]

1 . そう思う	35.0%	3 . どちらかというと思わない	18.4
2 . どちらかというと思おう	30.1	4 . そう思わない	9.9
-----▶ 問37へ進む		無回答	6.6

問36 - 1 問36で「3 . どちらかというと思わない」または「4 . そう思わない」と答えた人にお聞きします。大人になりたいと思わない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに) [n = 194]

1 . 仕事や家庭を持ち責任が重くなるから	38.1%	4 . 人生の選択肢が少なくなるから	17.0
2 . 自分の時間が少なくなるから	33.5	5 . 大人は楽しそうに見えないから	38.7
3 . 今が楽しいから	64.9	6 . その他 ()	13.4
		無回答	2.1

問37 あなたは、尊敬できる大人、モデルにしたいような大人がいますか。(1つに) [n = 685]

1 . いない	31.8%	2 . いる	62.3	無回答	5.8
---------	-------	--------	------	-----	-----

問38 あなたは、いくつまでが子どもだと思えますか。(1つに)

[n = 685]

1 . 小学校卒業まで	7.4%	6 . 就職するまで	6.1
2 . 中学校卒業まで	21.9	7 . 結婚するまで	0.9
3 . 高校卒業まで	28.8	8 . 子どもができるまで	0.6
4 . 大学・短大・専門学校卒業まで	3.8	9 . 一生	4.2
5 . 20歳の誕生日まで	13.4	10 . わからない	8.2
		無回答	4.7

問39 あなたは、何歳から選挙権を持つことが妥当だと思いますか。(1つに) [n = 685]

1 . 16歳	6.6%	4 . 19歳	2.5	7 . わからない	17.1
2 . 17歳	1.6	5 . 20歳	39.0	無回答	5.0
3 . 18歳	17.7	6 . 21歳以上	10.7		

問40 子どものうちにすべきことは何だと思いますか。(~ それぞれ1つに) [n = 685]

	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
勉強をすること	59.6%	25.5	7.2	4.2	3.5
友だちを作ること	80.4	13.3	1.9	0.9	3.5
自然とふれ合うこと	59.7	26.4	7.3	2.5	4.1
体力をつけること	66.9	24.2	3.8	1.3	3.8
特技を見つけること	66.7	22.0	6.1	1.5	3.6
将来の進路を決定すること	43.8	33.6	14.5	3.9	4.2
常識を身につけること	72.4	18.7	3.8	0.9	4.2
本を読むこと	36.1	34.7	17.5	7.3	4.4
遊ぶこと	77.4	15.5	2.6	1.0	3.5
料理や洗濯などの身の回りのことができること	45.5	39.1	8.5	2.8	4.1
社会のきまりやしきみを知ること	49.2	36.5	7.4	2.5	4.4
自分の考えや意見を身につけること	63.4	27.9	3.4	1.2	4.2

問41 あなたは、将来なりたいものがありますか。(1つに) [n = 685]

1 . はっきりとした目標を持っている	24.7%
2 . 漠然としているが大体の目標を持っている	34.9
3 . いろいろ考えているが、まだ決めていない	26.6
4 . 特に考えたことはない	9.1
無回答	4.8

16．区への意向についておうかがいします。

問42 あなたは、杉並区に住み続けたいと思いますか(住んでいない人は住みたいと思いますか)。

(1つに) [n = 685]

1．そう思う	27.7%	3．どちらかというと思わない	19.9
2．どちらかというと思う	28.6	4．そう思わない	18.7
		無回答	5.1

問43 あなたは、この1年間に区の施設を利用したことがありますか。

(あてはまるものすべてに) [n = 685]

1．児童館	25.3%	7．科学教育センター	8.9
2．ゆう杉並	7.9	8．郷土博物館	4.7
3．図書館	48.3	9．地域区民センター	12.7
4．公会堂	7.7	10．杉並会館	5.3
5．学校以外の体育館やプール	24.7	11．その他()	1.8
6．公園	52.6	12．利用したことがない	23.4
		無回答	6.0

問44 あなたは、杉並区の広報(広報すぎなみ)や区の実施する講座等のポスター・チラシを見ているですか。(1つに)

[n = 685]

1．よく見る	3.6%	3．あまり見ない	26.4
2．時々見る	22.8	4．まったく見ない	42.3
		無回答	4.8

問45 あなたは、区のホームページ、区のマイル(携帯電話用)のページを見たことがありますか。(1つに)

[n = 685]

1．よく見る	0.4%	3．あまり見ない	14.7
2．時々見る	5.1	4．まったく見ない	74.9
		無回答	4.8

問46 区に実施してもらいたい青少年向け事業（中学生から29歳程度の方を対象）がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

青少年の生活に関する調査（青少年実態調査）

< ご協力のお願い >

日頃、区政につきまして、格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、杉並区では、青少年の健全育成施策を検討するための基礎資料を得る目的で、5年に一度「青少年の生活に関する調査」を実施しておりますが、今年度はその調査の年にあたります。

調査の実施にあたり、区内にお住まいの19才～29才の方のうち、無作為に600人の方を選ばせていただきましたところ、あなた様にご協力をお願いすることになりました。

調査結果は、すべて統計的に処理し、「こういう意見が何%」という形でしか公表いたしませんので、回答していただいたことによって、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の主旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、記入された調査票は、返信用封筒に入れたうえ、平成20年7月4日（金）までにお送りいただきますようよろしくお願いいたします。

平成20年6月

杉並区 保健福祉部 児童青少年課
電話 3393 - 4760（直通）
担当：芝田・高橋

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、選択肢の番号に をつけて選んでいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
2. 選択肢の場合、選んでいただく数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
3. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

1. あなたご自身やご家族のことについてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに) [n = 208]

1. 男性	38.9%	2. 女性	60.1	無回答	1.0
-------	-------	-------	------	-----	-----

問2 あなたの年齢を教えてください。(枠内に記入) [n = 208]

1. 19~24歳	42.8%	2. 25~29歳	56.7	無回答	0.5
-----------	-------	-----------	------	-----	-----

問3 あなたは杉並に何年住んでいますか。(枠内に記入) [n = 208]

1. 1年未満	8.7%	4. 5~10年未満	12.5	7. 20~25年未満	14.4
2. 1~3年未満	23.1	5. 10~15年未満	6.3	8. 25年以上	8.7
3. 3~5年未満	19.7	6. 15~20年未満	6.3	無回答	0.5

問4 現在あなたは学生ですか。それとも働いていますか。(1つに) [n = 208]

1. 学生	14.4%	3. 働いている	77.9
2. 働きながら学校に通っている	2.4	4. 無職	5.3

問5 一緒に暮らしている人は誰ですか。(1つに)

仕事や入院で一時的に別に暮らしている場合も一緒に暮らしているとします。 [n = 208]

1. 一人暮らし	37.5%	4. 親と子どもと孫(三世代家族)	4.8
2. 夫婦のみ	7.7	5. その他()	14.9
3. 親と子ども(二世世代家族)	33.7	無回答	1.4

問5 - 1 問5で家族と同居していると答えた人にお聞きします。同居している理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに) [n = 127]

1. 経済的に苦しいから	23.6%	5. 今の生活で不自由がないから	37.0
2. 独立のためにお金をためる必要があるから	24.4	6. 親の身の回りの世話をしているから	2.4
3. 親が反対するから	3.9	7. 親の仕事を継いだから	0.8
4. 家事が負担に感じるから	12.6	8. 学生だから	19.7
		無回答	30.7

問6 あなたが最後に通った学校あるいは現在通っている学校を選んでください。(1つに)

[n = 208]

1. 中学校	0.5%	5. 高等専門学校・短期大学	6.7
2. 高校	10.1	6. 大学・大学院	59.6
3. 予備校	1.0	7. その他()	-
4. 専修・専門学校・各種学校	20.2	無回答	1.9

2. 働いている方にお伺いします。

問7 あなたの職業は次のうちどれにあてはまりますか。(1つに) [n = 167]

1. 経営者・重役・役員	-	4. 派遣社員・契約社員	10.2
2. 正規雇用者 (従業員・公務員・教員など)	67.7%	5. 自営業・家族従業員	1.8
3. 臨時雇用 (パート・アルバイト・嘱託など)	17.4	6. その他 ()	2.4
		無回答	0.6

問8 現在の仕事内容はどれですか。(1つに) [n = 167]

1. 専門技術職(設計・研究開発・教師・保育士・看護師など)	25.1%
2. 事務職	26.3
3. 営業・販売職	23.4
4. 技能職(機械工・営繕・運転手など)	4.8
5. サービス業(理容師・美容師など)	9.6
6. 保安職(警察官・守衛・警備員など)	-
7. その他 ()	10.2
無回答	0.6

問9 あなたの昨年の年収はどれくらいですか。(1つに) [n = 167]

1. 収入はない	3.6%	4. 300万円未満	37.7	7. 500万円以上	6.6
2. 100万円未満	7.2	5. 400万円未満	18.6	無回答	0.6
3. 200万円未満	14.4	6. 500万円未満	11.4		

問10 今までに転職をしたことがありますか。(1つに) [n = 167]

1. ない	62.3%	3. 2回	8.4	無回答	0.6
2. 1回	19.8	4. 3回以上	9.0		

問11 今後仕事を変えるつもりはありますか。(1つに) [n = 167]

1. ある	52.7%	2. ない	46.7	無回答	0.6
-------	-------	-------	------	-----	-----

3. 生活実態についてお伺いします。

あなたの普段の生活についてお聞きします。

問12 次の各項目について、満足度をお答えください。(~ それぞれ1つに)

【全 員】

[n = 208]

	い る 満 足 し て	ま あ 満 足	や や 不 満	あ る 不 満 で	無 回 答
家庭生活	42.3%	43.3	10.6	3.4	0.5
友人関係	48.1	40.9	8.7	1.0	1.4
現在の生活水準	24.5	36.1	27.9	11.1	0.5
今の社会	3.8	30.3	41.3	23.6	1.0
今住んでいる地域との関わり	10.1	65.4	21.2	2.4	1.0
今の自分の生き方	19.2	46.6	24.0	9.1	1.0

【在学中の方】

[n = 35]

学校の生活	45.7	40.0	11.4	2.9	-
学校の授業	25.7	42.9	22.9	8.6	-
学校の友人	60.0	31.4	5.7	2.9	-
現在の教育制度	2.9	48.6	37.1	11.4	-

【働いている方】

[n = 167]

職場の生活	18.6	52.7	20.4	7.2	1.2
仕事の内容	19.2	50.9	24.6	4.8	0.6
現在の収入	9.6	29.3	36.5	24.0	0.6
職場の人間関係	25.1	52.1	15.6	6.6	0.6

問13 あなたはどのような時に充実感を感じますか。(あてはまるものすべてに) [n = 208]

1. 社会のために役立つことをしている時	34.6%
2. 仕事で評価をされた時	62.5
3. 勉強に打ち込んで成果が出た時	34.6
4. スポーツや趣味で結果が出た時	40.9
5. 家族とくつろいだり、一緒に過ごしたりしている時	54.3
6. 気のおけない友だちや仲間と一緒に過ごしている時	74.5
7. 人に感謝をされた時	71.6
8. 一人でくつろいでいる時	56.3
9. その他()	3.8
10. 充実感を感じる時はない	1.4
無回答	1.4

4 . 規範意識についてお伺いします。

問14 次の意見をどう思いますか。(~ それぞれ1つに)

〔 n = 208 〕

	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
社会の秩序を守るためには、多少いやな思いをしても法に従わなければならない	35.1%	55.3	4.3	3.4	1.9
自分の気持ちを言葉に表して相手の理解を求める努力は、人間関係を良好に保つ上で重要なことだと思う	63.9	30.3	3.8	0.5	1.4
自分が損をしてまで他人を助ける必要はない	3.4	19.7	49.5	26.0	1.4
人に見つからなければルールを破っても構わない	3.8	14.4	40.4	39.9	1.4
将来のことはわからないので、人生は今は楽しければそれでいい	4.8	22.1	36.5	35.1	1.4
何事も努力することが重要である	51.4	38.9	6.3	2.4	1.0
定職についてこそ一人前だ	27.9	35.1	18.8	17.3	1.0
お金は何よりも大切だ	19.7	36.5	27.9	14.9	1.0
自分には誰にも負けない良さがある	24.5	35.1	25.0	14.4	1.0
自分は一人ぼっちだと感じる	10.1	14.4	33.2	41.3	1.0
人から頼りにされたいと思う	43.3	40.4	8.2	7.2	1.0
周りの人と同じでなければイヤだ	-	6.3	35.1	57.2	1.4

問15 あなたには現在、親しい友人がいますか。(1つに) [n = 208]

1 . いる	90.9%	2 . いない	5.3	無回答	3.8
--------	-------	---------	-----	-----	-----

問16 あなたの友人とのつき合い方についてお伺いします。(~ それぞれ1つに) [n = 208]

	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
友人といるより一人であるほうが気持ちが落ち着く	9.1%	45.2	32.7	11.5	1.4
浅く広くより、少数の友人と深いつき合い方を大切にしている	41.8	36.1	17.8	2.4	1.9
特定の少数の友人より多方面の友人とつき合うほうだ	10.1	16.3	44.7	27.4	1.4
友人関係はあっさりしてお互い深入りしない	9.1	31.7	40.4	17.3	1.4
友人のほとんどは、学校や職場で知り合った人だ	54.8	25.0	11.5	7.2	1.4
学校や職場以外の人を増やしたい	37.0	33.2	19.7	8.7	1.4

5 . 自主性についてお伺いします。

問17 現在、働いていない人にお聞きします。将来自分が働くことについてどのように考えていますか。(1つに) [n = 41]

1 . 収入は低くとも、好きな仕事にうちこみたい	41.5%
2 . 生活のために好きでない仕事をするのも仕方がない	39.0
3 . なるべく仕事はしないで、好きなことをして暮らしたい	4.9
4 . わからない	7.3
無回答	7.3

問18 現在、働いている人にお聞きします。働いている理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに) [n = 167]

1 . 生活のために働かざるをえないから	65.3%	5 . 将来にそなえて	41.9
2 . 仕事をするのが当然だから	48.5	6 . 仕事を通じて社会から認められたいから	23.4
3 . 自分の能力を活かしたいから	32.9	7 . なんとなく	5.4
4 . 収入がいいから	8.4	8 . その他 ()	12.6
		無回答	6.0

問19 あなたには現在悩みがありますか。(あてはまるものすべてに) [n = 208]

1. 友人関係(異性を含む)	26.9%	6. 自分の健康	30.3
2. 家族関係	14.9	7. 将来のこと	68.8
3. 会社や仕事のこと	46.2	8. お金のこと	50.5
4. 学校や勉強のこと	12.5	9. その他()	1.9
5. 自分自身の生き方、性格について	43.8	10. 特にな	8.7
		無回答	4.3

-----▶ 問20へ進む

問19 - 1 問19で1つでも悩みがあると答えた人にお聞きします。あなたは悩みについて誰(どこ)に相談しますか。(あてはまるものすべてに) [n = 181]

1. 友人	76.8%	6. 電話で相談するところ	-
2. 家族	59.1	7. インターネット上の相談するところ	2.8
3. 学校の先生	1.7	8. その他()	8.8
4. 区や民間の相談所	0.6	9. 誰にも相談しない	12.7
5. 医師	5.5	無回答	1.1

6. 将来についてお伺いします。

問20 あなたの将来の夢はどのようなことですか。考えに近いものを選んでください。(1つに) [n = 208]

1. 希望の仕事について能力を発揮する	26.9%	5. 社会や人のために尽くす	8.7
2. 仕事で立派な業績をあげる	7.7	6. その他()	3.8
3. 結婚して幸せな家庭生活を築く	31.3	7. 特にな	1.4
4. 好きな趣味などをしてのんびりと暮らす	18.8	無回答	1.4

7. 結婚についてお伺いします。

問21 あなたは現在、結婚していますか。(1つに) [n = 208]

1. 結婚している	13.0%	3. 結婚していない	84.6
2. 結婚したが離婚・死別した、別居中である	0.5	無回答	1.9

問21 - 1 問21で「3. 結婚していない」と答えた人にお聞きします。あなたは結婚と子どもについてどのように考えていますか。(1つに) [n = 176]

1. 結婚したいし子どもも欲しい	76.7%	4. 結婚はしたくないし子どもも欲しくない	4.5
2. 結婚したいが子どもは欲しくない	5.1	5. わからない	11.9
3. 子どもは欲しいが結婚はしたくない	1.7		

8．地域についてお伺いします。

問22 区や地域では次にあげるような行事が行われていますが、参加したことはありますか。

(あてはまるものすべてに) [n = 208]

1．各種のスポーツ教室・大会	4.8%	5．国際交流やボランティア活動	1.4
2．各種の青少年向け講座	1.0	6．その他()	1.0
3．区民コンサートなど音楽イベント	2.9	7．参加したことはない	69.7
4．町内の行事(祭り、盆踊り)	25.5		

問22 - 1 問22で「7．参加したことはない」と答えた人にお聞きします。参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに) [n = 145]

1．時間がない、合わないから	46.9%	3．行事に関心がないから	24.1
2．行事が行われていることを知らないため	66.2	4．その他()	5.5
		無回答	0.7

9．区政についてお伺いします。

問23 あなたは次の区の施設をこの1年間に利用したことがありますか。

(あてはまるものすべてに) [n = 208]

1．児童館	3.4%	7．科学教育センターや郷土博物館	0.5
2．ゆう杉並	0.5	8．地域区民センターや区民事務所	13.0
3．図書館	35.1	9．杉並会館	1.9
4．公会堂	6.3	10．その他()	2.4
5．学校以外の体育館やプール	11.5	11．利用したことがない	31.3
6．公園	39.4		

問24 あなたは杉並区の広報(広報すぎなみ)や区の実施する講座等のポスター・チラシを見ますか。(1つに) [n = 208]

1．よく見る	4.8%	3．あまり見ない	27.9
2．時々見る	32.2	4．まったく見ない	35.1

問25 あなたは区のホームページ、区のモバイル(携帯電話用)のページを見たことがありますか。(1つに) [n = 208]

1．よく見る	0.5%	3．あまり見ない	22.1
2．時々見る	16.3	4．まったく見ない	61.1

問26 あなたは杉並区を住みよいところだと思いますか。(1つに)

[n = 208]

1 . たいへん住みよい	27.4%	3 . どちらかというと住みにくい	3.8
2 . どちらかというと住みよい	68.3	4 . たいへん住みにくい	0.5

問27 区に実施してもらいたい青少年向け事業(18歳から29歳程度の方を対象)がありましたらお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

Ⅲ. 調査結果の分析

小学5・6年生と中・高校生

1. 調査対象者・家族の状況について

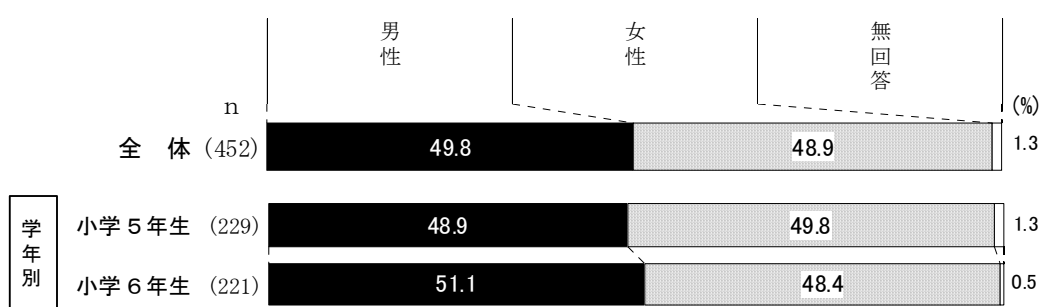
1-1 性別

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

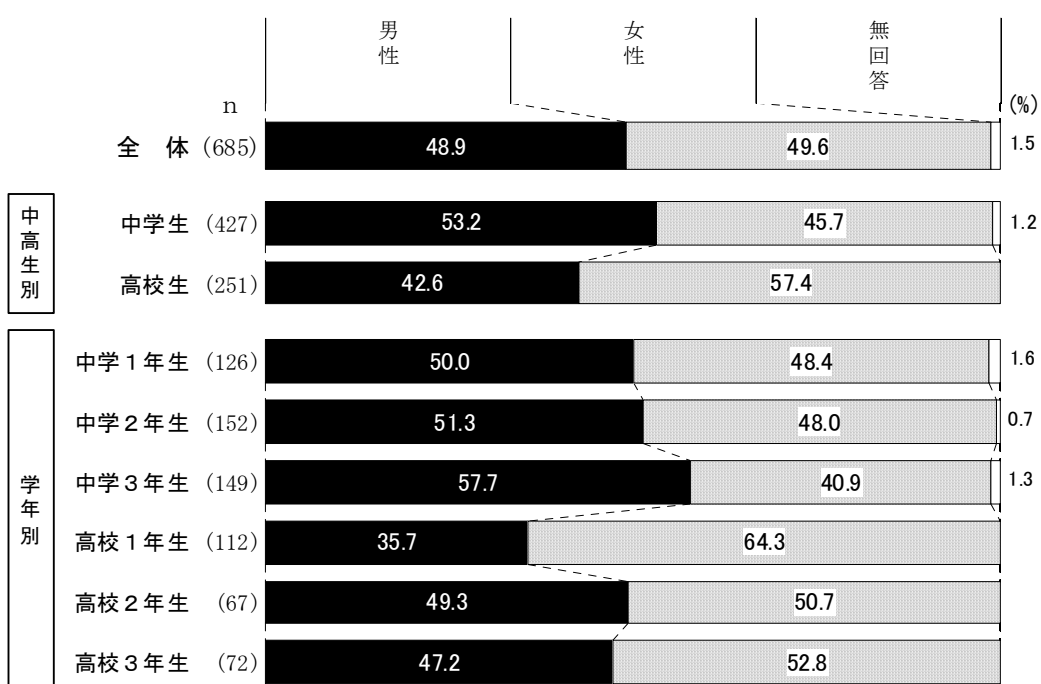
小学5・6年生については、男女ほぼ同数となっている。これを学年別に比較すると、小学5年生では女性（49.8%）が多いが、小学6年生では男性（51.1%）が多い。

中・高校生については、男女ほぼ同数となっている。中高生別では、高校生で男性（42.6%）の比率が低い。学年別では、中学1から3年生では男性が多いが、高校1から3年生では女性が多い。

図表1-1 性別（小学5・6年生）



図表1-2 性別（中・高校生）

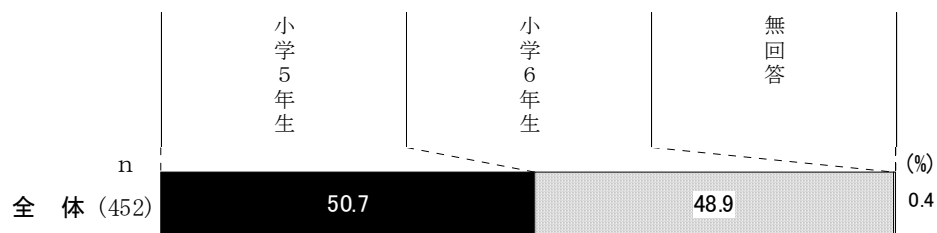


1-2 学年

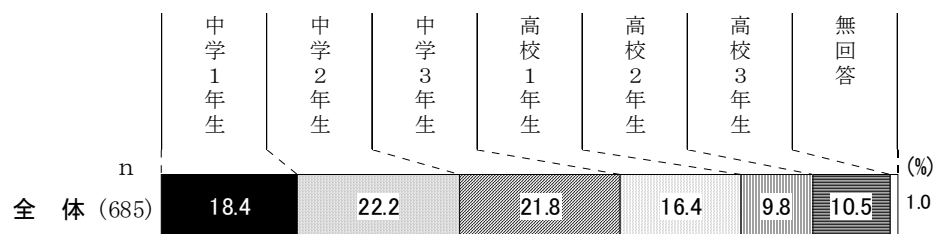
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

小学5・6年生、中・高校生の回答割合は以下のとおりとなっている。

図表1-3 学年（小学5・6年生）



図表1-4 学年（中・高校生）



1-3 居住状況・居住年数

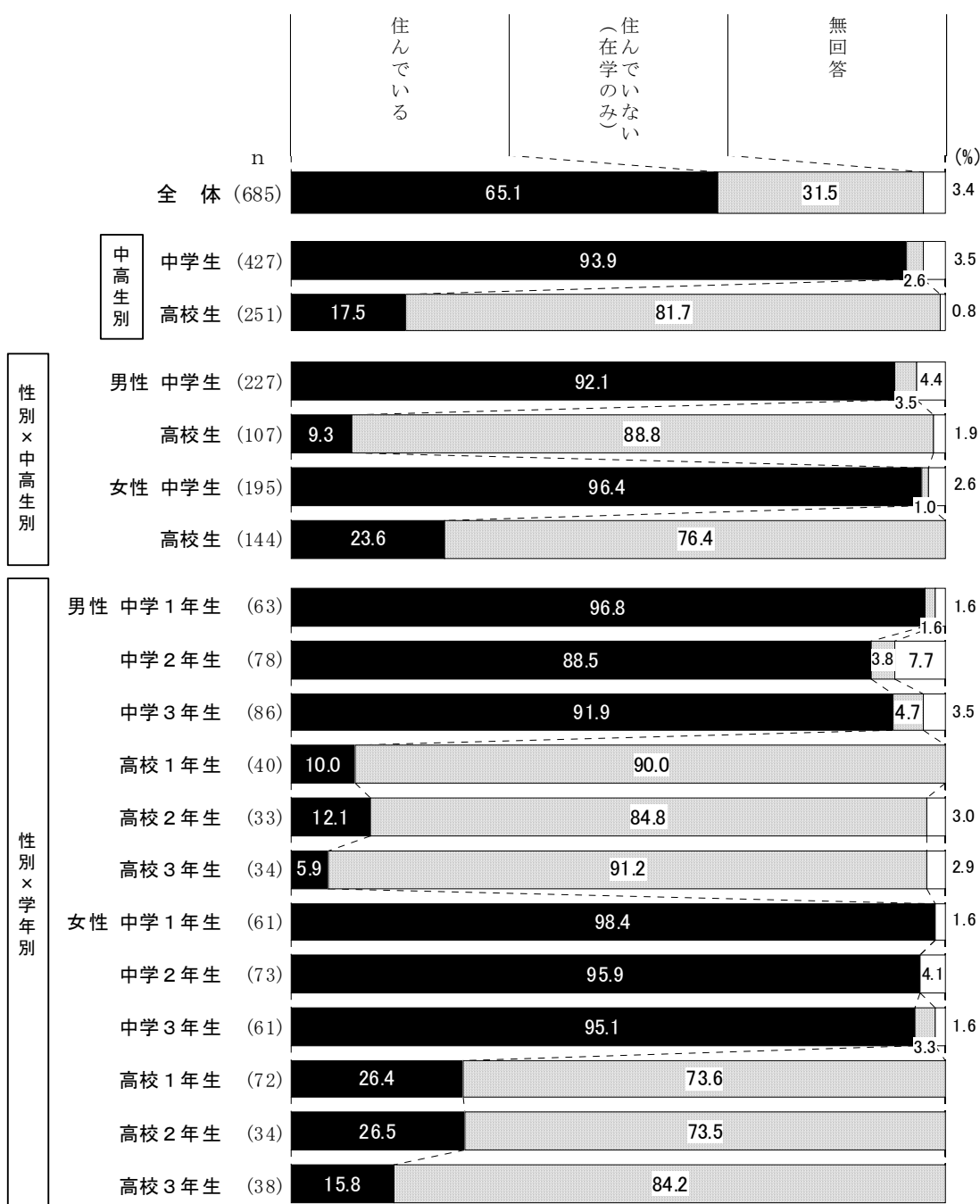
あなたは杉並区内には約何年住んでいますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

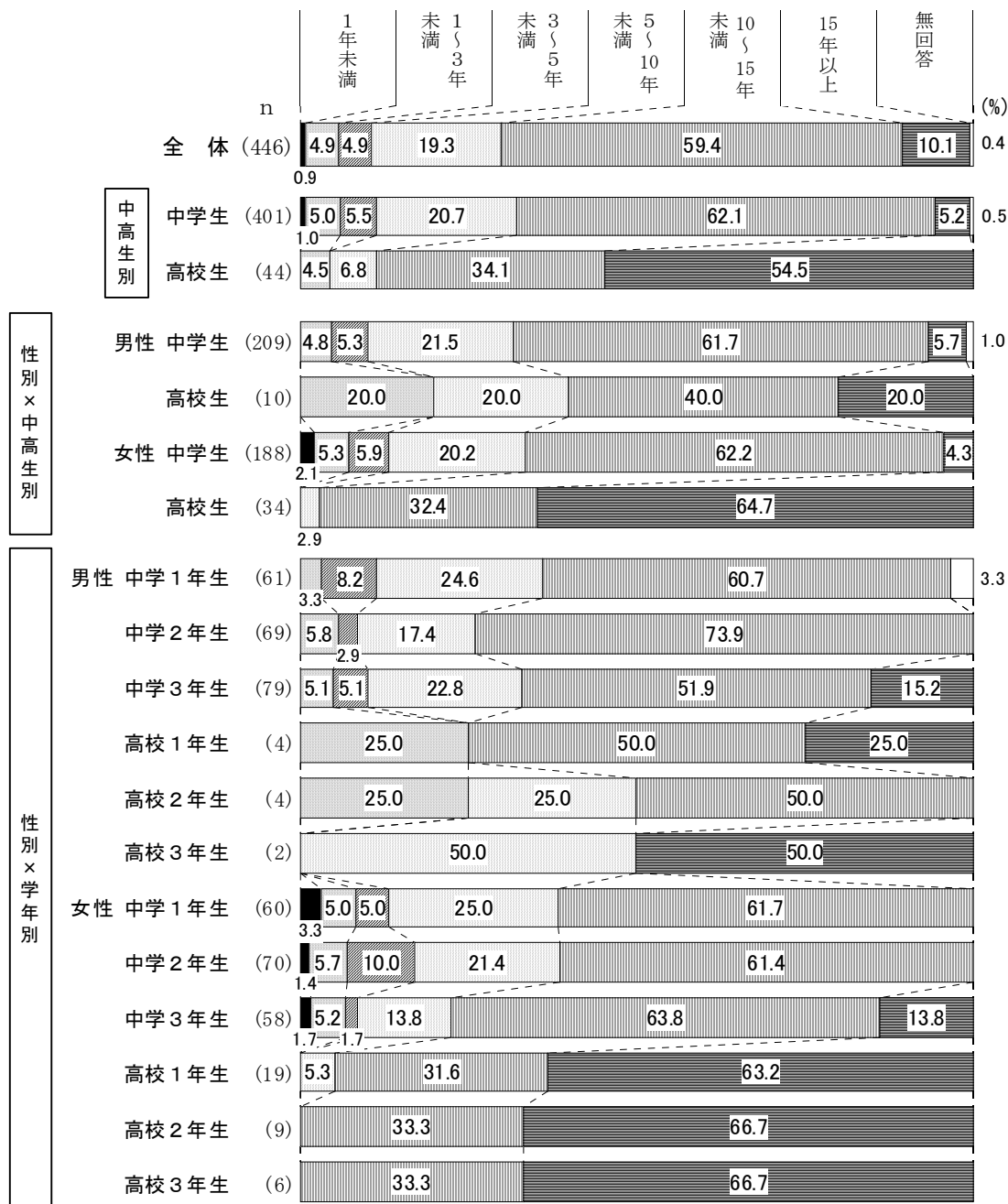
「住んでいる」は65.1%であった。中高生別では、「住んでいる」が中学生では93.9%であるのに対して、高校生は17.5%となっている。性別×中高生別では、「住んでいる」が低いのは女性-高校生(23.6%)よりも男性-高校生(9.3%)である。性別×学年別では、男女ともに高校3年生が低くなっている。

図表1-5 居住状況(中・高校生)



中・高校生については、「10～15年未満」が59.4%と約6割を占めている。中学生では、「10～15年未満」(62.1%)、高校生では、「15年以上」(54.5%)が最も高い。性別×中高生別では、中学生については、男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「10～15年未満」が男性-中学2年生(73.9%)で最も高い。

図表1-6 居住年数(中・高校生)



1-4 同居している人

あなたが一緒に暮らしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

※仕事や入院で一時的に別に暮らしている場合も一緒に暮らしているとします。

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「母」(97.3%)、「父」(91.8%)が9割を超えている。次いで「兄弟・姉妹」(81.0%)が8割を超え、「祖父母」(15.5%)が1割台半ばとなっている。学年別では、大きな差はない。

中・高校生については、「母」(93.7%)が9割台半ば、「父」(84.8%)、「兄弟・姉妹」(81.6%)が8割以上となっている。学年別では、「母」は全学年で9割以上となっている。「父」は中学3年生(91.3%)で9割を超えているが、その他の学年では9割未満となっている。「兄弟・姉妹」は高校2年生以上で7割台半ばとなっている。

図表1-7 同居している人(小学5・6年生／中・高校生)

		(人、%)							
		n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の人	い同居ない家族は	無回答
小学5・6年生									
全体		452	91.8	97.3	81.0	15.5	1.5	-	1.3
学年別	小学5年生	229	93.0	96.9	79.0	14.8	0.9	-	1.7
	小学6年生	221	91.0	98.2	83.3	16.3	2.3	-	0.5
中・高校生									
全体		685	84.8	93.7	81.6	22.6	2.2	0.3	1.6
学年別	中学1年生	126	87.3	94.4	89.7	27.8	1.6	-	2.4
	中学2年生	152	82.9	94.7	83.6	23.0	2.0	0.7	0.7
	中学3年生	149	91.3	95.3	83.2	23.5	2.0	-	-
	高校1年生	112	83.9	92.0	81.3	15.2	1.8	0.9	0.9
	高校2年生	67	83.6	97.0	74.6	25.4	6.0	-	-
	高校3年生	72	80.6	94.4	75.0	19.4	1.4	-	1.4

1-5 帰宅時に家にいる人

ふだんあなたが学校から帰宅した時に家にいる人はだれですか。

(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

帰宅時に家にいる人として、「母」(69.0%)が最も高く、約7割となっている。次いで「兄弟・姉妹」(38.7%)、「祖父母」(12.8%)の順となっており、「だれもいない」(15.7%)は1割台半ばとなっている。学年別では、小学6年生が「兄弟・姉妹」(43.0%)で高くなっている。

図表1-8 帰宅時に家にいる人(小学5・6年生)

		(人、%)							
		n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の人	だれもいない	無回答
小学5・6年生									
全体		452	5.3	69.0	38.7	12.8	1.3	15.7	2.7
学年別	小学5年生	229	6.1	70.3	34.5	12.7	0.9	13.5	3.9
	小学6年生	221	4.5	67.9	43.0	13.1	1.8	18.1	0.9

■設問間クロス：

①朝食をひとりで食べることもある状況別

朝食を毎日食べる人（90頁「朝食の状況」で「毎日食べる」と回答した人、421人）でみると、帰宅時に家にいる人は「母」（70.8%）が全体と同様高くなっている。また、このうち朝食をひとりで食べることもある人（91頁「朝食の相手」で「ひとりで食べる」と回答した人、53人）についても「母」（67.9%）が高い。ひとりで食べることもある人は、朝食を毎日食べる人全体に比べ、「兄弟、姉妹」（18.9%）が低くなっている。

図表 1-9 朝食をひとりで食べることもある×帰宅時に家にいる人（小学5・6年生）

		(人、%)						
	n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の人	だれもいない	無回答
小学5・6年生								
全体	421	5.5	70.8	40.1	12.8	1.2	14.7	1.7
朝食をひとりで食べることもある	53	3.8	67.9	18.9	13.2	1.9	13.2	3.8

②夕食をひとりで食べることもある状況別

図表 1-10 夕食をひとりで食べることもある×帰宅時に家にいる人（小学5・6年生）

		(人、%)						
	n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の人	だれもいない	無回答
小学5・6年生								
全体	452	5.3	69.0	38.7	12.8	1.3	15.7	2.7
夕食をひとりで食べることもある	13	7.7	53.8	15.4	30.8	-	23.1	7.7

※夕食をひとりで食べることもある人については、nが30未満のため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

1-6 帰宅後の過ごし方

あなたは、帰宅後どのように過ごしますか。(主なもの2つまでに○)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

「家で勉強やテレビを見て過ごす」(61.9%)が6割を超えて最も高く、以下、「塾などの習い事に行く」(53.1%)、「友だちと家や児童館などの屋内で遊ぶ」(30.3%)、「友だちと公園などの外で遊ぶ」(28.8%)と続いている。性別×学年別では、男女ともに小学5・6年生で「家で勉強やテレビを見て過ごす」が最も高い。一方、全体で2番目に高い「塾などの習い事に行く」は、男性では小学5年生(58.0%)に比べ小学6年生(50.4%)が低いものの、女性では小学5年生(43.9%)に比べ小学6年生(61.7%)が高い。また、女性-小学6年生は「友だちと家や児童館などの屋内で遊ぶ」(15.0%)が低くなっている。

図表1-11 帰宅後の過ごし方(小学5・6年生)

		(人、%)							
		n	家で勉強やテレビを見て過ごす	友だちと家や児童館などの屋内で遊ぶ	友だちと公園などの外で遊ぶ	塾などの習い事に行く	ゲームセンターや買い物に行く	その他	無回答
小学5・6年生									
全体		452	61.9	30.3	28.8	53.1	1.5	6.0	1.1
性別× 学年別	男性 小学5年生	112	55.4	28.6	36.6	58.0	1.8	3.6	0.9
	男性 小学6年生	113	54.0	42.5	23.0	50.4	1.8	7.1	-
	女性 小学5年生	114	66.7	35.1	30.7	43.9	0.9	7.0	-
	女性 小学6年生	107	75.7	15.0	24.3	61.7	1.9	6.5	0.9

■設問間クロス：

①子どもが帰宅時に家に家族がいない状況別

帰宅時に家に家族がいない人の場合、全体に比べて「友だちと家や児童館などの屋外で遊ぶ」(39.4%)や「友だちと公園などの外で遊ぶ」(31.0%)が高く、一方で「塾などの習い事に行く」(36.6%)が低くなっている。

図表1-12 子どもが帰宅時に家に家族がいない×帰宅後の過ごし方(小学5・6年生)

		(人、%)							
		n	家で勉強やテレビを見て過ごす	友だちと家や児童館などの屋内で遊ぶ	友だちと公園などの外で遊ぶ	塾などの習い事に行く	ゲームセンターや買い物に行く	その他	無回答
小学5・6年生									
全体		452	61.9	30.3	28.8	53.1	1.5	6.0	1.1
誰も家にいないことがある		71	59.2	39.4	31.0	36.6	-	8.5	-

2. 情報化社会（パソコン・携帯電話）について

2-1 携帯電話の所有状況

あなたは、携帯電話を持っていますか。（どちらかに○）

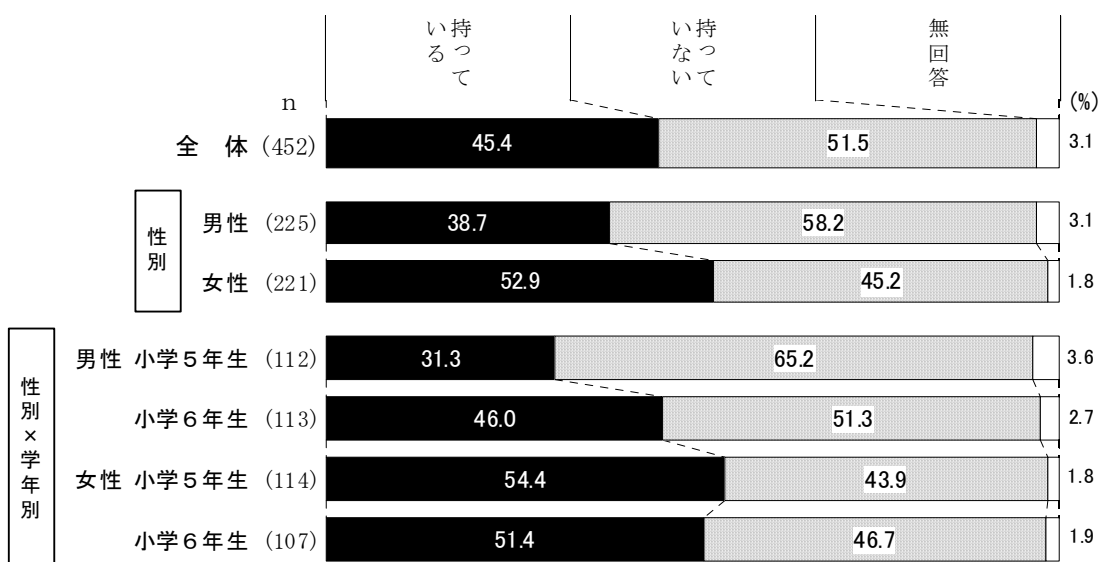
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

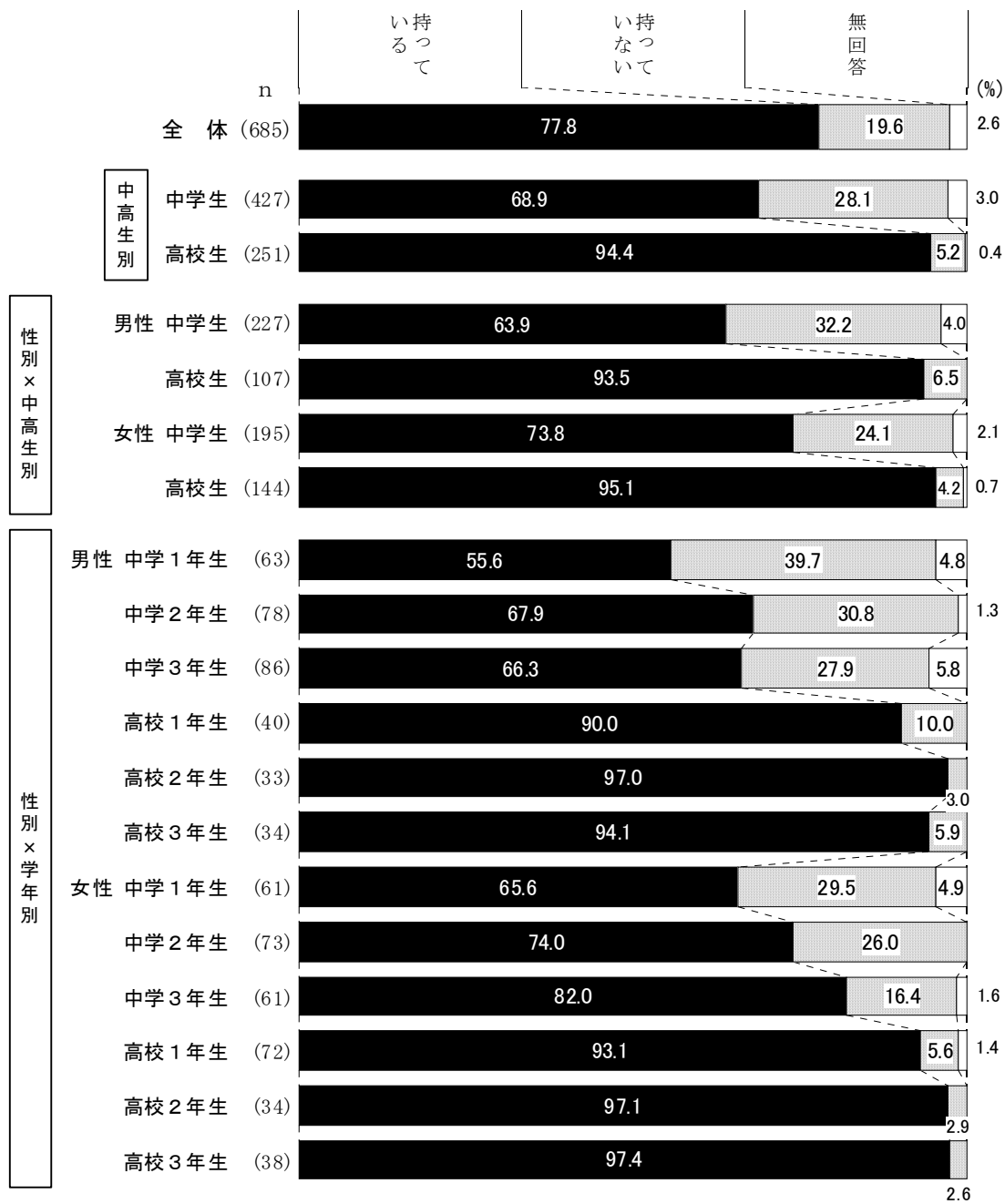
小学5・6年生については、「持っている」（45.4％）は4割台半ばとなっている。性別では、「持っている」は女性（52.9％）が5割を超えているのに対して、男性（38.7％）は約4割となっている。性別×学年別では、「持っている」は女性-小学5年生（54.4％）で5割台半ばを占めるが、男性-小学5年生（31.3％）では約3割となっている。

中・高校生については、「持っている」（77.8％）は約8割で、小学5・6年生よりも約32ポイント高い。中高生別では、「持っている」は高校生（94.4％）が中学生（68.9％）よりも約26ポイント高い。性別×中高生別では、「持っている」は中学生は女性（73.8％）が男性（63.9％）よりも高いが、高校生になると男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「持っている」は男性は中・高校生間に大きな差があるが、女性は高学年になるほど高くなっている。

図表2-1 携帯電話の所有状況（小学5・6年生）



図表 2-2 携帯電話の所有状況（中・高校生）



2-1-1 携帯電話の主な利用用途

2-1で「1. 持っている」と答えた人にお聞きします。携帯電話の主な利用用途は何か。(1つに○)

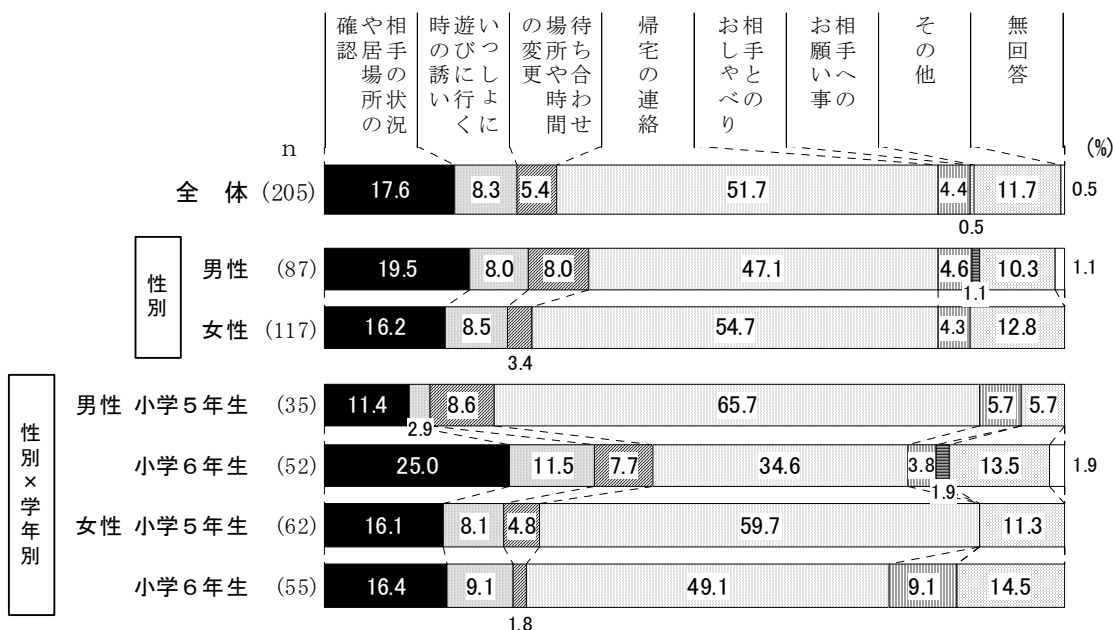
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

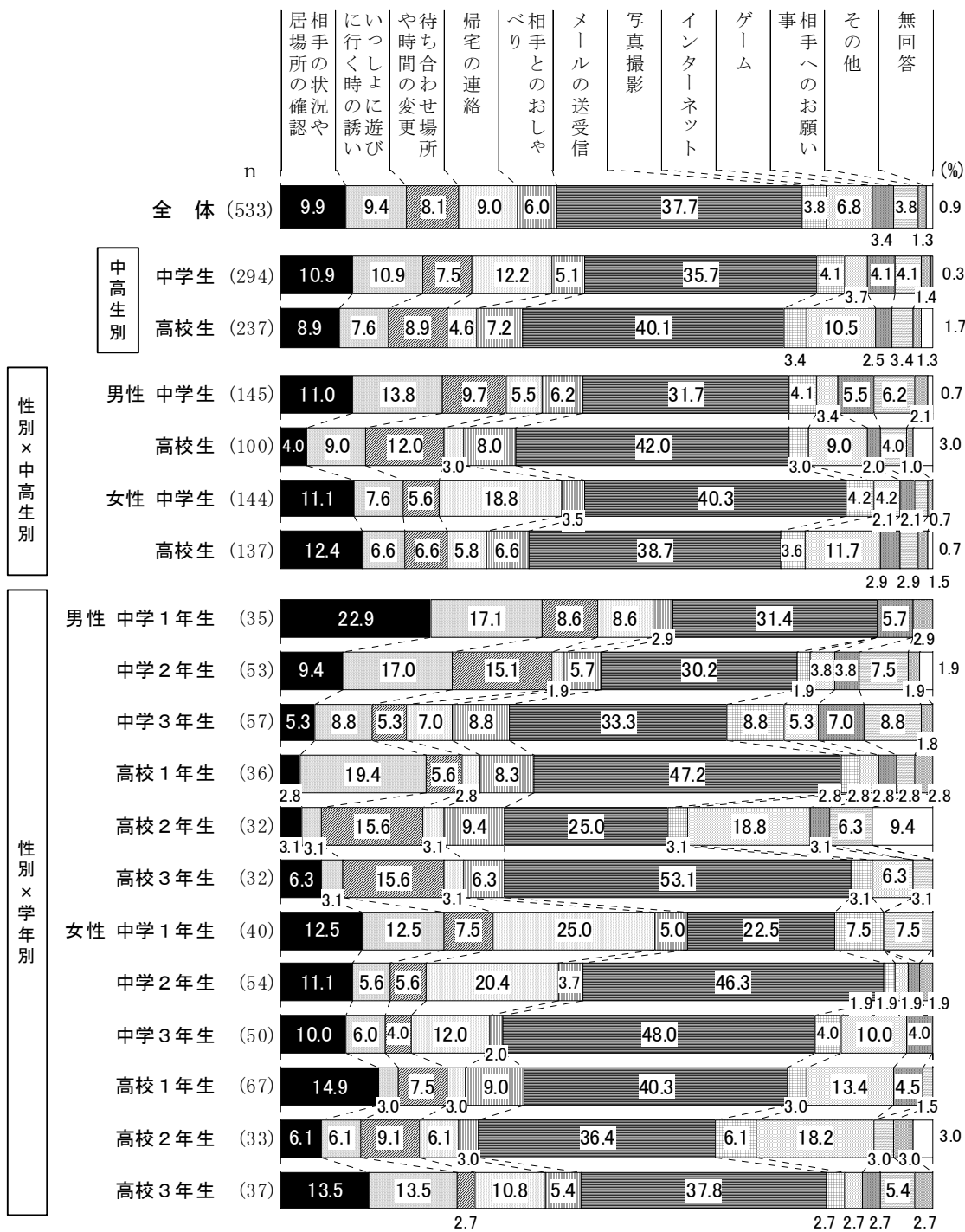
小学5・6年生については、「帰宅の連絡」(51.7%)が5割を超え、次いで「相手の状況や居場所の確認」(17.6%)が約2割となっている。性別では男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「帰宅の連絡」は男性-小学5年生(65.7%)に比べて男性-小学6年生(34.6%)が低くなっている。

中・高校生については、「メールの送受信」(37.7%)が約4割で特に高く、他はいずれも1割未満で、「相手の状況や居場所の確認」(9.9%)、「いっしょに遊びに行く時の誘い」(9.4%)、「帰宅の連絡」(9.0%)と続いている。中高生別では、中学生は「帰宅の連絡」(12.2%)が高校生(4.6%)よりも高く、高校生は「インターネット」(10.5%)が中学生(3.7%)よりも高い。性別×中高生別では、「メールの送受信」は男性-高校生(42.0%)が男性-中学生(31.7%)よりも高く、「帰宅の連絡」は女性-中学生(18.8%)が女性-高校生(5.8%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「メールの送受信」は男性の高校1年生(47.2%)、3年生(53.1%)、女性の中学2年生(46.3%)、3年生(48.0%)で高くなっている。

図表2-3 携帯電話の主な利用用途 (小学5・6年生)



図表 2-4 携帯電話の主な利用用途（中・高校生）



2-1-2 フィルタリングの認知度

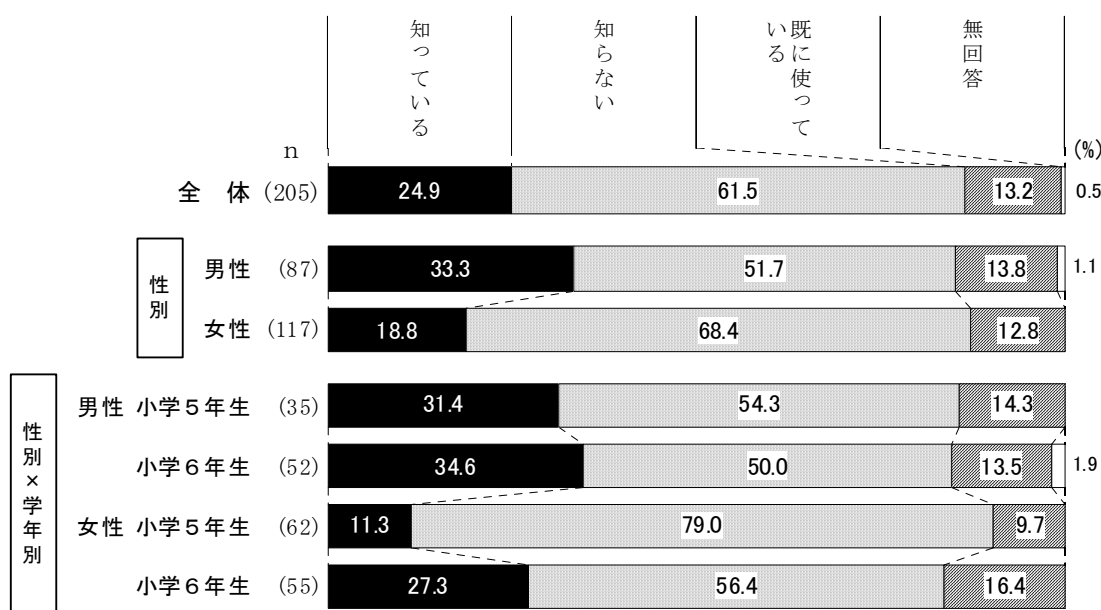
2-1で「1. 持っている」と答えた人にお聞きします。フィルタリングを知っていますか。(1つに〇)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

携帯電話所有者でフィルタリングを「既に使っている」のは13.2%、これに「知っている」(24.9%)を合わせると認知度は38.1%ということになる。性別では、「知っている」は男性(33.3%)よりも女性(18.8%)で低くなっている。性別×学年別では、「知っている」は女性-小学5年生(11.3%)で低くなっている。

図表2-5 フィルタリングの認知度(小学5・6年生)



2-1-3 友だちつきあいにおける携帯電話の必要性

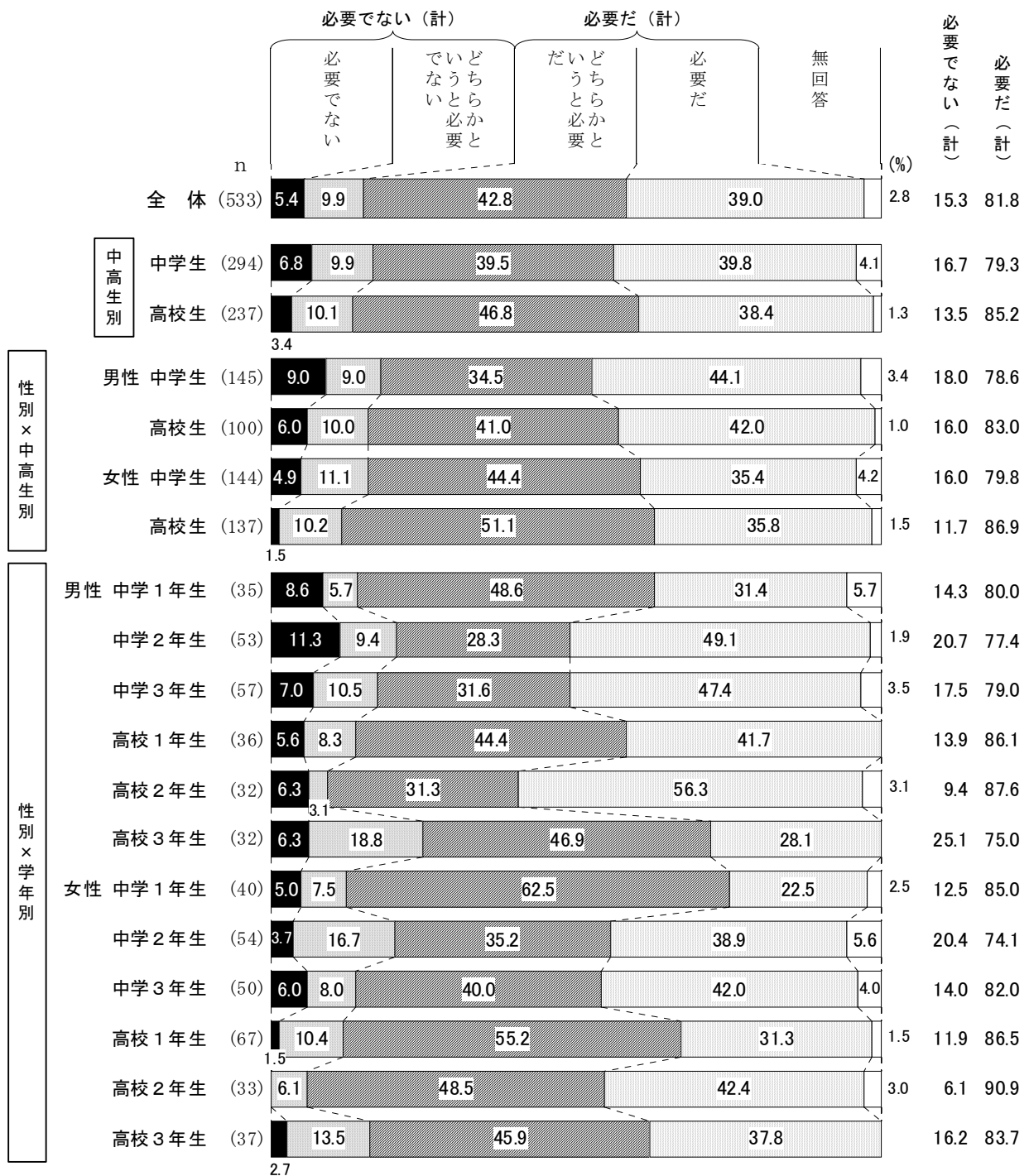
2-1で「1. 持っている」と答えた人にお聞きします。友だちつきあいに携帯電話は必要だと思いますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「どちらかという必要だ」(42.8%)と「必要だ」(39.0%)がそれぞれ4割前後を占め、両者を合わせた「必要だ(計)」(81.8%)は8割を超えている。中高生別では、「必要だ(計)」は高校生(85.2%)が中学生(79.3%)よりも高い。性別×中高生別では、「必要だ(計)」は女性-高校生(86.9%)で高くなっている。性別×学年別では、「必要だ(計)」は女性-高校2年生(90.9%)で唯一9割以上となっている。

図表 2-6 友だちづきあいにおける携帯電話の必要性（中・高校生）



2-2 出会い系、アダルトサイトなどへのアクセス経験の有無

携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイト※などの情報にアクセスしたことはありますか。(どちらかに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

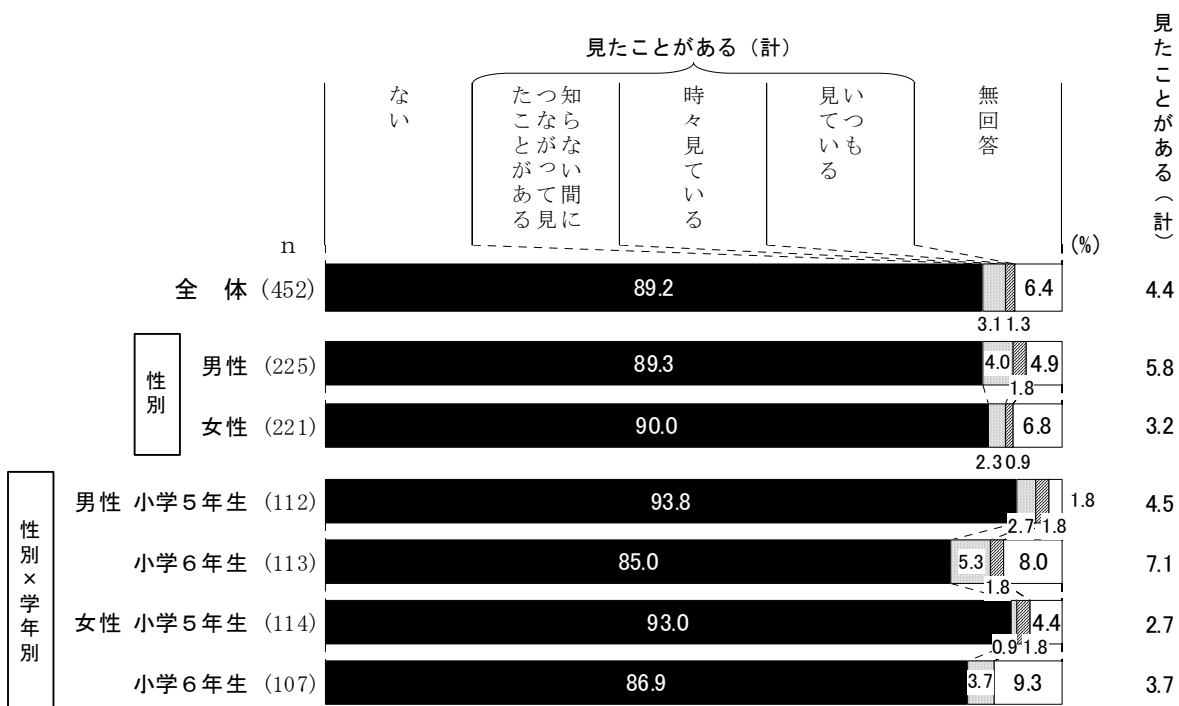
※中・高校生はアダルトサイトのみ

■全体の傾向：

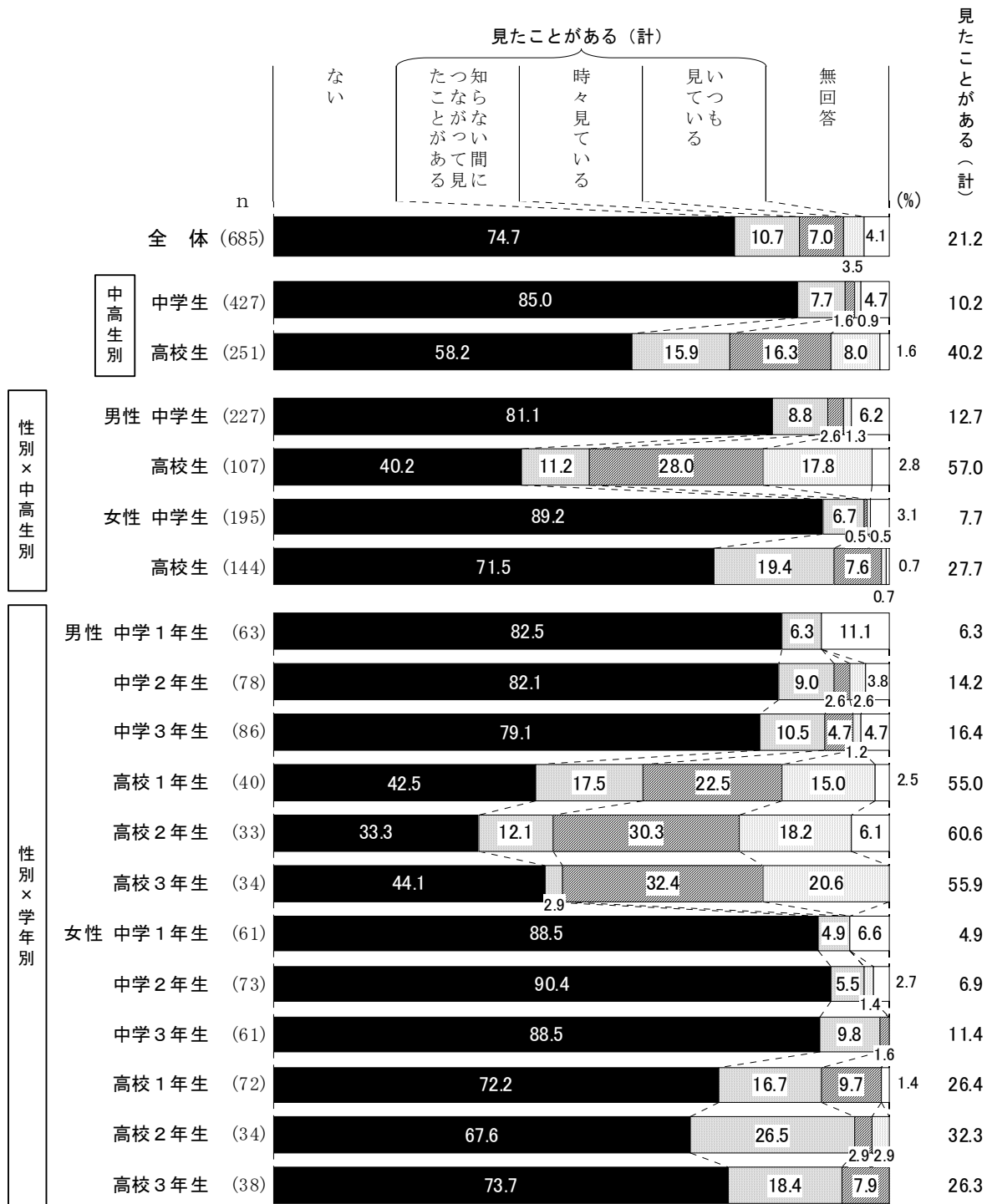
小学5・6年生については、アクセス経験が「ない」(89.2%)が約9割を占めている。性別では、「ない」は男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「ない」は男女とも5年生が高くなっている。

中・高校生については、アクセス経験が「ない」(74.7%)が7割台半ばである一方、「いつも見ている」、「時々見ている」、「知らない間につながって見たことがある」を合わせた「見たことがある(計)」(21.2%)は2割を超える。中高生別では、「ない」は中学生(85.0%)よりも高校生(58.2%)が約27ポイント低くなっている。性別×中高生別では、「ない」は中学生は男女とも8割台だが、高校生は女性(71.5%)に対して男性(40.2%)が低く、男性は「見たことがある(計)」(57.0%)が高い。性別×学年別では、男性-高校1年生以上で「ない」が低い。

図表2-7 出会い系、アダルトサイトなどへのアクセス経験の有無(小学5・6年生)



図表 2-8 出会い系、アダルトサイトなどへのアクセス経験の有無（中・高校生）



2-3 新聞（一般紙）を読む頻度

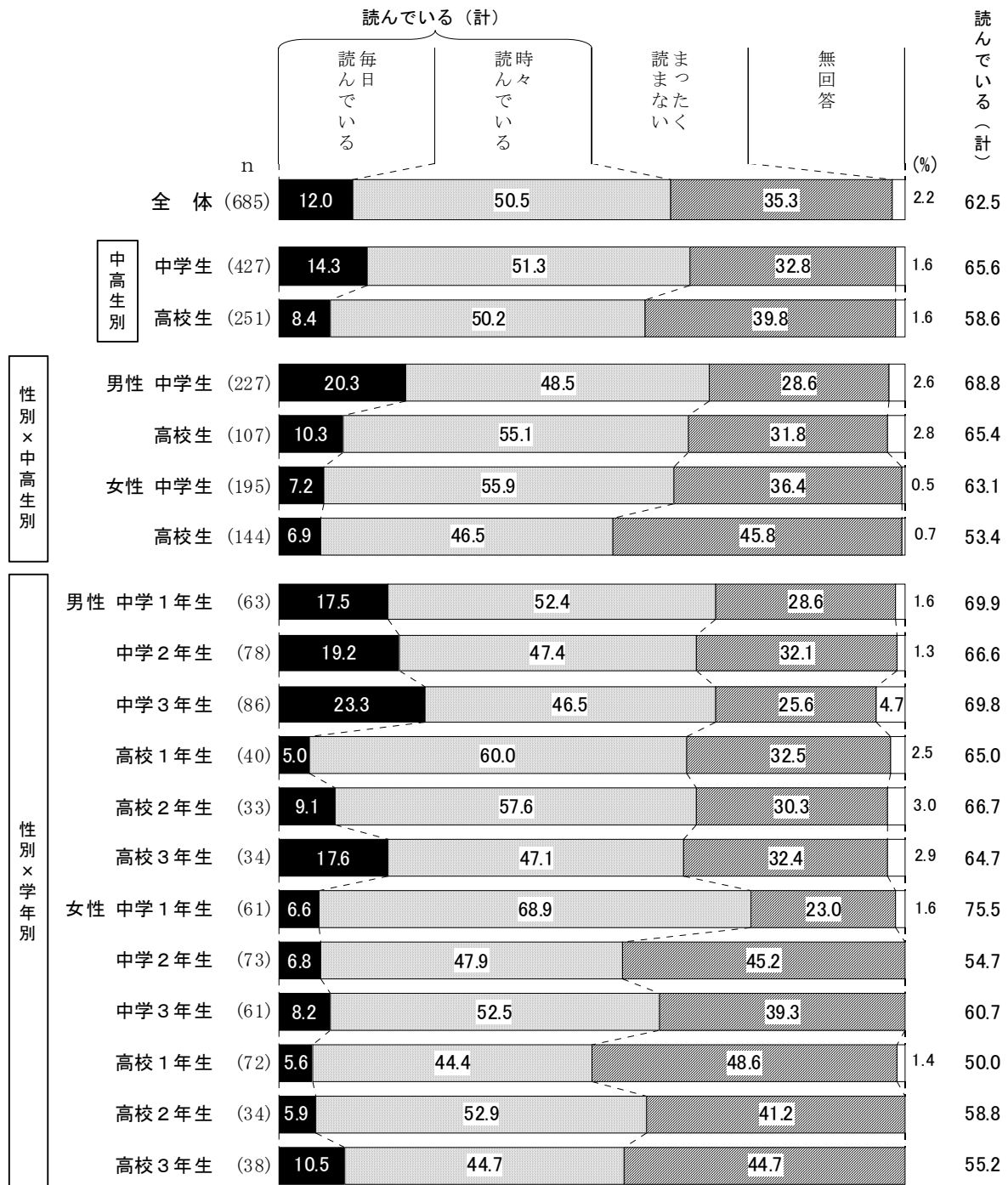
あなたは、新聞（一般紙）を読みますか。（1つに○）

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「時々読んでいる」（50.5%）が5割、これに「毎日読んでいる」（12.0%）を合わせた「読んでいる（計）」（62.5%）が6割を超える。中高生別では、「読んでいる（計）」は中学生（65.6%）が高校生（58.6%）よりも高い。性別×中高生別では、「読んでいる（計）」は女性よりも男性、高校生よりも中学生で高くなる傾向がある。また、男性-中学生は「毎日読んでいる」（20.3%）が高い。性別×学年別では、「読んでいる（計）」は女性-中学1年生（75.5%）が最も高く、女性-高校1年生（50.0%）が最も低くなっている。

図表 2-9 新聞（一般紙）を読む頻度（中・高校生）



2-4 本を読む頻度

あなたは、本を読みますか（教科書や教材は除く）。（1つに○）

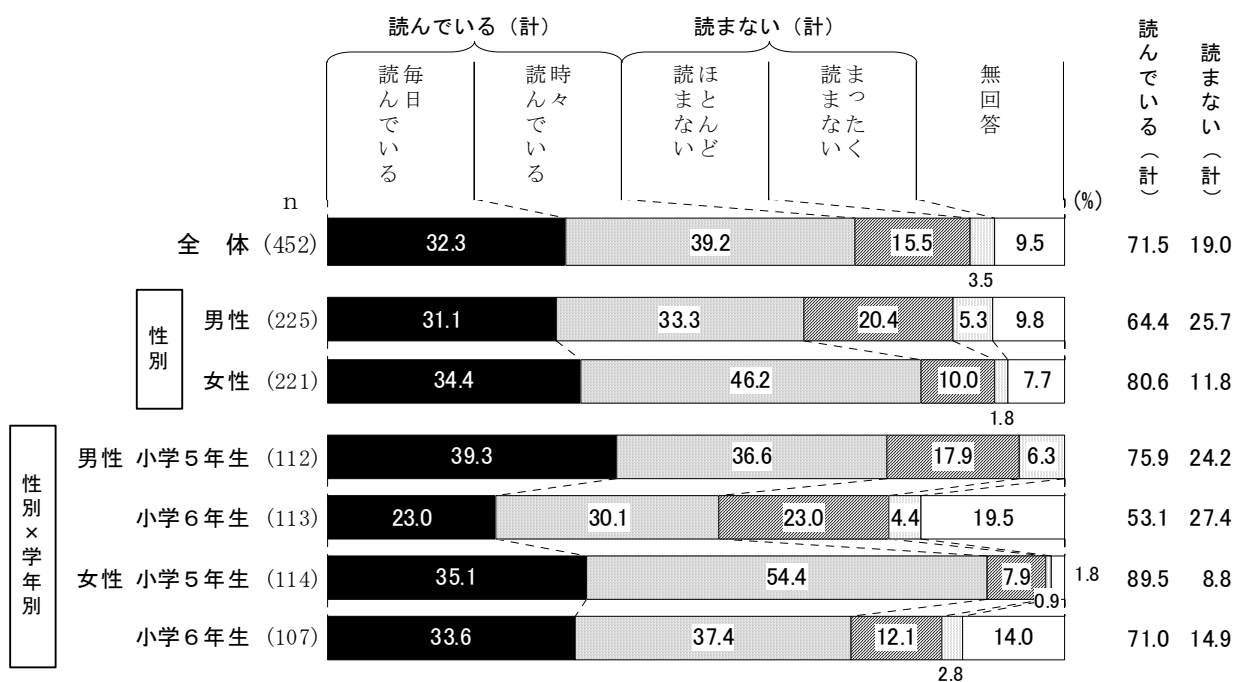
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

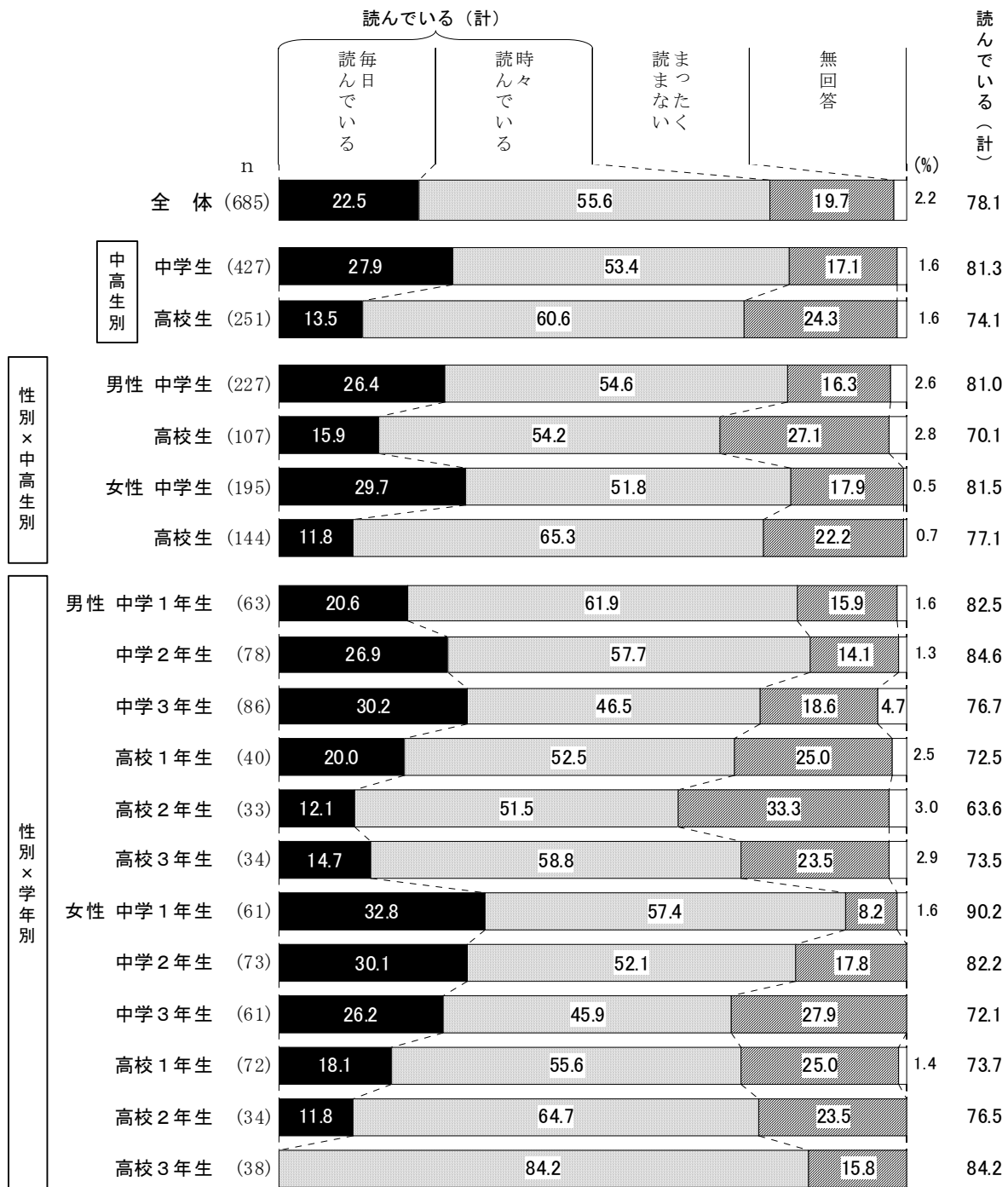
小学5・6年生については、「時々読んでいる」（39.2%）が約4割で最も高く、「毎日読んでいる」（32.3%）と合わせた「読んでいる（計）」（71.5%）は7割を超える。性別では、「読んでいる（計）」が男性（64.4%）よりも女性（80.6%）で高い。性別×学年別では、男女ともに6年生が低く、特に男性-小学6年生（53.1%）は5割台半ばにとどまっている。

中・高校生については、「時々読んでいる」（55.6%）が5割台半ばで、「毎日読んでいる」（22.5%）と合わせた「読んでいる（計）」（78.1%）は約8割となっている。中高生別では、「読んでいる（計）」は中学生（81.3%）が高校生（74.1%）よりも高くなっている。性別×中高生別では、男女ともに中学生が高校生よりも「読んでいる（計）」が高い。性別×学年別では、男女とも「読んでいる（計）」は中学1・2年生が高い。女性は学年が上がるほど「毎日読んでいる」が低くなっている。

図表2-10 本を読む頻度（小学5・6年）



図表 2-11 本を読む頻度（中・高校生）



3. 生活習慣について

3-1 起床時間

起きるのは、だいたい何時ですか。(1つに○)

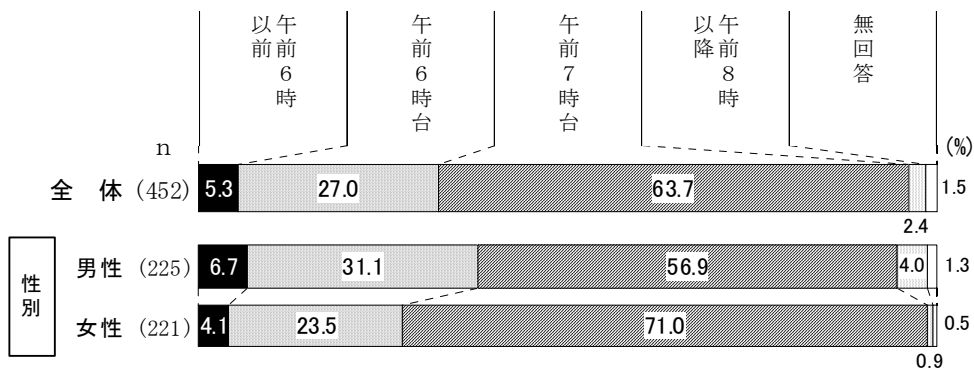
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

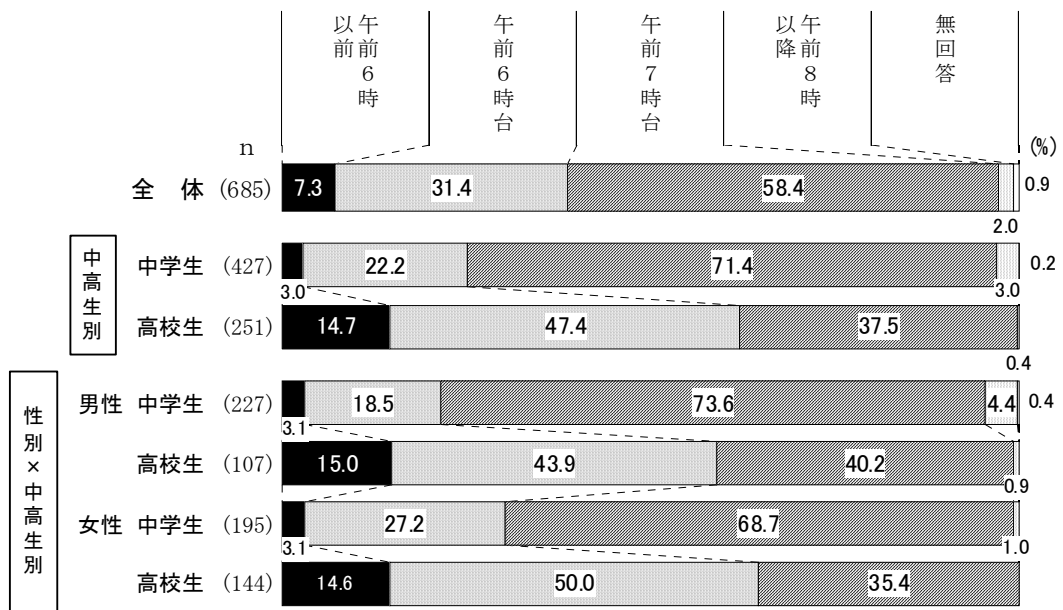
小学5・6年生については、「午前7時台」(63.7%)が6割台半ばを占め、「午前6時台」(27.0%)が約3割でこれに続いており、全体の9割以上がこのいずれかの時間帯に起床している。性別では、「午前7時台」は女性(71.0%)が男性(56.9%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「午前7時台」(58.4%)が約6割、次いで「午前6時台」(31.4%)が3割を超えている。中高生別では、「午前6時以前」および「午前6時台」で高校生が中学生より高い。性別×中高生別では、男女とも高校生は中学生よりも「午前6時以前」と「午前6時台」が高い。また、中学生の間では「午前6時台」は女性(27.2%)が男性(18.5%)よりも高くなっている。

図表3-1 起床時間(小学5・6年生)



図表 3-2 起床時間（中・高校生）



3-2 就寝時間

寝るのは、だいたい何時ですか。(1つに○)

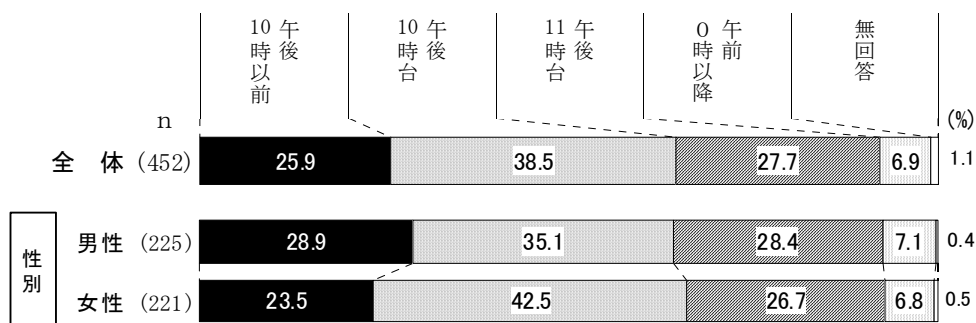
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

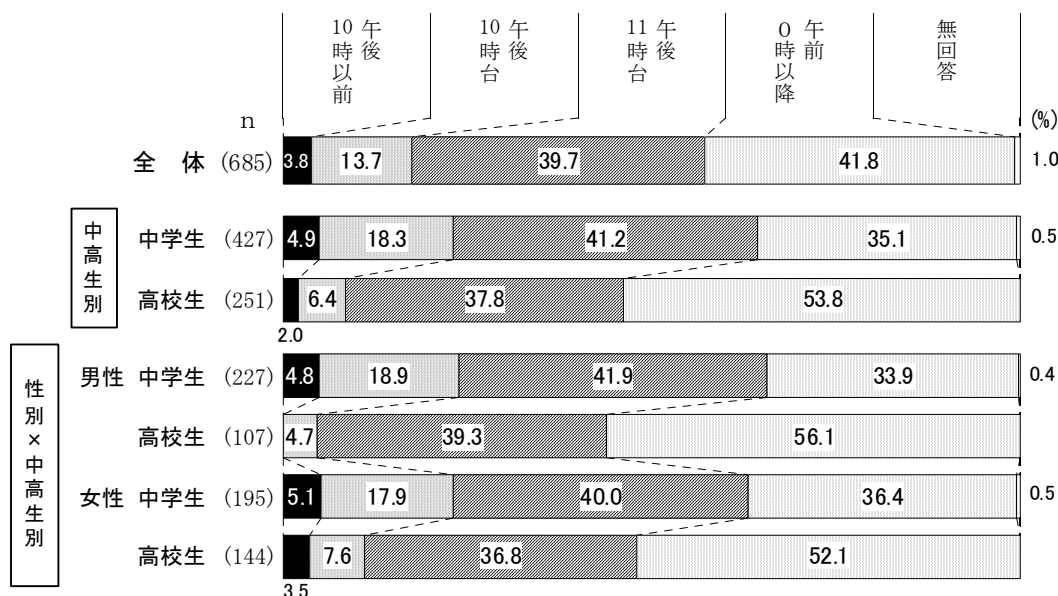
小学5・6年生については、「午後10時台」(38.5%)が約4割で最も高く、「午後11時台」(27.7%)、「午後10時以前」(25.9%)と続いている。性別では、「午後10時以前」は男性(28.9%)で、「午後10時台」は女性(42.5%)で高くなっている。

中・高校生については、「午前0時以降」(41.8%)と「午後11時台」(39.7%)が4割前後で高く、「午後10時台」(13.7%)は1割台半ばとなっている。中高生別では、「午前0時以降」は高校生(53.8%)が高く、「午後10時台」は中学生(18.3%)が高い。性別×中高生別では、男女ともに高校生は「午前0時以降」が5割台と高いが、中学生は3割台である。また、男性-高校生では「午後10時以前」が皆無となっている。

図表3-3 就寝時間(小学5・6年生)



図表3-4 就寝時間(中・高校生)



3-3 一人暮らしの意向

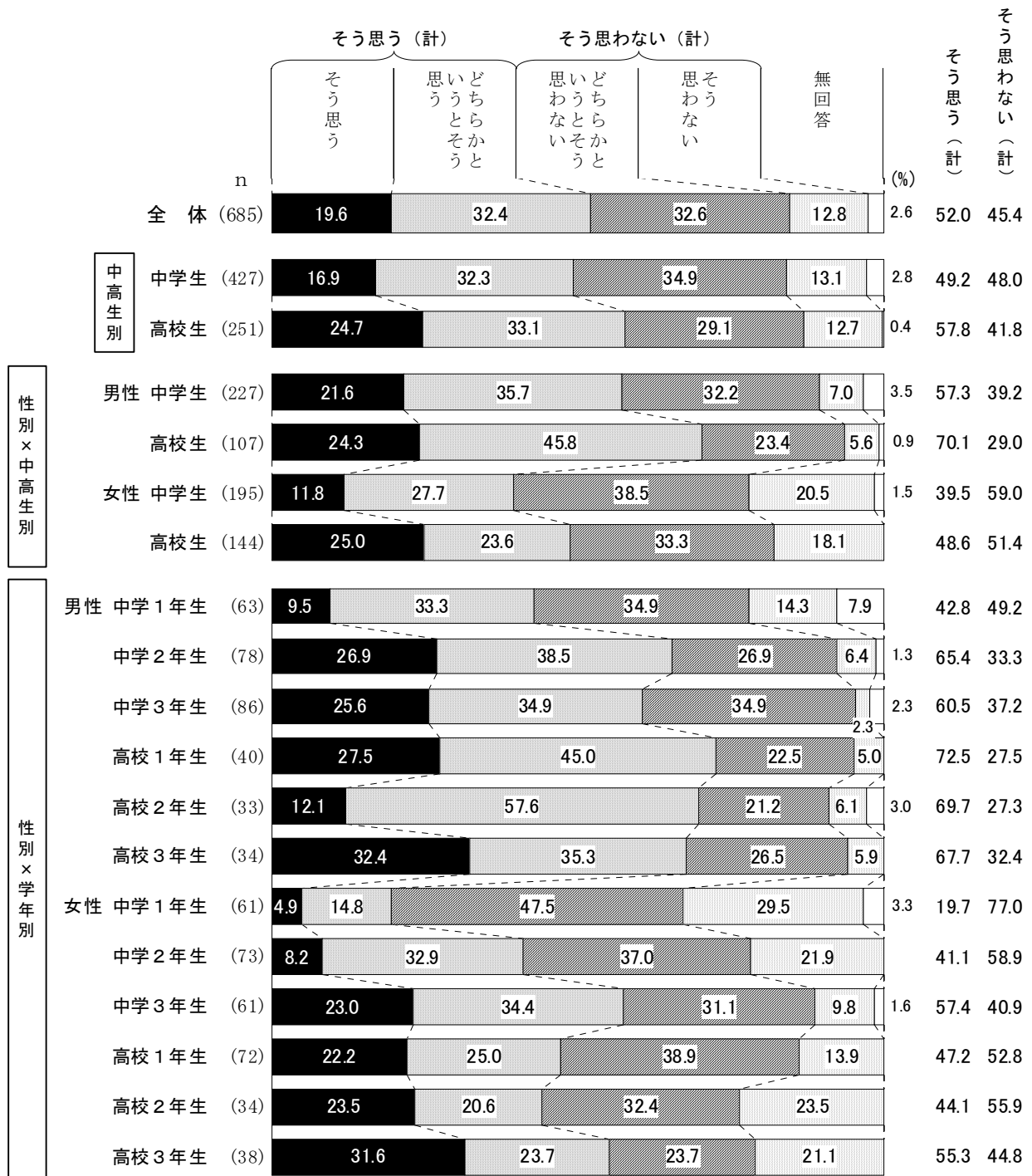
あなたは早く家を出て一人で暮らしたいと思いますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「そう思う」(19.6%)が「そう思わない」(12.8%)を上回っている。なお、「どちらかという
とそう思う」(32.4%)と「どちらかというと思わない」(32.6%)はほぼ同率となっている。
中高生別では、「そう思う(計)」は高校生(57.8%)が中学生(49.2%)よりも高い。性別×中
高生別では、「そう思う(計)」が男性で高く、また男女とも中学生よりも高校生で高くなって
いる。性別×学年別では、男性-中学2年生以上で「そう思う(計)」が「そう思わない(計)」を上
回るが、女性でこの傾向が見られるのは中学3年生と高校3年生のみである。

図表 3-5 一人暮らしの意向（中・高校生）



3-4 充実感を感じる時

あなたは、どのような時に充実感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「スポーツや趣味で結果が出た時」(72.6%)と「気の許せる親しい友だちや仲間と一緒に過ごしている時」(70.2%)の2つで7割以上と特に高く、「勉強に打ち込んで結果が出た時」(50.2%)と「一人でくつろいでいる時」(48.3%)が5割前後となっている。中高生別では、「気の許せる親しい友だちや仲間と一緒に過ごしている時」は高校生(75.7%)が高く、「家族とくつろいだり、一緒に過ごしたりしている時」は中学生(35.6%)が高い。性別×中高生別では、「スポーツや趣味で結果が出た時」は中・高校生ともに女性よりも男性が高く、逆に「気の許せる親しい友だちや仲間と一緒に過ごしている時」では男性よりも女性が高い。さらに「家族とくつろいだり、一緒に過ごしたりしている時」も女性、特に中学生(47.2%)で高くなっている。性別×学年別では、男性-高校3年生が全般的に高い数値を示している。また、「スポーツや趣味で結果が出た時」では男性-中学1年生(92.1%)が9割を超え、「気の許せる親しい友だちや仲間と一緒に過ごしている時」は女性-中学2年生(84.9%)や女性-高校2年生(82.4%)が高い。また、「一人でくつろいでいる時」は女性-中学2年生以上でいずれも5割以上と高くなっている。

図表3-6 充実感を感じる時(中・高校生)

		n	社会の ため に役 立つ 時	成 果 が 出 た 時	勉 強 に 打 ち 込 ん で た 時	結 果 が 出 た 時	ス ポ ー ツ や 趣 味 で 遊 ぶ 時	り り 家 族 と い っ つ つ ろ い だ り し て い る 時	過 だ ち の 許 せ る 親 しい 友 だ ち や 仲 間 と 一 緒 に 過 ご し て い る 時	人 に 感 謝 を さ れ た 時	い る 人 で く つ ろ い だ り し て い る 時	そ の 他	な い 充 実 感 を 感 じ る 時 は	無 回 答	
中・高校生															
全体		685	21.3	50.2	72.6	32.3	70.2	45.4	48.3	4.1	2.3	1.8			
生 中 別 高	中学生	427	19.9	52.9	72.8	35.6	67.9	46.4	47.1	3.7	2.6	1.6			
	高校生	251	24.3	46.6	73.3	27.1	75.7	44.6	51.4	4.8	2.0	0.4			
中 高 生 別 性 別 ×	男性 中学生	227	20.3	52.0	76.7	26.4	60.4	43.6	44.1	4.0	3.1	2.2			
	男性 高校生	107	23.4	44.9	76.6	20.6	72.0	41.1	49.5	1.9	3.7	0.9			
	女性 中学生	195	20.0	54.9	69.2	47.2	77.4	50.3	50.3	3.6	2.1	0.5			
	女性 高校生	144	25.0	47.9	70.8	31.9	78.5	47.2	52.8	6.9	0.7	-			
性 別 × 学 年 別	男性 中学1年生	63	19.0	60.3	92.1	33.3	60.3	39.7	31.7	6.3	1.6	3.2			
	男性 中学2年生	78	23.1	51.3	67.9	20.5	55.1	48.7	51.3	-	7.7	1.3			
	男性 中学3年生	86	18.6	46.5	73.3	26.7	65.1	41.9	46.5	5.8	-	2.3			
	男性 高校1年生	40	10.0	37.5	77.5	15.0	70.0	32.5	42.5	2.5	5.0	-			
	男性 高校2年生	33	27.3	27.3	63.6	18.2	66.7	36.4	48.5	3.0	6.1	3.0			
	男性 高校3年生	34	35.3	70.6	88.2	29.4	79.4	55.9	58.8	-	-	-			
	女性 中学1年生	61	18.0	55.7	72.1	55.7	77.0	52.5	36.1	4.9	3.3	-			
	女性 中学2年生	73	21.9	53.4	72.6	56.2	84.9	43.8	60.3	4.1	-	1.4			
	女性 中学3年生	61	19.7	55.7	62.3	27.9	68.9	55.7	52.5	1.6	3.3	-			
	女性 高校1年生	72	16.7	47.2	70.8	33.3	77.8	43.1	50.0	1.4	-	-			
	女性 高校2年生	34	23.5	41.2	73.5	32.4	82.4	41.2	58.8	14.7	-	-			
	女性 高校3年生	38	42.1	55.3	68.4	28.9	76.3	60.5	52.6	10.5	2.6	-			

3-5 普段の生活の満足度

あなたの普段の生活の満足度についてお聞きます。(①～⑨それぞれ1つに○)

【対象：中・高校生】

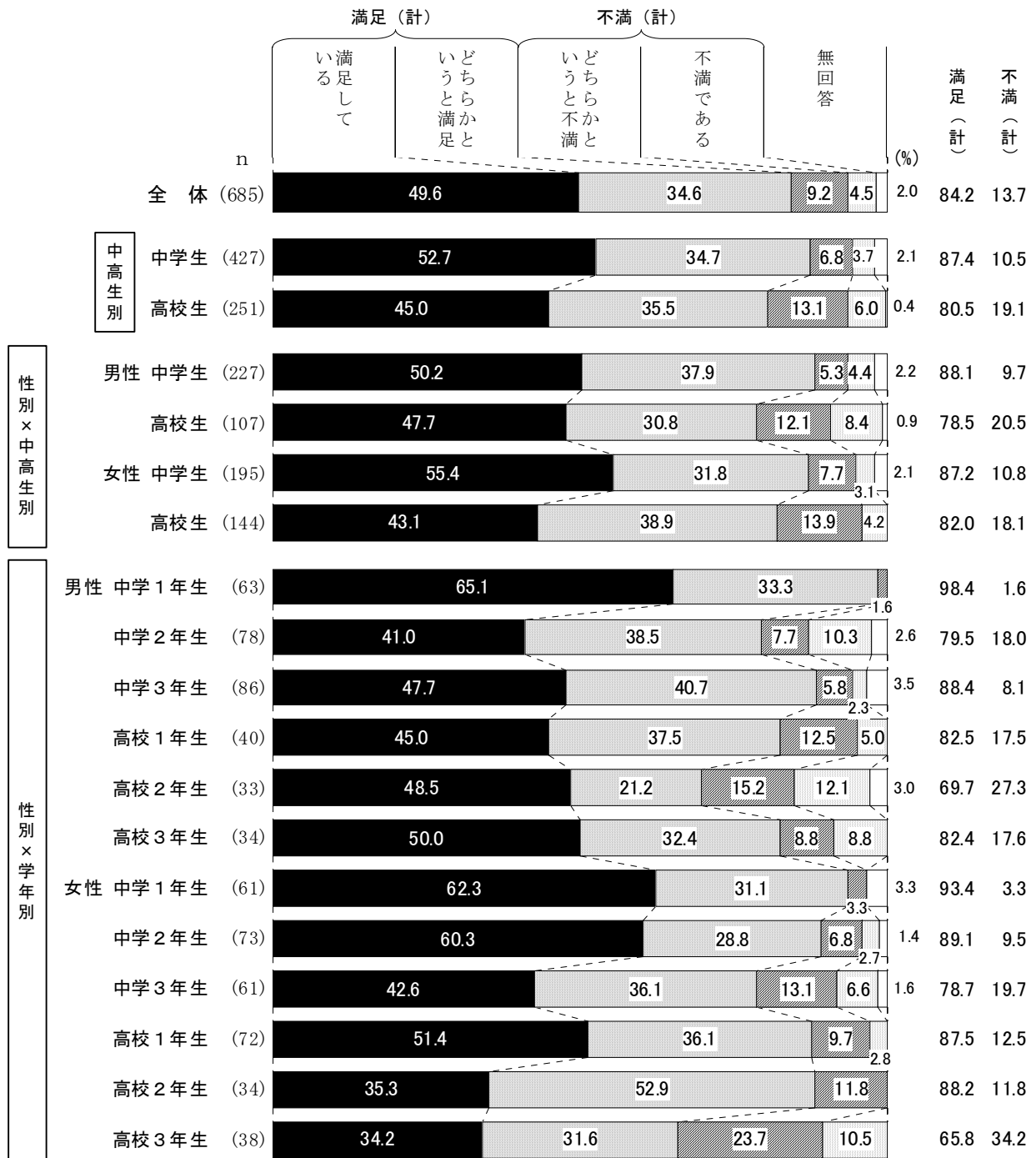
■全体の傾向：

「満足している」と「どちらかという満足している」を合わせた「満足（計）」は「②友人関係」(90.4%)と「⑨学校の友人」(88.9%)で9割前後と高い。次いで「①家族との関係」(84.2%)、「③現在の生活程度」(82.3%)、「⑤今住んでいる地域との関わり」(80.8%)が8割台となっている。一方、「⑥今の社会」(38.4%)は約4割と低い。

①家族との関係

「満足している」(49.6%)が約5割で、「満足（計）」(84.2%)は8割台半ばとなっている。中高生別では、「満足（計）」は中学生(87.4%)が高校生(80.5%)よりも高い。性別×中高生別では、男女とも「満足（計）」は中学生で高いが、男女間では大きな差はない。性別×学年別では、「満足（計）」は男女とも中学1年生で9割台と高いが、男性-高校2年生(69.7%)や女性-高校3年生(65.8%)は6割台と低い。

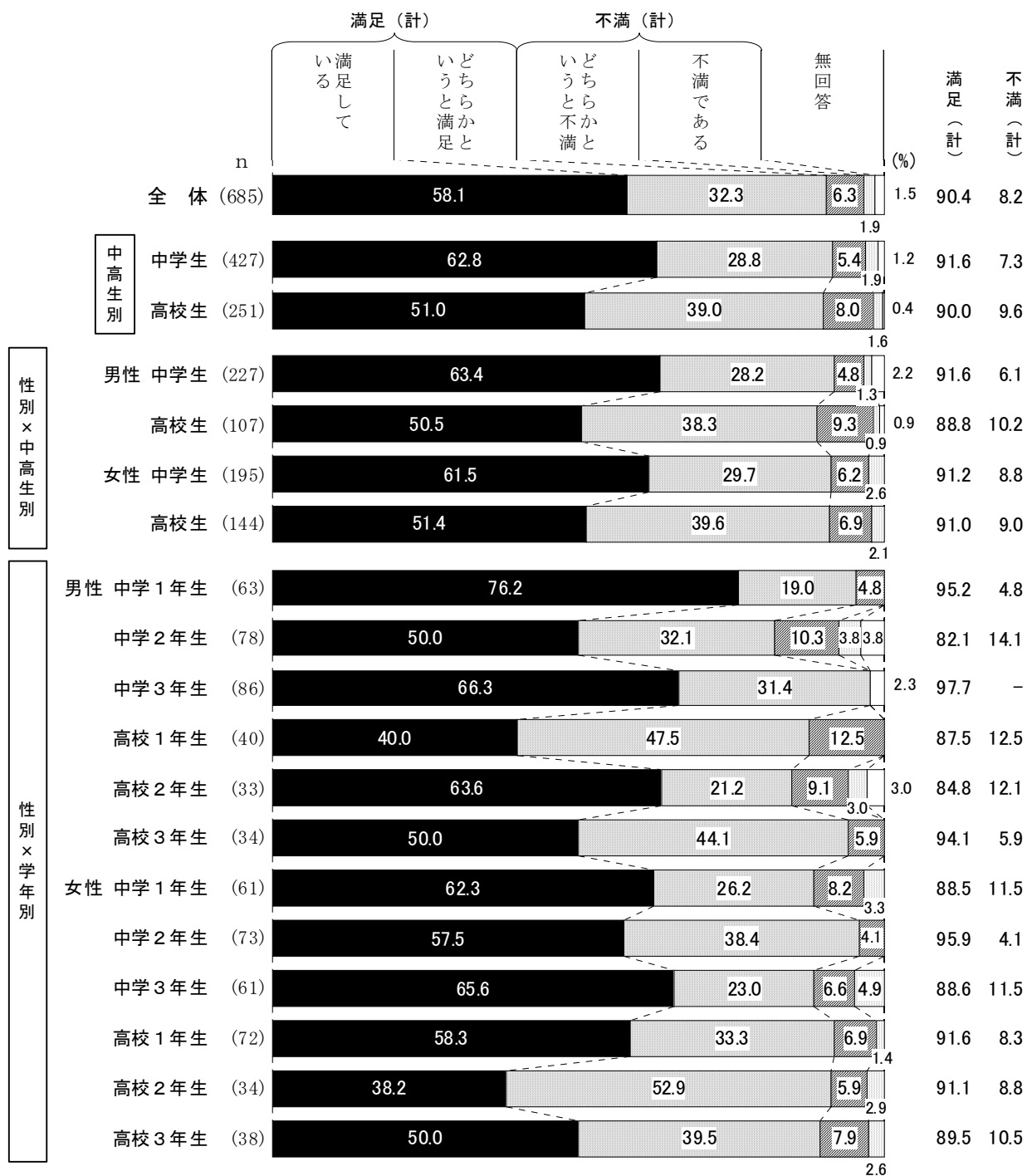
図表 3-7 家族との関係（中・高校生）



②友人関係

「満足している」(58.1%)が約6割で、「満足(計)」(90.4%)は9割に達している。中高生別では、「満足(計)」は中・高校生間で大きな差はない。性別×中高生別では、「満足(計)」は中・高校生ともに男女間で大きな差はないが、「満足している」に限れば、男女とも中学生が6割以上で高校生を上回っている。性別×学年別では、「満足している」は男性-中学1年生(76.2%)で特に高く、一方、男性-高校1年生(40.0%)や女性-高校2年生(38.2%)では低い。

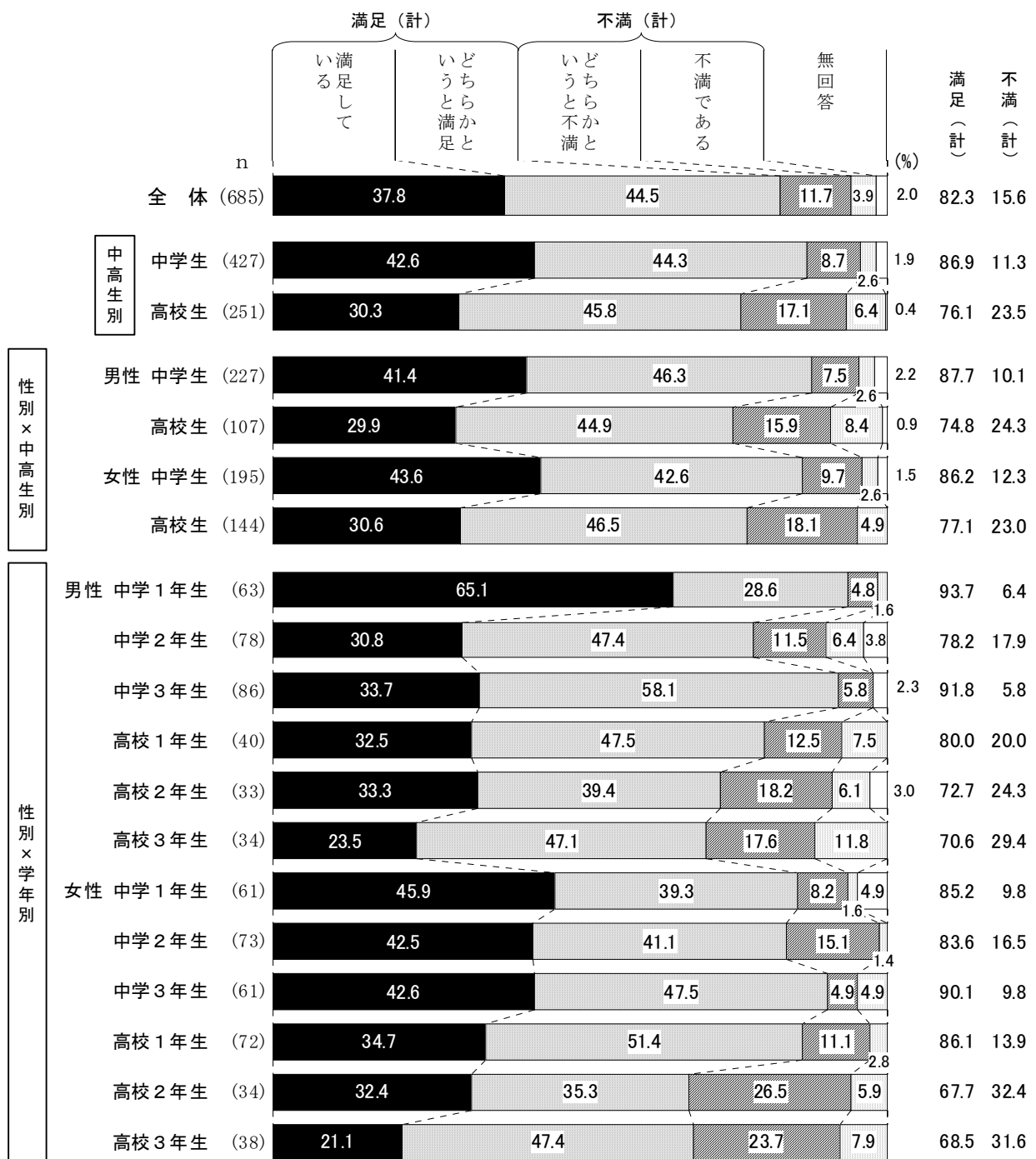
図表3-8 友人関係(中・高校生)



③現在の生活程度

「どちらかという満足している」(44.5%)が最も高く、「満足(計)」(82.3%)は8割を超える。中高生別では、「満足(計)」は中学生(86.9%)が高校生(76.1%)よりも高い。性別×中高生別では、「満足(計)」は中・高校生ともに男女間で大きな差はないが、男女とも中学生は8割台半ばを上回っている。性別×学年別では、男女とも高校2・3年生は「満足(計)」が低くなっている。

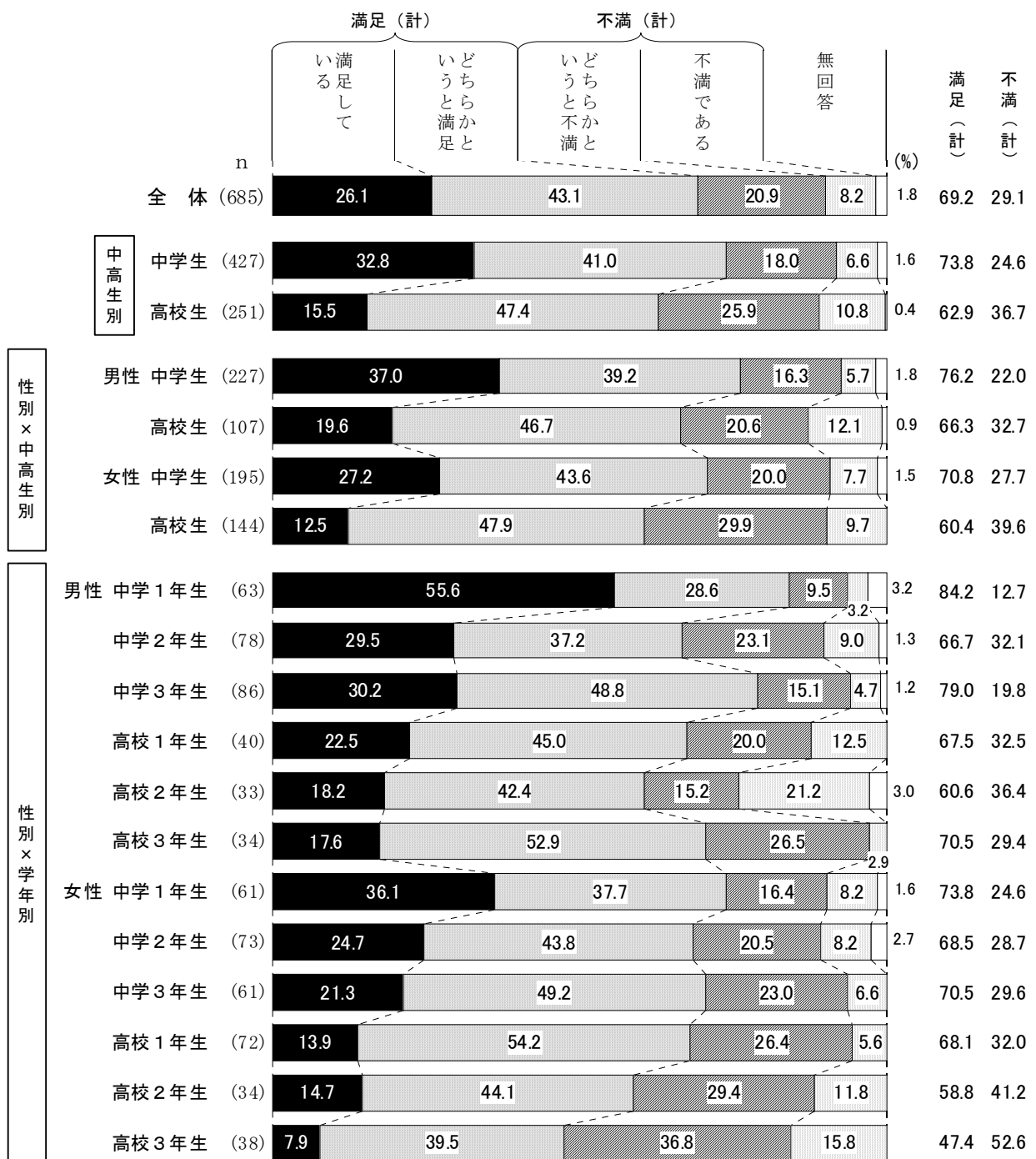
図表3-9 現在の生活程度(中・高校生)



④今の自分の生き方

「どちらかという満足している」(43.1%)が最も高く、「満足(計)」(69.2%)は約7割となっている。中高生別では、「満足(計)」は中学生(73.8%)が高校生(62.9%)よりも高い。性別×中高生別では、「満足(計)」は男女とも中学生で高く、中・高校生とも男性が高く、女性-高校3年生(47.4%)や女性-高校2年生(58.8%)は低い。

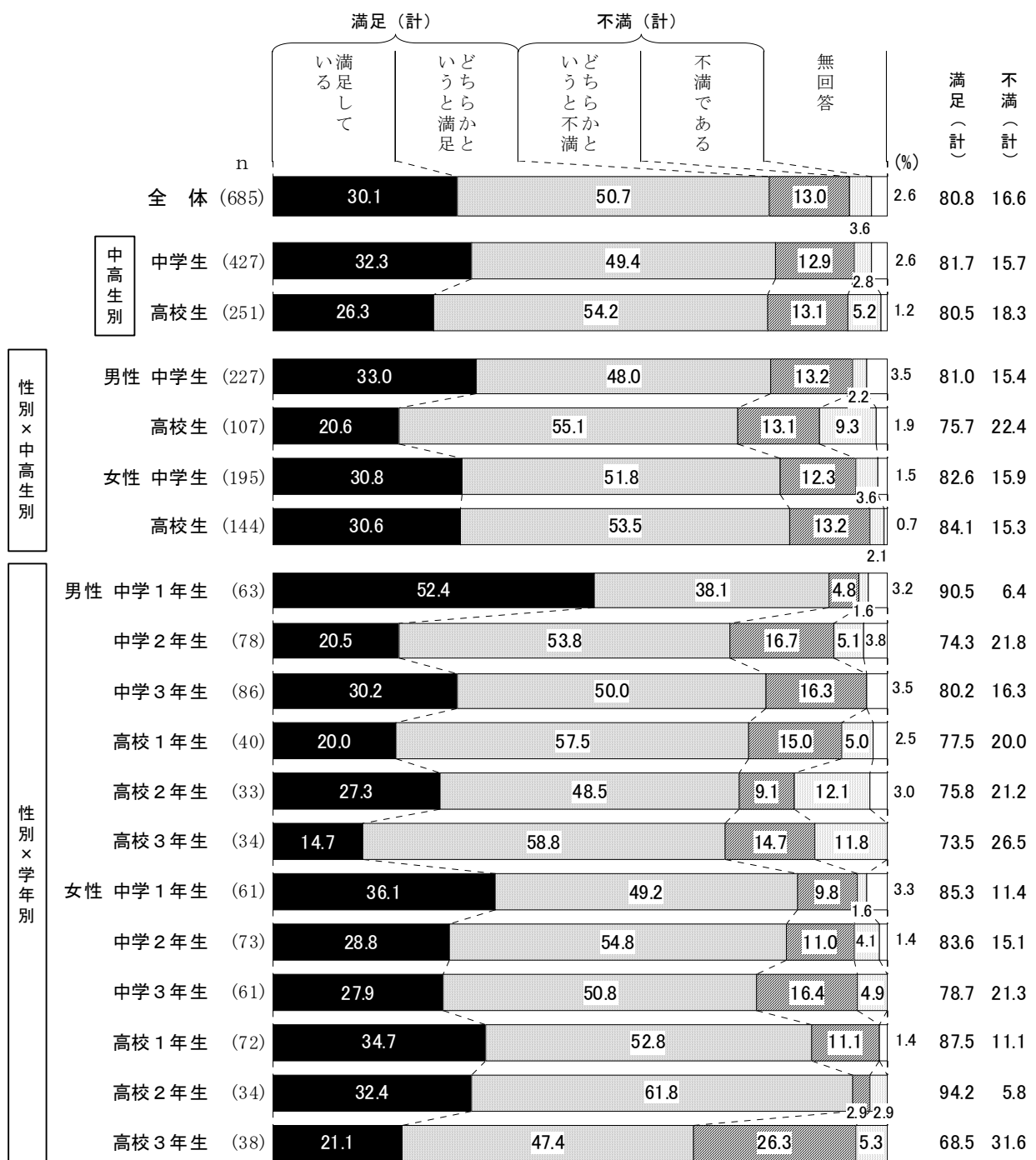
図表3-10 今の自分の生き方(中・高校生)



⑤今住んでいる地域との関わり

「どちらかという満足している」(50.7%)が5割で、「満足(計)」(80.8%)は8割となっている。中高生別では、「満足(計)」は中・高校生間で大きな差はない。性別×中高生別では、「満足(計)」は男性-高校生(75.7%)で低くなっている。性別×学年別では、「満足(計)」は女性-高校2年生(94.2%)や男性-中学1年生(90.5%)で9割を超えて高いが、女性-高校3年生(68.5%)は約7割と低い。

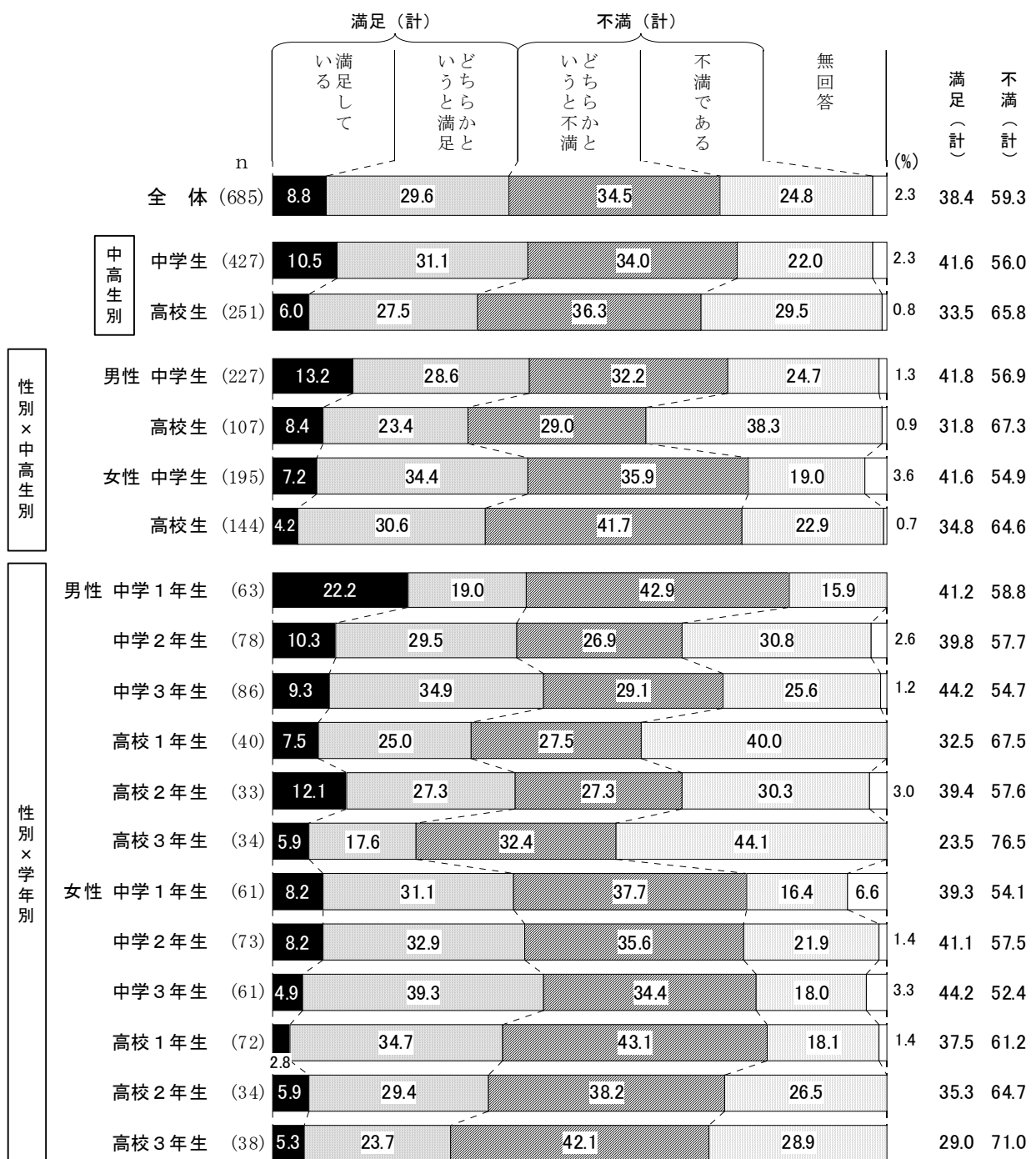
図表3-11 今住んでいる地域との関わり(中・高校生)



⑥今の社会

「どちらかという不満」(34.5%)が3割台半ばで最も高く、「不満(計)」(59.3%)は約6割となっている。中高生別では、「満足(計)」は中学生(41.6%)が高校生(33.5%)よりも高い。性別×中高生別では、「不満(計)」は中・高校生ともに男女間で差はなく、男女ともに中学生よりも高校生が高い。性別×学年別では、「不満(計)」は男女とも高校3年生が7割を超えて高くなっている。

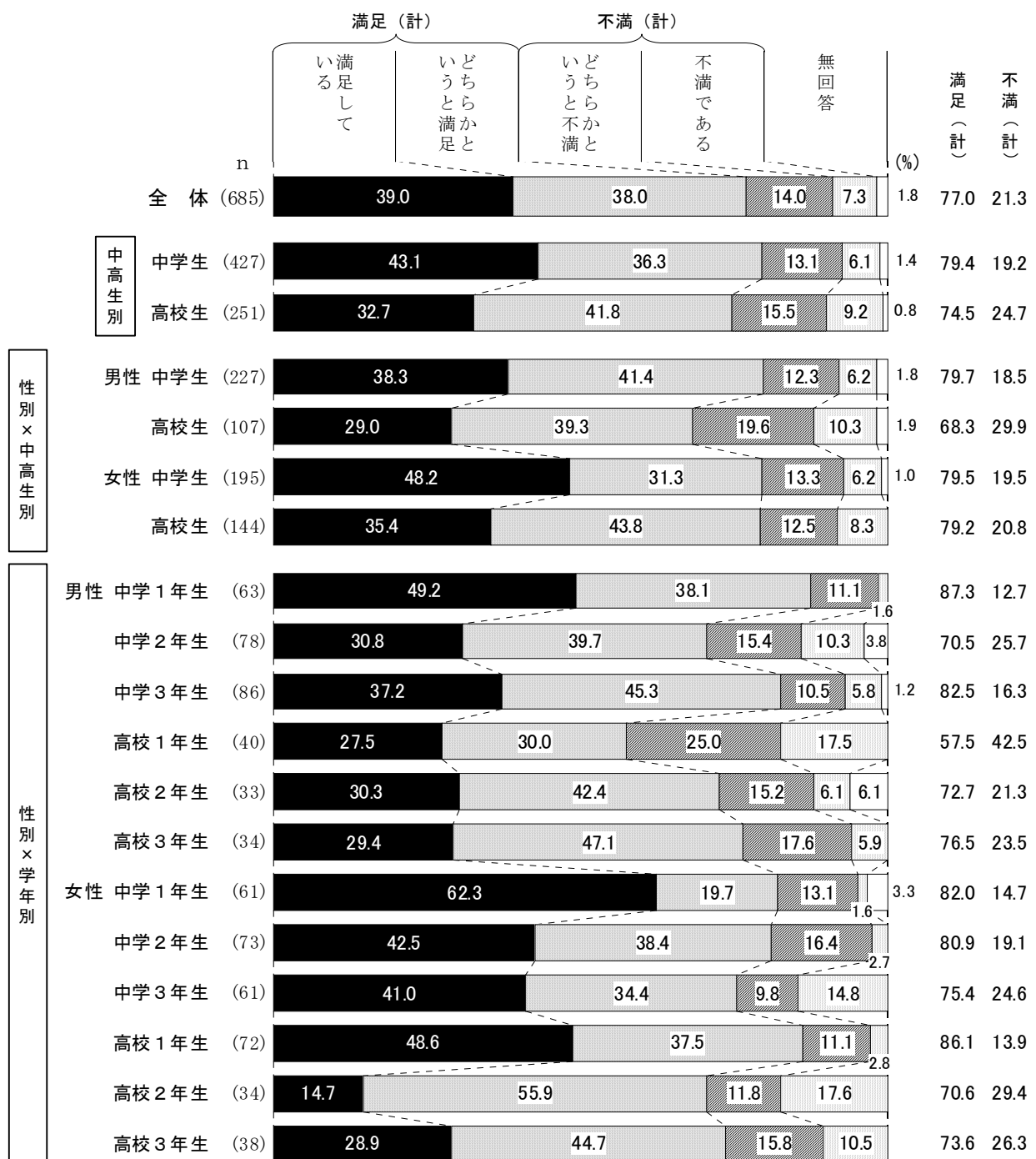
図表3-12 今の社会(中・高校生)



⑦学校の生活

「満足している」(39.0%)と「どちらかという満足している」(38.0%)がほぼ同率で、「満足(計)」(77.0%)は約8割となっている。中高生別では、「満足(計)」は中・高校生間で大きな差はない。性別×中高生別では、「満足(計)」は男性-高校生(68.3%)で約7割と低い。性別×学年別では、「満足(計)」は男性-中学1年生(87.3%)や女性-高校1年生(86.1%)で高く、男性-高校1年生(57.5%)で特に低くなっている。

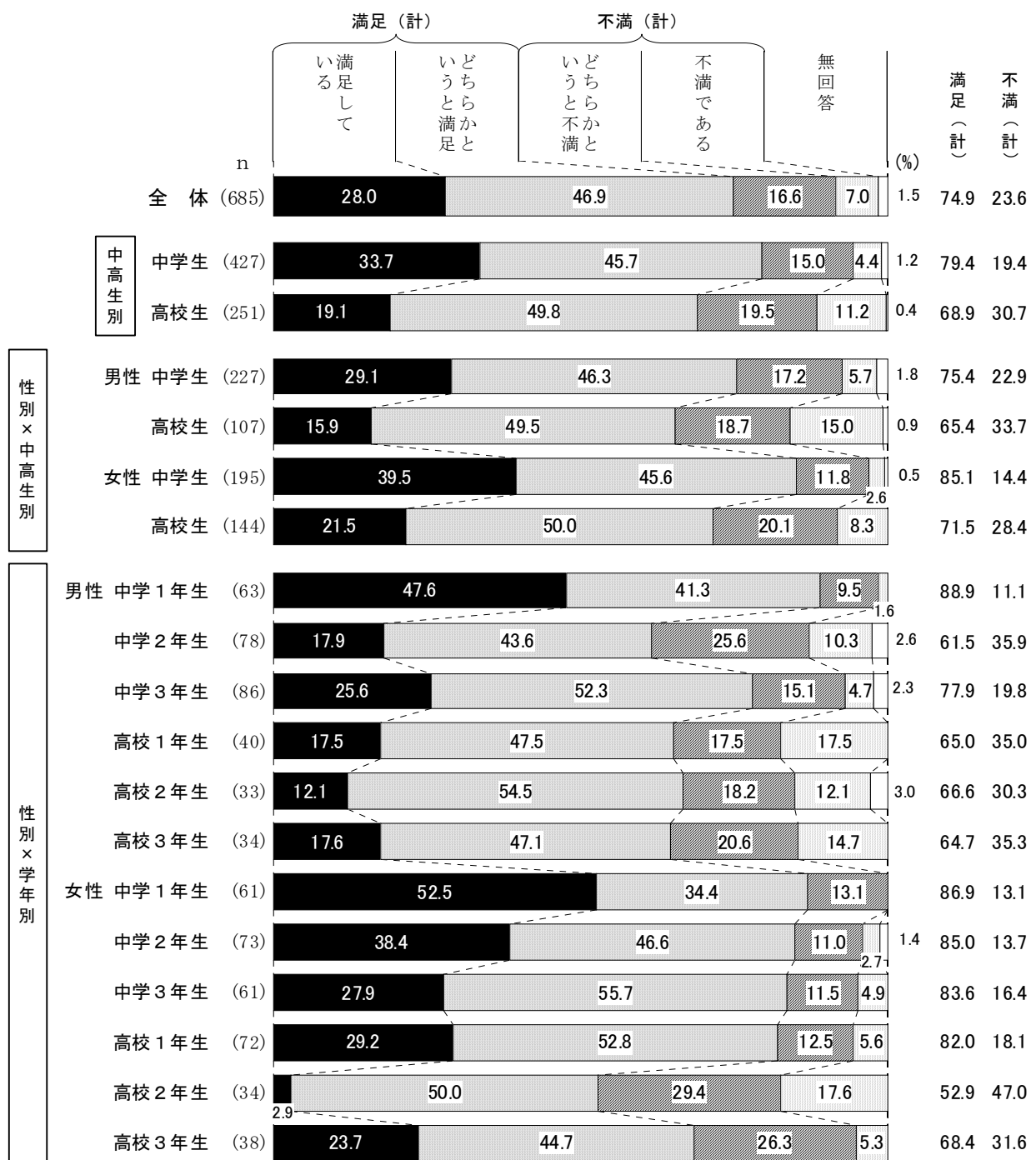
図表3-13 学校の生活(中・高校生)



⑧学校の授業

「どちらかという満足している」(46.9%)が最も高く、「満足(計)」(74.9%)は7割台半ばとなっている。中高生別では、「満足(計)」は中学生(79.4%)が高校生(68.9%)よりも高い。性別×中高生別では、「満足(計)」は中・高校生とも男性よりも女性が高い。性別×学年別では、「満足(計)」は男性-中学1年生(88.9%)や女性-高校1年生以下で8割以上と高くなっている。

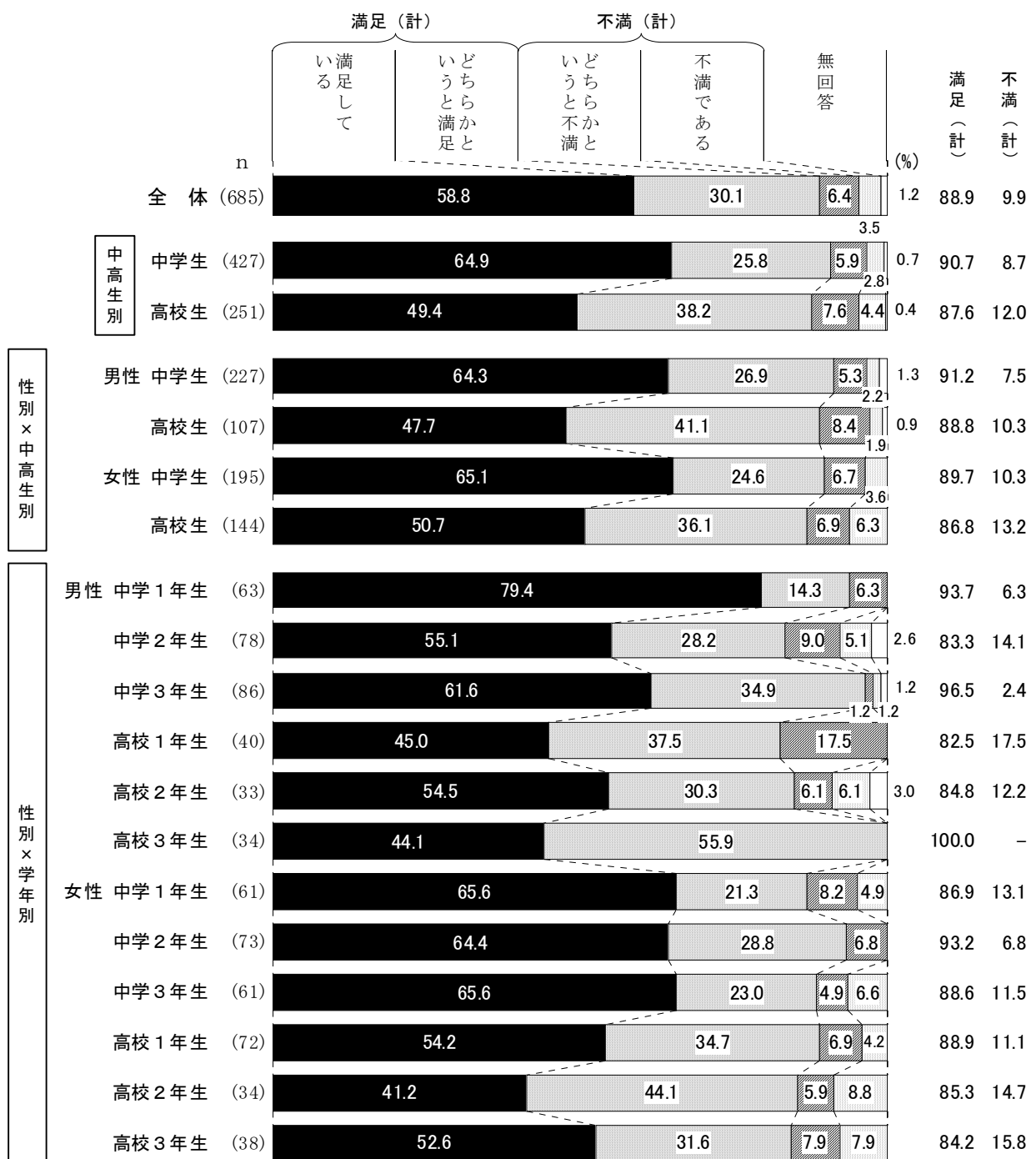
図表3-14 学校の授業(中・高校生)



⑨学校の友人

「満足している」(58.8%)が約6割で、「満足(計)」(88.9%)は約9割である。中高生別では、「満足(計)」は中・高校生間で大きな差はない。性別×中高生別では、「満足(計)」は中・高校生とも男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「満足(計)」は男性-中学1年生(93.7%)、男性-中学3年生(96.5%)、女性-中学2年生(93.2%)で9割以上と高い。男性-高校3年生は「満足している」で44.1%と低いものの、「満足(計)」(100.0%)では最も高い。

図表3-15 学校の友人(中・高校生)



3-6 朝食の状況

あなたは朝ごはんを食べますか。(1つに○)

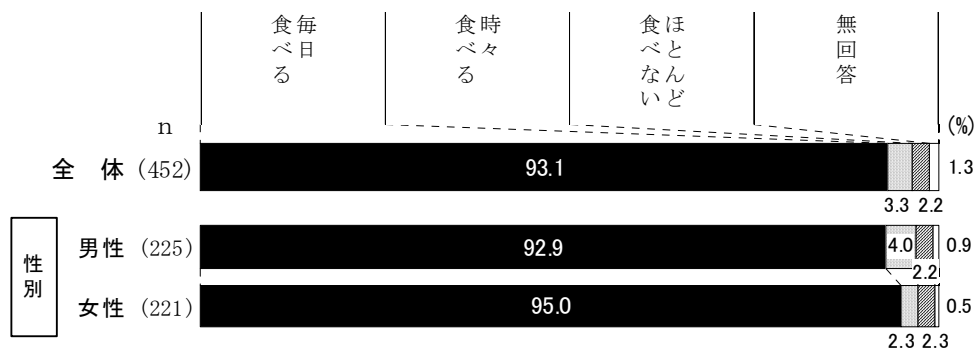
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

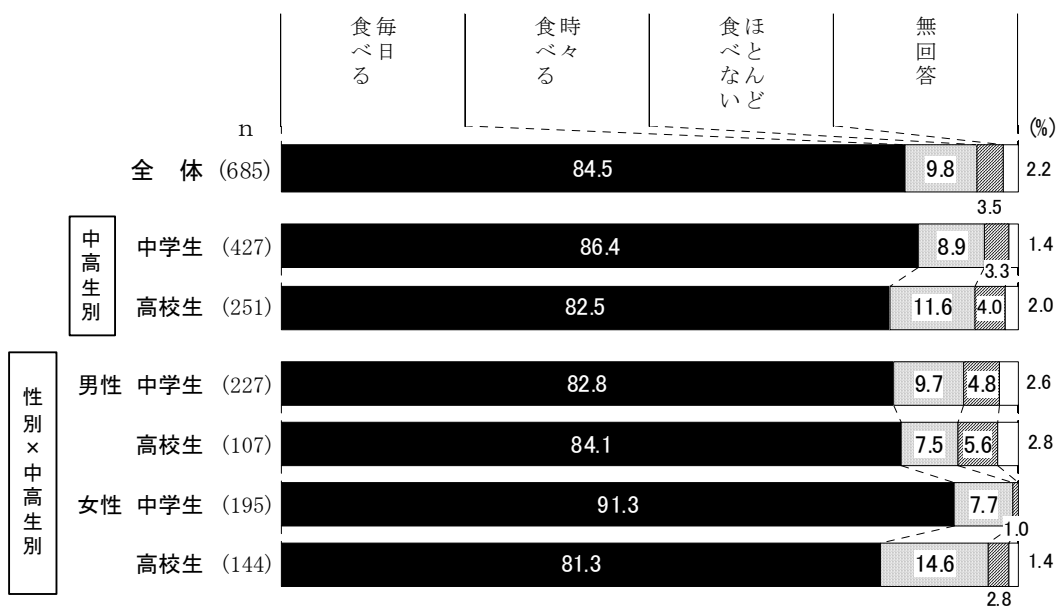
小学5・6年生については、朝食を「毎日食べる」(93.1%)は9割台半ばを占めている。性別では、男女間に大きな差はない。

中・高校生については、朝食を「毎日食べる」(84.5%)は8割台半ばで小学5・6年生よりも低く、「時々食べる」(9.8%)と合わせると94.3%となる。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、「毎日食べる」は女性-中学生(91.3%)では9割を超えるものの、それ以外はいずれも8割台となっている。

図表3-16 朝食の状況(小学5・6年生)



図表3-17 朝食の状況(中・高校生)



3-6-1 朝食の相手

3-6で「1. 毎日食べる」と答えた人にお聞きします。朝ごはんは誰と食べますか。
(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「兄弟・姉妹」(67.0%)と「母」(64.1%)が6割台で高く、「父」(35.4%)は3割台半ばとなっている。また、「ひとりで食べる」(12.6%)は1割を超えている。性別では、「父」が女性(31.0%)よりも男性(39.7%)で高くなっている。

中・高校生については、「兄弟・姉妹」(46.6%)が4割台半ばで最も高く、「ひとりで食べる」(37.5%)と「母」(37.3%)がこれに次いでいる。中高生別では、高校生は中学生に比べて誰かと一緒に食べる割合が低く、「ひとりで食べる」(54.1%)が5割台半ばとなっている。性別×中高生別では、「父」が中学生よりも高校生、男性よりも女性で低くなっている。

図表3-18 朝食の相手 (小学5・6年生／中・高校生)

		n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の人	食ひとりで食べる	無回答
小学5・6年生									
全体		421	35.4	64.1	67.0	3.8	1.0	12.6	-
性別	男性	209	39.7	64.6	68.9	5.3	1.0	12.4	-
	女性	210	31.0	63.8	64.8	2.4	1.0	12.9	-
中・高校生									
全体		579	21.9	37.3	46.6	2.9	1.0	37.5	0.5
生中高別	中学生	369	27.4	44.2	57.2	2.7	0.8	27.9	0.5
	高校生	207	12.6	25.6	28.5	3.4	1.4	54.1	-
中高生別×性別	男性 中学生	188	34.0	48.4	55.9	1.6	0.5	27.1	1.1
	高校生	90	16.7	25.6	27.8	5.6	2.2	54.4	-
	女性 中学生	178	20.8	40.4	59.0	3.9	1.1	28.1	-
	高校生	117	9.4	25.6	29.1	1.7	0.9	53.8	-

3-6-2 朝食を食べない理由

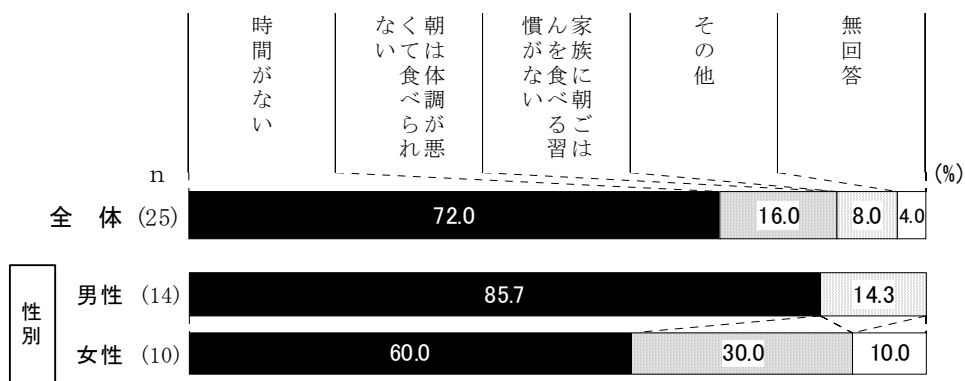
3-6で「2. 時々食べる」または「3. ほとんど食べない」と答えた人にお聞きします。食べない理由は何ですか。(1つに〇)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

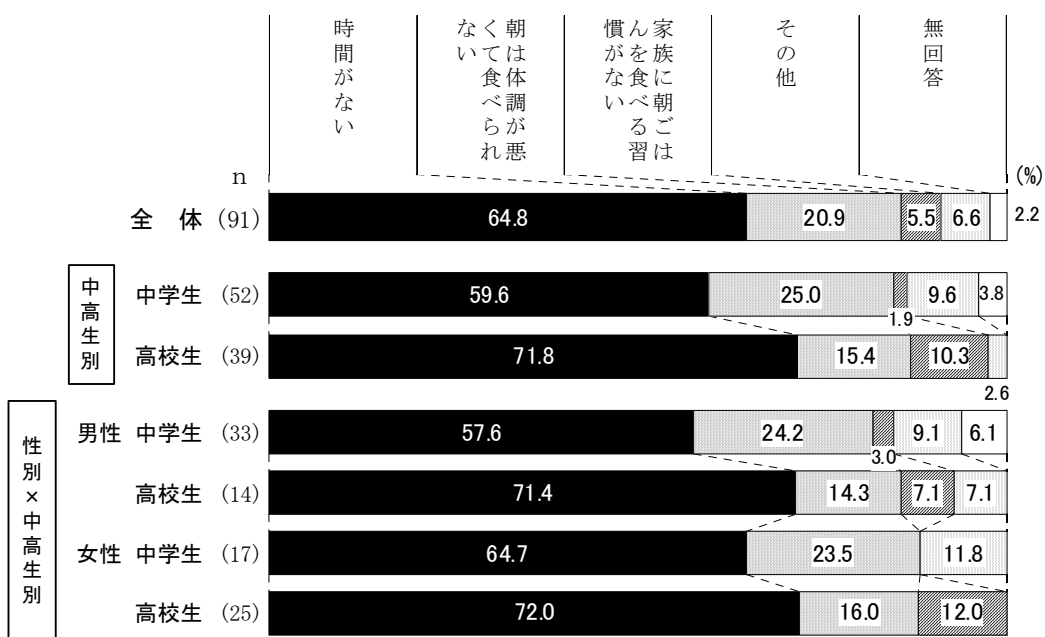
中・高校生については、「時間がない」(64.8%)が6割台半ばを占めている。中高生別では、「家族に朝ごはんを食べる習慣がない」が高校生(10.3%)で高くなっている。

図表3-19 朝食を食べない理由(小学5・6年生)



※nが30未満のため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

図表3-20 朝食を食べない理由(中・高校生)



3-7 夕飯の相手

夕食は誰と一緒に食べますか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「母」(85.6%)、「兄弟・姉妹」(73.5%)の順で高い。朝食の場合と比較すると、「母」は20ポイント以上高く、「父」(36.7%)はほぼ同率、「ひとりで食べる」(2.9%)は約10ポイント低くなっている。性別では、男女間に大きな差はない。

中・高校生については、「母」(75.6%)、「兄弟・姉妹」(64.1%)、「父」(41.8%)の順で高い。朝食の場合と比較すると、「母」と「父」は約2倍高く、「ひとりで食べる」(10.4%)は約27ポイント低くなっている。中高生別では、高校生は中学生に比べて誰かと一緒に食べる割合が低く、「ひとりで食べる」(15.9%)が高い。性別×中高生別では、「父」は女性-中学生(40.0%)よりも男性-中学生(50.7%)で高く、「母」は男性-高校生(63.6%)よりも女性-高校生(73.6%)で高くなっている。

図表3-21 夕飯の相手 (小学5・6年生／中・高校生)

		n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の人	食ひとりで食べる	無回答
(人、%)									
小学5・6年生									
全体		452	36.7	85.6	73.5	8.4	6.4	2.9	4.0
性別	男性	225	36.9	85.8	73.3	8.9	5.8	2.7	3.6
	女性	221	37.1	86.4	74.2	8.1	7.2	3.2	3.2
中・高校生									
全体		685	41.8	75.6	64.1	12.1	3.6	10.4	3.4
生中高	中学生	427	45.4	80.1	71.0	12.9	3.0	7.3	2.8
	高校生	251	36.7	69.3	54.2	10.8	4.8	15.9	2.4
中高生別×性別	男性 中学生	227	50.7	78.0	69.6	12.3	2.2	9.7	3.5
	高校生	107	38.3	63.6	52.3	10.3	4.7	18.7	2.8
	女性 中学生	195	40.0	83.6	72.8	13.3	4.1	3.6	2.1
	高校生	144	35.4	73.6	55.6	11.1	4.9	13.9	2.1

4. 家族との関係について

4-1 家族との会話の平均時間

あなたは、ふだん同居の家族（親、兄弟姉妹、祖父母など）とどのくらい会話をしますか。（1つに○）

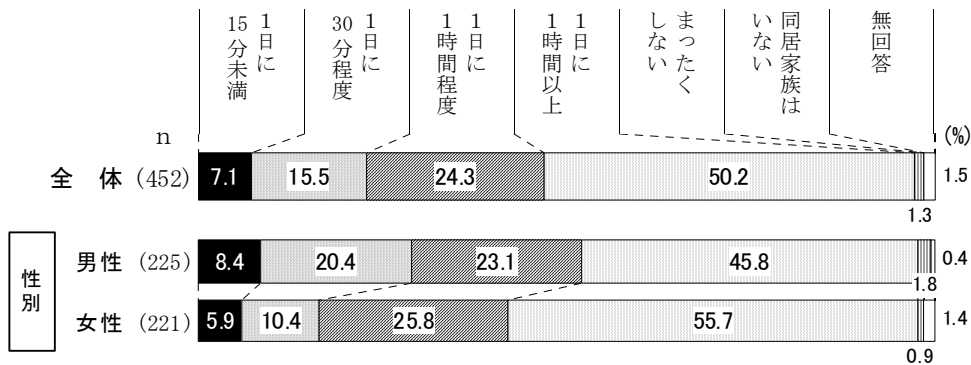
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

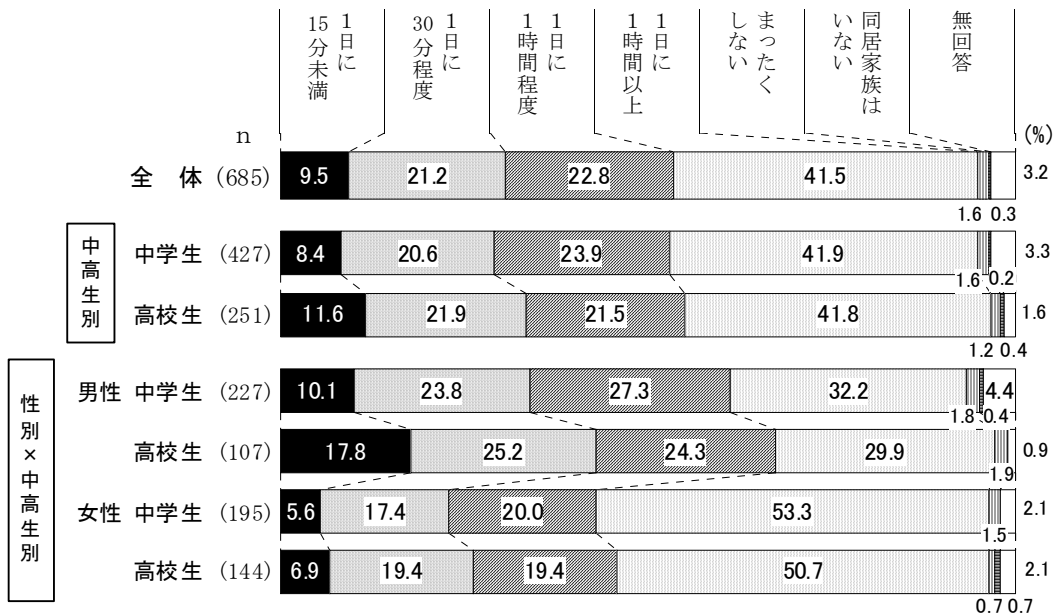
小学5・6年生については、「1日に1時間以上」（50.2%）が5割で最も高く、「1日に1時間程度」（24.3%）が2割台半ばとなっている。性別では、「1日に1時間以上」で女性（55.7%）が男性（45.8%）よりも高い一方で、「1日に30分程度」では男性（20.4%）が女性（10.4%）よりも高い。

中・高校生については、「1日に1時間以上」（41.5%）が4割を超えて最も高く、「1日に1時間程度」（22.8%）と「1日に30分程度」（21.2%）が2割を超えている。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、男女とも高校生の方が会話時間は短く、この傾向は男性で著しい。男性-高校生は「1日に15分未満」（17.8%）が約2割と高くなっている。

図表4-1 家族との会話の平均時間（小学5・6年生）



図表4-2 家族との会話の平均時間（中・高校生）

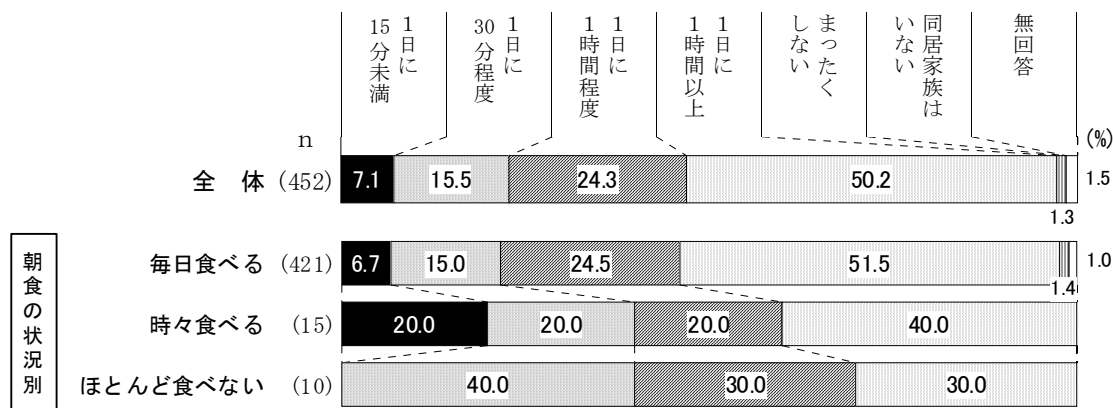


■設問間クロス：

①朝食の状況別

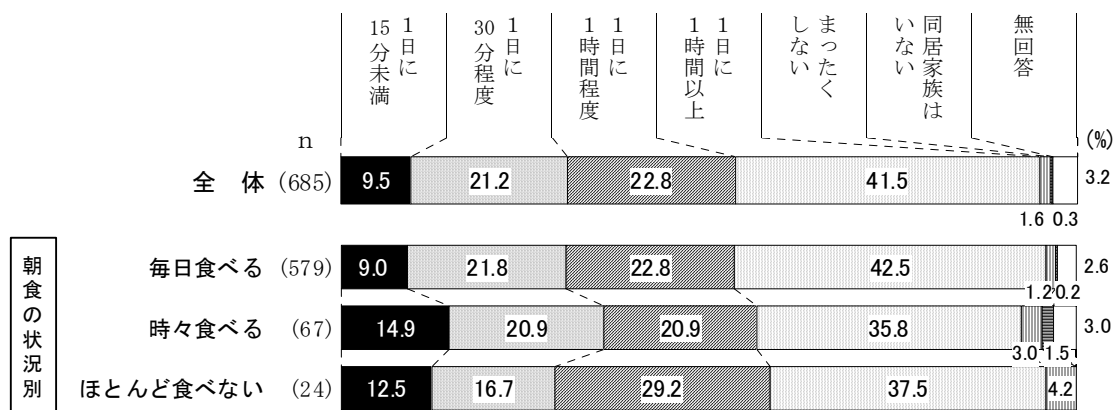
90頁「朝食の状況」別でみると、中・高校生については、朝食を時々食べる人は「1日に1時間以上」(35.8%)が低く、「1日に15分未満」(14.9%)が高くなっている。

図表4-3 朝食の状況×家族との会話の平均時間（小学5・6年生）



※朝食を時々食べる人、ほとんど食べない人はnが30未満のため、朝食の状況別については具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

図表4-4 朝食の状況×家族との会話の平均時間（中・高校生）



4-2 自分の考えに対する親の理解の程度

親は自分の考えを理解していると思いますか。(1つに○)

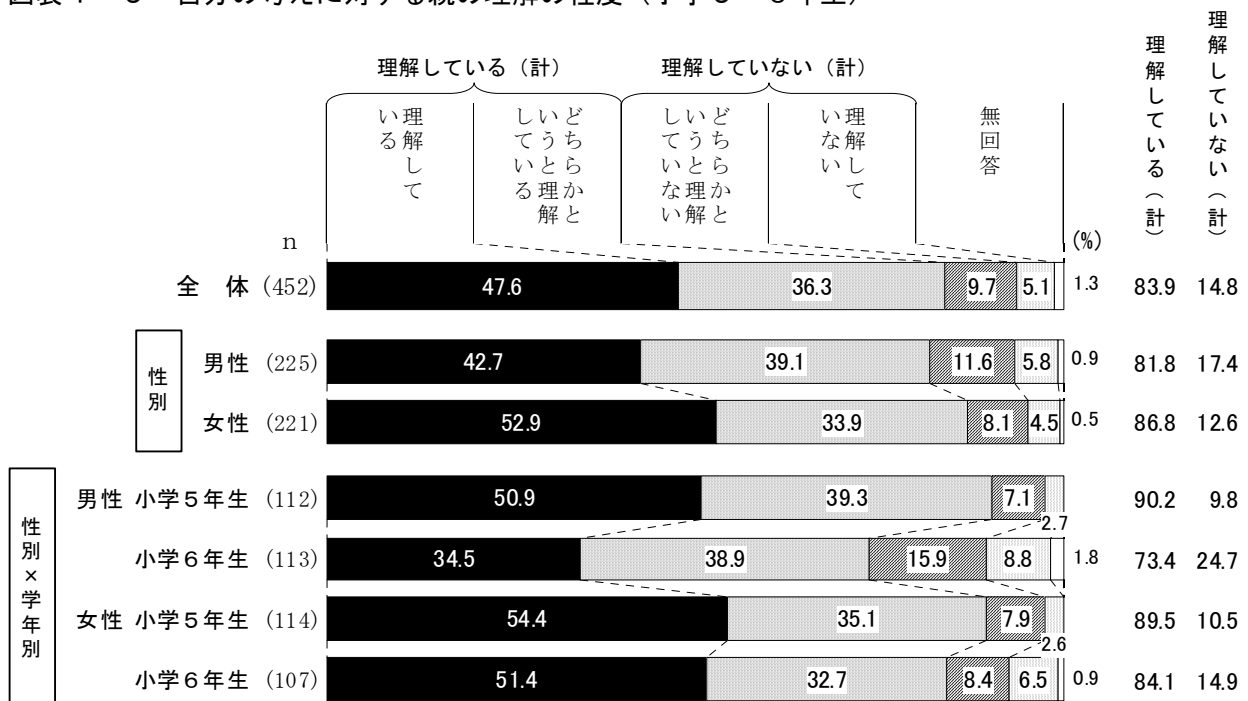
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

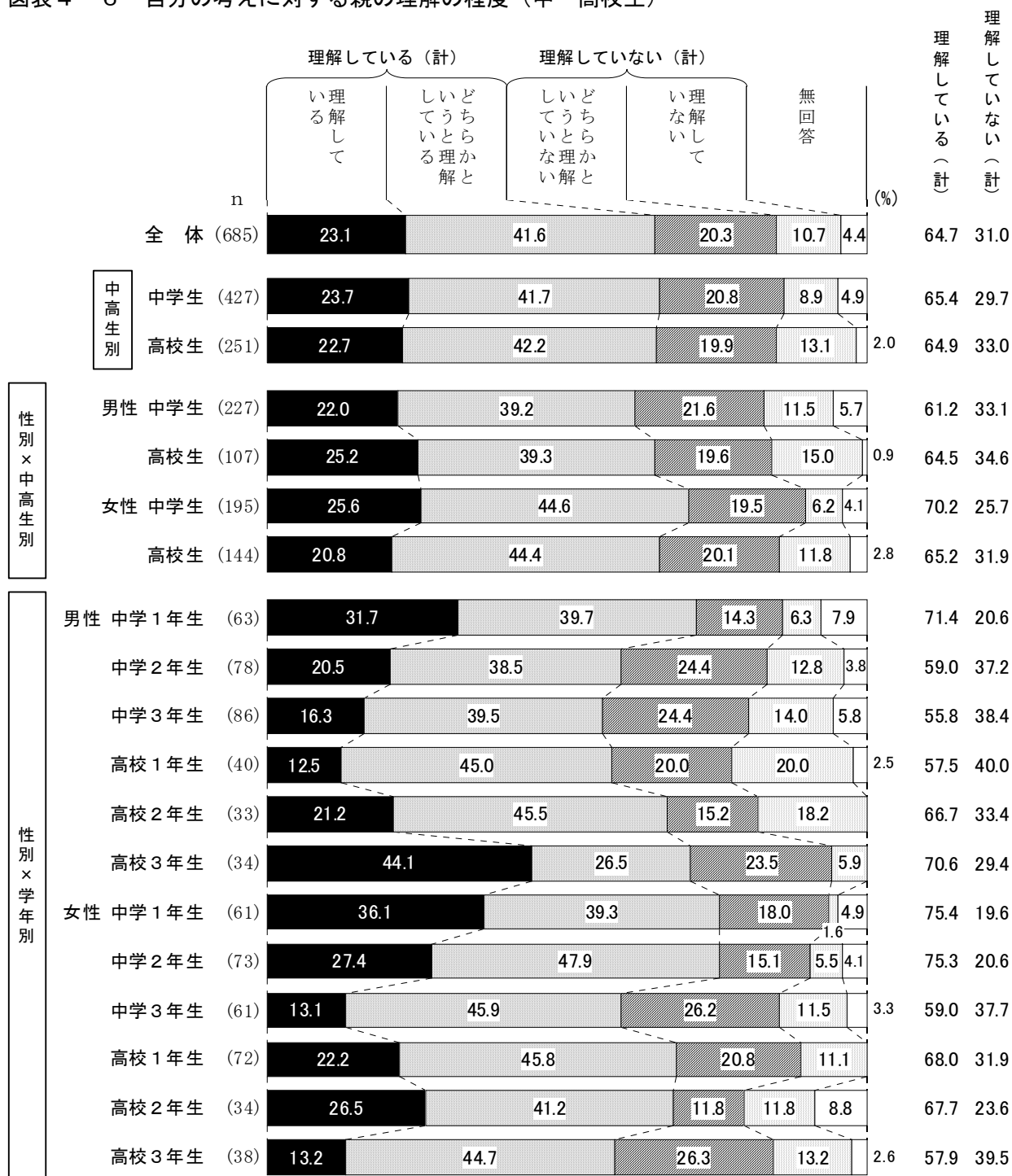
小学5・6年生については、「理解している」(47.6%)が約5割で最も高く、これに「どちらかという理解している」(36.3%)を合わせた「理解している(計)」(83.9%)は8割台半ばとなっている。性別では、男女間で「理解している(計)」に差はないが、「理解している」に限れば女性(52.9%)が男性(42.7%)よりも高くなっている。性別×学年別では、男性-小学6年生は「理解している(計)」が73.4%と低い。

中・高校生については、「どちらかという理解している」(41.6%)が4割を超えて最も高く、「理解している(計)」は64.7%となっている。中高生別では、中・高校生間で「理解している(計)」に大きな差はない。性別×中高生別では、「理解している(計)」は女性-中学生(70.2%)が男性-中学生(61.2%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「理解している(計)」は女性-中学1年生(75.4%)と女性-中学2年生(75.3%)で7割台半ばと高く、男性-中学3年生(55.8%)で5割台半ばと最も低い。

図表4-5 自分の考えに対する親の理解の程度(小学5・6年生)



図表 4-6 自分の考えに対する親の理解の程度 (中・高校生)



4-3 家族といるときの状況

あなたは家族といるとほっとしますか。(1つに○)

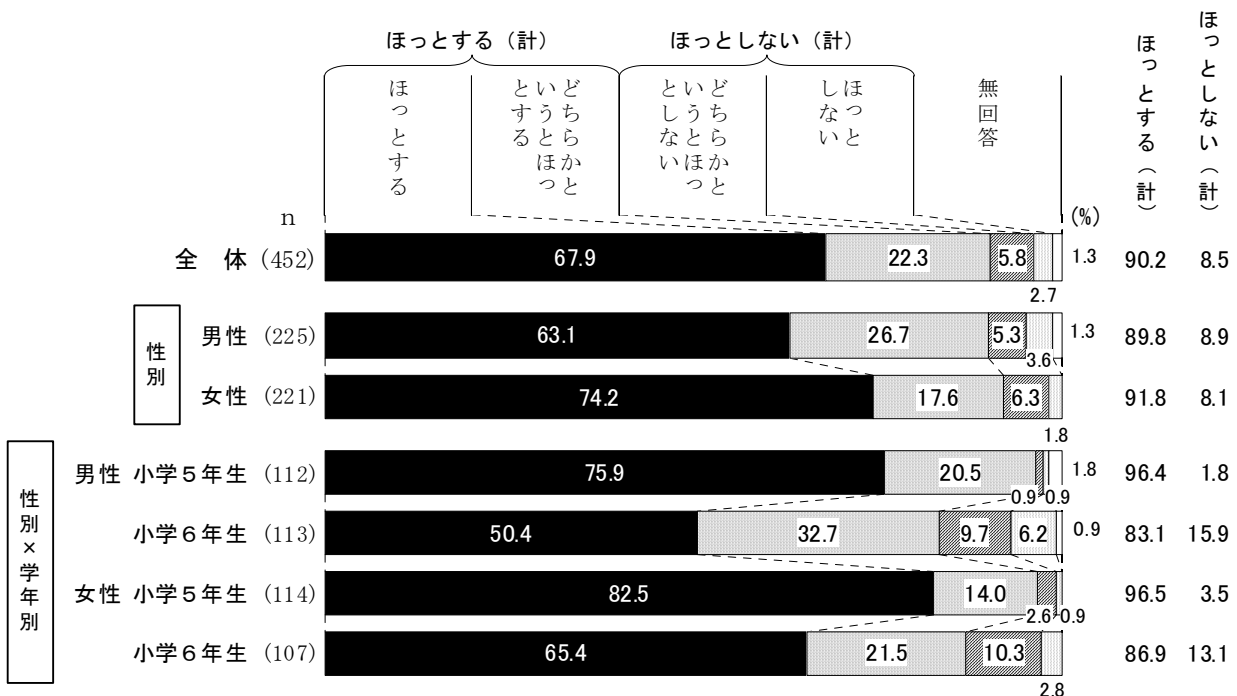
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

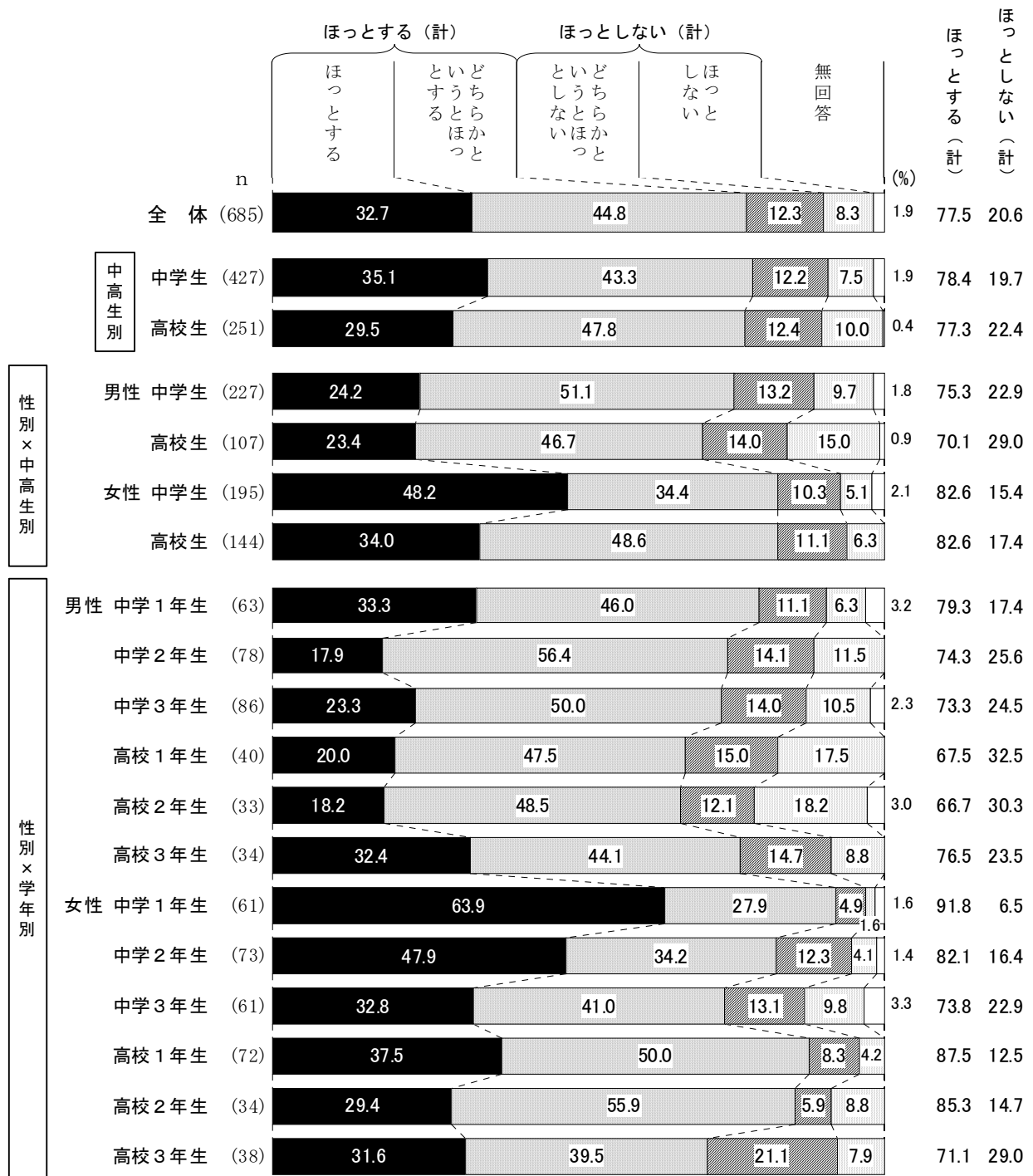
小学5・6年生については、「ほっとする」(67.9%)が約7割を占め、これに「どちらかというとほっとする」(22.3%)を合わせた「ほっとする(計)」(90.2%)は9割に達している。性別では、「ほっとする(計)」は男女間で大きな差はないが、「ほっとする」に限れば女性(74.2%)が男性(63.1%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「ほっとする(計)」は男女とも5年生で高くなっている。

中・高校生については、「どちらかというとほっとする」(44.8%)が4割台半ばで最も高く、「ほっとする」(32.7%)を合わせると77.5%になる。中高生別では、中・高校生間で「ほっとする(計)」に大きな差はない。性別×中高生別では、「ほっとする(計)」は中・高校生ともに女性が高い。性別×学年別では、「ほっとする(計)」は女性-中学1年生(91.8%)で唯一9割を超えて高く、女性-高校1年生(87.5%)や女性-高校2年生(85.3%)がこれに続いている。

図表4-7 家族といるときの状況(小学5・6年生)



図表4-8 家族といるときの状況（中・高校生）



4-4 家事分担の状況

あなたはふだん家の手伝いをしていますか。(①～④それぞれ1つに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「毎日する」は「②食事の支度や片付け」(41.2%)が4割を超えて特に高く、これに「時々する」(37.8%)を合わせた「する(計)」(79.0%)は約8割となっている。以下、「する(計)」は「③買い物」(59.1%)、「④掃除」(52.4%)、「①洗濯(洗い、取り込み)」(48.0%)の順で高い。

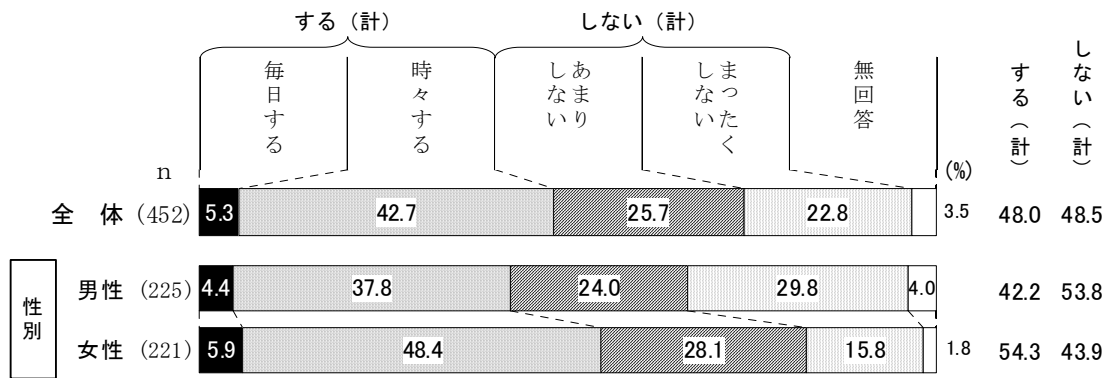
中・高校生については、「毎日する」は「②食事の支度や片付け」(31.2%)が3割を超えて最も高く、さらに「時々する」(44.4%)を加えた「する(計)」(75.6%)は7割台半ばとなっている。以下、「する(計)」は「④掃除」(53.4%)、「①洗濯(洗い、取り込み)」(51.9%)、「③買い物」(51.7%)の順で高いが、いずれも5割台前半となっている。

①洗濯（洗い、取り込み）

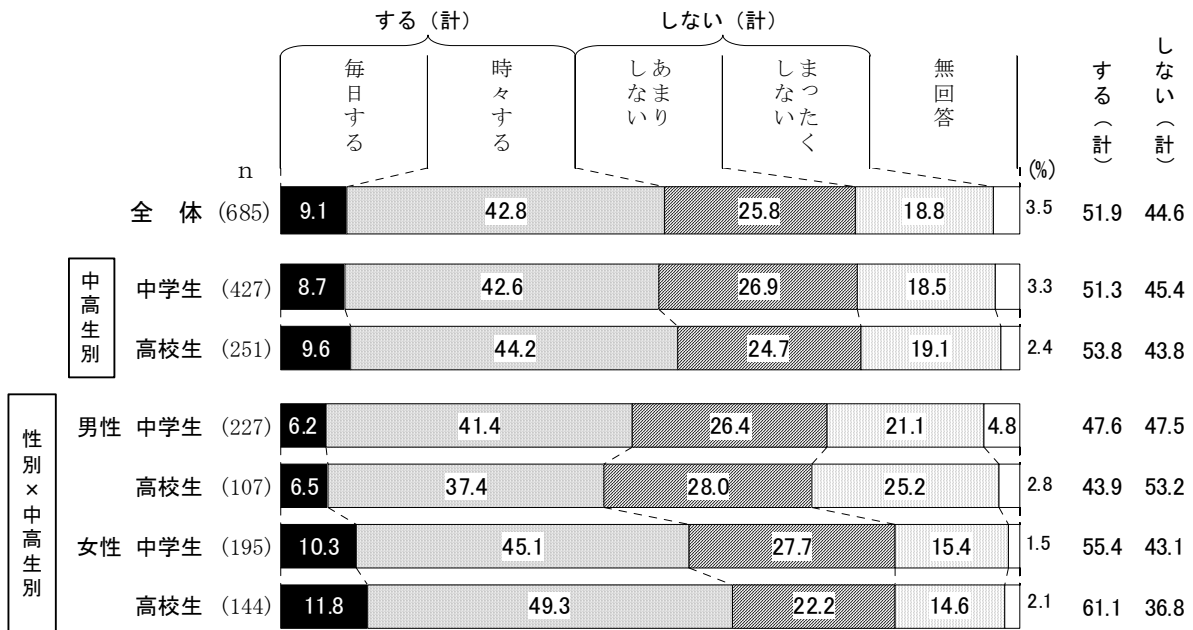
小学5・6年生については、「時々する」(42.7%)が最も高く、「する(計)」(48.0%)は約5割となっている。性別では、「する(計)」は女性(54.3%)が男性(42.2%)よりも高い。

中・高校生については、「時々する」(42.8%)が最も高く、「する(計)」(51.9%)は5割を超える。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、「する(計)」は女性-高校生(61.1%)が最も高く、中・高校生とも男性よりは女性で高い。

図表4-9 洗濯（洗い、取り込み）（小学5・6年生）



図表4-10 洗濯（洗い、取り込み）（中・高校生）

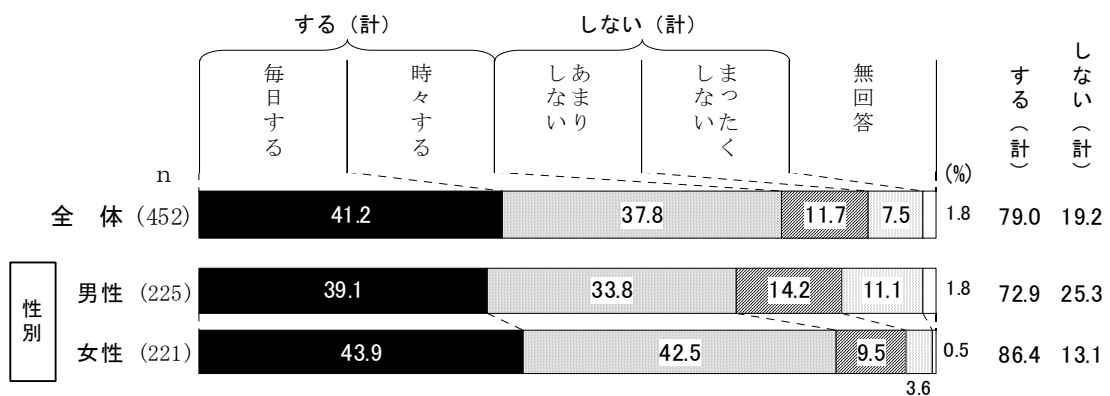


②食事の支度や片付け

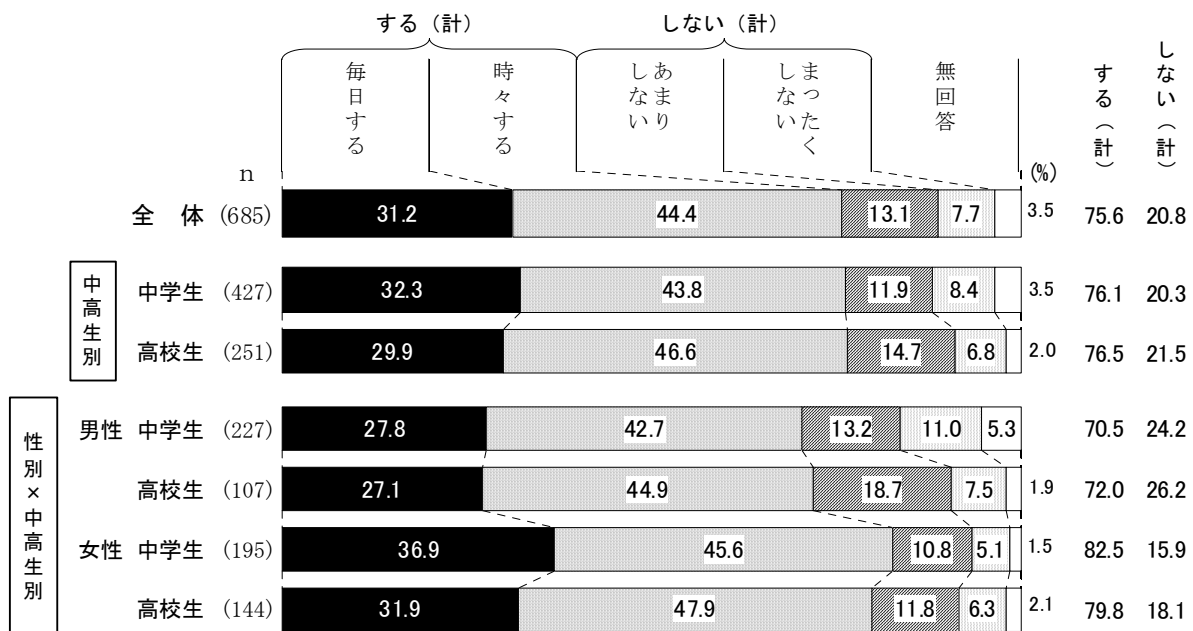
小学5・6年生については、「毎日する」(41.2%)が最も高く、「する(計)」(79.0%)は約8割となっている。性別では、「する(計)」は女性(86.4%)が男性(72.9%)よりも高い。

中・高校生については、「時々する」(44.4%)が最も高く、「する(計)」(75.6%)は7割台半ばとなっている。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、「する(計)」は中・高校生とも女性が男性よりも高い。

図表4-11 食事の支度や片付け(小学5・6年生)



図表4-12 食事の支度や片付け(中・高校生)

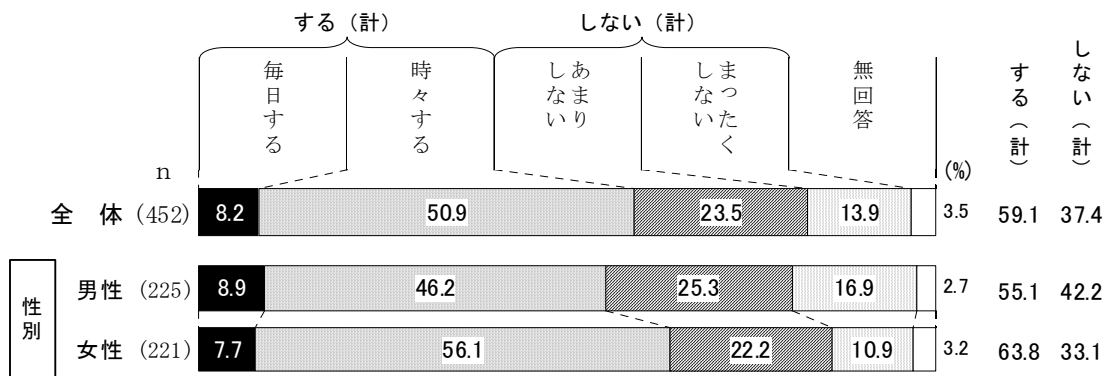


③買い物

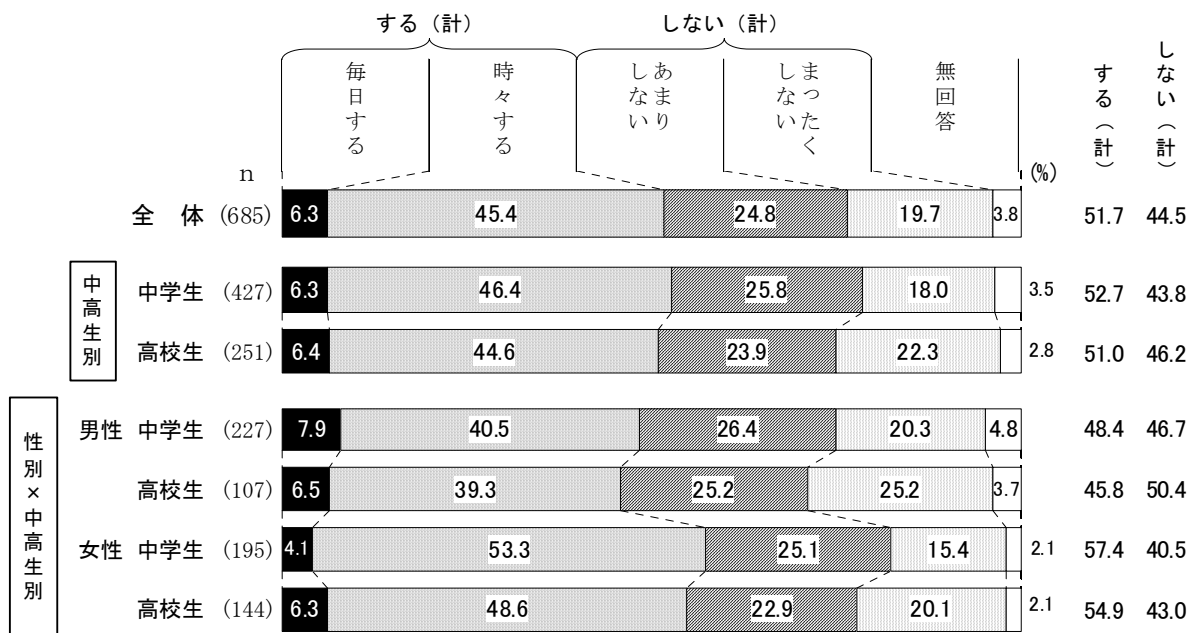
小学5・6年生については、「時々する」(50.9%)が5割で、「する(計)」(59.1%)は約6割となっている。性別では、女性(63.8%)が男性(55.1%)より高い。

中・高校生については、「時々する」(45.4%)が4割台半ばで、「する(計)」(51.7%)は5割を超える。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、「する(計)」は中・高校生ともに女性が男性よりも高くなっている。

図表4-13 買い物(小学5・6年生)



図表4-14 買い物(中・高校生)

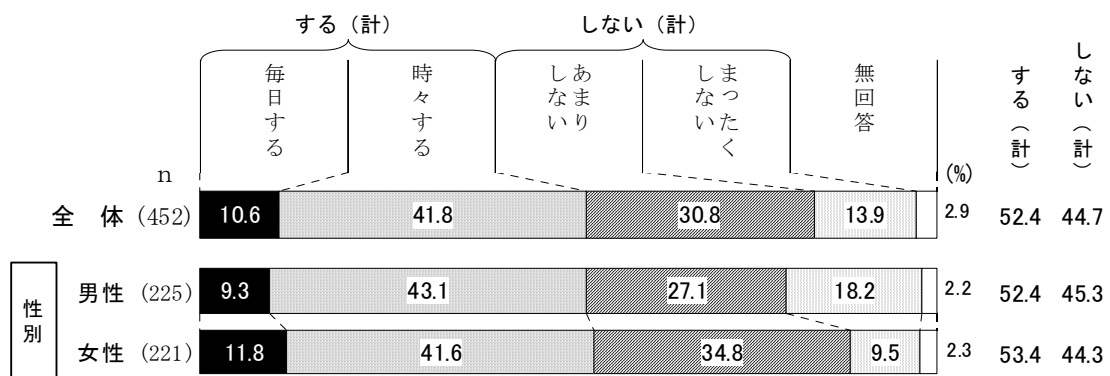


④掃除

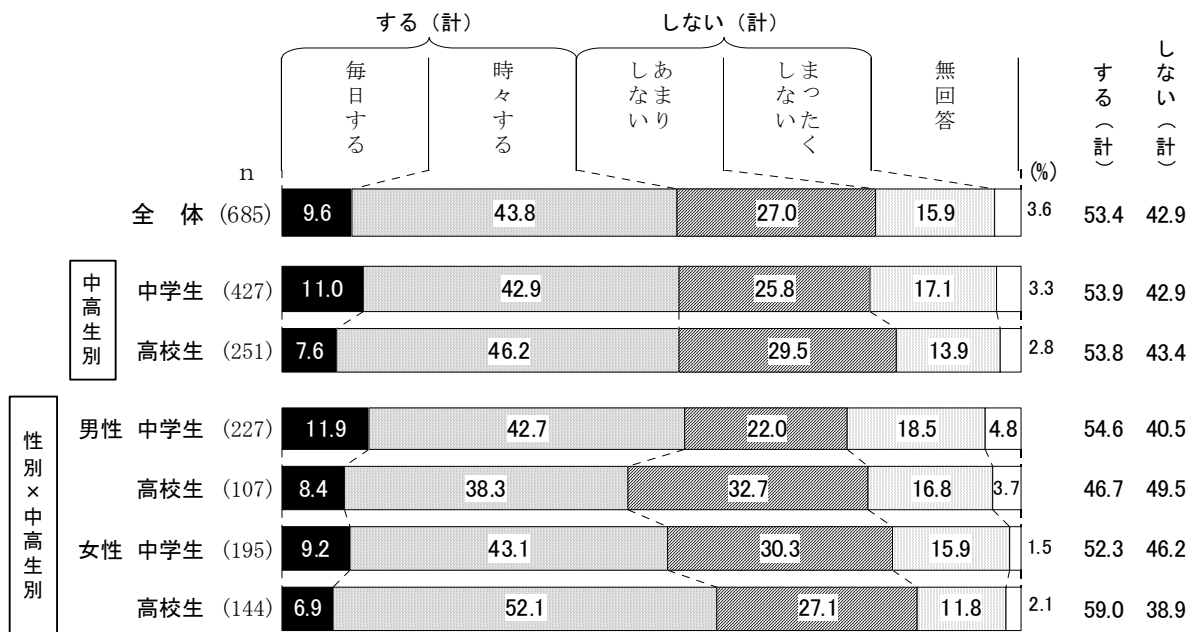
小学5・6年生については、「時々する」(41.8%)が最も高く、「する(計)」(52.4%)は5割を超える。性別では、大きな差はない。

中・高校生については、「時々する」(43.8%)が最も高く、「する(計)」(53.4%)は5割台半ばとなっている。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、「する(計)」は高校生では女性(59.0%)が男性(46.7%)よりも高くなっている。

図表4-15 掃除(小学5・6年生)



図表4-16 掃除(中・高校生)

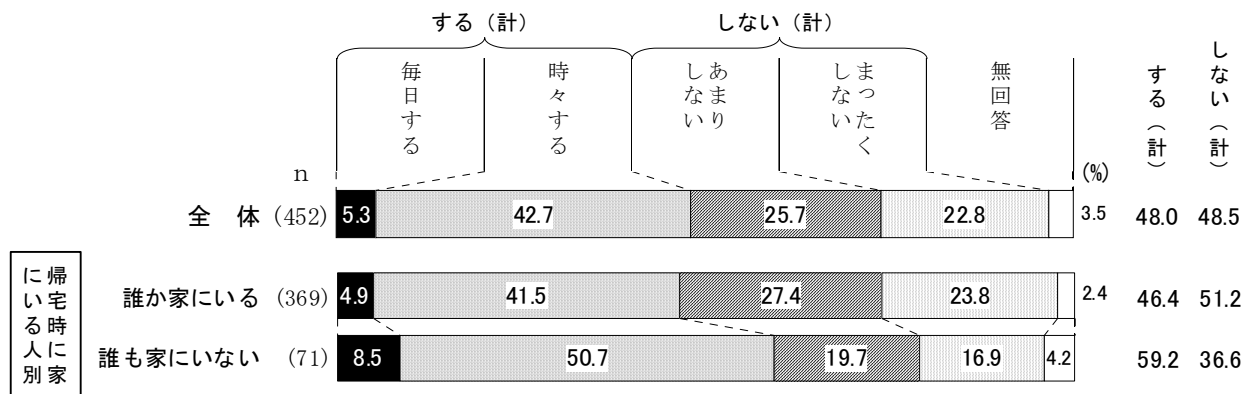


■設問間クロス：

①洗濯（洗い、取り込み） 子どもが帰宅時の家族の在宅状況別

58頁「帰宅時に家にいる人」別にみると、小学5・6年生で、帰宅時に誰も家にいない人は、誰か家にいる人と比べて洗濯を「する（計）」（59.2%）が高くなっている。

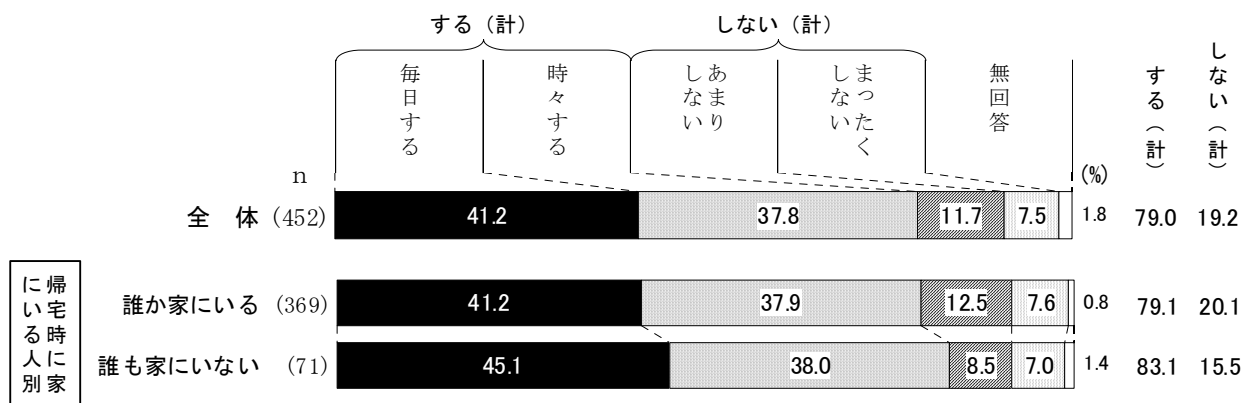
図表4-17 子どもが帰宅時に家にいる人×洗濯（洗い、取り込み）（小学5・6年生）



②食事の支度や片付け 子どもが帰宅時の家族の在宅状況別

小学5・6年生で、帰宅時に誰も家にいない人と、誰か家にいる人との間に大きな差はない。

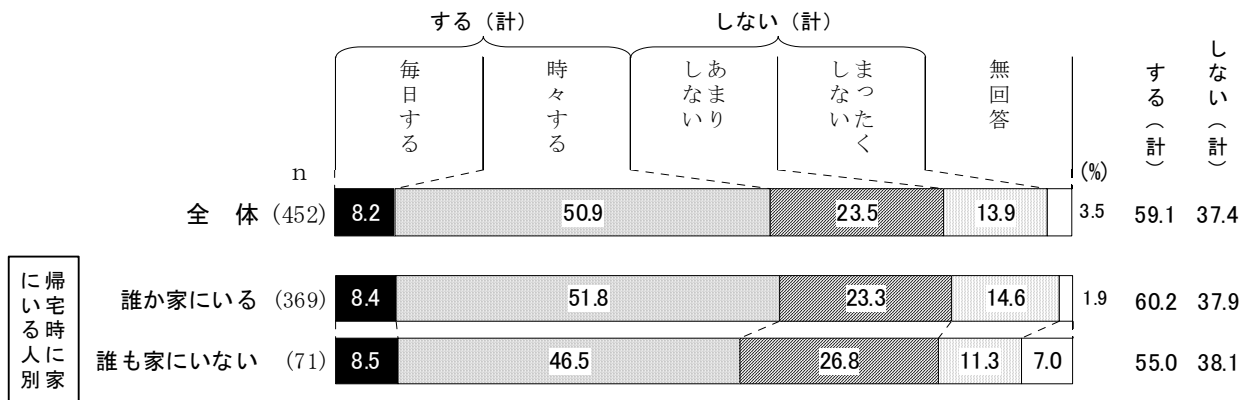
図表4-18 子どもが帰宅時に家にいる人×食事の支度や片付け（小学5・6年生）



③買い物 子どもが帰宅時の家族の在宅状況別

小学5・6年生で、帰宅時に誰か家にいる人は、誰も家にはいない人に比べて買い物を「する(計)」(60.2%)が高くなっている。

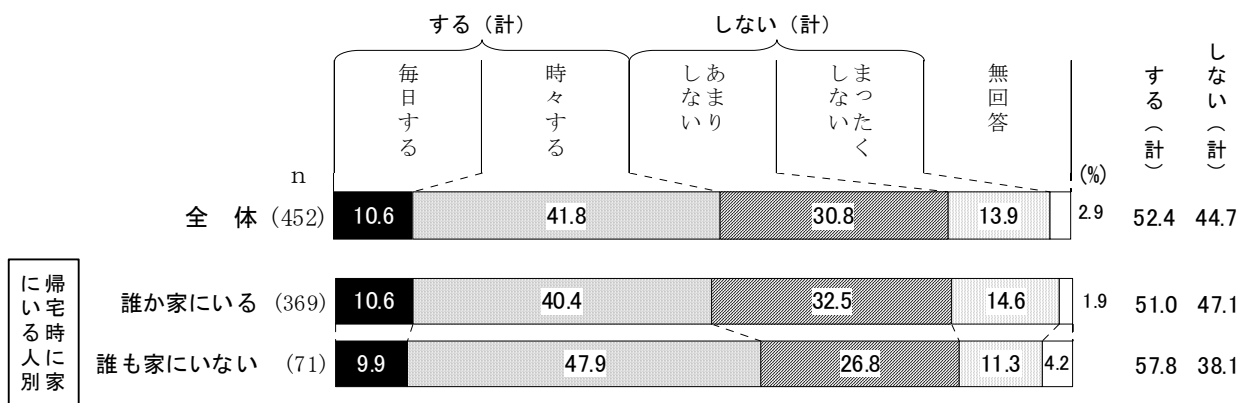
図表4-19 子どもが帰宅時に家にいる人×買い物(小学5・6年生)



④掃除 子どもが帰宅時の家族の在宅状況別

小学5・6年生で、帰宅時に誰も家にはいない人は、誰か家にいる人に比べて掃除を「する(計)」(57.8%)が高くなっている。

図表4-20 子どもが帰宅時に家にいる人×掃除(小学5・6年生)



5. 学校生活について

5-1 学校への感想

学校生活は楽しいですか。(1つに○)

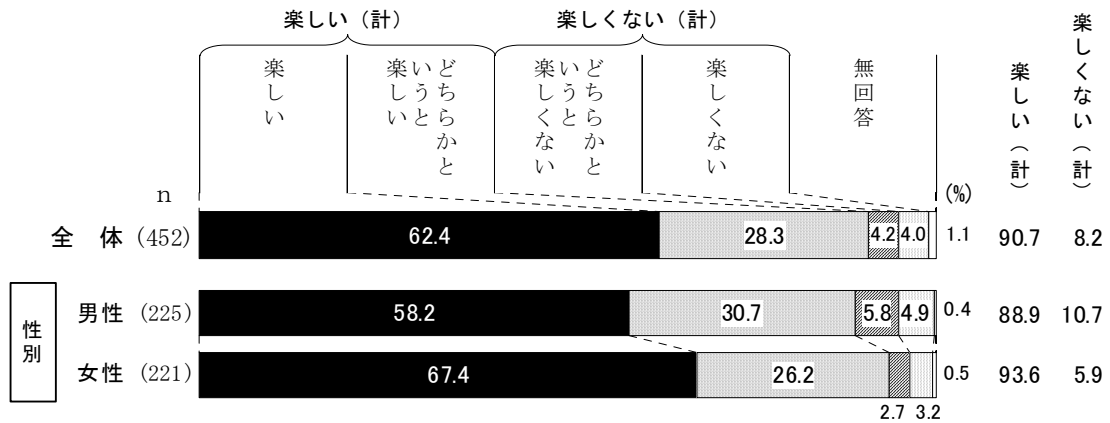
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

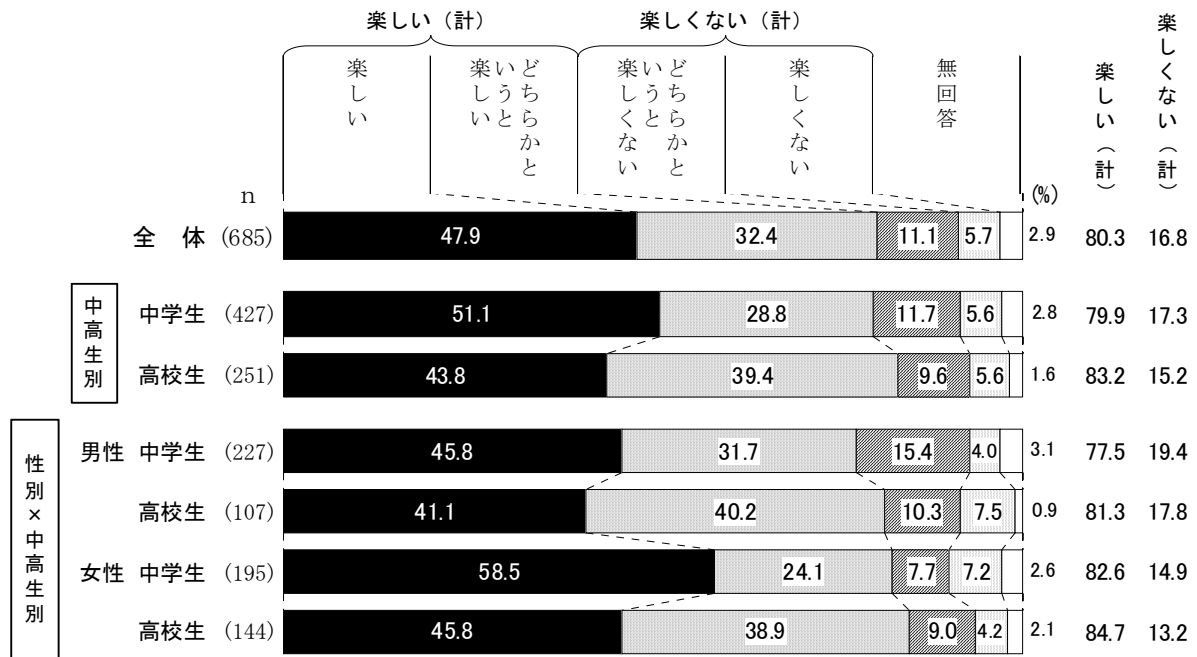
小学5・6年生については、「楽しい」(62.4%)が6割を超え、これに「どちらかという楽しい」(28.3%)を合わせた「楽しい(計)」(90.7%)は9割となっている。性別では、「楽しい(計)」は女性(93.6%)が男性(88.9%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「楽しい」(47.9%)は約5割、「楽しい(計)」(80.3%)は8割となっており、小学5・6年生よりは低くなっている。中高生別では、「楽しい(計)」は大きな差はないが、「楽しい」に限れば中学生(51.1%)が高校生(43.8%)よりも高い。性別×中高生別では、「楽しい(計)」は男性-中学生(77.5%)が唯一7割台で低くなっている。また、女性-中学生は「楽しい」が58.5%と高い。

図表5-1 学校への感想(小学5・6年生)



図表 5-2 学校への感想（中・高校生）



5-2 学校生活で大事だと思うこと

学校生活で大事だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「友だちをつくること」(82.5%)と「勉強」(78.1%)が8割前後で高く、「自分の得意な力を伸ばすこと」(55.8%)と「運動会などみんなで一緒に1つのことに取り組むこと」(51.3%)が5割台となっている。性別では、「体力をつけること」で男性(41.8%)が女性(27.1%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「勉強」で男性-小学5年生(85.7%)が男性-小学6年生(67.3%)よりも高く、「運動会などみんなで一緒に1つのことに取り組むこと」で女性-小学6年生(61.7%)が女性-小学5年生(49.1%)よりも高い。また、「体力をつけること」では5・6年生ともに男性が高くなっている。

中・高校生については、「友達関係」(85.3%)が8割台半ばで最も高く、「勉強」(73.7%)がこれに続き、他の項目はいずれも4割前後となっている。中高生別では、「自分の得意な力を伸ばすこと」と「体力をつけること」は中学生で高く、「社会性をはぐくむこと」は高校生で高くなっている。性別×中高生別では、「勉強」は中・高校生ともに女性が高い。また、「受験(就職)準備」と「体力をつけること」で女性-高校生が低くなっている。性別×学年別では、「友達関係」で男性-高校3年生(97.1%)、「勉強」で女性-高校1年生(88.9%)が特に高い。また、「自分の得意分野を伸ばすこと」や「体力をつけること」では男性-中学1年生が高くなっている。

図表5-3 学校生活で大事だと思うこと(小学5・6年生)

		(人、%)								
		n	勉強	友だちをつくること	自分の得意な力を伸ばすこと	運動会などみんなで一緒に取り組むこと	体力をつけること	その他	特にない	無回答
小学5・6年生										
全体		452	78.1	82.5	55.8	51.3	34.5	4.2	3.8	1.1
性別	男性	225	76.4	80.0	52.9	48.4	41.8	4.0	5.3	-
	女性	221	80.5	86.0	58.8	55.2	27.1	4.5	2.3	0.9
学年別×性別	男性 小学5年生	112	85.7	83.0	54.5	45.5	44.6	3.6	1.8	-
	小学6年生	113	67.3	77.0	51.3	51.3	38.9	4.4	8.8	-
	女性 小学5年生	114	83.3	83.3	56.1	49.1	27.2	3.5	3.5	-
	小学6年生	107	77.6	88.8	61.7	61.7	27.1	5.6	0.9	1.9

図表 5-4 学校生活で大事だと思うこと（中・高校生）

(人、%)

		n	勉強	友達関係	準受験 (就職)	を自分の 伸ばす得意分野	は社会性を はぐくむこと	こと 体力をつける	その他	無回答	
中・高校生											
全体		685	73.7	85.3	41.6	42.9	43.5	37.1	2.9	3.6	
生中高	中学生	427	73.1	85.0	43.8	48.7	39.6	43.1	3.0	3.5	
	高校生	251	76.1	87.6	38.6	34.3	51.0	27.5	2.8	2.4	
中高生別	男性	中学生	227	70.5	83.3	45.4	48.0	42.7	52.4	3.5	4.0
		高校生	107	72.0	86.0	43.9	35.5	51.4	38.3	4.7	1.9
	女性	中学生	195	76.9	87.2	43.1	50.8	36.9	33.3	2.6	3.1
		高校生	144	79.2	88.9	34.7	33.3	50.7	19.4	1.4	2.8
性別×学年別	男性	中学1年生	63	74.6	85.7	46.0	57.1	46.0	61.9	4.8	4.8
		中学2年生	78	70.5	78.2	43.6	43.6	34.6	48.7	1.3	3.8
		中学3年生	86	67.4	86.0	46.5	45.3	47.7	48.8	4.7	3.5
	高校	1年生	40	70.0	75.0	37.5	30.0	57.5	32.5	5.0	2.5
		2年生	33	72.7	87.9	48.5	48.5	51.5	57.6	3.0	3.0
		3年生	34	73.5	97.1	47.1	29.4	44.1	26.5	5.9	-
	女性	中学1年生	61	77.0	88.5	31.1	52.5	34.4	29.5	1.6	6.6
		中学2年生	73	75.3	86.3	43.8	50.7	32.9	35.6	4.1	1.4
		中学3年生	61	78.7	86.9	54.1	49.2	44.3	34.4	1.6	1.6
		高校1年生	72	88.9	93.1	30.6	34.7	50.0	20.8	2.8	-
		高校2年生	34	58.8	79.4	23.5	23.5	41.2	5.9	-	8.8
		高校3年生	38	78.9	89.5	52.6	39.5	60.5	28.9	-	2.6

5-3 部活動への所属状況

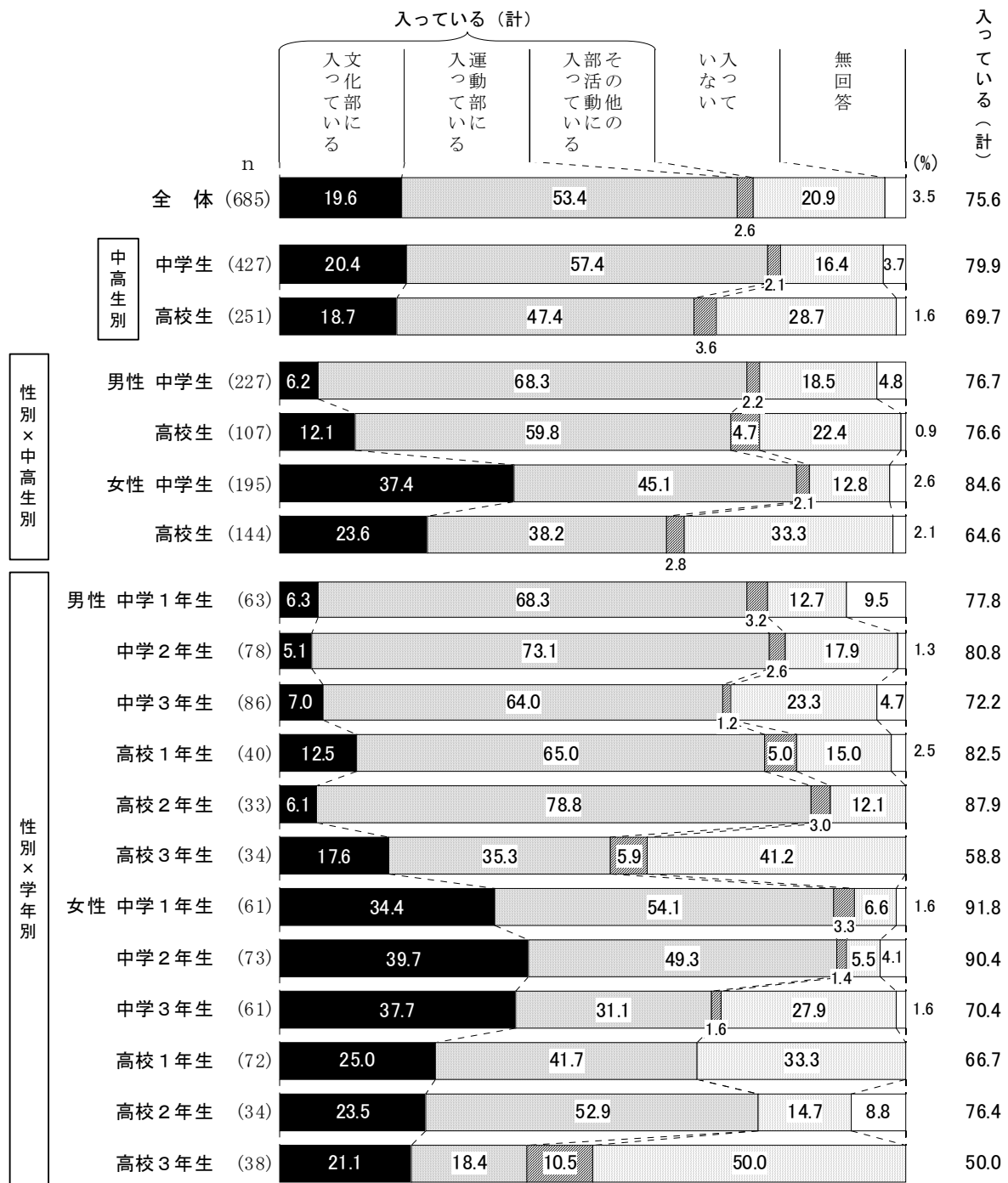
部活動に入っていますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「運動部に入っている」(53.4%)が5割台半ばとなっている。一方、「文化部に入っている」(19.6%)と「入っていない」(20.9%)はそれぞれ2割前後である。中高生別では、「運動部に入っている」は中学生(57.4%)が高く、「入っていない」は高校生(28.7%)が高い。性別×中高生別では、中・高校生ともに「文化部に入っている」は女性が高く、「運動部に入っている」は男性が高い。また、「入っていない」は女性-高校生(33.3%)で最も高くなっている。性別×学年別では、男女とも高校3年生で「入っていない」が特に高く、男性(41.2%)は4割を超え、女性(50.0%)は5割を占める。また、この学年は男女とも「運動部に入っている」が低くなっている。

図表 5-5 部活動への所属状況（中・高校生）



6. 悩みごとなどについて

6-1 現在の悩みの内容

今困っていることや悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「特に悩みや心配ごとはない」(35.8%)が3割台半ばとなっている。具体的な悩みとしては、「勉強や成績のこと」(34.7%)が最も高く、「将来や進路のこと」(25.0%)、「友だちや仲間のこと」(18.6%)、「性格のこと」(13.3%)、「健康のこと」(11.1%)と続いている。性別では、「友だちや仲間のこと」と「性格のこと」は女性が高く、「政治や社会のこと」と「お金のこと」は男性が高くなっている。

中・高校生については、「勉強や成績のこと」(59.6%)が約6割と高く、「将来や進路のこと」(54.7%)が5割台半ば、以下、「友だちや仲間のこと」(28.8%)と「お金のこと」(28.8%)、「性格のこと」(25.7%)と続いている。また、「特に悩みや心配ごとはない」(13.3%)は1割台半ばで小学5・6年生に比べて低くなっている。中高生別では、すべての悩み事で高校生が中学生より高いが、「勉強や成績のこと」、「健康のこと」、「政治や社会のこと」の3項目では大きな差はない。性別×中高生別では、「勉強や成績のこと」と「将来や進路のこと」において男性-中学生は女性-中学生よりもそれぞれ約10ポイント低くなっている。女性-高校生は「性格のこと」(44.4%)、「友だちや仲間のこと」(43.8%)、「お金のこと」(43.8%)、「容姿のこと」(40.3%)で4割台と特に高い。

図表6-1 現在の悩みの内容 (小学5・6年生／中・高校生)

		(人、%)															
		n	こ勉強 や 成績の こと	こ将来 や 進路の こと	※部活 動の こと	の友だ ちや 仲間 のこと	家 族の こと	異 性の こと	健 康の こと	性 格の こと	容 姿の こと	お 金の こと	こ政治 や 社会の こと	そ の 他	配 ご と に 悩 み や 心 配 が ない	無 回 答	
小学5・6年生																	
全体		452	34.7	25.0	20.0	18.6	8.2	2.7	11.1	13.3	2.9	7.7	7.3	2.0	35.8	5.5	
性別	男性	225	32.4	26.2	20.0	12.4	7.1	0.9	10.7	10.2	1.8	10.2	11.1	1.8	35.1	5.8	
	女性	221	38.0	24.0	20.0	25.3	9.5	4.1	11.8	16.7	4.1	5.4	3.6	2.3	36.7	4.1	
中・高校生																	
全体		685	59.6	54.7	20.0	28.8	13.9	16.5	12.7	25.7	20.1	28.8	12.8	2.5	13.3	6.0	
生中 別高	中学生	427	58.3	49.2	17.3	25.8	11.9	11.9	12.2	21.5	12.9	22.5	12.6	1.9	16.6	6.6	
	高校生	251	63.3	65.3	24.3	34.7	17.5	24.7	13.9	33.5	32.7	39.8	13.1	3.6	8.0	3.2	
中高 生別 ×性別	男性	中学生	227	53.3	44.1	17.6	21.6	8.4	11.5	12.3	16.7	6.6	24.2	12.8	2.6	19.4	9.7
		高校生	107	60.7	61.7	27.1	22.4	12.1	28.0	14.0	18.7	22.4	34.6	13.1	2.8	11.2	4.7
	女性	中学生	195	64.1	54.4	16.9	30.8	15.4	12.3	11.8	27.2	19.5	20.5	12.3	0.5	13.8	3.1
		高校生	144	65.3	68.1	22.2	43.8	21.5	22.2	13.9	44.4	40.3	43.8	13.2	4.2	5.6	2.1

※「部活動のこと」は中・高校生のみ

6-1-1 現在の悩みの相談相手

6-1で悩みごとに1つでも○をつけた人にお聞きします。困っていることや悩みごとを相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「母」(60.4%)が6割を占め、次いで「友だち」(30.2%)、「父」(24.9%)、「兄弟・姉妹」(12.1%)となっている。なお、「相談できる人はいない、相談はしない」は17.4%である。性別では、「友だち」や「兄弟・姉妹」は女性が高いが、「父」については男性(32.3%)が高くなっている。

中・高校生については、「友だち」(57.5%)が最も高く、「母」(37.4%)、「父」(12.7%)、「兄弟・姉妹」(12.7%)と続いており、小学5・6年生と比べて「友だち」が高く、「母」と「父」が低くなっている。中高生別では、「友だち」と「学校の先輩」では高校生が高く、「相談できる人はいない、相談はしない」は中学生(23.5%)が高くなっている。性別×中高生別では、「友だち」は男女とも高校生が高く、中・高校生ともに女性が高くなっている。「父」及び「母」は男性-高校生が男性-中学生よりも10ポイント以上高く、「相談できる人はいない、相談はしない」は男性-中学生(29.8%)が約3割と高くなっている。

図表6-2 現在の悩みの相談相手(小学5・6年生／中・高校生)

		(人、%)													
		n	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	友だち	学校の先生	学校の先輩※	塾や習いごとの先生	く電話で相談の ところ	てメールで相談の ところ	その他	い相談できる人 はいない	無回答
小学5・6年生															
全体		265	24.9	60.4	12.1	4.9	30.2	7.9	7.5	0.8	1.5	1.9	17.4	2.6	
性別	男性	133	32.3	57.1	7.5	4.5	21.1	7.5	8.3	-	0.8	2.3	18.8	2.3	
	女性	131	17.6	63.4	16.8	5.3	39.7	8.4	6.9	1.5	2.3	1.5	16.0	3.1	
中・高校生															
全体		553	12.7	37.4	12.7	2.5	57.5	6.0	6.0	8.1	0.5	2.4	3.6	19.3	4.7
生中高	中学生	328	11.9	34.5	10.7	3.7	48.8	6.1	4.3	8.5	0.9	3.4	3.0	23.5	6.1
	高校生	223	13.9	41.7	15.7	0.9	70.9	5.8	8.5	7.6	-	0.9	4.5	13.0	2.7
中高生別 性別×	男性 中学生	161	14.3	28.6	8.1	3.7	36.6	6.8	5.0	9.9	-	2.5	2.5	29.8	8.1
	男性 高校生	90	26.7	38.9	11.1	1.1	64.4	3.3	6.7	11.1	-	-	5.6	14.4	3.3
	女性 中学生	162	9.3	40.1	13.6	3.1	61.1	4.3	3.7	7.4	1.9	4.3	3.1	17.3	4.3
	女性 高校生	133	5.3	43.6	18.8	0.8	75.2	7.5	9.8	5.3	-	1.5	3.8	12.0	2.3

※「学校の先輩」は中・高校生のみ

7. いじめについて

7-1 周囲でのいじめの有無

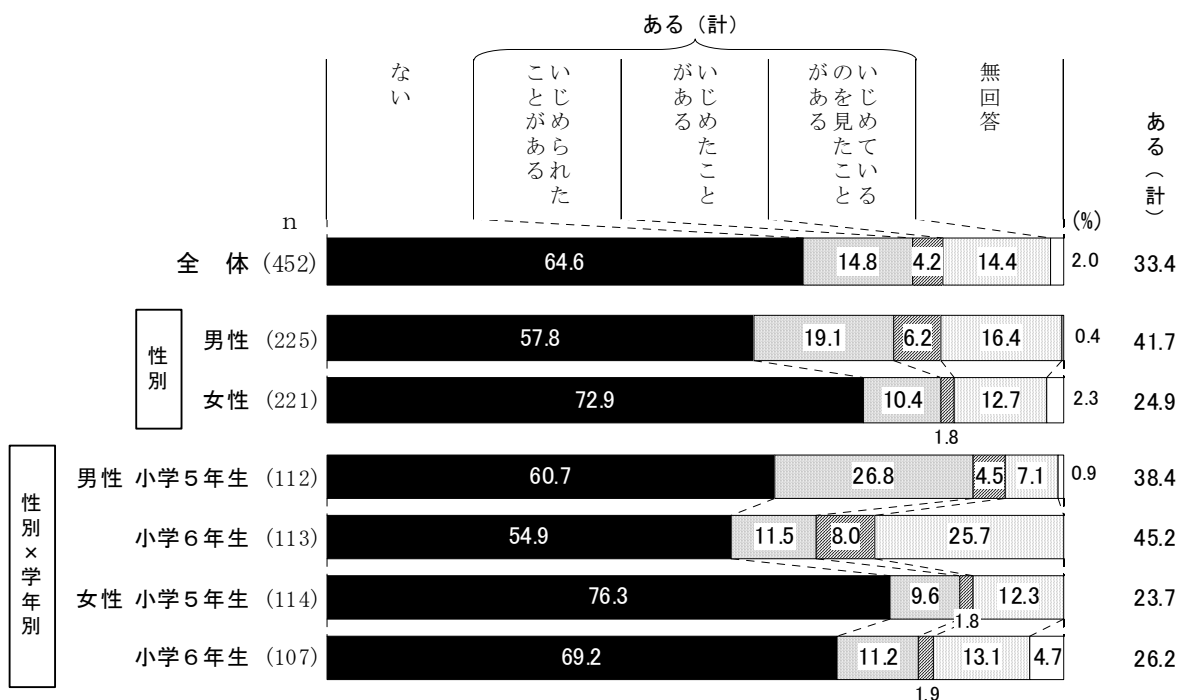
現在あなたの周りでいじめがありますか。(1つに○)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

「ない」(64.6%)が6割台半ばで、「いじめられたことがある」(14.8%)と「いじているのを見たことがある」(14.4%)が1割台半ばとなっている。性別では、「ない」は女性(72.9%)が高く、「いじめられたことがある」と「いじているのを見たことがある」は男性が高くなっている。性別×学年別では、「いじめられたことがある」は男性-小学5年生(26.8%)が男性-小学6年生(11.5%)よりも高く、一方、「いじているのを見たことがある」は男性-小学6年生(25.7%)が男性-小学5年生(7.1%)よりも高い。

図表7-1 いじめの有無(小学5・6年生)



7-1-1 いじめられたときの対応

7-1で「2. いじめられたことがある」と答えた人にお聞きします。その時、あなたはどのようにしましたか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

いじめられた経験がある67人に、その時の対応を聞いたところ、「じつとがまんした」(49.3%)が約5割、以下、「親に相談した」(44.8%)、「先生に相談した」(25.4%)となっている。性別では、女性が男性に比べて「じつとがまんした」(60.9%)、「友だちに相談した」(30.4%)、「先生に相談した」(34.8%)が高い。

図表7-2 いじめられたときの対応（小学5・6年生）

(人、%)

		n	じつとがまんした	自分を言ったり相手と文句を言ったりした	友だちに相談した	親に相談した	先生に相談した	カウンセラー、相談員に相談した	その他
小学5・6年生									
全体		67	49.3	17.9	19.4	44.8	25.4	-	9.0
性別	男性	43	41.9	20.9	14.0	44.2	20.9	-	9.3
	女性	23	60.9	13.0	30.4	43.5	34.8	-	8.7

8. 気分について

8-1 疲れていると思う頻度

あなたは、忙しくて疲れていると思うことはありますか。(1つに○)

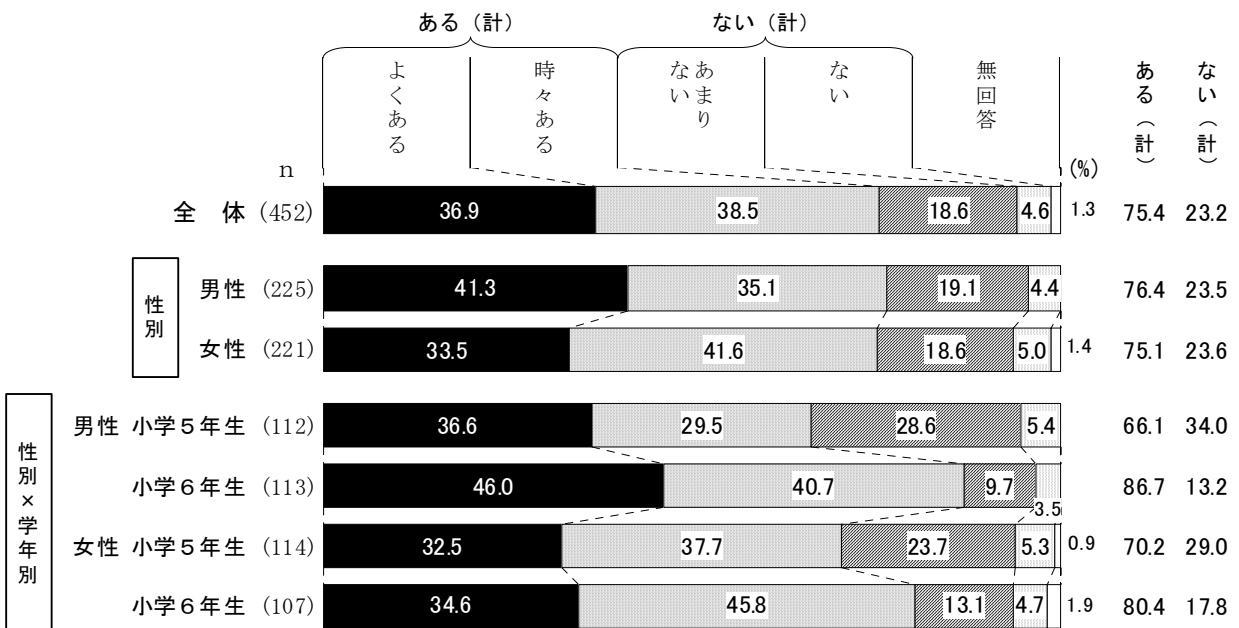
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

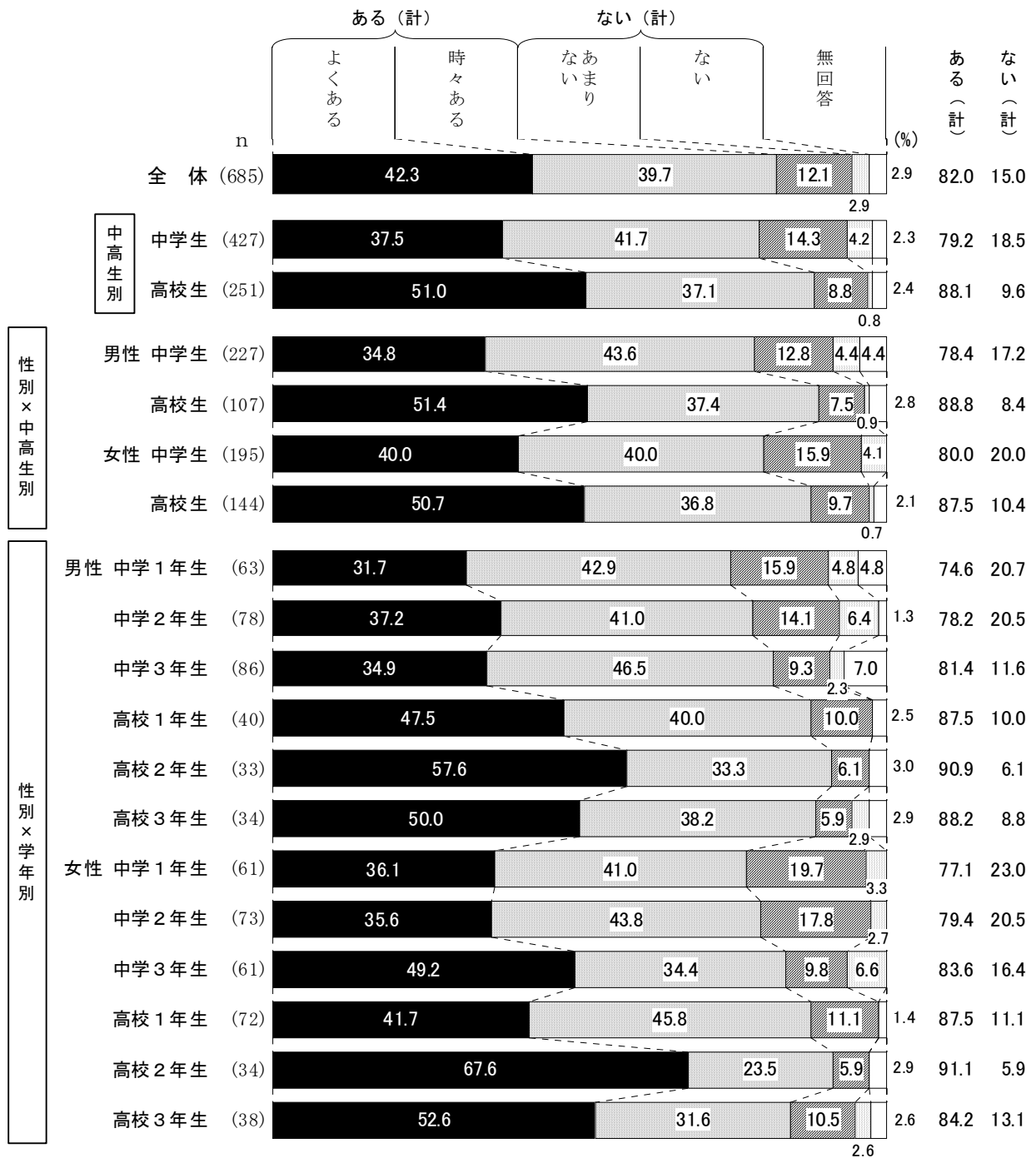
小学5・6年生については、忙しくて疲れていると思う頻度は、「よくある」(36.9%)と「時々ある」(38.5%)がほぼ同率で、両者を合わせると75.4%が「ある(計)」になる。性別では、男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「ある(計)」は男女とも小学6年生が小学5年生よりも高くなっている。

中・高校生については、「よくある」(42.3%)と「時々ある」(39.7%)がそれぞれ4割前後で、「ある(計)」は82.0%を占める。中高生別では、「ある(計)」は高校生(88.1%)が中学生(79.2%)より高くなっている。性別×中高生別では、「ある(計)」は男女とも高校生が高くなっているが、中・高校生とも男女間に差はない。性別×学年別では、「ある(計)」は男女とも高学年になるほど高く、ともに高校2年生が最も高くなっている。「よくある」に限っても男女の高校2年生以上は5割以上と高い。

図表8-1 疲れていると思う頻度(小学5・6年生)



図表 8-2 疲れていると思う頻度（中・高校生）



9. キレる行為について

9-1 キレる（キレそうになる）頻度

あなたは、キレたりキレそうになったことはありますか。（1つに○）

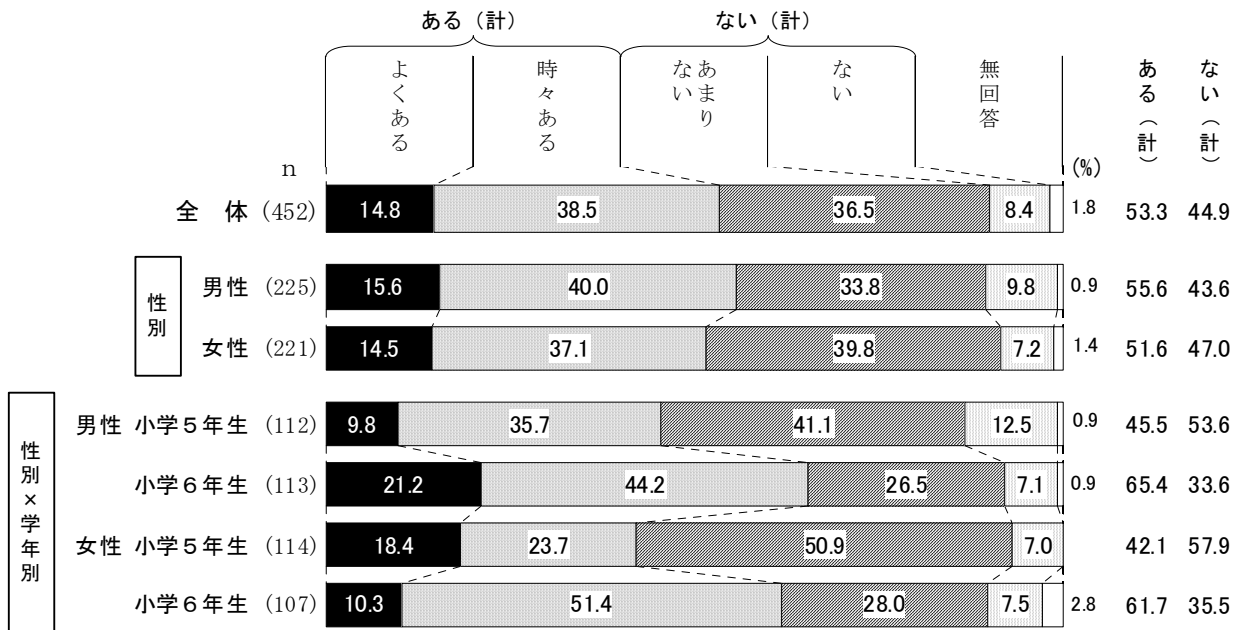
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

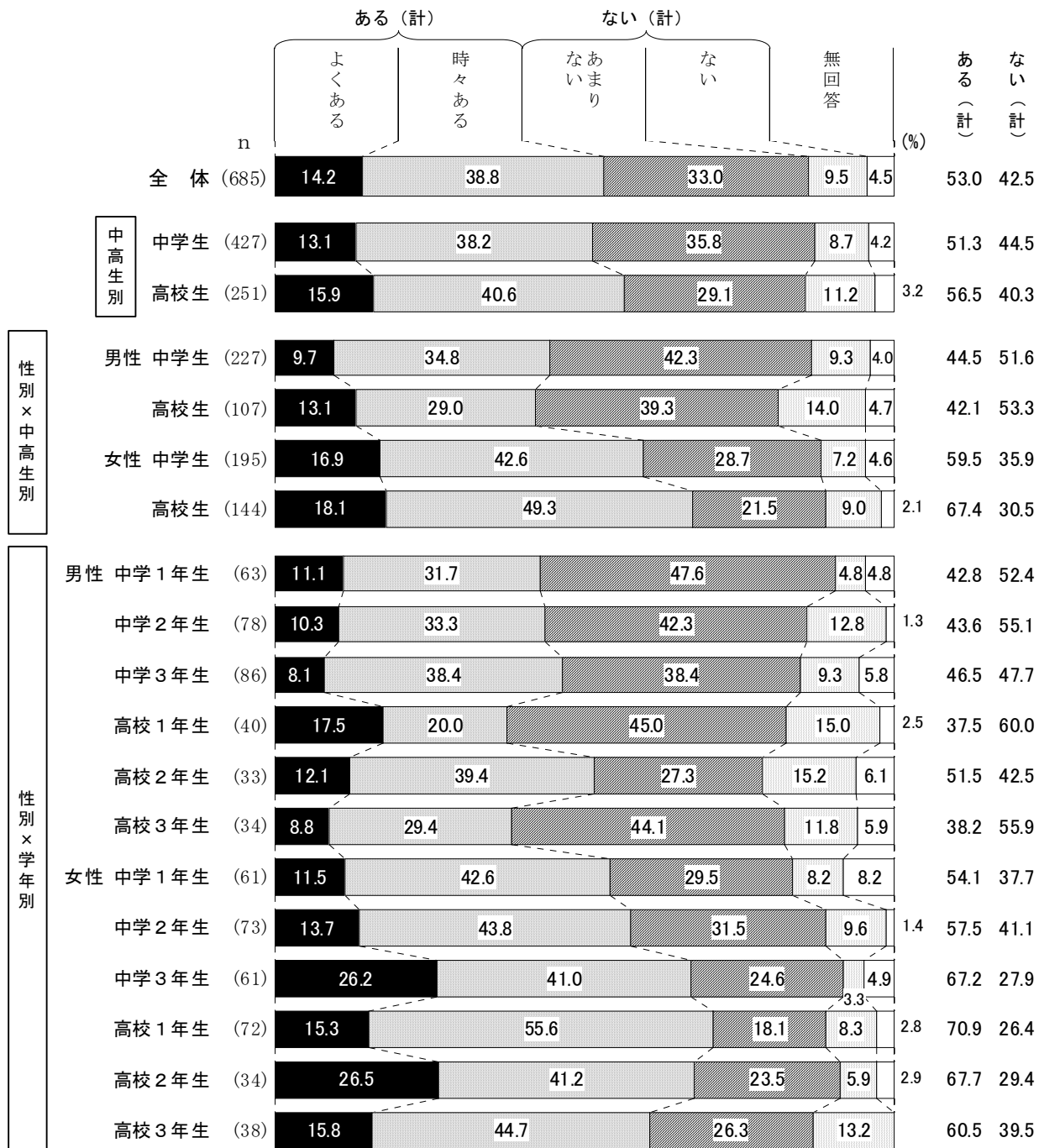
小学5・6年生については、キレたりキレそうになったことが「時々ある」（38.5%）が約4割で、これに「よくある」（14.8%）を合わせた「ある（計）」（53.3%）は5割台半ばである。性別では、男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「ある（計）」は男女とも小学6年生が小学5年生よりも高い。

中・高校生については、「ある（計）」（53.0%）は小学5・6年生と同様に5割台半ばである。中高生別では、中・高校生間に大きな差はない。性別×中高生別では、「ある（計）」は中・高校生ともに女性が高くなっている。性別×学年別では、男性は高校2年生以外は「ない（計）」が「ある（計）」を上回るが、女性では逆にすべての学年で「ある（計）」が上回っている。

図表9-1 キレる（キレそうになる）頻度（小学5・6年生）



図表9-2 キレル（キレそうになる）頻度（中・高校生）



9-1-1 キレそうになった相手

9-1で「1. よくある」または「2. 時々ある」と答えた人にお聞きします。あなたがキレそうになった相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、キレそうになった相手は、「友だち」(65.6%)が6割台半ばで特に高く、次いで「親」(46.9%)、「親以外の家族」(24.1%)、「外で出会った見知らぬ人」(17.8%)、「先生」(16.6%)となっている。性別では、「友だち」、「外で出会った見知らぬ人」、「近所の人」でいずれも男性が高くなっている。性別×学年別では、「友だち」は小学5・6年生とも男性が高い。男性-小学5年生は「親」(35.3%)、「親以外の家族」(17.6%)で低く、男性-小学6年生は「先生」(29.7%)、「外で出会った見知らぬ人」(29.7%)、「近所の人」(13.5%)で高くなっている。

中・高校生については、「友だち」(63.1%)と「親」(61.7%)が6割以上と高く、以下、「親以外の家族」(27.8%)、「先生」(25.6%)、「外で出会った見知らぬ人」(22.0%)と続いている。中高生別では、「先生」と「外で出会った見知らぬ人」で高校生が中学生よりも高い。性別×中高生別では、「先生」は男女とも高校生が高い。「親以外の家族」は中・高校生ともに女性が高く、「外で出会った見知らぬ人」は逆に中・高校生ともに男性が高くなっている。

図表9-3 キレそうになった相手（小学5・6年生／中・高校生）

(人、%)

		n	親	親以外の家族	親せき	先生	友だち	近所の人	見外で出会った人	その他	無回答
小学5・6年生											
全体		241	46.9	24.1	3.3	16.6	65.6	6.6	17.8	6.2	-
性別	男性	125	44.0	20.0	4.8	19.2	72.8	10.4	24.0	6.4	-
	女性	114	50.0	28.9	1.8	13.2	57.0	2.6	11.4	6.1	-
学性別×	男性 小学5年生	51	35.3	17.6	2.0	3.9	72.5	5.9	15.7	7.8	-
	小学6年生	74	50.0	21.6	6.8	29.7	73.0	13.5	29.7	5.4	-
	女性 小学5年生	48	45.8	22.9	4.2	14.6	54.2	2.1	10.4	4.2	-
	小学6年生	66	53.0	33.3	-	12.1	59.1	3.0	12.1	7.6	-
中・高校生											
全体		363	61.7	27.8	5.8	25.6	63.1	4.1	22.0	8.5	0.3
生中高	中学生	219	60.3	29.7	5.5	21.5	63.5	4.1	16.9	8.2	0.5
	高校生	142	63.4	25.4	6.3	32.4	62.0	4.2	30.3	9.2	-
中高生別×	男性 中学生	101	62.4	21.8	2.0	24.8	70.3	4.0	21.8	7.9	-
	高校生	45	62.2	15.6	6.7	35.6	64.4	4.4	37.8	4.4	-
	女性 中学生	116	58.6	36.2	8.6	19.0	57.8	4.3	12.9	8.6	0.9
	高校生	97	63.9	29.9	6.2	30.9	60.8	4.1	26.8	11.3	-
性別×学年別	男性 中学1年生	27	51.9	7.4	-	14.8	74.1	-	18.5	7.4	-
	中学2年生	34	58.8	29.4	5.9	20.6	67.6	11.8	29.4	11.8	-
	中学3年生	40	72.5	25.0	-	35.0	70.0	-	17.5	5.0	-
	高校1年生	15	66.7	20.0	6.7	40.0	80.0	6.7	46.7	-	-
	高校2年生	17	64.7	11.8	-	35.3	52.9	5.9	23.5	-	-
	高校3年生	13	53.8	15.4	15.4	30.8	61.5	-	46.2	15.4	-
	女性 中学1年生	33	42.4	42.4	9.1	6.1	42.4	-	9.1	12.1	3.0
	中学2年生	42	57.1	35.7	4.8	7.1	61.9	4.8	11.9	4.8	-
	中学3年生	41	73.2	31.7	12.2	41.5	65.9	7.3	17.1	9.8	-
	高校1年生	51	56.9	31.4	2.0	31.4	54.9	3.9	27.5	11.8	-
	高校2年生	23	73.9	26.1	4.3	34.8	73.9	4.3	26.1	8.7	-
高校3年生	23	69.6	30.4	17.4	26.1	60.9	4.3	26.1	13.0	-	

10. 地域とのかかわりについて

10-1 参加経験のある区や地域の行事

あなたは、区や地域のイベントに参加したことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「町内行事（お祭り、盆踊り）」（56.6%）が5割台半ばで最も高く、「音楽鑑賞、演劇鑑賞、映画鑑賞」（28.8%）、「青少年向けスポーツ教室・大会」（17.9%）と続いている。なお、「参加したことはない」は24.3%である。性別では、「青少年向けスポーツ教室・大会」で男性（27.1%）が女性（9.0%）よりも高い。

中・高校生については、「町内行事（お祭り、盆踊り）」（54.6%）が5割台半ばで最も高く、「青少年向けスポーツ教室・大会」（15.0%）と「音楽鑑賞、演劇鑑賞、映画鑑賞」（14.5%）が1割台半ばとなっている。なお、「参加したことはない」は30.7%である。中高生別では、中・高校生間で大きな差はない。性別×中高生別では、「町内行事（お祭り、盆踊り）」は中・高校生ともに女性が高くなっている。「青少年向けスポーツ教室・大会」は男性-中学生（21.1%）が高く、「参加したことはない」は男性-高校生（39.3%）が高くなっている。

図表10-1 参加経験のある区や地域の行事（小学5・6年生／中・高校生）

		n	趣青少年向けの講座、	教青少年向けスポーツ	盆町内行事（お祭り、盆踊り）	賞音楽鑑賞、映画鑑賞、演劇鑑賞	パスハイク	その他	参加したことはない	無回答
小学5・6年生										
全体		452	5.1	17.9	56.6	28.8	3.5	4.4	24.3	1.8
性別	男性	225	5.3	27.1	55.6	29.8	5.3	3.6	24.4	0.9
	女性	221	5.0	9.0	59.3	28.1	1.8	5.4	24.0	1.4
中・高校生										
全体		685	5.8	15.0	54.6	14.5	1.5	2.2	30.7	5.8
生中高別	中学生	427	4.2	14.8	54.6	15.0	1.4	2.6	29.0	6.6
	高校生	251	8.8	15.9	55.8	13.9	1.6	1.6	33.9	2.8
中高生別×性別	男性 中学生	227	3.1	21.1	50.7	12.8	2.2	3.1	29.5	9.3
	高校生	107	4.7	14.0	46.7	11.2	0.9	2.8	39.3	2.8
	女性 中学生	195	5.6	7.7	60.5	17.9	0.5	2.1	26.7	3.6
	高校生	144	11.8	17.4	62.5	16.0	2.1	0.7	29.9	2.8

10-1-1 参加したことがない理由

10-1で「7. 参加したことはない」と答えた人にお聞きします。参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

区や地域のイベントに参加したことがない人に、その理由を聞いたところ、小学5・6年生については、「このようなイベントに興味がないから」(43.6%)が最も高く、以下、「イベントがあることを知らないから」(37.3%)、「時間が合わないから」(31.8%)となっている。性別では、「このようなイベントに興味がないから」で男性(52.7%)が女性(34.0%)よりも高い。性別×学年別では、「このようなイベントに興味がないから」で男性-小学6年生(58.1%)が高い。

中・高校生については、「このようなイベントに興味がないから」(63.3%)が特に高く、以下、「イベントがあることを知らないから」(29.5%)、「時間が合わないから」(19.5%)となっている。中高生別では、「時間が合わないから」と「このようなイベントに興味がないから」で中学生が高校生よりも高い。性別×中高生別では、「時間が合わないから」は男女ともに中学生が高い。女性-高校生は「このようなイベントに興味がないから」(46.5%)が低く、「イベントがあることを知らないから」(41.9%)が高い。

図表10-2 参加したことがない理由(小学5・6年生／中・高校生)

		(人、%)					
		n	時間が合わないから	をイベント知らないから	にこの興味がないイベント	その他	無回答
小学5・6年生							
全体		110	31.8	37.3	43.6	5.5	1.8
性別	男性	55	25.5	34.5	52.7	7.3	3.6
	女性	53	39.6	39.6	34.0	3.8	-
性別×学年別	男性 小学5年生	24	12.5	45.8	45.8	4.2	4.2
	小学6年生	31	35.5	25.8	58.1	9.7	3.2
	女性 小学5年生	27	55.6	40.7	18.5	3.7	-
	小学6年生	26	23.1	38.5	50.0	3.8	-
中・高校生							
全体		210	19.5	29.5	63.3	3.8	2.9
生中高	中学生	124	25.0	27.4	65.3	5.6	2.4
	高校生	85	10.6	32.9	61.2	1.2	3.5
中高生別	男性 中学生	67	26.9	25.4	61.2	6.0	3.0
	高校生	42	9.5	23.8	76.2	-	2.4
	女性 中学生	52	25.0	30.8	69.2	5.8	1.9
	高校生	43	11.6	41.9	46.5	2.3	4.7

10-2 実践したボランティア活動の種類

あなたは、地域で次のようなボランティアをやったことがありますか（学校での「奉仕体験」は除く）。（あてはまるものすべてに○）

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「ボランティアはやったことがない」（59.7%）が約6割を占める。実践したものの中では、「募金活動」（18.8%）と「お祭りなどの行事の手伝い」（12.6%）が1割台となっている。性別では、「募金活動」は男性（21.8%）が女性（15.8%）よりも高い。性別×学年別では、「お祭りなどの行事の手伝い」で男性-小学5年生（16.1%）が男性-小学6年生（8.8%）よりも高い。

中・高校生については、「ボランティアはやったことがない」（46.4%）が4割台半ば、実践したものの中では、「清掃活動」（21.9%）と「お祭りなどの行事の手伝い」（19.9%）が2割前後、「募金活動」（17.5%）が約2割となっている。中高生別では、「ボランティアはやったことがない」は中学生（50.6%）が高く、「清掃活動」と「保育園などでの子どもの遊び相手」は中学生より高校生が高くなっている。性別×中高生別では、女性-高校生は「お祭りなどの行事の手伝い」（28.5%）が高く、女性-中学生は「ボランティアはやったことがない」（53.8%）が高くなっている。性別×学年別では、「ボランティアはやったことがない」は男女とも高校2年生が最も低い。

図表10-3 実践したボランティア活動の種類（小学5・6年生／中・高校生）

(人、%)

		n	募 金 活 動	伝のお い行祭 事りの 手など	清 掃 活 動	の 遊 び 相 手 も ど	保 育 園 な ど	の 駅 頭 な ど で	そ の 他	こ ア ボ ラ ン テ イ が や つ た い	無 回 答
小学5・6年生											
全 体		452	18.8	12.6	6.0	6.6	0.7	1.1	59.7	4.4	
性 別	男 性	225	21.8	12.4	7.6	7.1	0.4	1.8	58.7	3.6	
	女 性	221	15.8	13.1	4.5	6.3	0.9	0.5	61.5	4.1	
学 性 年 別 ×	男性 小学5年生	112	18.8	16.1	6.3	7.1	-	1.8	58.0	4.5	
	小学6年生	113	24.8	8.8	8.8	7.1	0.9	1.8	59.3	2.7	
	女性 小学5年生	114	15.8	11.4	1.8	6.1	-	-	62.3	5.3	
	小学6年生	107	15.9	15.0	7.5	6.5	1.9	0.9	60.7	2.8	
中・高校生											
全 体		685	17.5	19.9	21.9	7.4	1.0	2.2	46.4	9.6	
生中 別高	中学生	427	16.9	18.5	16.9	4.4	0.9	1.6	50.6	10.5	
	高校生	251	18.7	22.7	31.1	12.7	1.2	3.2	40.2	6.4	
中 高 生 別 ×	男性 中学生	227	19.4	17.6	17.2	2.6	0.9	1.8	47.1	12.8	
	高校生	107	14.0	15.0	29.9	13.1	0.9	3.7	43.9	8.4	
	女性 中学生	195	13.8	20.0	16.9	6.7	1.0	1.5	53.8	8.2	
	高校生	144	22.2	28.5	31.9	12.5	1.4	2.8	37.5	4.9	
性 別 × 学 年 別	男性 中学1年生	63	27.0	15.9	12.7	1.6	-	1.6	42.9	19.0	
	中学2年生	78	16.7	23.1	25.6	5.1	1.3	-	46.2	5.1	
	中学3年生	86	16.3	14.0	12.8	1.2	1.2	3.5	51.2	15.1	
	高校1年生	40	15.0	15.0	27.5	12.5	-	5.0	42.5	5.0	
	高校2年生	33	21.2	15.2	42.4	21.2	3.0	-	36.4	12.1	
	高校3年生	34	5.9	14.7	20.6	5.9	-	5.9	52.9	8.8	
	女性 中学1年生	61	13.1	13.1	11.5	8.2	-	3.3	50.8	8.2	
	中学2年生	73	13.7	26.0	23.3	4.1	-	1.4	49.3	5.5	
	中学3年生	61	14.8	19.7	14.8	8.2	3.3	-	62.3	11.5	
	高校1年生	72	19.4	25.0	27.8	13.9	1.4	2.8	45.8	-	
	高校2年生	34	29.4	35.3	35.3	11.8	2.9	2.9	20.6	14.7	
	高校3年生	38	21.1	28.9	36.8	10.5	-	2.6	36.8	5.3	

11. 遊びについて

11-1 ポータブルゲーム機やテレビゲーム機の所持状況

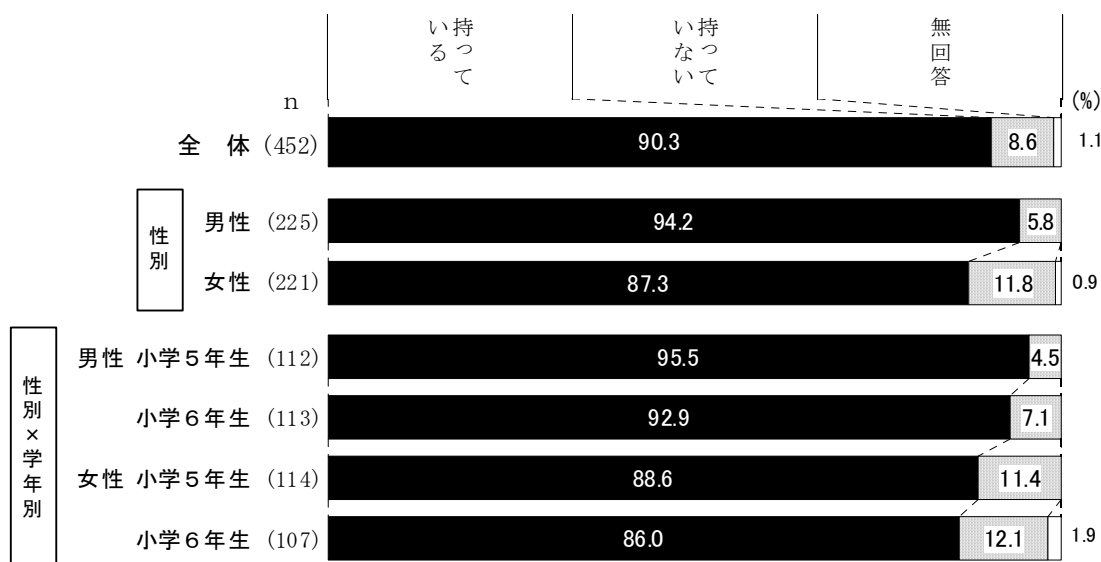
あなたは、ポータブルゲーム機やテレビゲーム機を持っていますか。(1つに○)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

ポータブルゲーム機やテレビゲーム機を「持っている」は90.3%である。性別では、「持っている」は男性(94.2%)で高くなっている。性別×学年別では、「持っている」は男女とも小学5・6年生間で大きな差はないが、小学5年生、小学6年生ともに男性が高い。

図表11-1 ポータブルゲーム機やテレビゲーム機の所持状況 (小学5・6年生)



11-2 平日にゲームをする時間

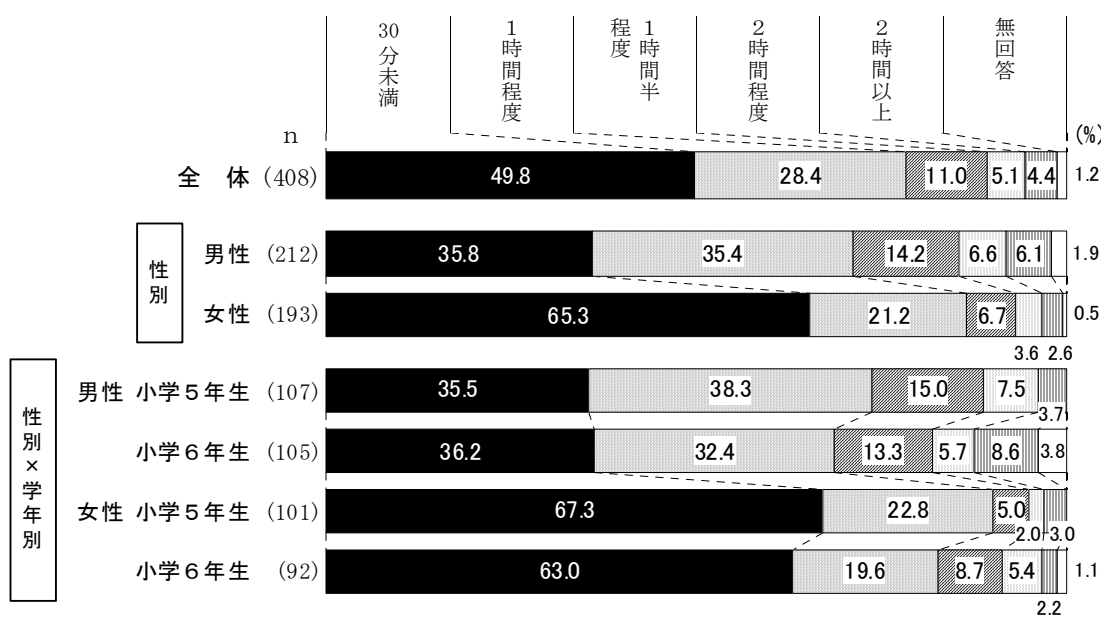
11-1で「1. 持っている」と答えた人にお聞きします。平日、1日どれくらいの時間ゲームをしますか。(1つに〇)

【対象：小学5・6年生】

■全体の傾向：

平日にゲームをする時間は、「30分未満」(49.8%)が約5割で、時間が長くなるほど割合は低い。性別では、「30分未満」は女性(65.3%)が高いが、「1時間程度」や「1時間半程度」では男性が高くなっている。性別×学年別では、小学5・6年生ともに「30分未満」は女性が高く、「1時間程度」や「1時間半程度」は男性が高い。

図表11-2 平日にゲームをする時間(小学5・6年生)



12. まわりの人との関係について

12-1 友だちといる時の状況

友だちといる時は楽しいですか。(1つに〇)

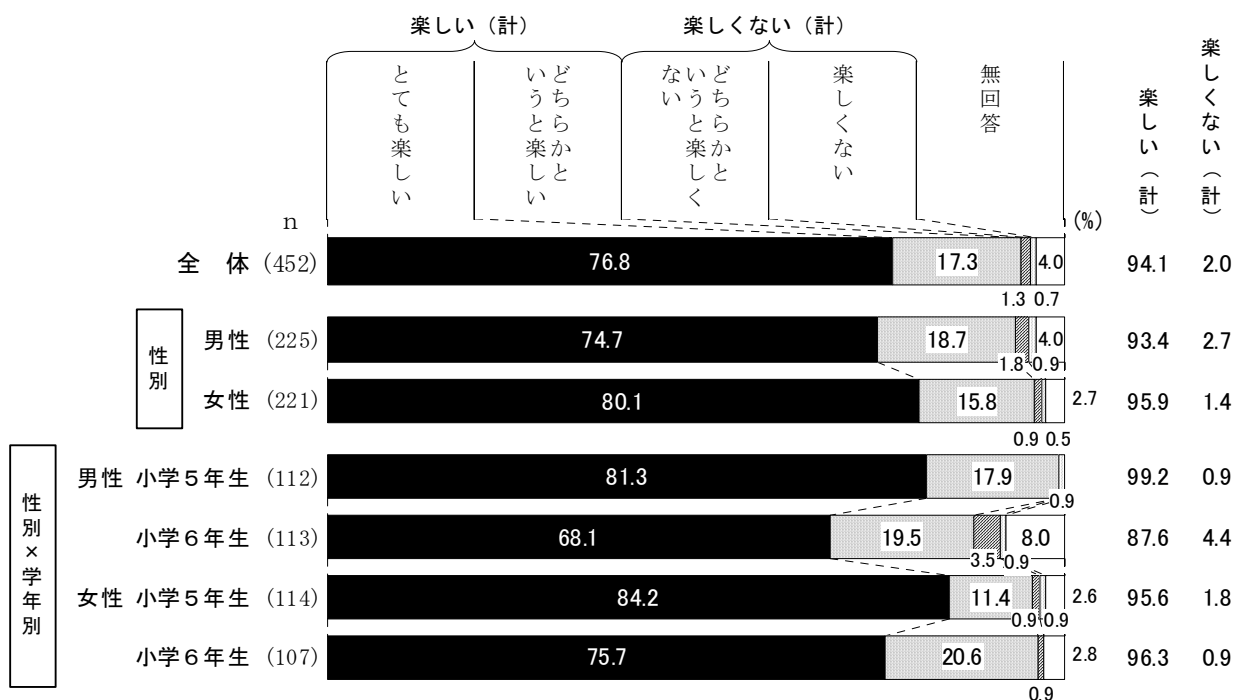
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

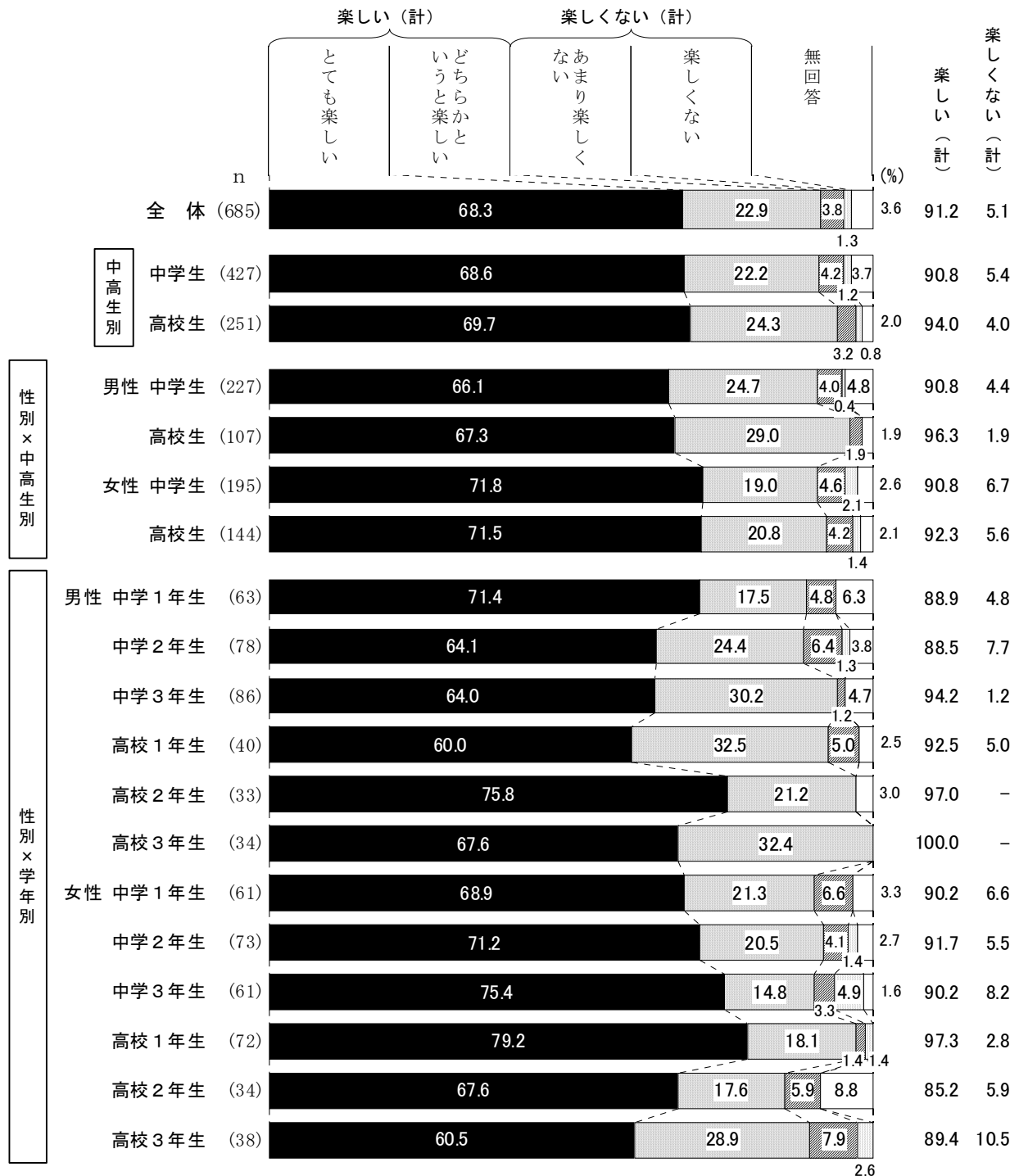
小学5・6年生については、友だちといる時の感想は、「とても楽しい」(76.8%)が7割台半ばで、「どちらかという楽しい」(17.3%)と合わせた「楽しい(計)」(94.1%)は9割台半ばとなっている。性別では、男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「楽しい(計)」は男性-小学5年生(99.2%)が男性-小学6年生(87.6%)よりも高い。

中・高校生については、「とても楽しい」(68.3%)が約7割で、「どちらかという楽しい」(22.9%)と合わせた「楽しい(計)」(91.2%)は9割を超える。中高生別では、中・高校生間に大きな差はない。性別×中高生別では、「楽しい(計)」は男性-高校生(96.3%)が男性-中学生(90.8%)よりも高くなっている。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「楽しい(計)」が高い傾向にある。女性は中学3年生、高校2・3年生で「楽しい(計)」が男性よりも低い。

図表12-1 友だちといる時の状況(小学5・6年生)



図表12-2 友だちといえる時の状況（中・高校生）



12-2 友だちのつき合い方に関する意識

友だちのつき合い方について、次のことをどう思いますか。(それぞれ1つに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた「そう思う(計)」は、「①友だちの数は多いほうがよい」(93.8%)で9割台半ばを占め、次いで「④悩み事はあまり友だちに話さないほうだ」(56.2%)と「②何をするかによって、友だちを選ぶほうだ」(54.6%)で5割台半ばとなっている。一方、「そう思わない」と「どちらかというと思わない」を合わせた「そう思わない(計)」は、「⑥友だち同士はただの知り合いである」(90.7%)、「⑤友だちといるよりひとりであるほうが大切だ」(88.0%)、「⑦フルネームで本名がわからない友だちが結構いる」(87.4%)で9割前後と高い。

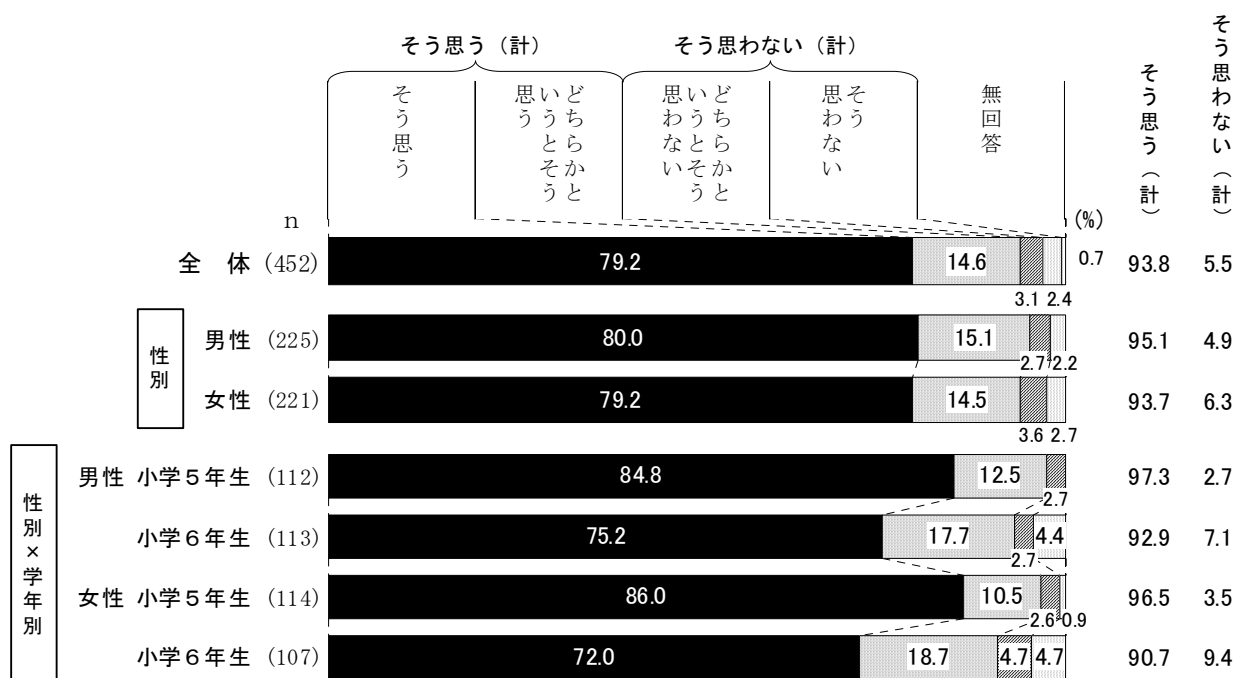
中・高校生については、「そう思う(計)」が「①友だちの数は多いほうがよい」(81.1%)で8割を超え、次いで「②何をするかによって、友だちを選ぶほうだ」(60.3%)、「④悩み事はあまり友だちに話さないほうだ」(48.0%)、「③友だち関係はあっさりしていて、お互い深入りしないほうだ」(42.9%)となっている。一方、「そう思わない(計)」は、「⑥友だち同士はただの知り合いである」(83.9%)が8割台半ばと最も高く、「⑦フルネームで本名がわからない友だちが結構いる」(79.4%)と「⑤友だちといるよりひとりであるほうが大切だ」(77.6%)が約8割となっている。

①友だちの数は多いほうがよい

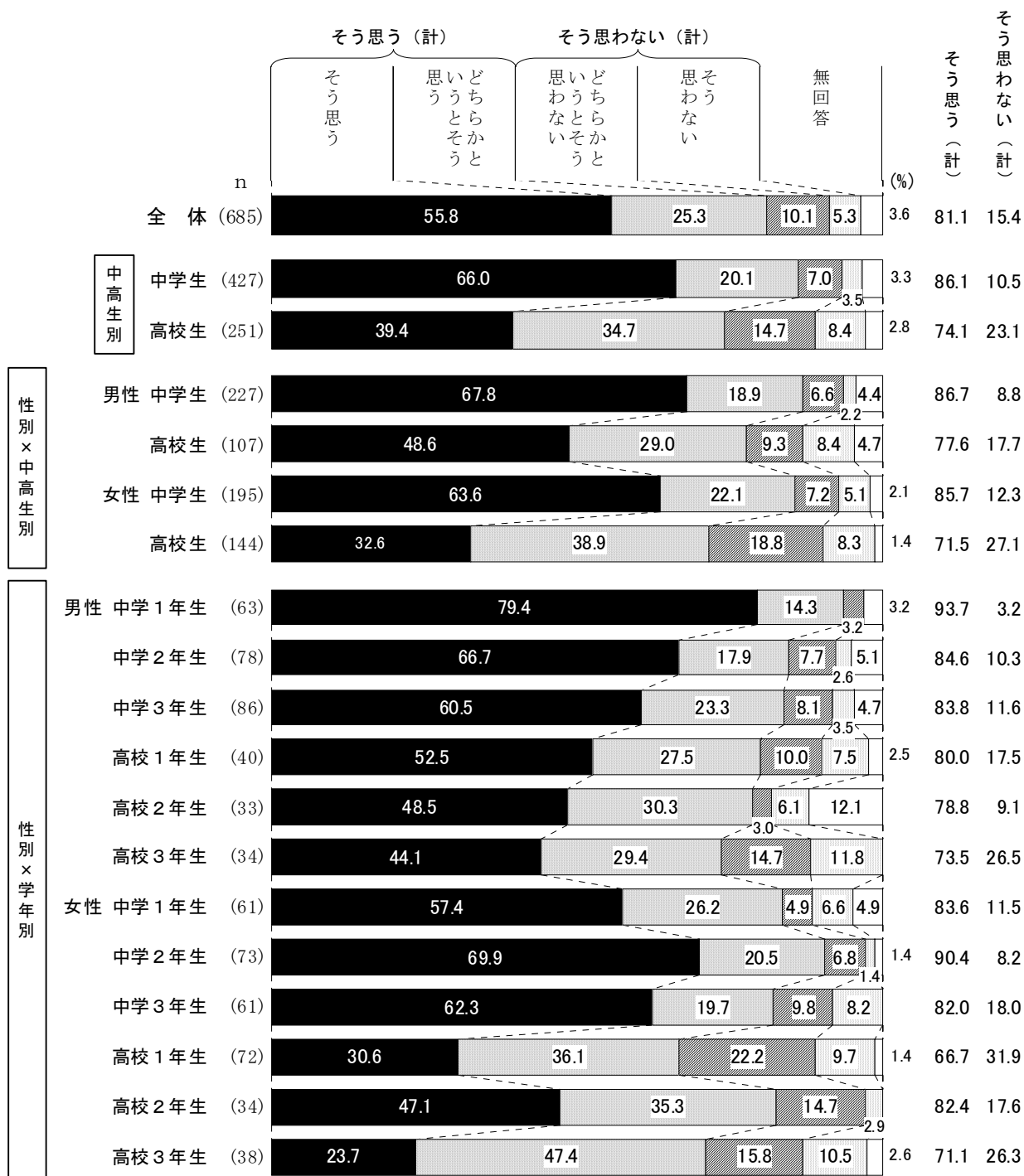
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（93.8%）は9割台半ばと高い。性別では、男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「そう思う（計）」は女性-小学5年生（96.5%）が女性-小学6年生（90.7%）よりも高い。

中・高校生については、「そう思う（計）」（81.1%）は8割を超える。中高生別では、「そう思う（計）」は中学生（86.1%）が高校生（74.1%）よりも高くなっている。性別×中高生別では、男女とも「そう思う（計）」は中学生が高校生よりも高い。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「そう思う（計）」が低くなっている。女性は「そう思う（計）」が高校1年生（66.7%）で6割台と低い。

図表12-3 友だちの数は多いほうがよい（小学5・6年生）



図表12-4 友だちの数は多いほうがよい（中・高校生）

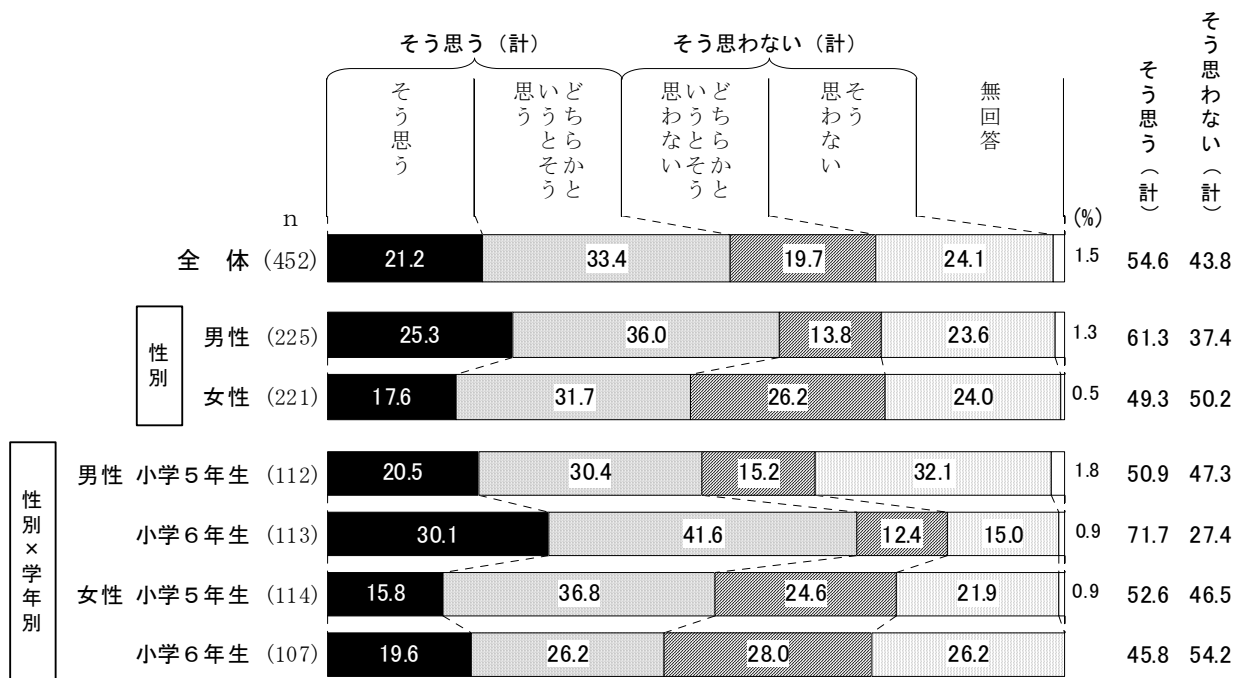


②何をするかによって、友だちを選ぶほうだ

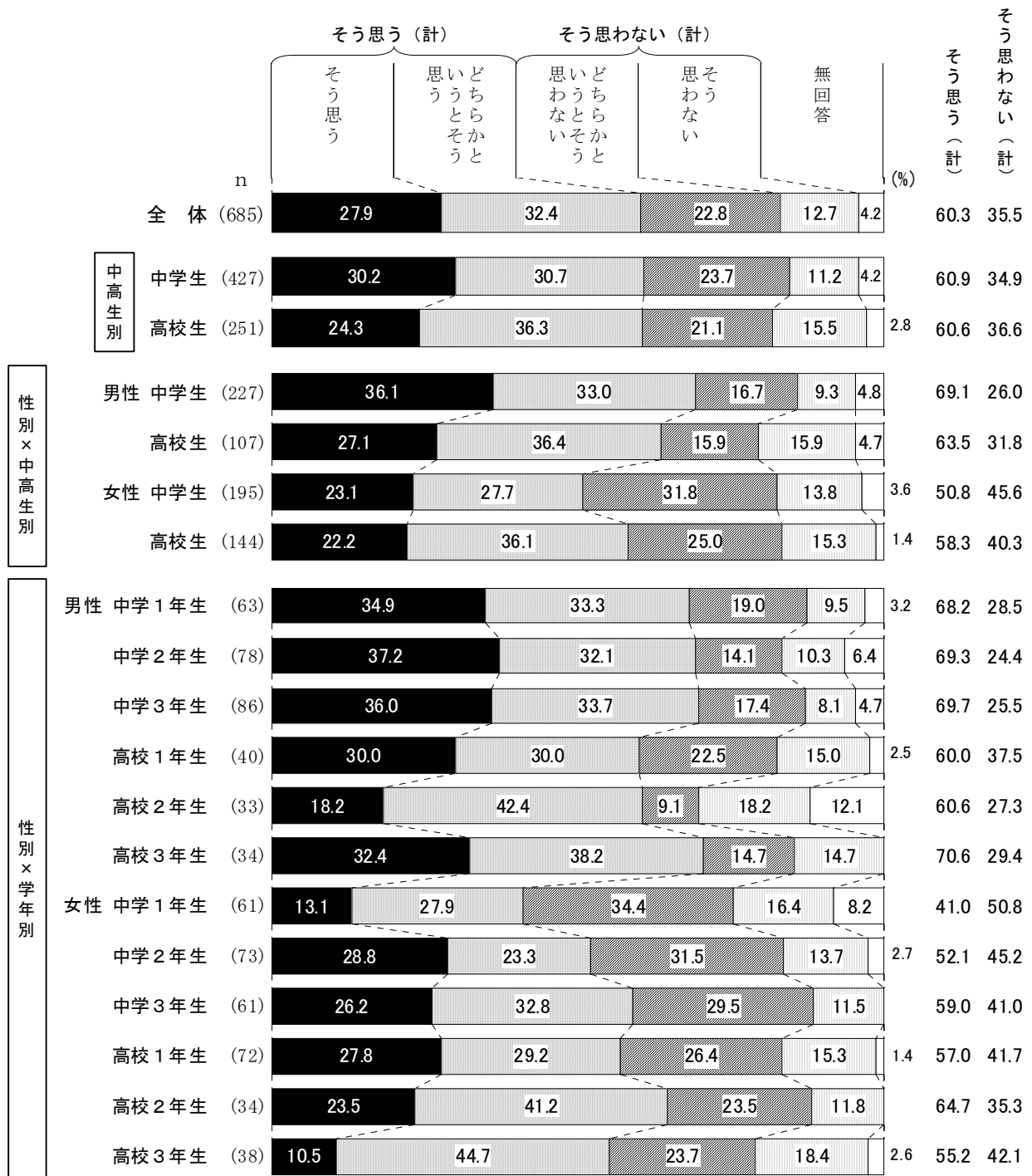
小学5・6年生については、「そう思う（計）」(54.6%)は5割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は男性(61.3%)が高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性-小学6年生(71.7%)で特に高い。

中・高校生については、「そう思う（計）」(60.3%)が6割となっている。中高生別では、中・高校生間に大きな差はない。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は中・高校生とも男性が女性よりも高くなっている。性別×学年別では、男性は「そう思う（計）」がほとんどの学年で6割台だが、女性は中学1年生(41.0%)が特に低い。

図表12-5 何をするかによって、友だちを選ぶほうだ（小学5・6年生）



図表12-6 何をするかによって、友だちを選ぶほうだ（中・高校生）

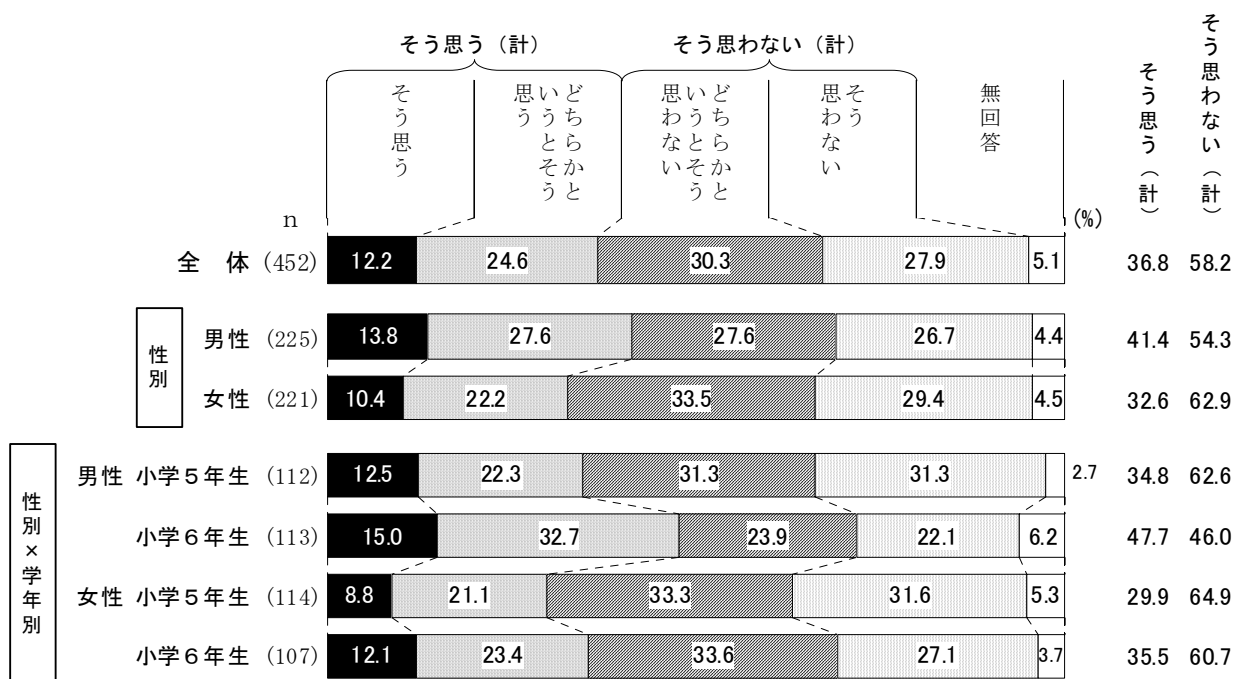


③友だち関係はあっさりしていて、お互い深入りしないほうだ

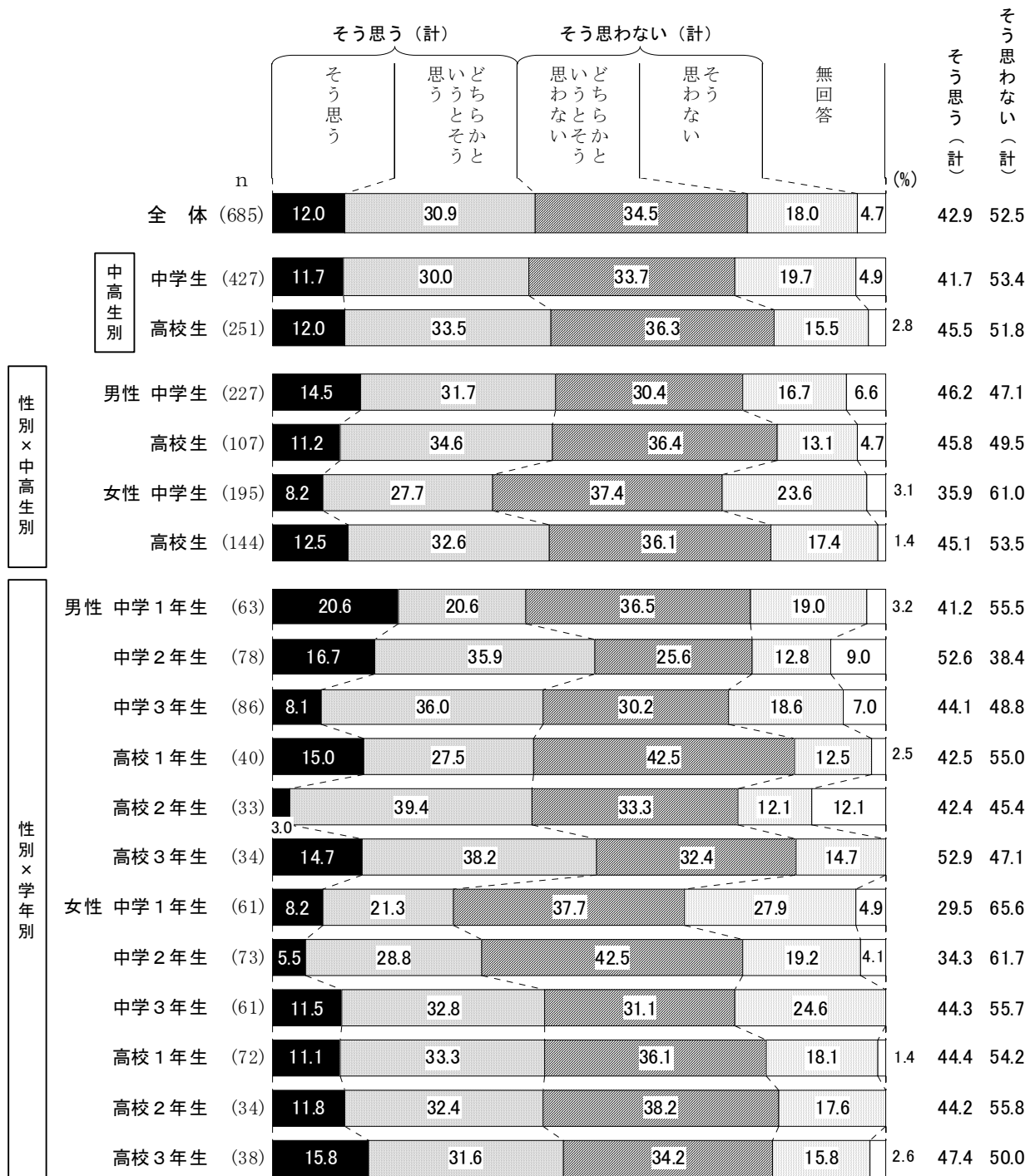
小学5・6年生については、「そう思う（計）」(36.8%)は3割台半ばで、「そう思わない（計）」(58.2%)が高くなっている。性別では、男性(41.4%)が女性(32.6%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性-小学6年生(47.7%)が高い。

中・高校生については、「そう思う（計）」(42.9%)は4割を超える。中高生別では、中・高校生間に大きな差はない。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は女性-中学生(35.9%)で3割台半ばと低くなっている。性別×学年別では、女性は高学年になるほど「そう思う（計）」が高い傾向が見られる。男性は中学2年生(52.6%)と高校3年生(52.9%)で5割以上と高くなっている。

図表12-7 友だち関係はあっさりしていて、お互い深入りしないほうだ（小学5・6年生）



図表12-8 友だち関係はあっさりしていて、お互い深入りしないほうだ（中・高校生）

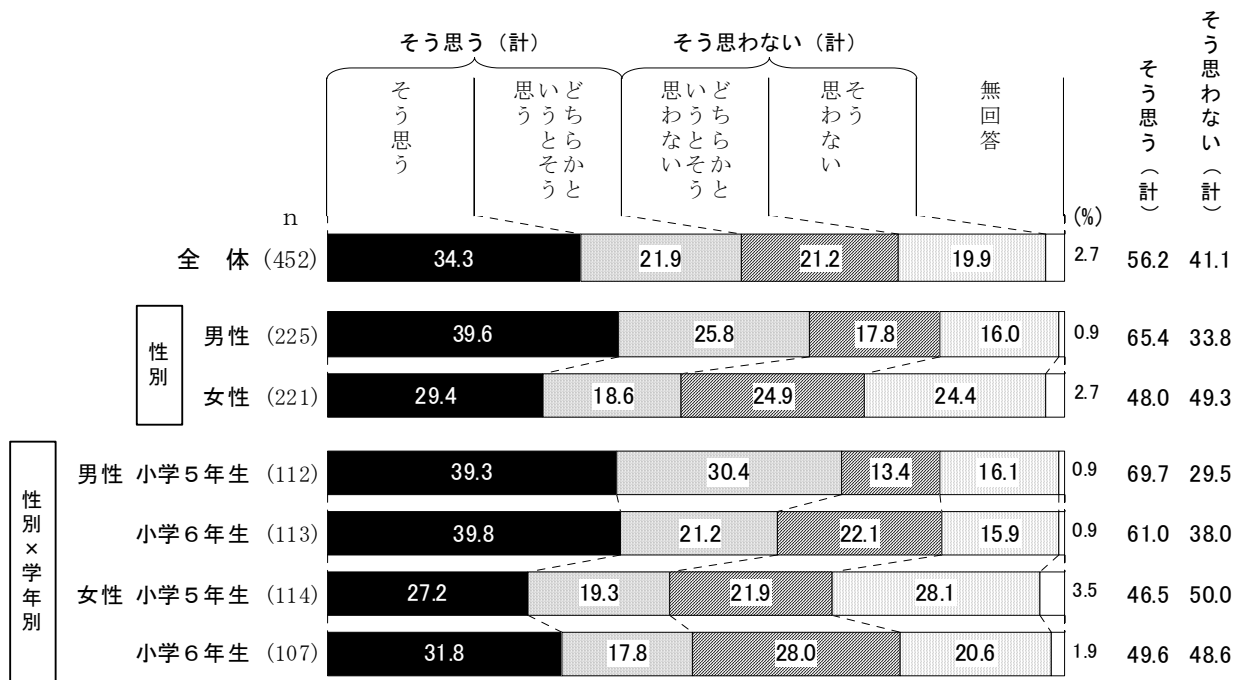


④悩み事はあまり友だちに話さないほうだ

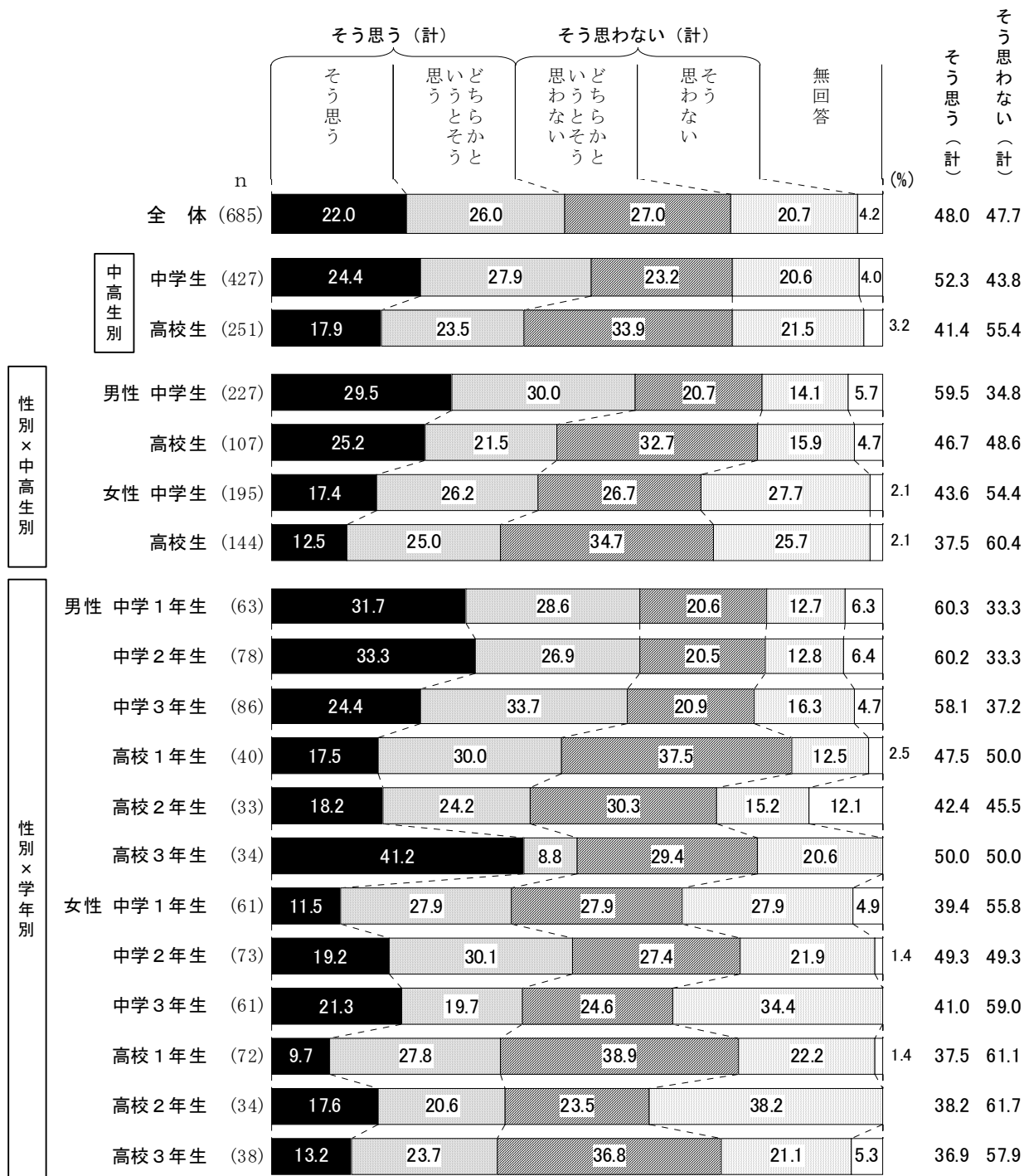
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（56.2%）が5割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は男性（65.4%）が女性（48.0%）よりも高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男女とも小学5・6年生間で大きな差はなく、小学5・6年生とも男性が高くなっている。

中・高校生については、「そう思う（計）」（48.0%）と「そう思わない（計）」（47.7%）がほぼ同率となっている。中高生別では、「そう思う（計）」は中学生（52.3%）が高校生（41.4%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男性-中学生（59.5%）が高くなっている。性別×学年別では、「そう思う」は男性-高校3年生（41.2%）が特に高くなっており、「そう思う（計）」では男性の中学1から3年生で高い。

図表12-9 悩み事はあまり友だちに話さないほうだ（小学5・6年生）



図表12-10 悩み事はあまり友だちに話さないほうだ（中・高校生）

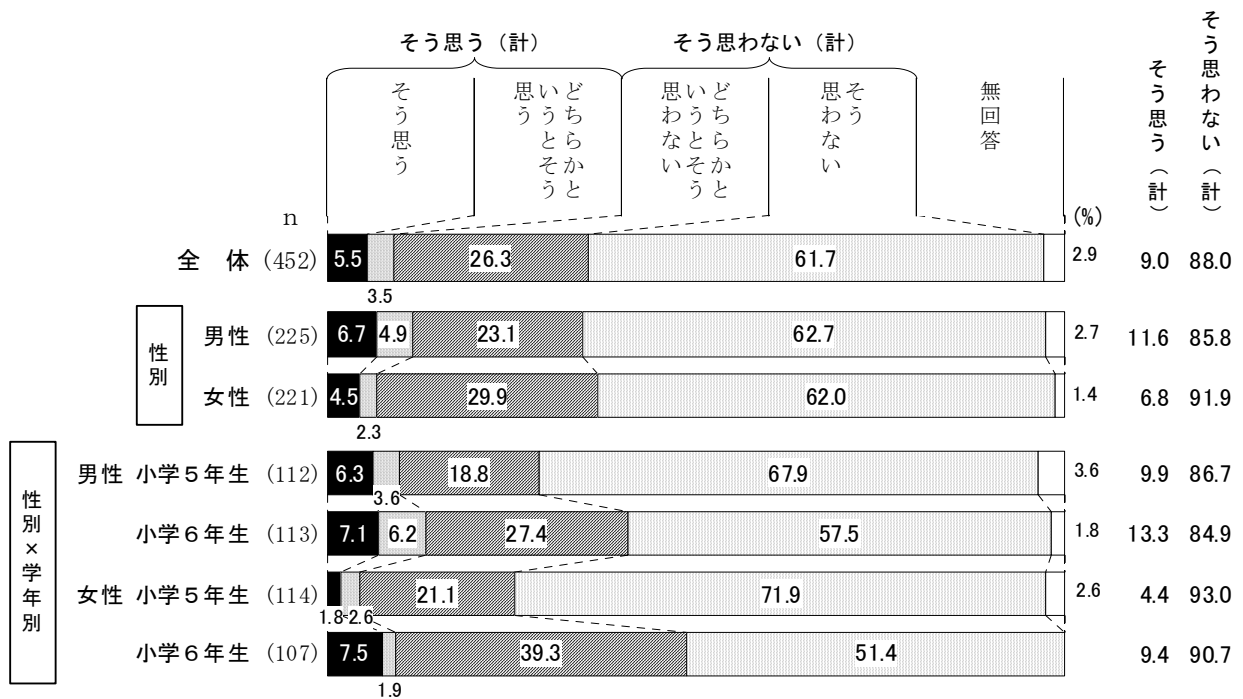


⑤友だちというよりひとりであるほうが大切だ

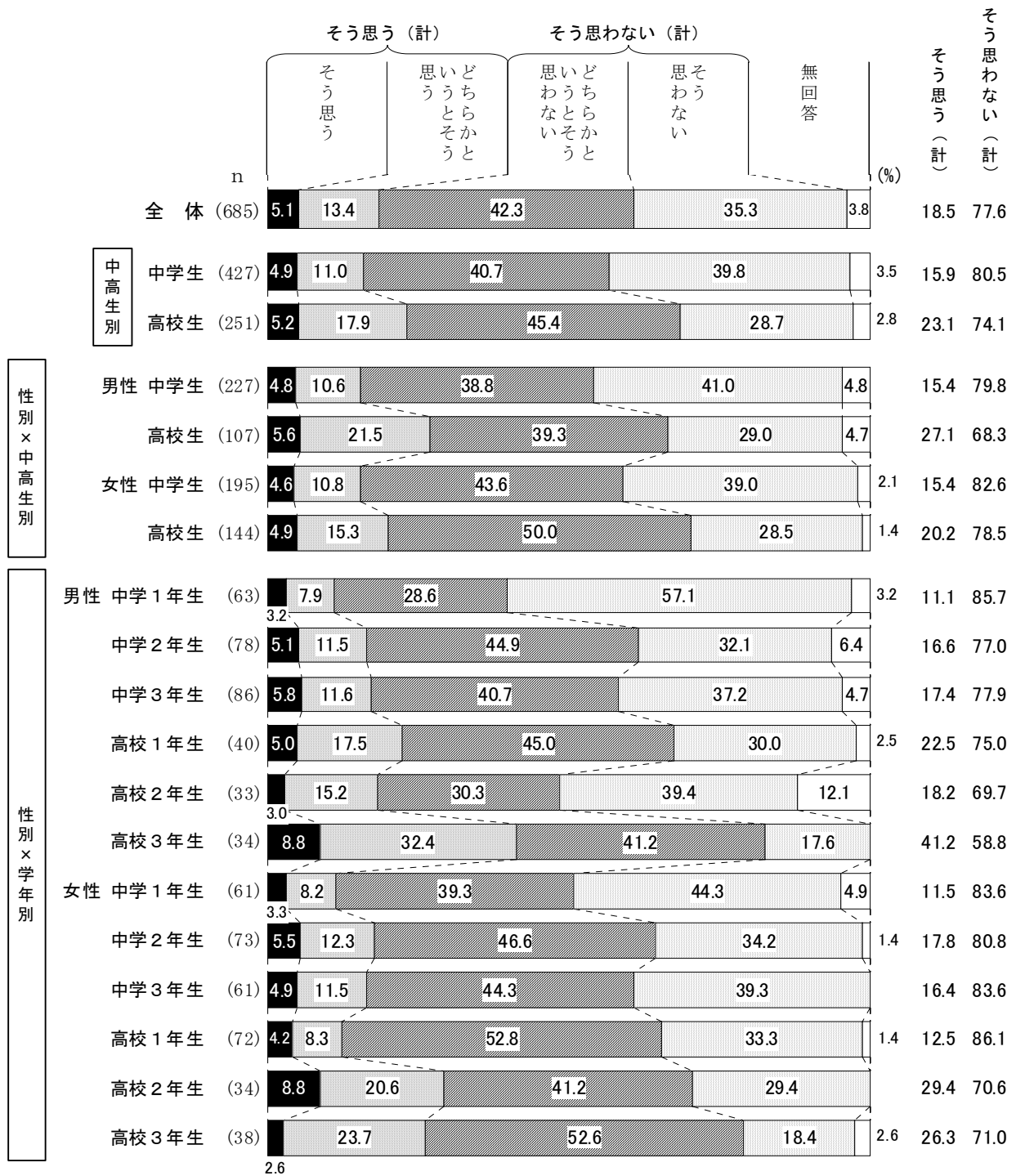
小学5・6年生については、「そう思わない（計）」（88.0%）が約9割と高くなっている。性別、性別×学年別では、「そう思わない（計）」に関して大きな差はない。

中・高校生については、「そう思わない（計）」（77.6%）が約8割となっている。中高生別では、「そう思わない（計）」は中学生（80.5%）が高校生（74.1%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思わない（計）」は男性-高校生（68.3%）で低く、他ではいずれも8割前後となっている。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「そう思わない（計）」が低くなる傾向にある。女性は高校2・3年生で「そう思わない（計）」が低い。

図表12-11 友だちというよりひとりであるほうが大切だ（小学5・6年生）



図表12-12 友だちというよりひとりであるほうが大切だ（中・高校生）

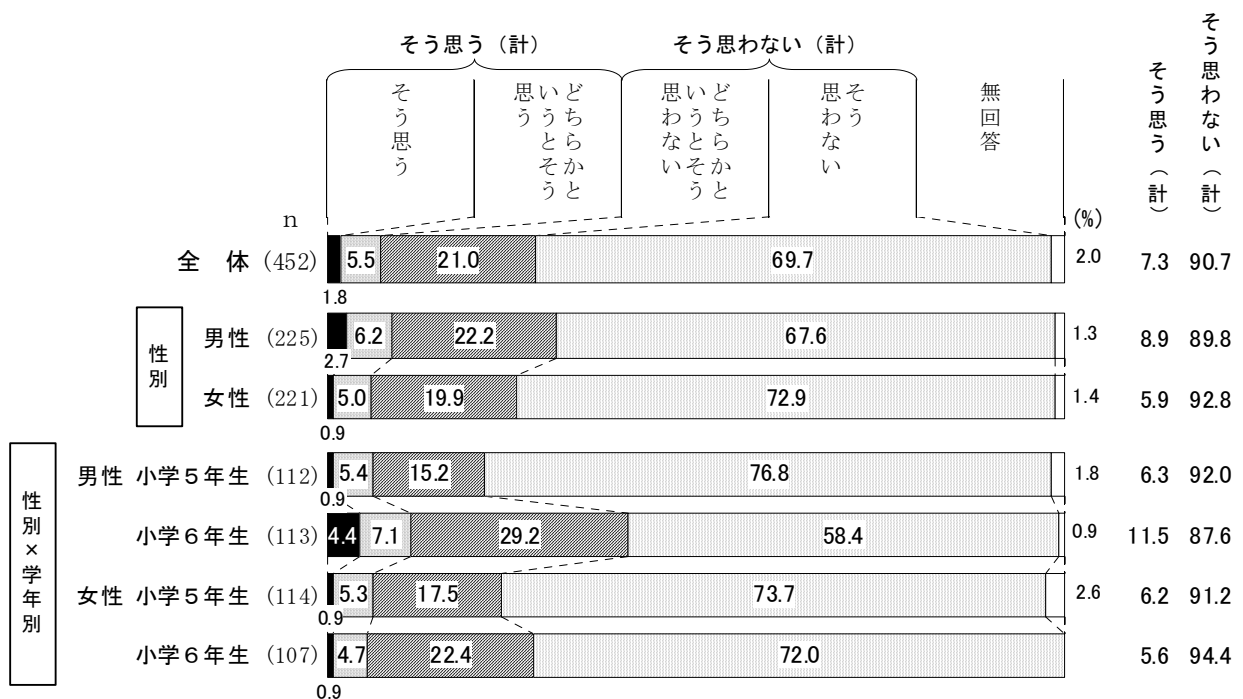


⑥友だち同士はただの知り合いである

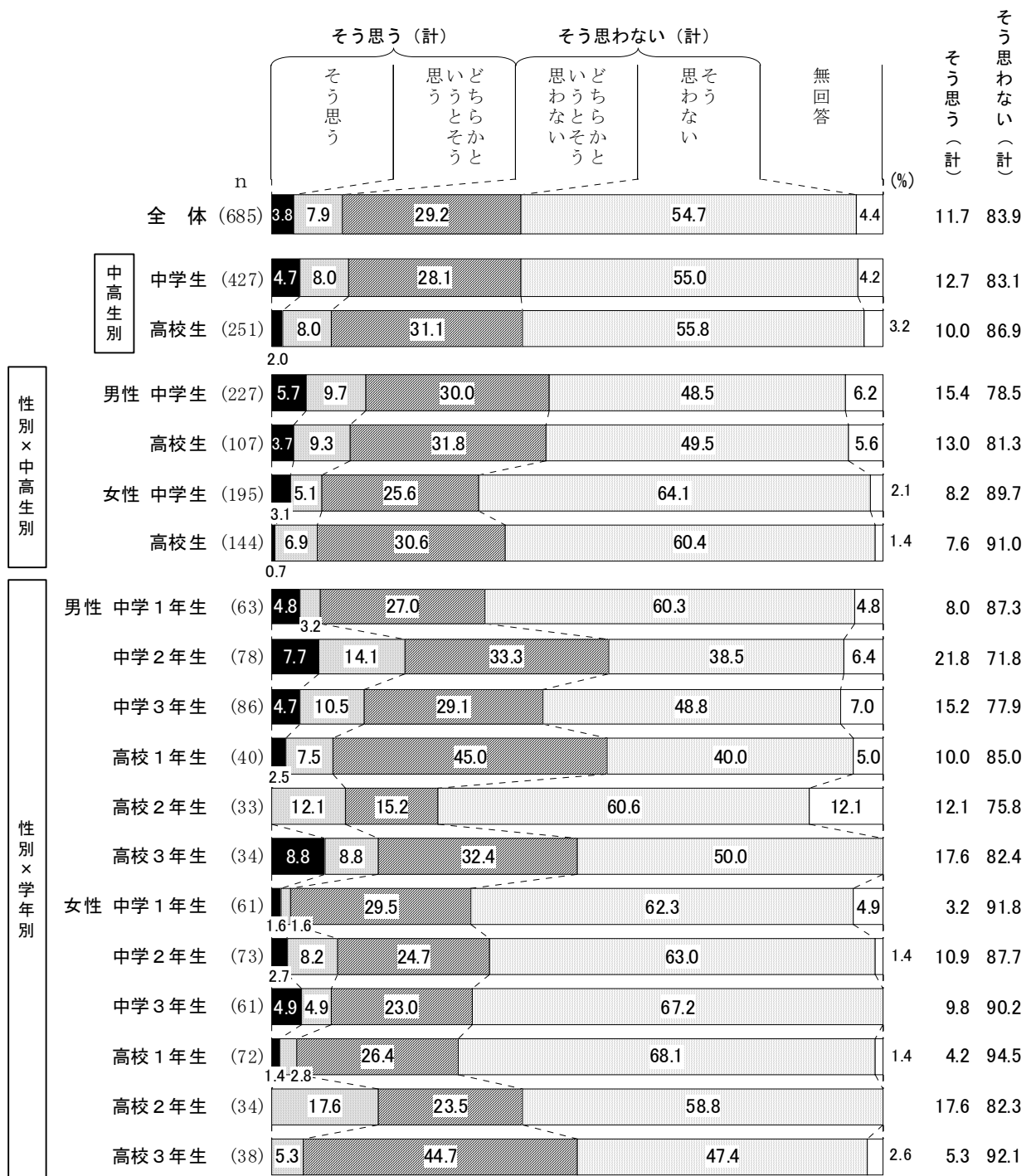
小学5・6年生については、「そう思わない（計）」（90.7%）が9割を占める。性別では、男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「そう思わない（計）」は女性-小学6年生（94.4%）が男性-小学6年生（87.6%）よりも高い。

中・高校生については、「そう思わない（計）」（83.9%）が8割台半ばと高い。中高生別では、中・高校生間で大きな差はない。性別×中高生別では、「そう思わない（計）」は中・高校生ともに女性が高くなっている。性別×学年別では、「そう思わない（計）」はすべての学年で女性が男性を上回り、特に中学2・3年生での差が大きい。

図表12-13 友だち同士はただの知り合いである（小学5・6年生）



図表12-14 友だち同士はただの知り合いである（中・高校生）

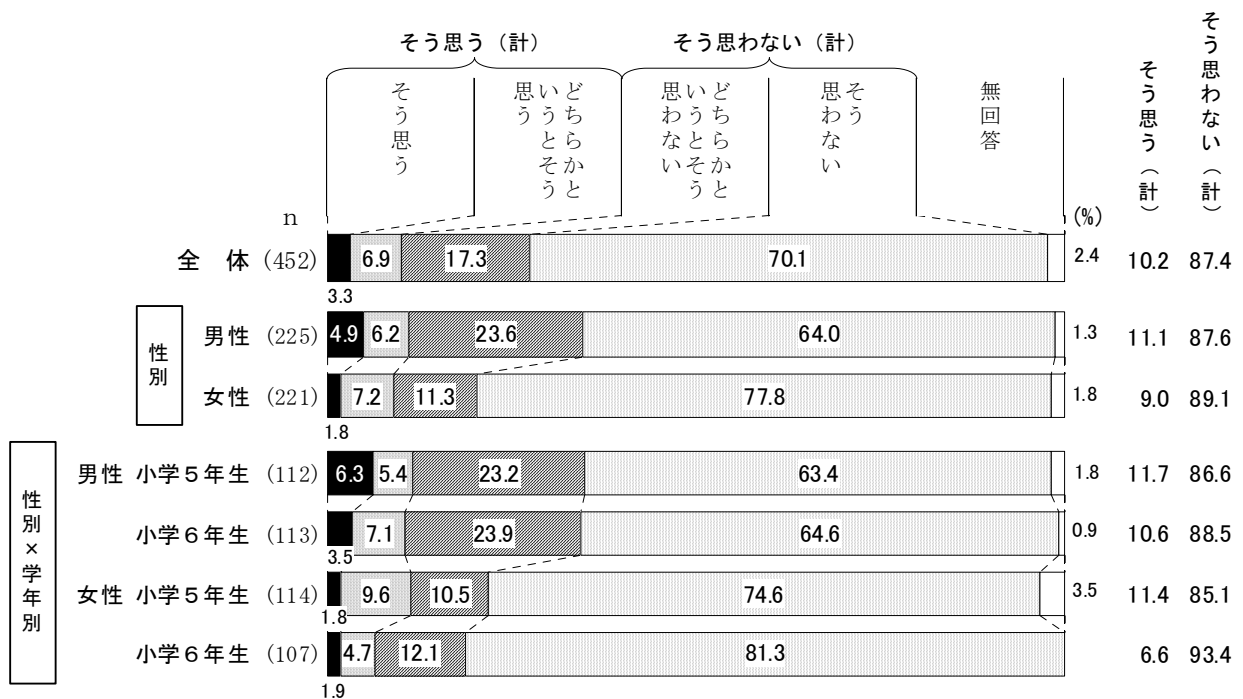


⑦フルネームで本名がわからない友だちが結構いる

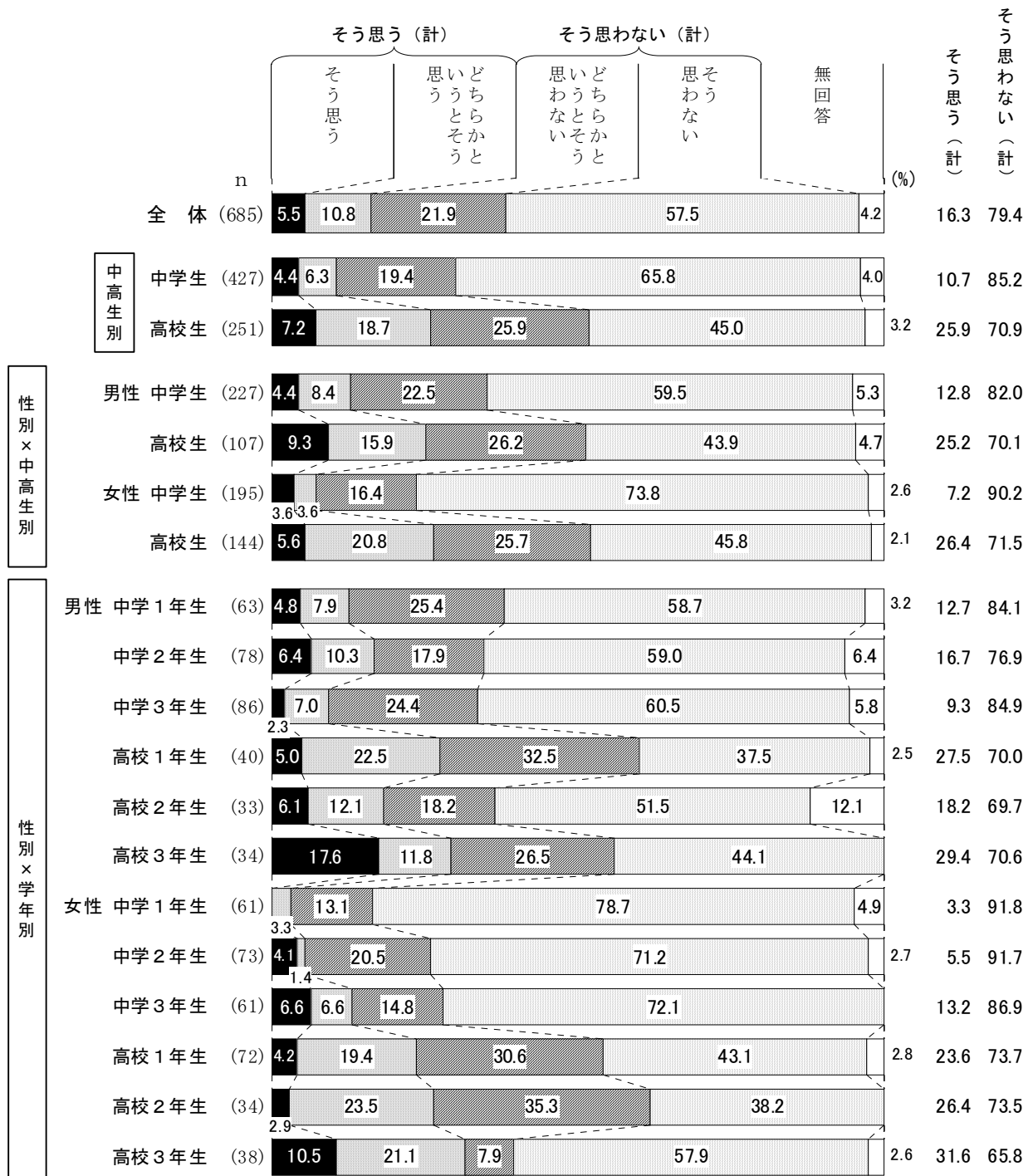
小学5・6年生については、「そう思わない（計）」(87.4%) が約9割を占める。性別では、「そう思わない」は女性(77.8%)が男性(64.0%)よりも高いものの、「そう思わない（計）」については大きな差はない。性別×学年別では、「そう思わない（計）」は女性-小学6年生(93.4%)が女性-小学5年生(85.1%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「そう思わない（計）」(79.4%) が約8割で、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思わない（計）」は中学生(85.2%)が高校生(70.9%)よりも高い。性別×中高生別では、「そう思わない（計）」は女性-中学生(90.2%)が男性-中学生(82.0%)よりも高くなっている。性別×学年別では、女性は高学年になるほど「そう思わない（計）」が低い。男性はほとんどの学年で女性より「そう思わない（計）」が低く、中学2年生で女性(91.7%)と男性(76.9%)の差が最も大きくなっている。

図表12-15 フルネームで本名がわからない友だちが結構いる（小学5・6年生）



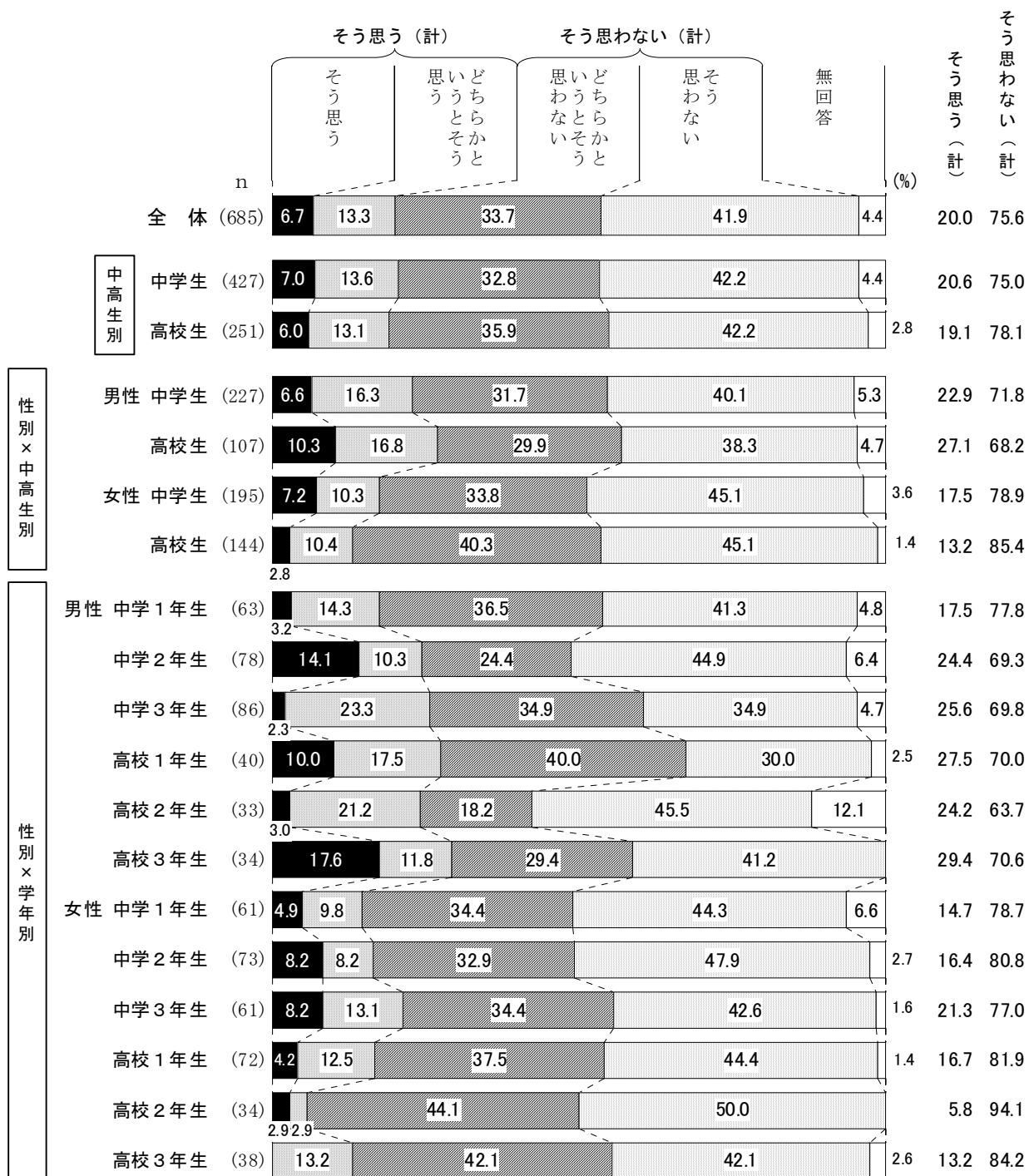
図表12-16 フルネームで本名がわからない友だちが結構いる（中・高校生）



⑧直接話すよりメールや電話で話すほうが安心して話しやすい

「そう思う（計）」(20.0%)が2割で、「そう思わない（計）」(75.6%)が7割台半ばとなっている。中高生別では、中・高校生間に大きな差はない。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は中・高校生ともに男性で高くなっている。性別×学年別では、男性は「そう思う（計）」が中学1年生(17.5%)以外は2割台だが、女性で2割を超えるのは中学3年生(21.3%)のみである。

図表12-17 直接話すよりメールや電話で話すほうが安心して話しやすい（中・高校生）



12-3 放課後を過ごす場所としてあればいいと思う施設の種類の種類

学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「中高校生が自由にスポーツができる体育館や運動場」(56.5%)が5割台半ばで、「中高校生が安心して自由に勉強できる施設」(39.0%)、「中高校生が音楽鑑賞やバンド活動、料理など、さまざまな活動ができる場所」(34.6%)、「中高校生が自由に安心して過ごすことのできる集会施設」(30.2%)の3つの場所が3割台となっている。中高生別では、「中高校生が安心して自由に勉強できる施設」と「中高校生が音楽鑑賞やバンド活動、料理など、さまざまな活動ができる場所」で高校生が高くなっている。性別×中高生別では、「中高校生が自由にスポーツができる体育館や運動場」で中・高校生ともに男性が高いが、「中高校生が安心して自由に勉強できる施設」と「中高校生が音楽鑑賞やバンド活動、料理など、さまざまな活動ができる場所」では中・高校生ともに女性が高くなっている。性別×学年別では、「中高校生が自由にスポーツができる体育館や運動場」はすべての学年で男性が女性を上回る。「中高校生が安心して自由に勉強できる施設」は男女とも高校3年生が5割を超えて高く、他の学年はいずれも女性が男性を上回っている。「中高校生が音楽鑑賞やバンド活動、料理など、さまざまな活動ができる場所」は、男性は高学年になるほど高いが、女性は高校2年生まで高くなっている。

図表12-18 放課後を過ごす場所としてあればいいと思う施設の種類の種類（中・高校生）

(人、%)

		n	中高生が自由にスポーツができる体育館や運動場	中高生が一人でも安心して過ごすことのできる集会施設	中高生が自由に安心して過ごすことのできる集会施設	中高生が音楽鑑賞やバンド活動、料理など、さまざまな活動ができる場所	中高生が安心して自由に勉強できる施設	子どもから高齢者までいろいろな人が活動している施設	中高生が一人でも気軽に相談に行ける場所	絵本づくり、雑誌づくりなど実際に体験をしながら学ぶ講座や、コミュニケーションなどの人間関係能力を向上させる講座などが、随時開催しているような場所	その他	無回答
中・高校生												
全体		685	56.5	20.6	30.2	34.6	39.0	12.6	16.4	10.5	7.0	13.0
生中 別高	中学生	427	56.4	18.7	30.7	26.9	35.8	11.5	15.2	10.5	7.7	14.8
	高校生	251	58.2	24.3	30.3	48.2	45.4	14.7	18.7	10.8	6.0	8.0
中高 生別 性別×	男性 中学生	227	63.0	22.5	29.1	15.9	28.6	11.5	12.3	4.8	8.8	17.6
	男性 高校生	107	70.1	23.4	30.8	36.4	37.4	14.0	12.1	7.5	7.5	9.3
	女性 中学生	195	48.2	13.3	31.8	39.5	44.1	11.3	18.5	16.9	6.2	11.8
	女性 高校生	144	49.3	25.0	29.9	56.9	51.4	15.3	23.6	13.2	4.9	6.9
性別× 学年別	男性 中学1年生	63	71.4	15.9	23.8	9.5	23.8	15.9	9.5	4.8	6.3	14.3
	男性 中学2年生	78	60.3	20.5	29.5	12.8	30.8	6.4	9.0	-	7.7	19.2
	男性 中学3年生	86	59.3	29.1	32.6	23.3	30.2	12.8	17.4	9.3	11.6	18.6
	男性 高校1年生	40	72.5	17.5	27.5	27.5	35.0	5.0	5.0	2.5	7.5	7.5
	男性 高校2年生	33	66.7	18.2	30.3	33.3	18.2	21.2	12.1	12.1	6.1	15.2
	男性 高校3年生	34	70.6	35.3	35.3	50.0	58.8	17.6	20.6	8.8	8.8	5.9
	女性 中学1年生	61	49.2	11.5	27.9	34.4	44.3	14.8	19.7	21.3	3.3	14.8
	女性 中学2年生	73	53.4	11.0	27.4	34.2	43.8	6.8	15.1	17.8	9.6	11.0
	女性 中学3年生	61	41.0	18.0	41.0	50.8	44.3	13.1	21.3	11.5	4.9	9.8
	女性 高校1年生	72	45.8	23.6	31.9	63.9	52.8	15.3	22.2	11.1	2.8	4.2
	女性 高校2年生	34	58.8	35.3	23.5	58.8	47.1	8.8	29.4	14.7	8.8	5.9
	女性 高校3年生	38	47.4	18.4	31.6	42.1	52.6	21.1	21.1	15.8	5.3	13.2

12-4 自分が認められていると感じる時

自分が人に認められていると感じるのはどんな時ですか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「周りの人に感謝された時」(60.6%)が6割で最も高く、「周りの人が遊びなどに誘ってくれた時」(49.8%)と「大人や親から役割をまかされたり、たよりにされた時」(48.5%)が約5割となっている。性別では、「周りの人が悩みなどの相談をしてくれた時」で女性(55.7%)と男性(26.7%)との差が大きくなっている。

中・高校生については、「周りの人に感謝された時」(61.6%)で6割を超えて高く、「周りの人が悩みなどの相談をしてくれた時」(51.7%)が5割を超え、「周りの人が遊びなどに誘ってくれた時」(46.4%)が4割台半ばで続いている。中高生別では、「周りの人が悩みなどの相談をしてくれた時」で高校生(62.5%)が中学生(45.9%)よりも高い。性別×中高生別では、「周りの人に感謝された時」で中・高校生ともに女性が高い。「周りの人が悩みなどの相談をしてくれた時」は男女とも高校生が高く、中・高校生とも女性が高くなっている。また、「周りの人が遊びなどに誘ってくれた時」では中・高校生ともに女性が高い。

図表12-19 自分が認められていると感じる時(小学5・6年生／中・高校生)

		(人、%)									
		n	感謝された時に	周りの人に誘われた時	大人や親から役割をまかされたり、たよりにされた時	周りの人が遊びなどに誘ってくれた時	大人や親から役割をまかされたり、たよりにされた時	周りの人が悩みなどの相談をしてくれた時	その他	感じたらこれはないと	無回答
小学5・6年生											
全体		452	60.6	24.8	49.8	48.5	40.5	2.2	7.5	3.5	
性別	男性	225	60.9	21.8	47.6	46.7	26.7	1.8	8.9	4.9	
	女性	221	61.1	28.5	53.4	51.1	55.7	2.7	6.3	0.5	
中・高校生											
全体		685	61.6	27.9	46.4	25.4	51.7	36.5	3.1	6.3	6.7
中高生別	中学生	427	60.9	28.6	45.0	26.5	45.9	37.0	3.7	7.0	7.3
	高校生	251	64.1	27.5	49.8	24.3	62.5	36.3	2.0	5.2	4.0
中高生別×性別	男性 中学生	227	56.4	21.1	39.2	24.2	32.2	37.0	5.3	11.5	9.7
	男性 高校生	107	59.8	24.3	42.1	29.9	51.4	32.7	0.9	8.4	6.5
	女性 中学生	195	66.7	36.9	50.8	28.7	61.5	37.4	1.5	1.5	4.6
	女性 高校生	144	67.4	29.9	55.6	20.1	70.8	38.9	2.8	2.8	2.1

13. 規範意識について

13-1 規範意識

あなたは、未成年者が次のようなことをすることについてどう思いますか。

(①～⑭それぞれ1つに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「いけないと思う」と「どちらかといえばいけないと思う」を合わせた「いけない(計)」で全数近くを占めるのは、「⑫万引きをすること」(98.5%)、「⑦道路へゴミを捨てること」(97.6%)、「⑨喫煙をすること」(97.4%)、「⑬いじめをすること」(97.3%)、「⑭シンナーや覚せい剤を使うこと」(97.3%)の5つである。次いで「⑩飲酒をすること」(95.2%)と「⑧携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトを見ること」(95.1%)が9割台半ばとなっている。一方、「してもいいと思う」と「場合によってはいいと思う」を合わせた「してもいい(計)」は、「①髪を染めること」(21.4%)と「②ピアスをすること」(19.9%)で2割前後と高く、「⑪援助交際をすること」(12.6%)と「③夜遊びをすること」(9.8%)で1割前後となっている。

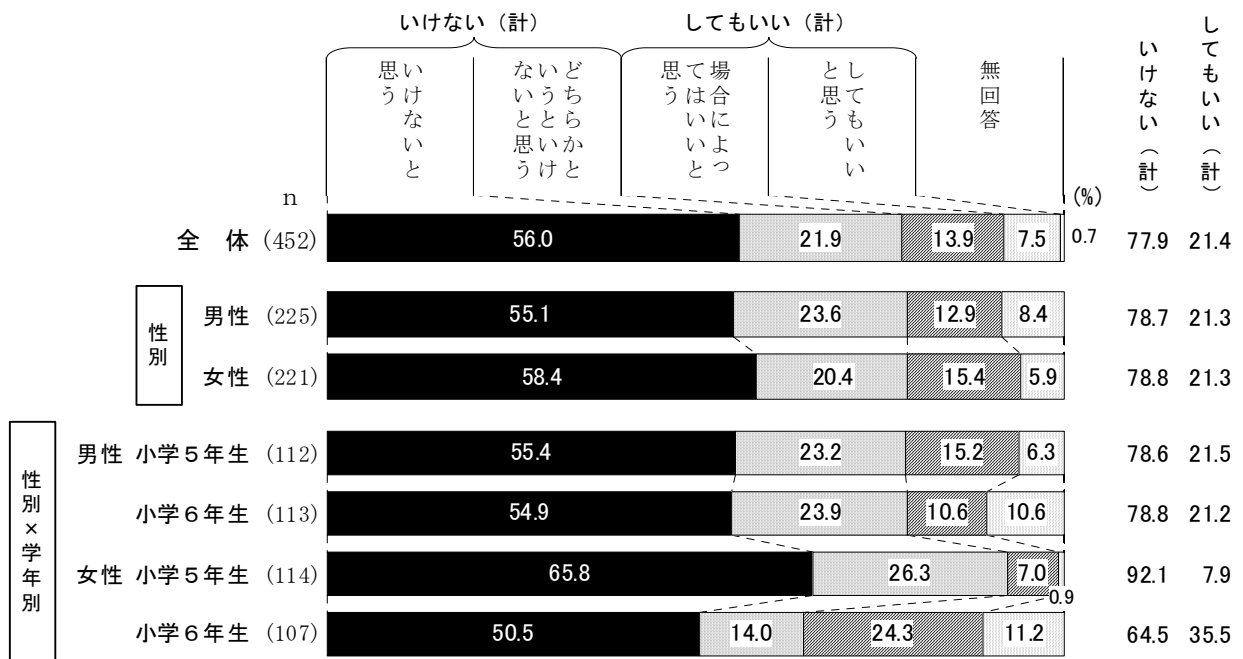
中・高校生については、「いけない(計)」は「⑭シンナーや覚せい剤を使うこと」(95.9%)、「⑫万引きをすること」(95.7%)、「⑬いじめをすること」(94.3%)、「⑨喫煙をすること」(93.0%)の4つで9割台半ばと高い。一方、「してもいい(計)」は、「①髪を染めること」(65.8%)と「②ピアスをすること」(55.7%)で高くなっている。

①髪を染めること

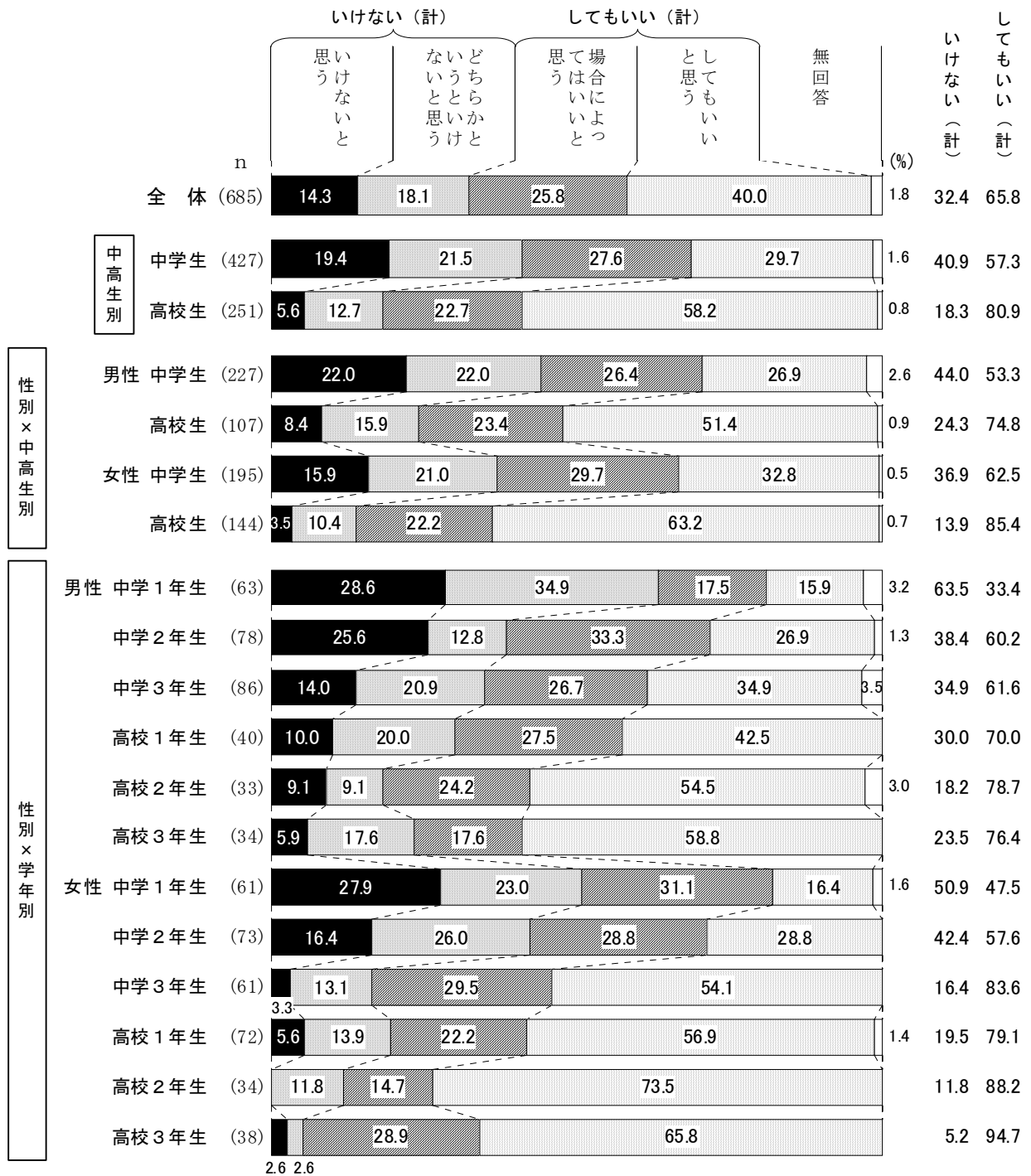
小学5・6年生については、「いけない(計)」(77.9%)が約8割となっている。性別では、「いけない(計)」は男女間で差はない。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性-小学5年生(92.1%)に比べて女性-小学6年生(64.5%)が低くなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(32.4%)は3割を超えて小学5・6年生に比べて約46ポイント低く、「してもいい(計)」(65.8%)が6割台半ばとなっている。中高生別では、「してもいい(計)」は中学生(57.3%)に比べて高校生(80.9%)が高い。性別×中高生別では、「してもいい(計)」は中・高校生とも女性で高くなっている。性別×学年別では、男女とも中学2年生以上で「してもいい(計)」が「いけない(計)」を上回る。また、高学年ほど「してもいい(計)」が高くなる傾向があり、女性-高校3年生(94.7%)では9割台半ばを占めている。

図表13-1 髪を染めること (小学5・6年生)



図表13-2 髪を染めること（中・高校生）

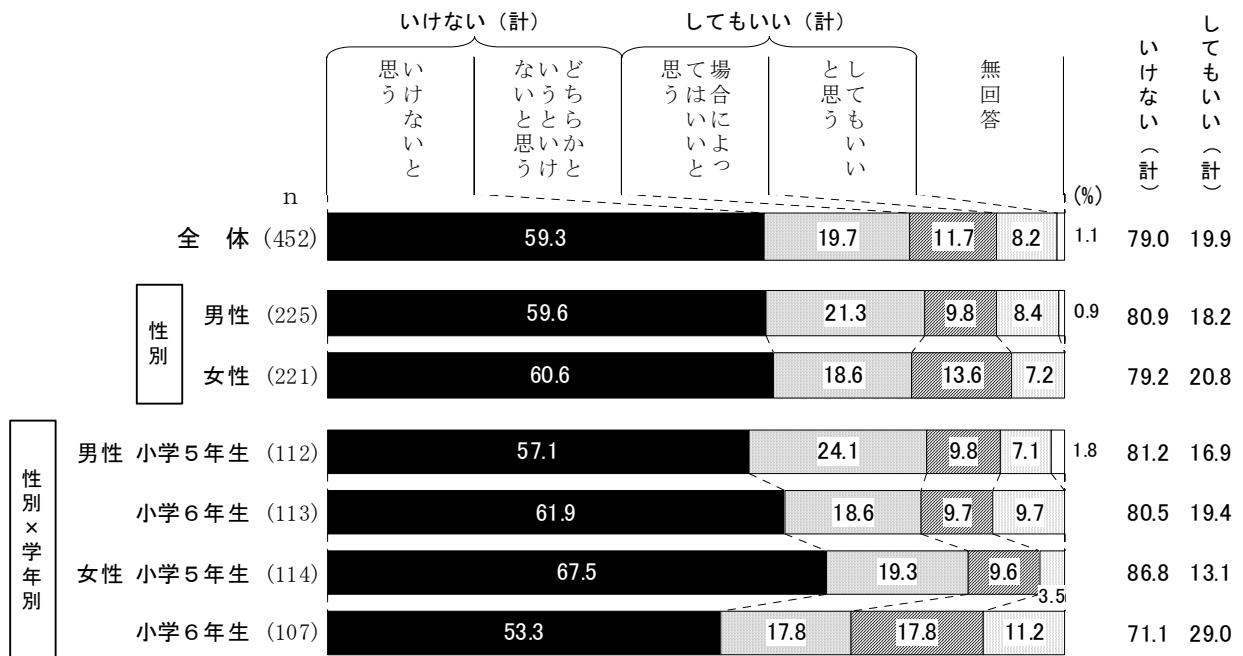


②ピアスをすること

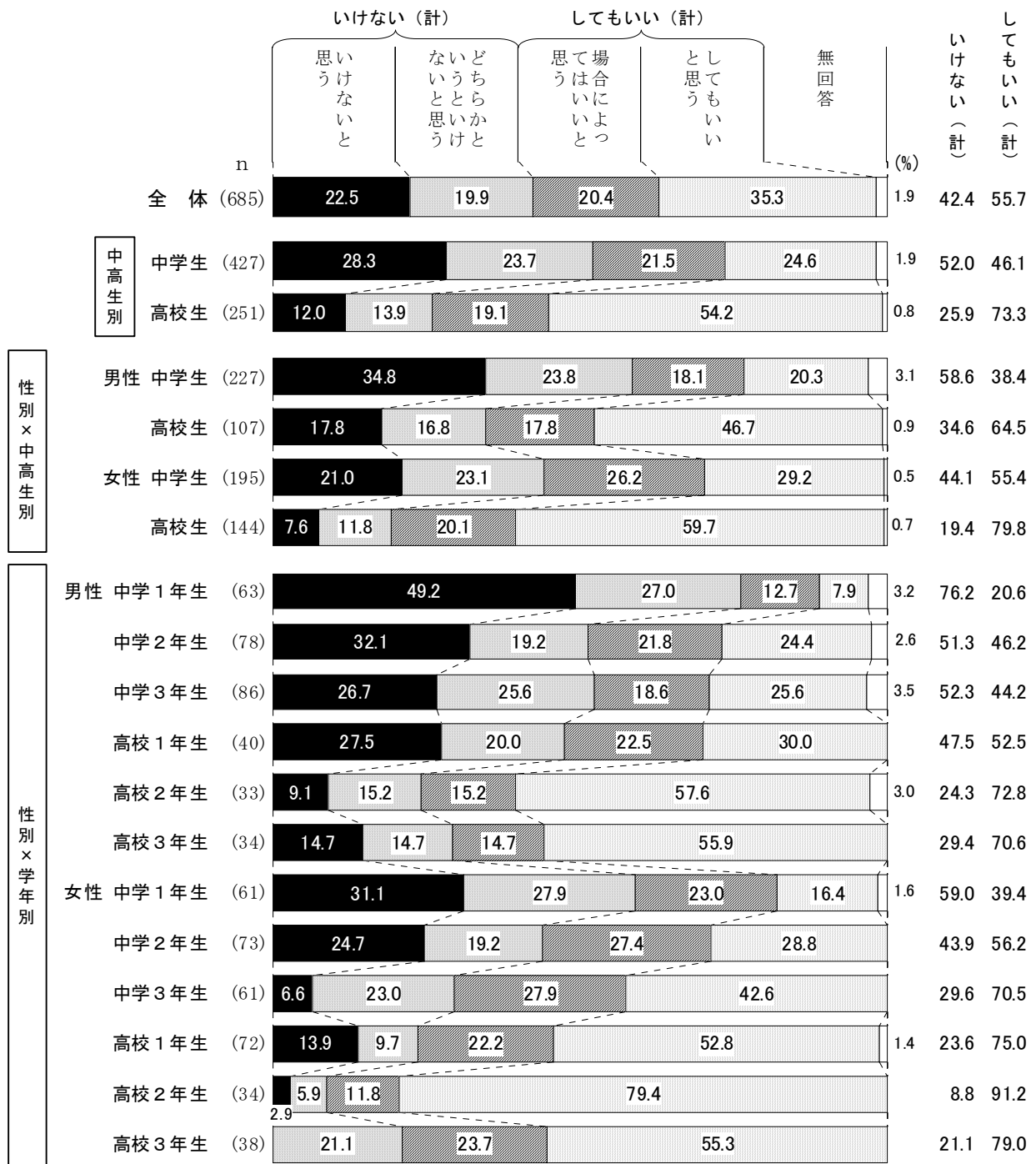
小学5・6年生については、「いけない(計)」(79.0%)が約8割となっている。性別では、男女間で大きな差はない。性別×学年別では、男性は「いけない(計)」に大きな差はないが、女性は小学5年生(86.8%)が小学6年生(71.1%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(42.4%)が「してもいい(計)」(55.7%)よりも低い。中高生別では、「してもいい(計)」が中学生(46.1%)では4割台半ばなのに対して、高校生(73.3%)は7割台半ばとなっている。性別×中高生別では、「してもいい(計)」は中・高校生とも女性が高い。性別×学年別では、「してもいい(計)」は全学年で女性が男性よりも高く、男性は高校2年生以上、女性は中学3年生以上で7割を上回っている。

図表13-3 ピアスをすること(小学5・6年生)



図表13-4 ピアスをすること（中・高校生）

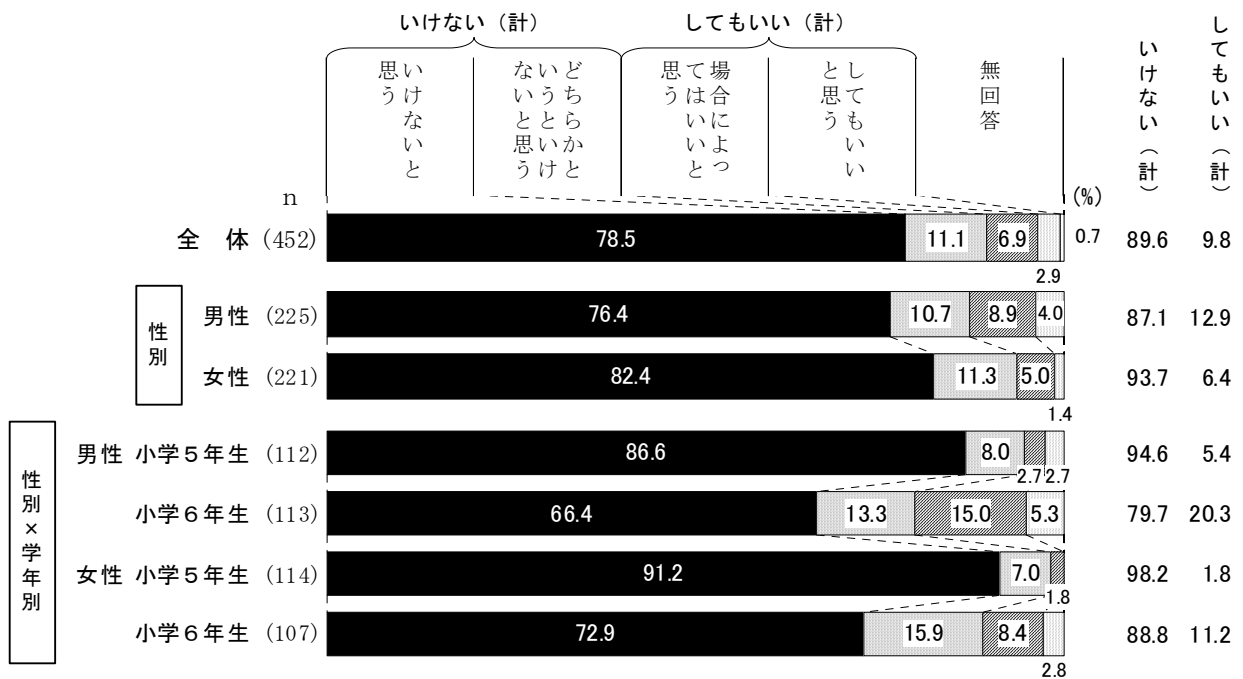


③夜遊びをすること

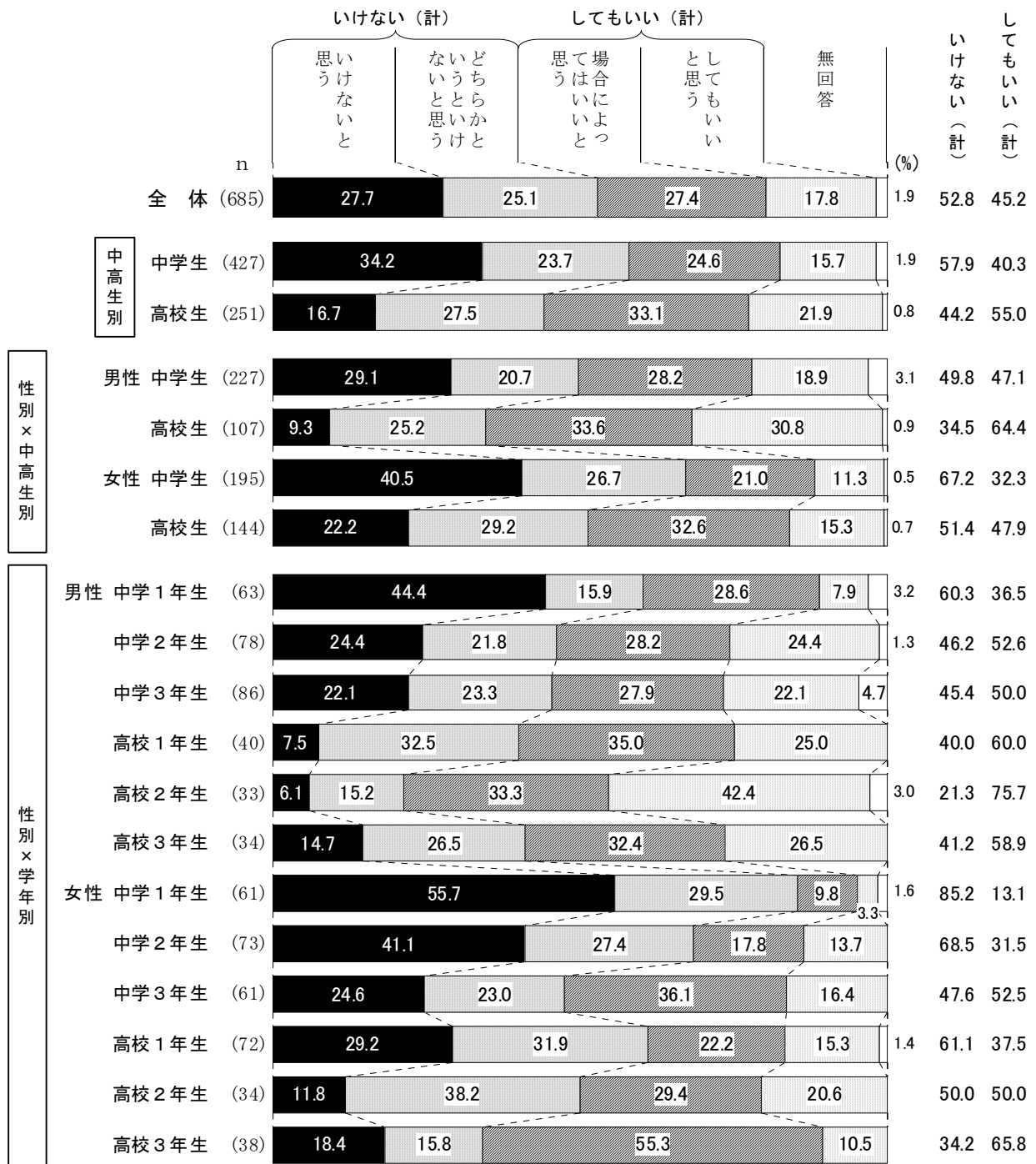
小学5・6年生については、「いけない(計)」(89.6%)が約9割を占める。性別では、「いけない(計)」は女性(93.7%)が男性(87.1%)よりも高い。性別×学年別では、男女とも「いけない(計)」は小学5年生が小学6年生よりも高くなっている。また、小学5年生は男女間に差はないが、小学6年生は女性(88.8%)が男性(79.7%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(52.8%)が5割を超えるが、小学5・6年生よりも約37ポイント低い。中高生別では、「いけない(計)」は中学生(57.9%)では約6割だが、高校生(44.2%)は4割台半ばとなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」が男性-高校2年生(21.3%)や女性-高校3年生(34.2%)で特に低くなっている。

図表13-5 夜遊びをすること(小学5・6年生)



図表13-6 夜遊びをすること（中・高校生）

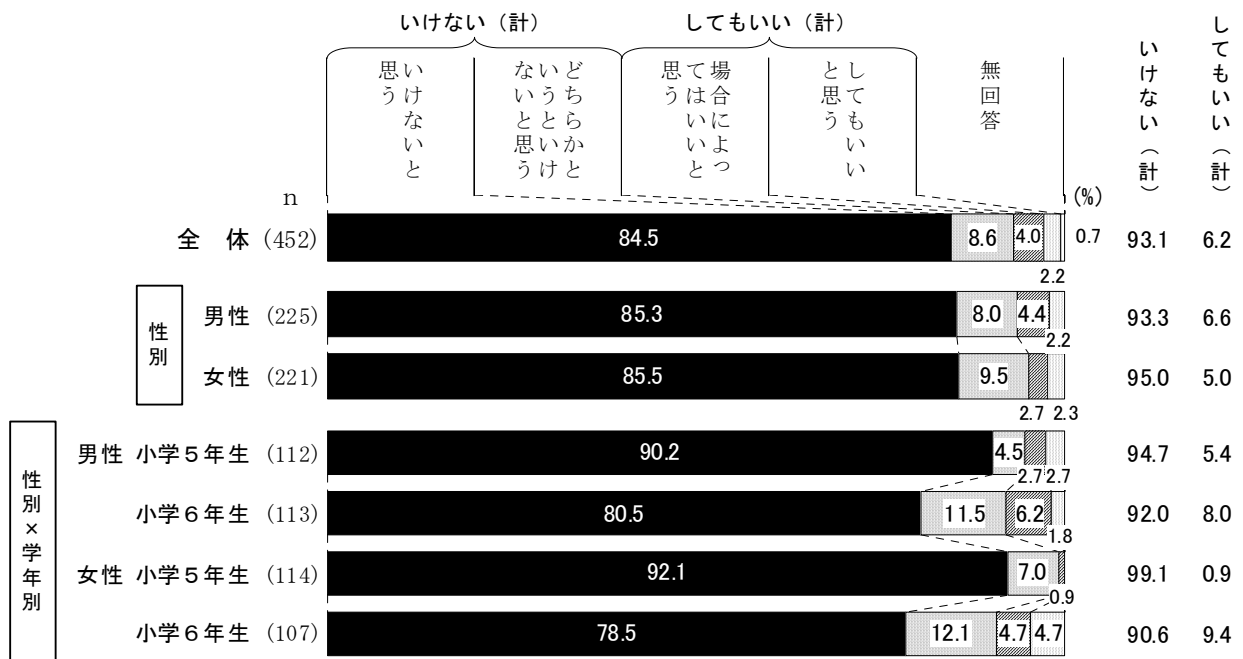


④学校の帰りにゲームセンターや繁華街に出かけること

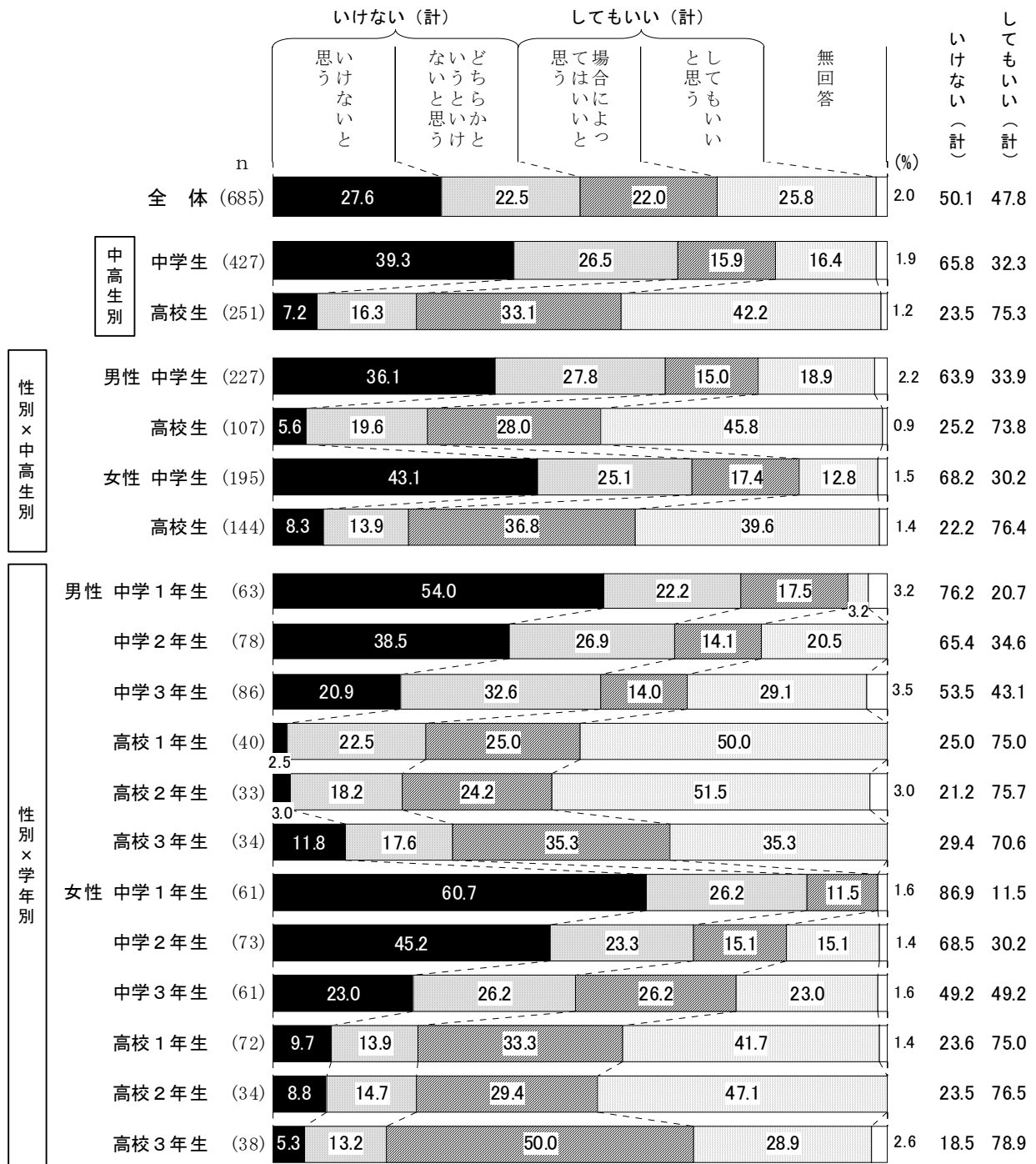
小学5・6年生については、「いけない(計)」(93.1%)が9割台半ばと高い。性別では、男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性-小学6年生(90.6%)が女性-小学5年生(99.1%)よりも低くなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(50.1%)が5割で小学5・6年生よりも43ポイント低い。中高生別では、「いけない(計)」は高校生(23.5%)が中学生(65.8%)よりも約42ポイント低くなっている。性別×中高生別では、「いけない(計)」は中・高校生とも男女間では大きな差はないが、男女とも高校生が40ポイント前後低い。性別×学年別では、「いけない(計)」は男女とも中学1年生から高校1年生にかけて急激に低くなっており、高校生の間で大きな差はない。

図表13-7 学校の帰りにゲームセンターや繁華街に出かけること (小学5・6年生)



図表13-8 学校の帰りにゲームセンターや繁華街に出かけること（中・高校生）

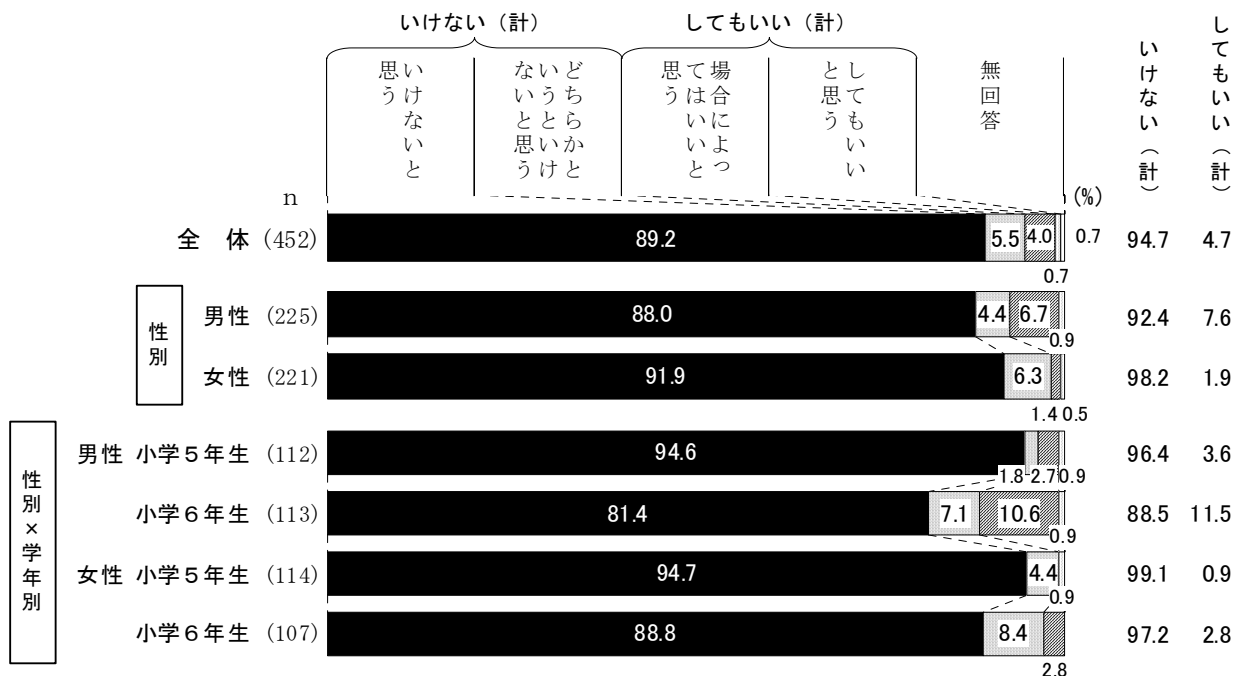


⑤護身用のナイフを持ち歩くこと

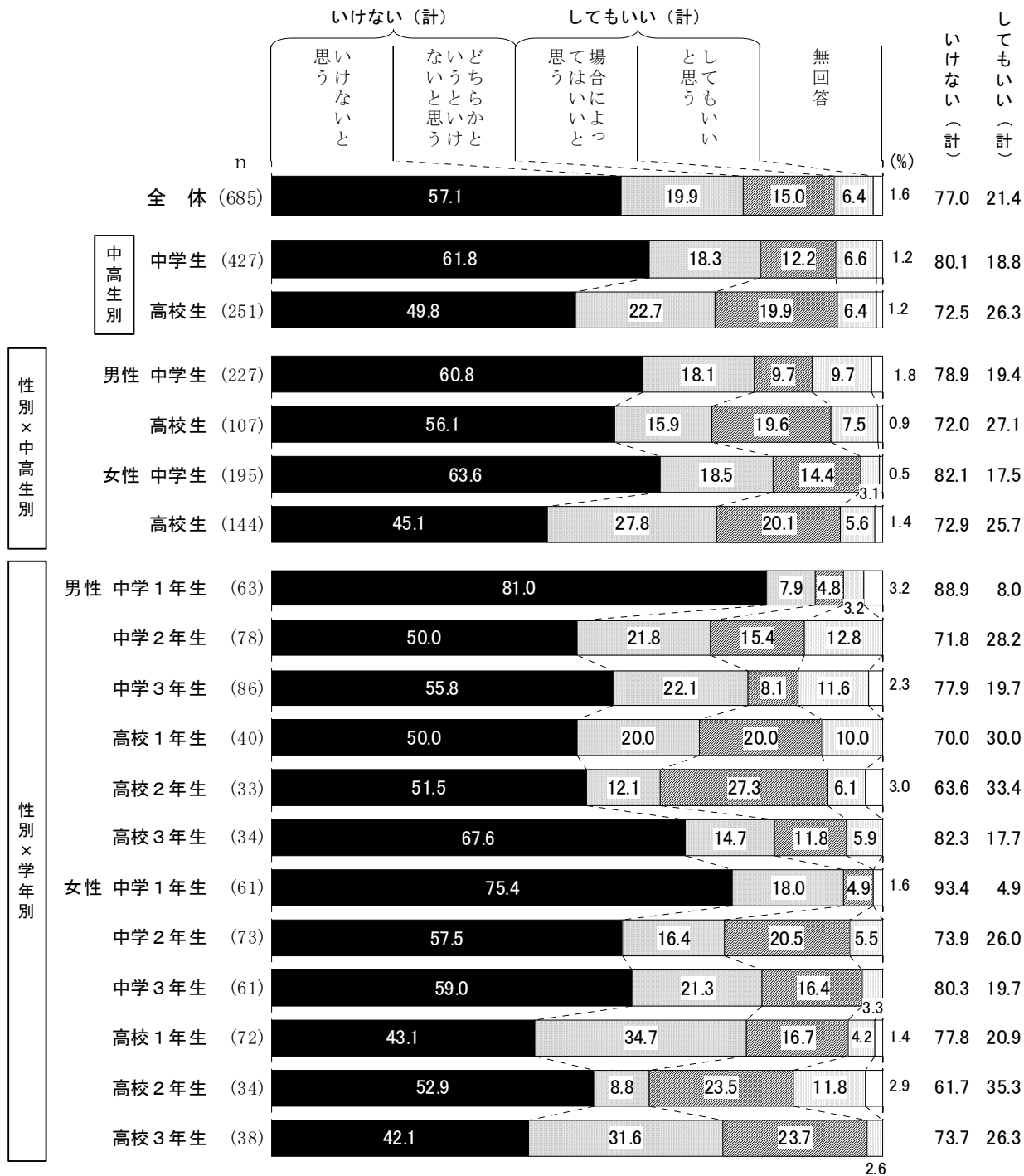
小学5・6年生については、「いけない(計)」(94.7%)が9割台半ばを占める。性別では、「いけない(計)」は女性(98.2%)が男性(92.4%)よりも高い。性別×学年別では、「いけない(計)」は男性-小学6年生(88.5%)で低くなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(77.0%)が約8割で、小学5・6年生よりも約18ポイント低い。中高生別では、「いけない(計)」は高校生(72.5%)が中学生(80.1%)よりも低くなっている。性別×中高生別では、「いけない(計)」は男女ともに高校生で低い。性別×学年別では、「いけない(計)」は男女とも中学1年生で最も高く、高校2年生で最も低い。

図表13-9 護身用のナイフを持ち歩くこと(小学5・6年生)



図表13-10 護身用のナイフを持ち歩くこと（中・高校生）

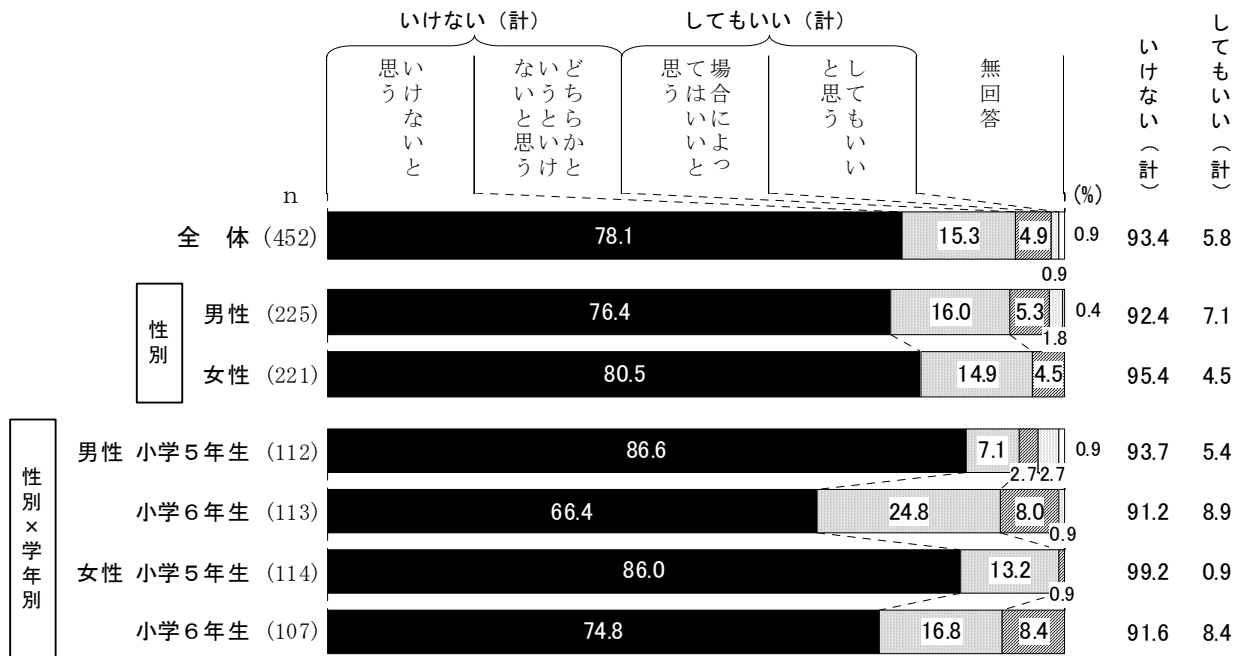


⑥親や学校との約束ごとを守らないこと

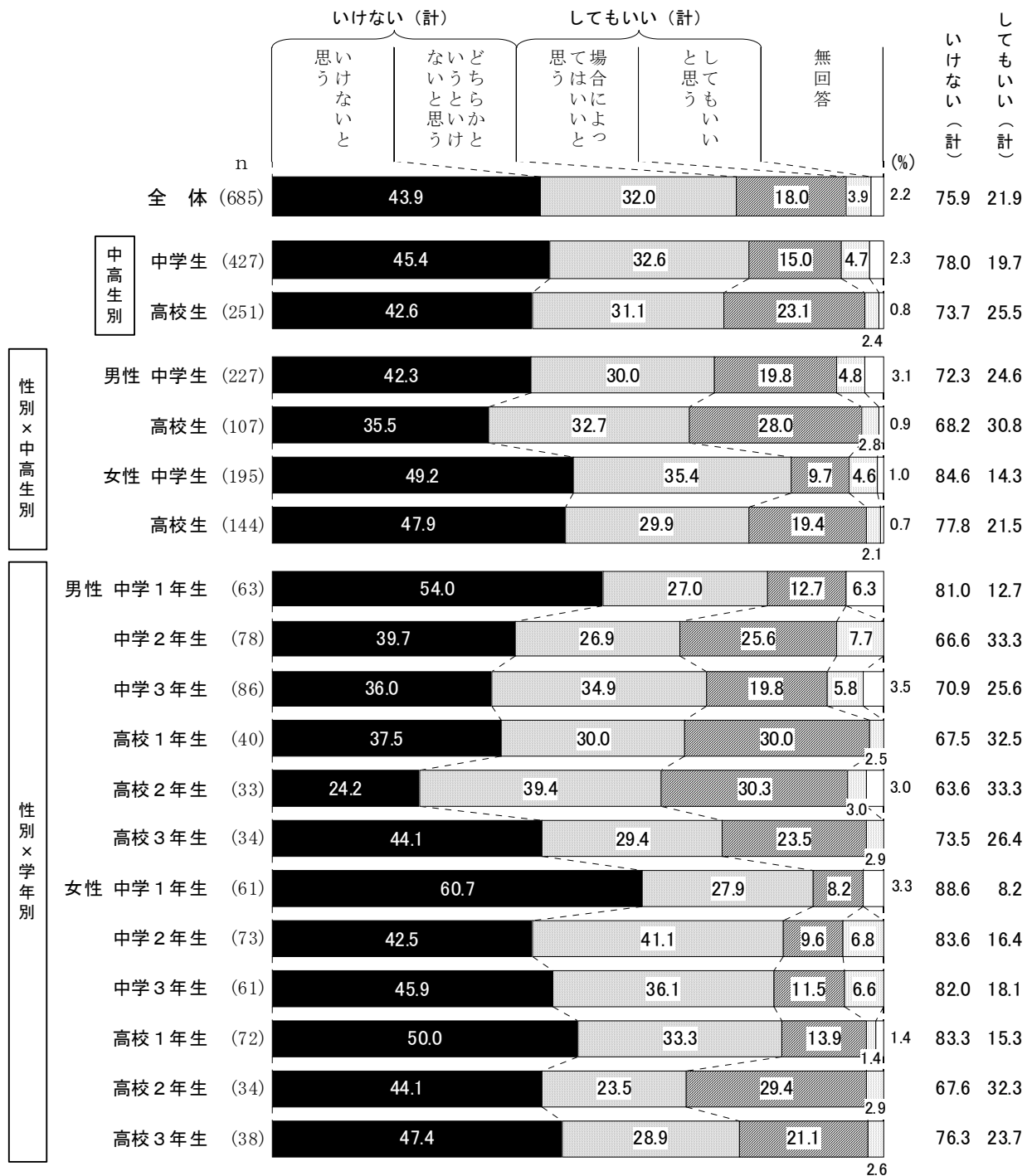
小学5・6年生については、「いけない(計)」(93.4%)が9割台半ばと高い。性別では、男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性-小学5年生(99.2%)で全数近くと高い。

中・高校生については、「いけない(計)」(75.9%)は7割台半ばで小学5・6年生よりも約18ポイント低い。中高生別では、「いけない(計)」は中・高校生間で差はない。性別×中高生別では、中・高校生とも女性が高くなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」は男女とも中学1年生で最も高く、高校2年生で最も低い。

図表13-11 親や学校との約束ごとを守らないこと(小学5・6年生)



図表13-12 親や学校との約束ごとを守らないこと（中・高校生）

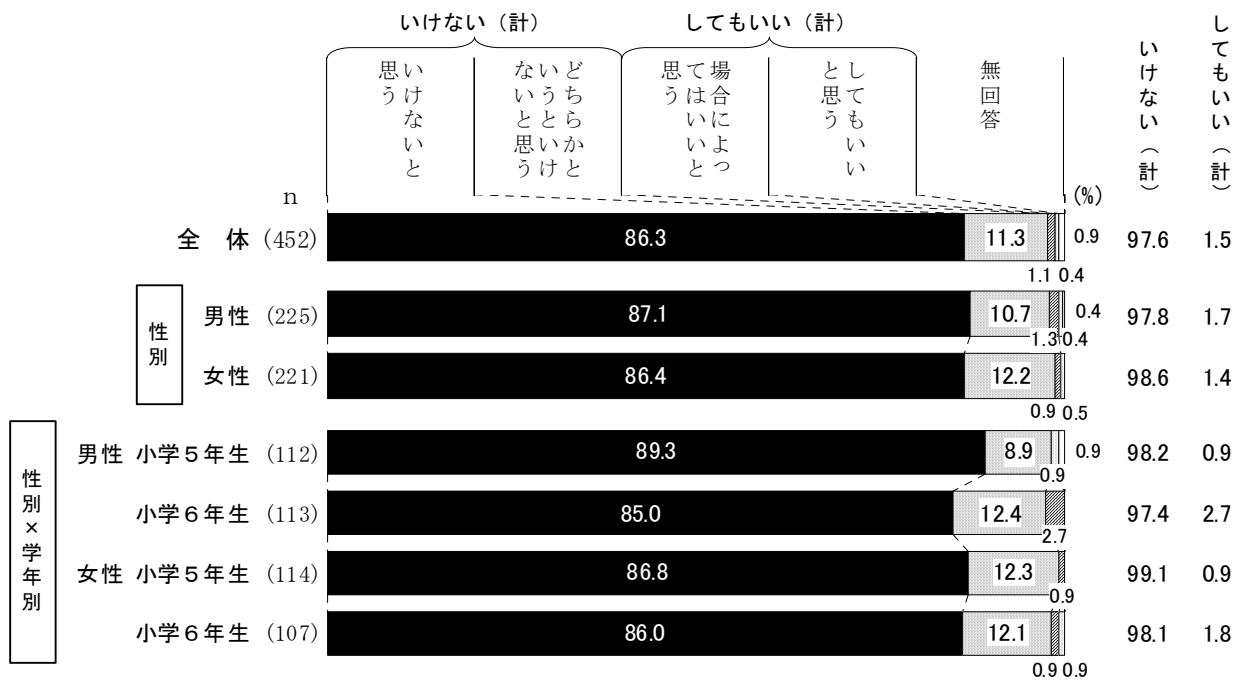


⑦道路へゴミを捨てること

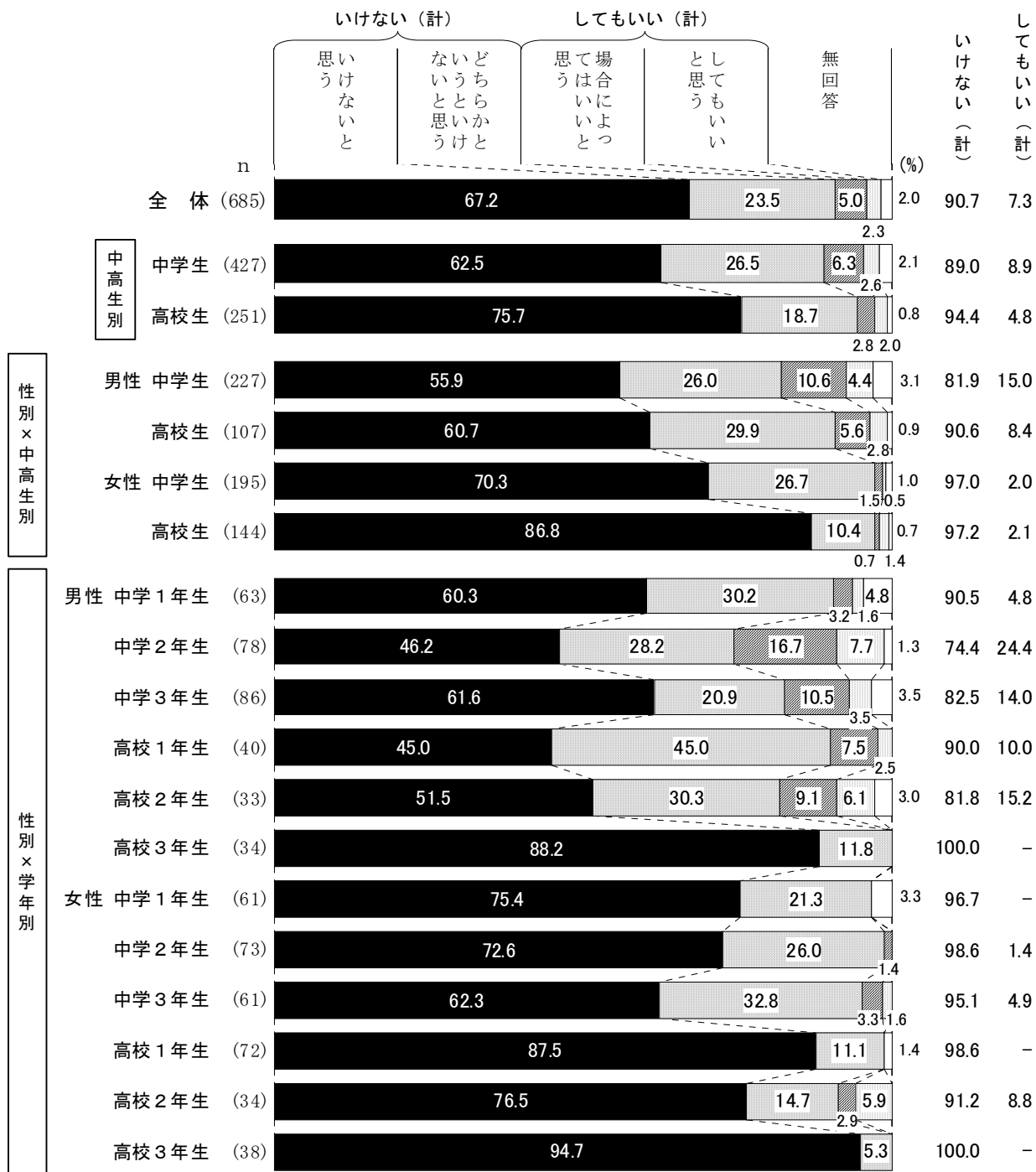
小学5・6年生については、「いけない(計)」(97.6%)が全数近くとなっている。性別、性別×学年別では、大きな差はない。

中・高校生については、「いけない(計)」(90.7%)は9割で小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「いけない(計)」は高校生(94.4%)が中学生(89.0%)よりも高い。性別×中高生別では、「いけない(計)」は男性-高校生(90.6%)が男性-中学生(81.9%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」は男女とも高校3年生は100.0%と高い。他の学年はいずれも女性が男性を上回っており、男性-中学2年生(74.4%)は7割台半ばと低さが目立っている。

図表13-13 道路へゴミを捨てること(小学5・6年生)



図表13-14 道路へゴミを捨てること（中・高校生）

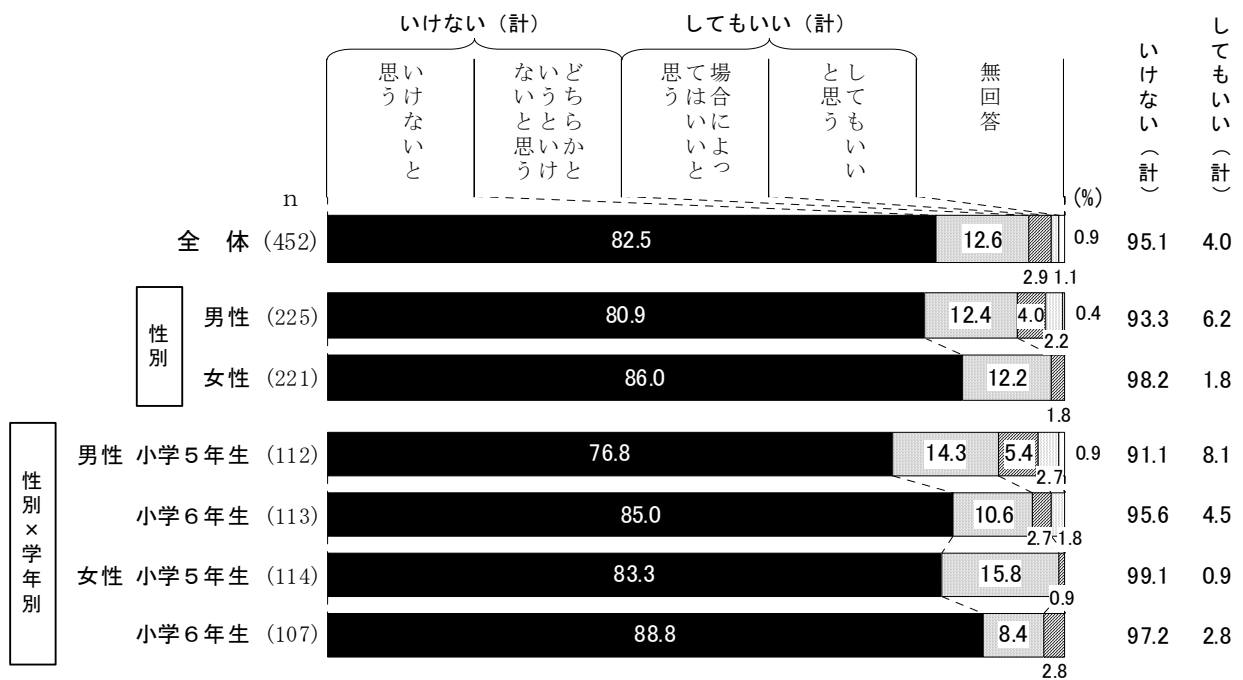


⑧携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトを見ること

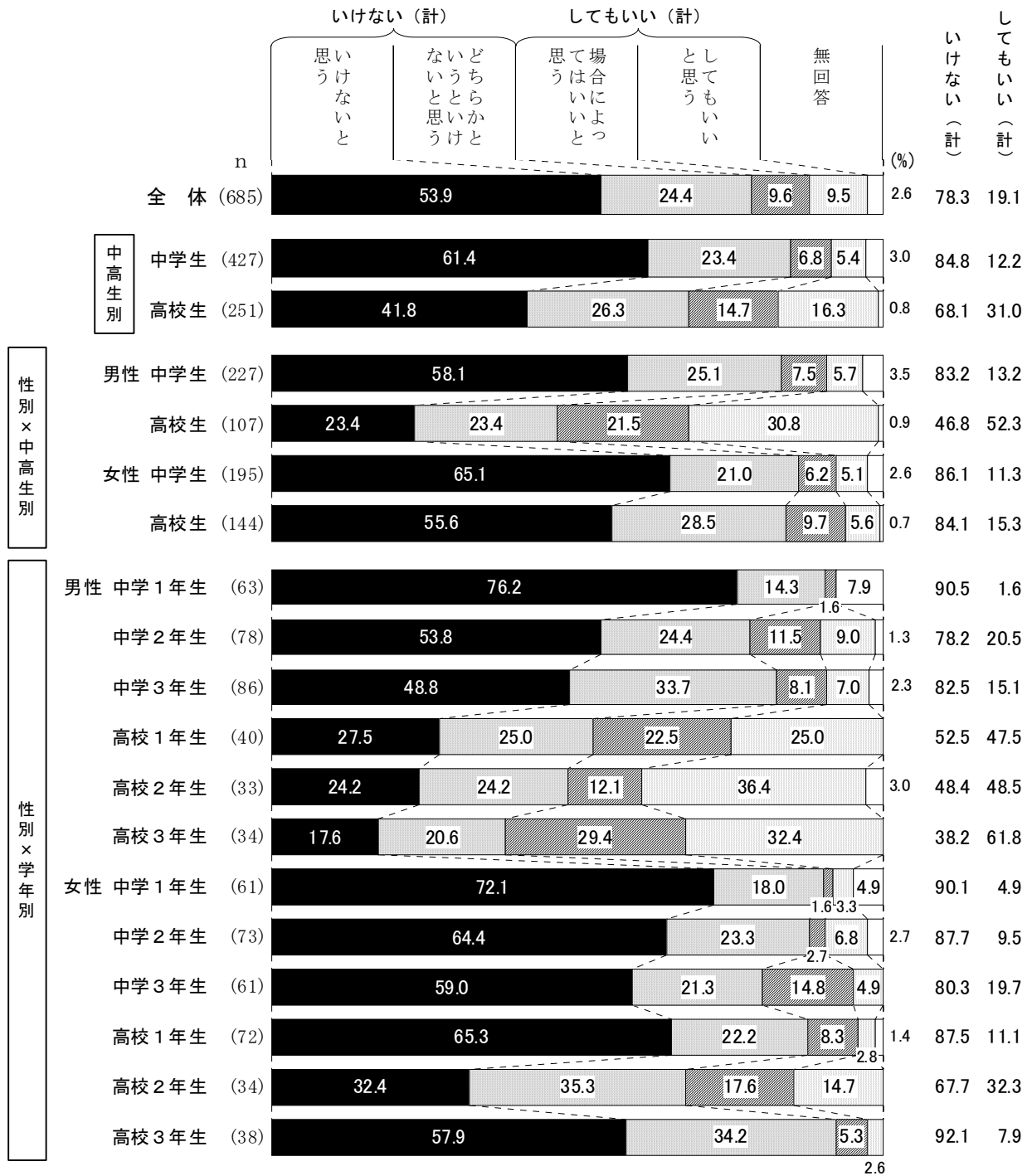
小学5・6年生については、「いけない(計)」(95.1%)が9割台半ばと極めて高い。性別では、「いけない(計)」は女性(98.2%)が男性(93.3%)よりも高くなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」は小学5年生-女性(99.1%)が小学5年生-男性(91.1%)よりも高い。

中・高校生については、「いけない(計)」(78.3%)が約8割で、小学5・6年生よりも約17ポイント低い。中高生別では、「いけない(計)」は中学生(84.8%)が高校生(68.1%)よりも高い。性別×中高生別では、「いけない(計)」は男性-高校生(46.8%)で唯一5割未満と低さが目立っている。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「いけない(計)」が低くなる傾向があり、高校3年生(38.2%)は約4割と低くなっている。

図表13-15 携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトを見ること(小学5・6年生)



図表13-16 携帯電話やパソコンで出会い系サイトやアダルトサイトを見ること（中・高校生）

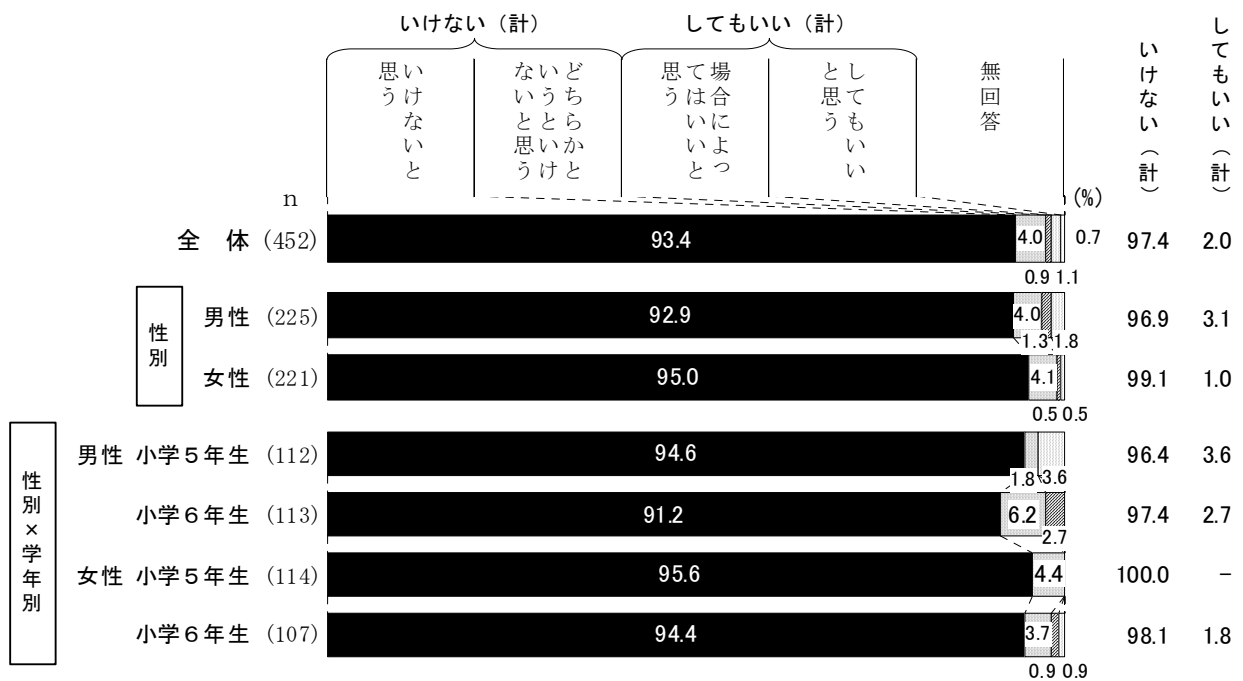


⑨喫煙をすること

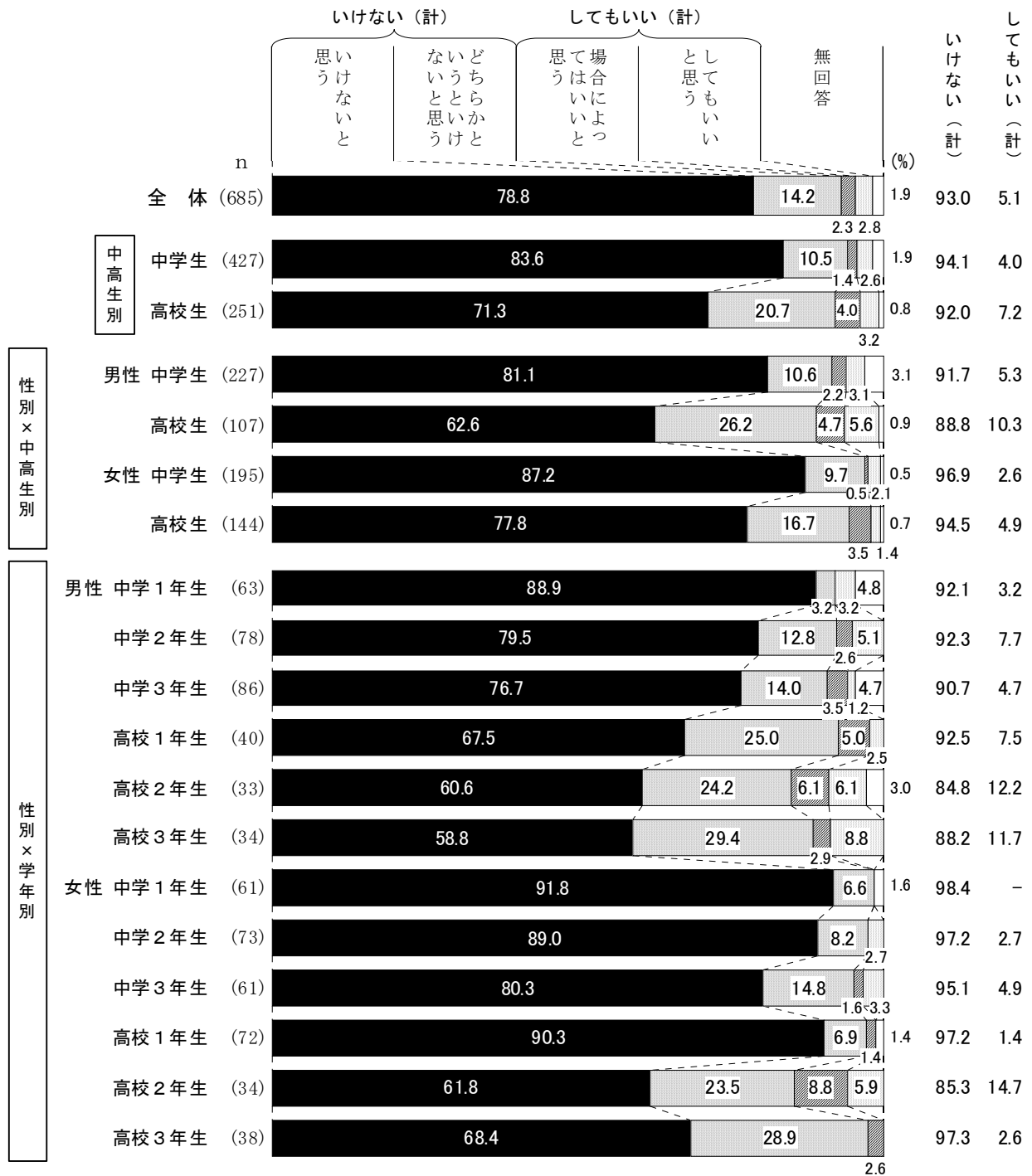
小学5・6年生については、「いけない(計)」(97.4%)が全数近くとなっている。性別、性別×学年別では、大きな差はない。

中・高校生については、「いけない(計)」(93.0%)が9割台半ばで小学5・6年生よりは低くなっている。中高生別では、「いけない(計)」は中・高校生間で差はないが、「いけないと思う」に限れば中学生(83.6%)が高校生(71.3%)を上回る。性別×中高生別では、「いけない(計)」は、中・高校生とも女性が高くなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」は男女とも高校2年生で最も低く、高校3年生で女性(97.3%)と男性(88.2%)の差が最も大きくなっている。

図表13-17 喫煙をすること (小学5・6年生)



図表13-18 喫煙をすること（中・高校生）

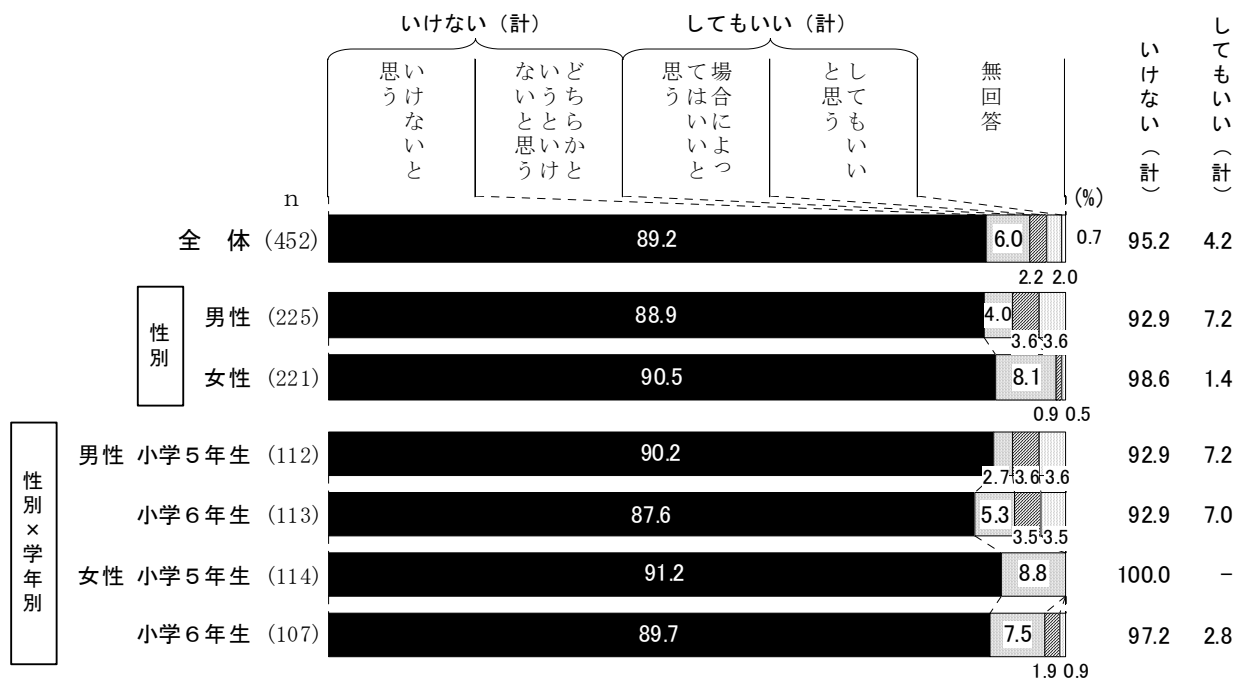


⑩飲酒をすること

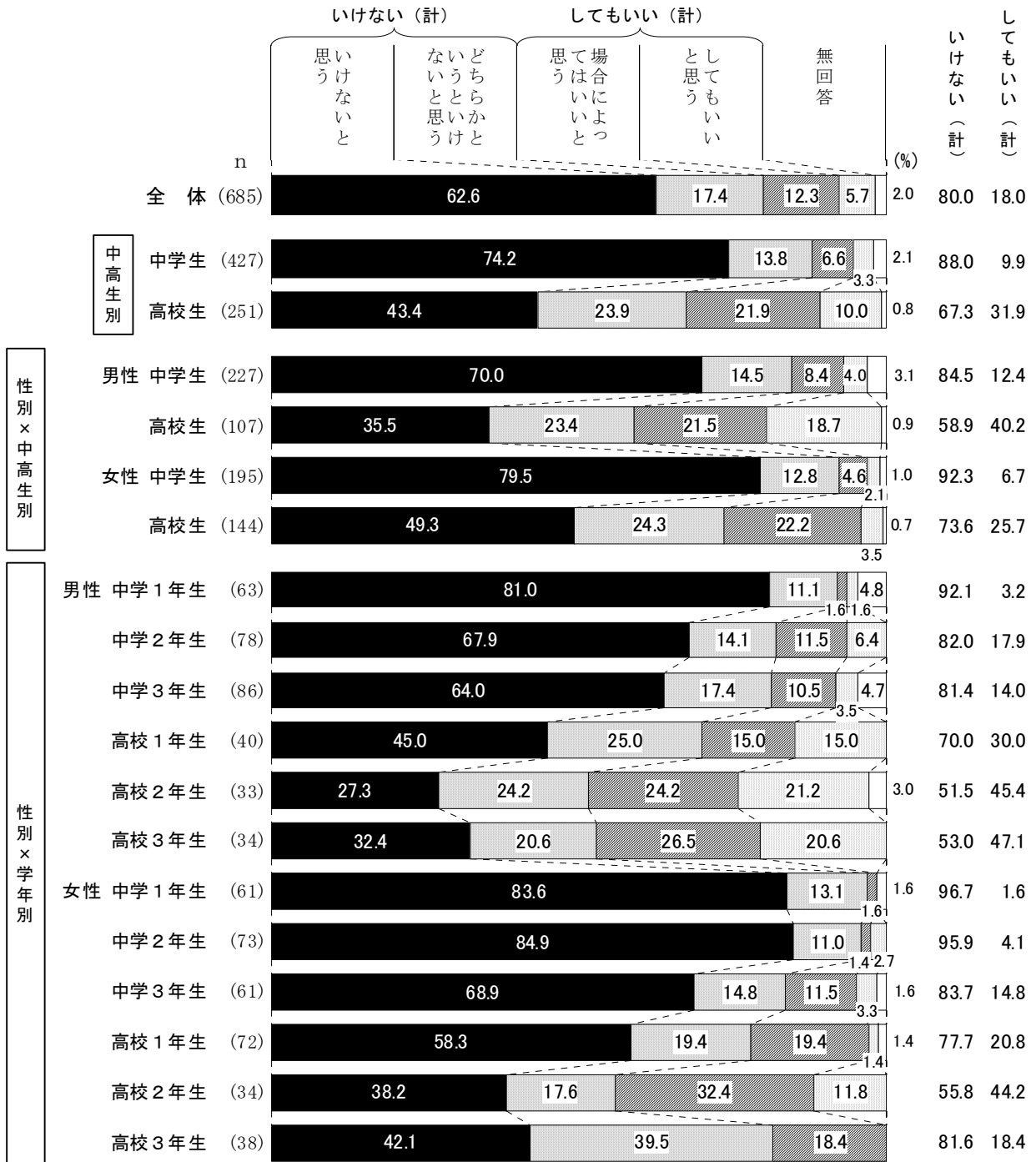
小学5・6年生については、「いけない(計)」(95.2%)が9割台半ばを占める。性別では、「いけない(計)」は女性(98.6%)が男性(92.9%)よりも高くなっている。性別×学年別では、小学5・6年生ともに女性が高い。

中・高校生については、「いけない(計)」(80.0%)が8割で小学5・6年生よりも約15ポイント低い。中高生別では、「いけない(計)」は中学生(88.0%)が高校生(67.3%)を約21ポイント上回る。性別×中高生別では、「いけない(計)」は男女とも中学生が高く、中・高校生とも女性が高くなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」は全学年で女性が男性を上回り、女性-高校3年生(81.6%)を除けば男女とも高学年になるほど低くなる傾向にある。

図表13-19 飲酒をすること(小学5・6年生)



図表13-20 飲酒をすること（中・高校生）

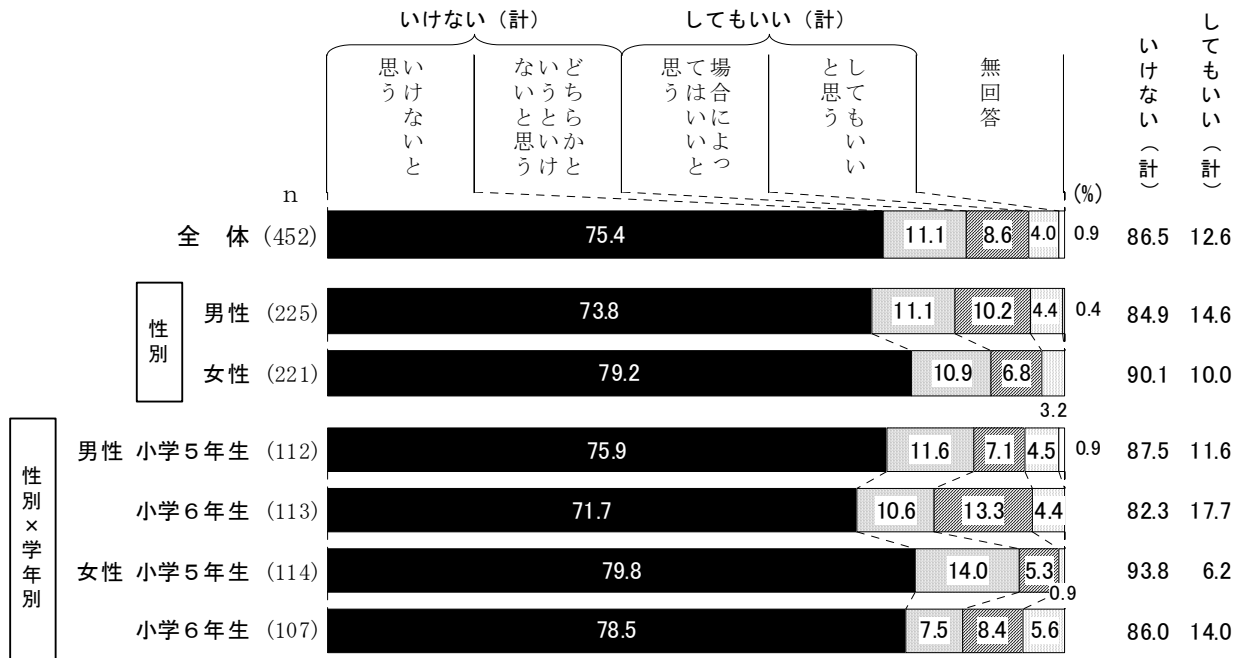


⑪援助交際をすること

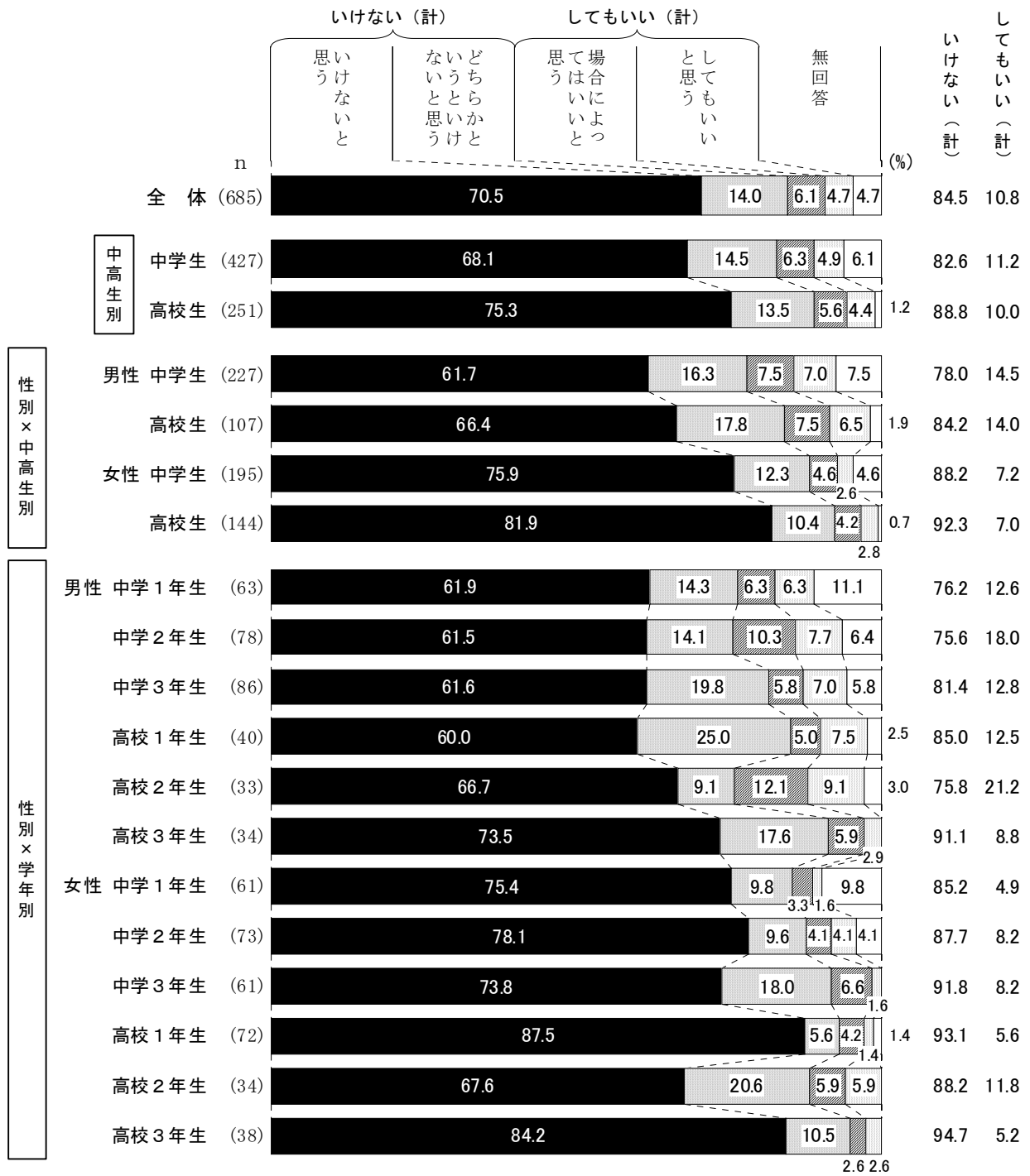
小学5・6年生については、「いけない(計)」(86.5%)が8割台半ばとなっている。性別では、「いけない(計)」は女性(90.1%)が男性(84.9%)よりも高い。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性-小学5年生(93.8%)が女性-小学6年生(86.0%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(84.5%)は8割台半ばで、小学5・6年生と大きな差はない。中高生別では、「いけない(計)」は高校生(88.8%)が中学生(82.6%)よりも高い。性別×中高生別では、「いけない(計)」は中・高校生とも女性が男性よりも高くなっている。性別×学年別では、「いけない(計)」は男女とも高校3年生で最も高くなっている。

図表13-21 援助交際をすること(小学5・6年生)



図表13-22 援助交際をすること（中・高校生）

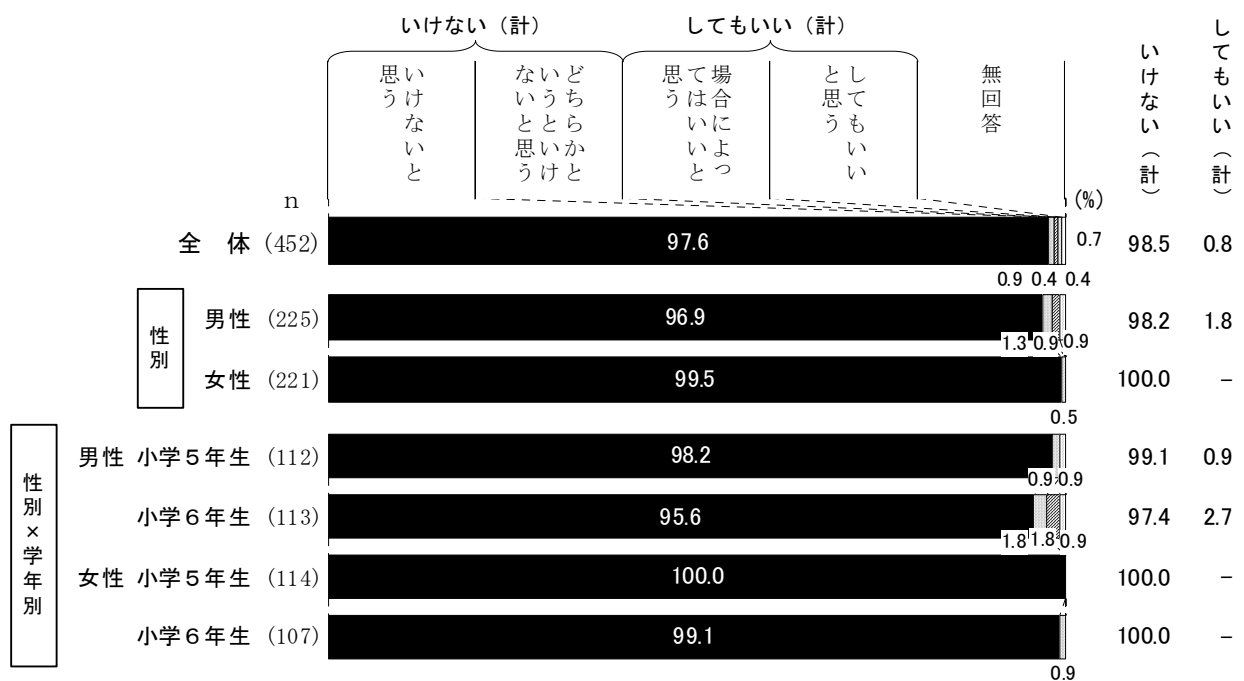


⑫万引きをすること

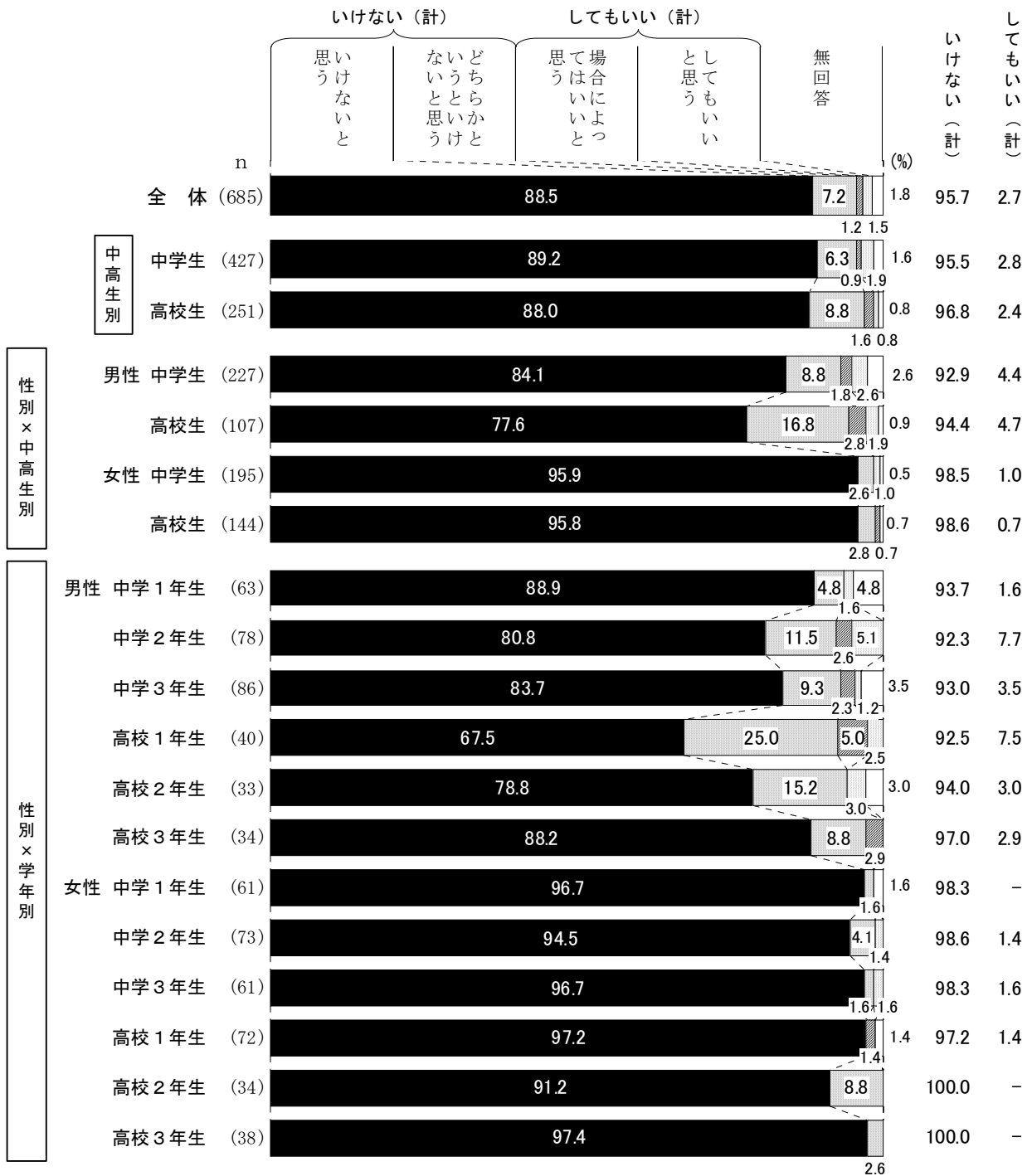
小学5・6年生については、「いけない(計)」(98.5%)は全数近くとなっている。性別、性別×学年別でも大きな差はなく、いずれも全数近くとなっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(95.7%)は9割台半ばで小学5・6年生よりも低い。中高生別、性別×中高生別では、「いけない(計)」は大きな差はない。性別×学年別では、「いけない(計)」はすべての学年で女性が男性を上回り、特に男性-高校1年生で「いけないと思う」(67.5%)が低い点が目立っている。

図表13-23 万引きをすること(小学5・6年生)



図表13-24 万引きをすること（中・高校生）

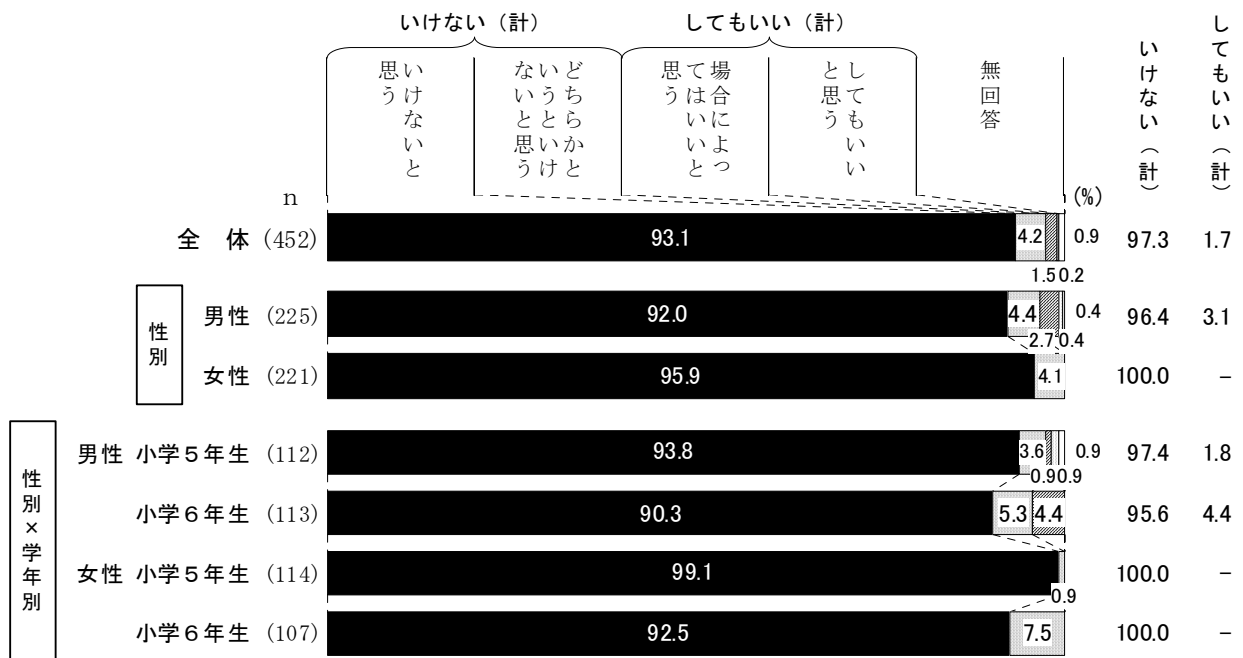


⑬いじめをすること

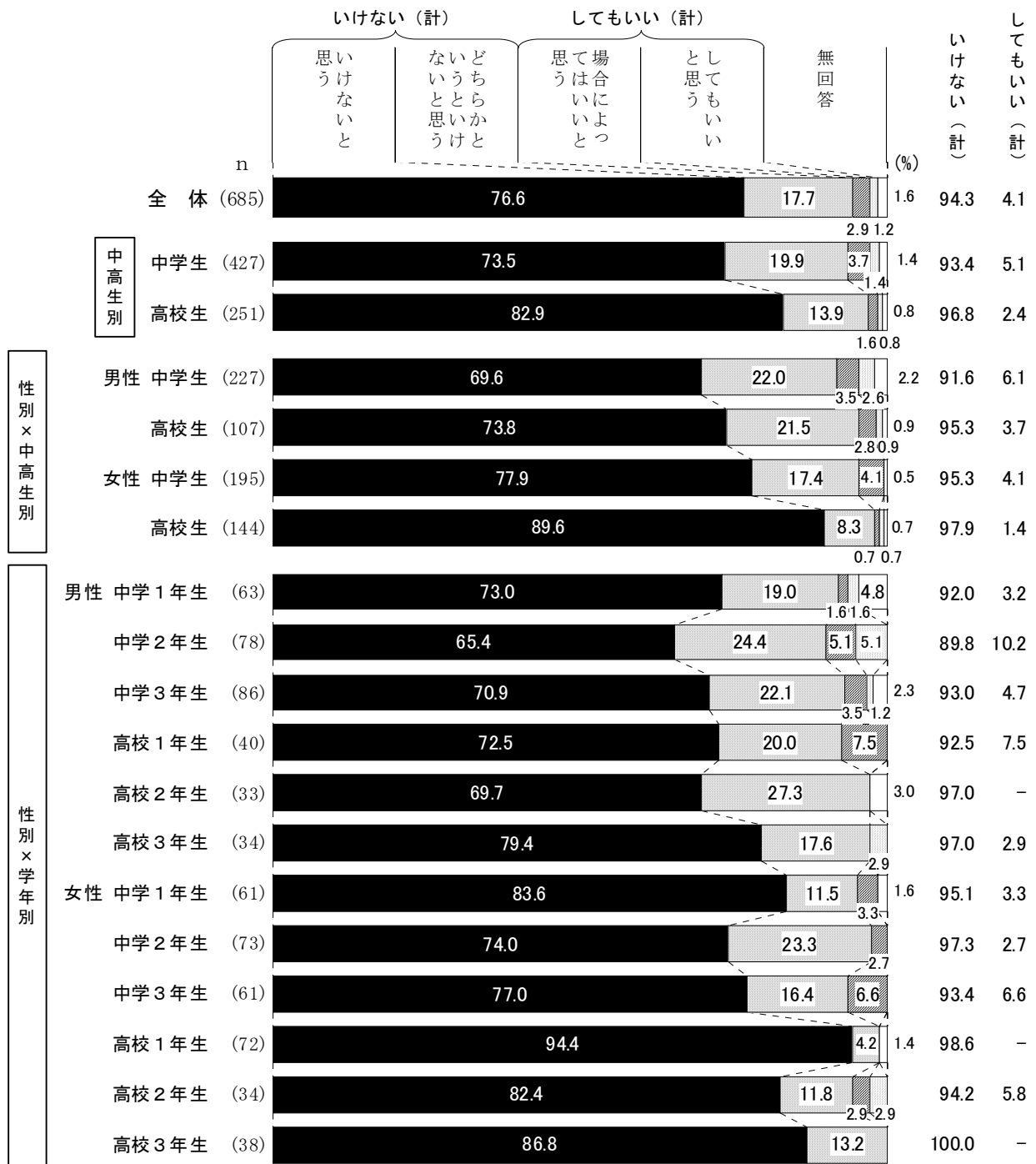
小学5・6年生については、「いけない(計)」(97.3%)が全数近くとなっている。性別では、「いけない(計)」は女性(100.0%)が男性(96.4%)よりも高い。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性は小学5・6年生とも全数となっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(94.3%)が9割台半ばで小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「いけない(計)」は大きな差はない。性別×中高生別では、「いけない(計)」は大きな差はないが、「いけないと思う」に限れば女性-高校生(89.6%)が約9割と特に高い。性別×学年別では、「いけない(計)」は男性では高校2・3年生(ともに97.0%)、女性では高校1年生(98.6%)、3年生(100.0%)で高くなっている。

図表13-25 いじめをすること(小学5・6年生)



図表13-26 いじめをすること（中・高校生）

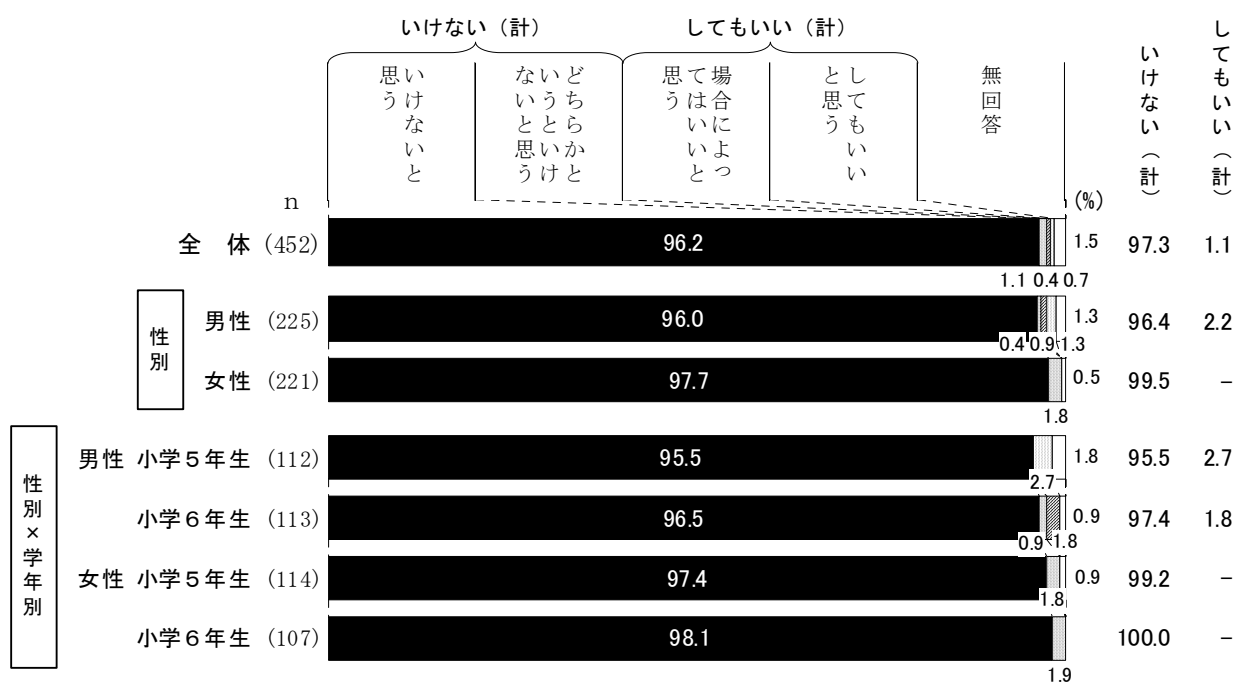


⑭シンナーや覚せい剤を使うこと

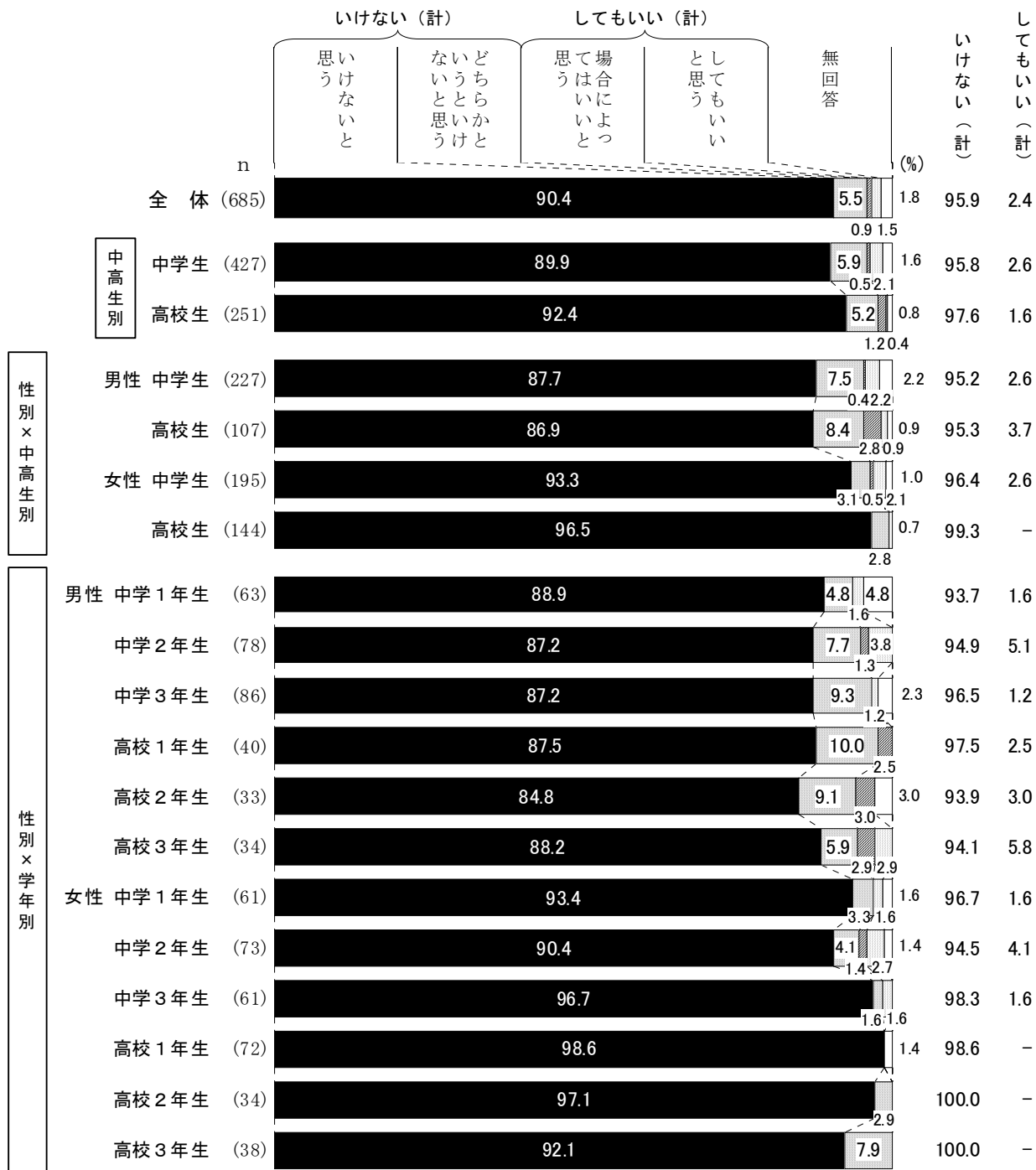
小学5・6年生については、「いけない(計)」(97.3%)が全数近くとなっている。性別では、「いけない(計)」は大きな差はない。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性-小学6年生(100.0%)で全数となっている。

中・高校生については、「いけない(計)」(95.9%)は9割台半ばで、小学5・6年生と大きな差はない。中高生別、性別×中高生別では、「いけない(計)」は大きな差はない。性別×学年別では、「いけない(計)」は女性の中学3年生以上で高い。

図表13-27 シンナーや覚せい剤を使うこと(小学5・6年生)



図表13-28 シンナーや覚せい剤を使うこと（中・高校生）

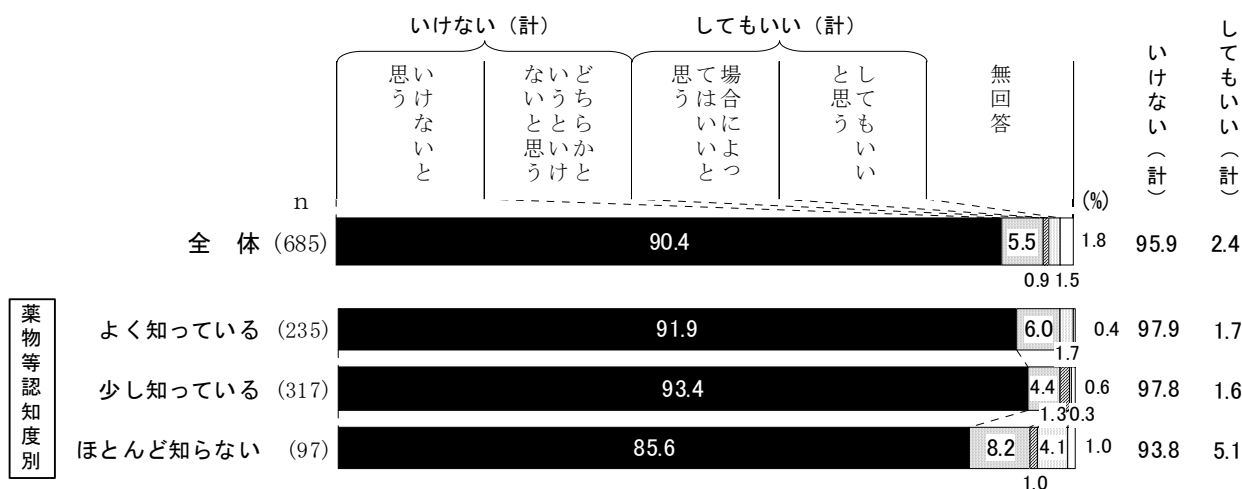


■設問間クロス：

①薬物等認知度（シンナーや薬物が身体に与える影響について）別

183頁「避妊・中絶・性感染症・薬物等の認知」の「④シンナーや薬物が身体に与える影響について」の結果を「薬物等認知度別」としてみると、「いけない（計）」では大きな差はないが、「いけないと思う」に限ると、「よく知っている」（91.9%）、「少し知っている」（93.4%）では9割を超えるが、「ほとんど知らない」（85.6%）では8割台半ばとなっている。

図表13-29 薬物等認知度×シンナーや覚せい剤を使うこと（中・高校生）



14. 性や薬物の知識について

14-1 避妊・中絶・性感染症・薬物等の認知

あなたは次のことについて知っていますか。(①~④それぞれ1つに○)

【対象：中・高校生】

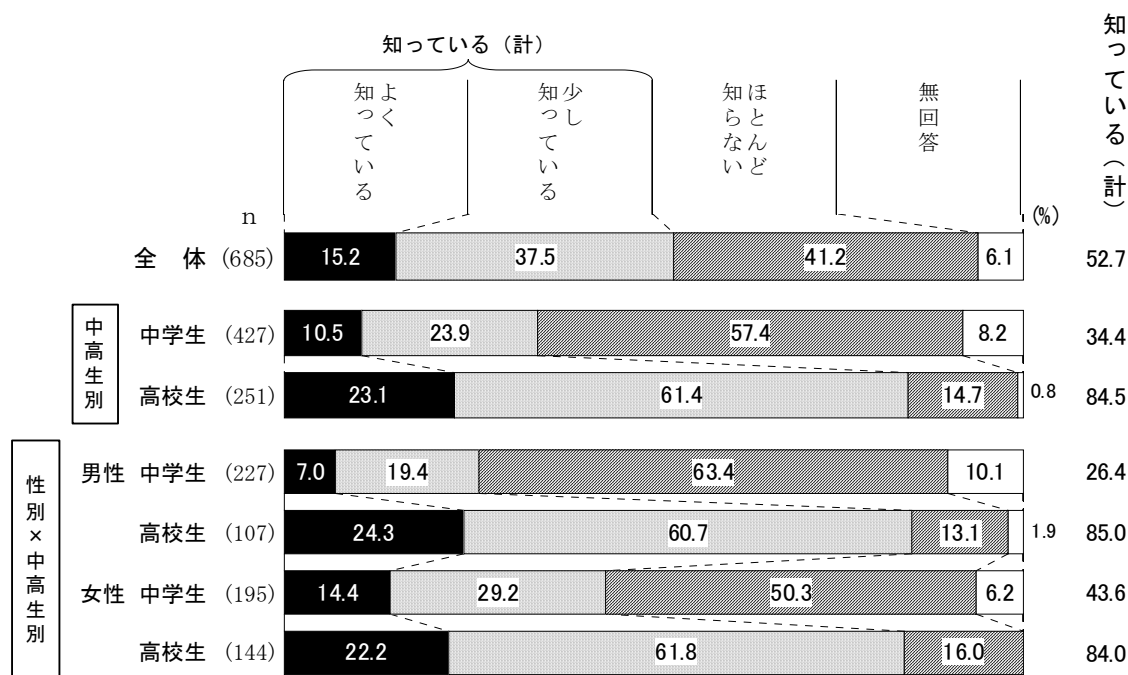
■全体の傾向：

「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた「知っている（計）」は、「④シンナーや薬物が身体に与える影響について」（80.6%）では8割を占めるが、「③性感染症について（エイズなど）」（68.0%）では約7割、「①避妊について」（52.7%）では5割を超え、「②中絶について」（45.0%）では4割台半ばにとどまっている。一方、「ほとんど知らない」は、「②中絶について」（48.8%）で約5割、「①避妊について」（41.2%）で4割を超え高くなっている。

①避妊について

「知っている（計）」（52.7%）が5割を超える。中高生別では、「知っている（計）」が高校生の84.5%に対して、中学生は34.4%にとどまる。性別×中高生別では、「知っている（計）」は高校生では男女間に大きな差はないが、中学生では男性（26.4%）が女性（43.6%）よりも低くなっている。

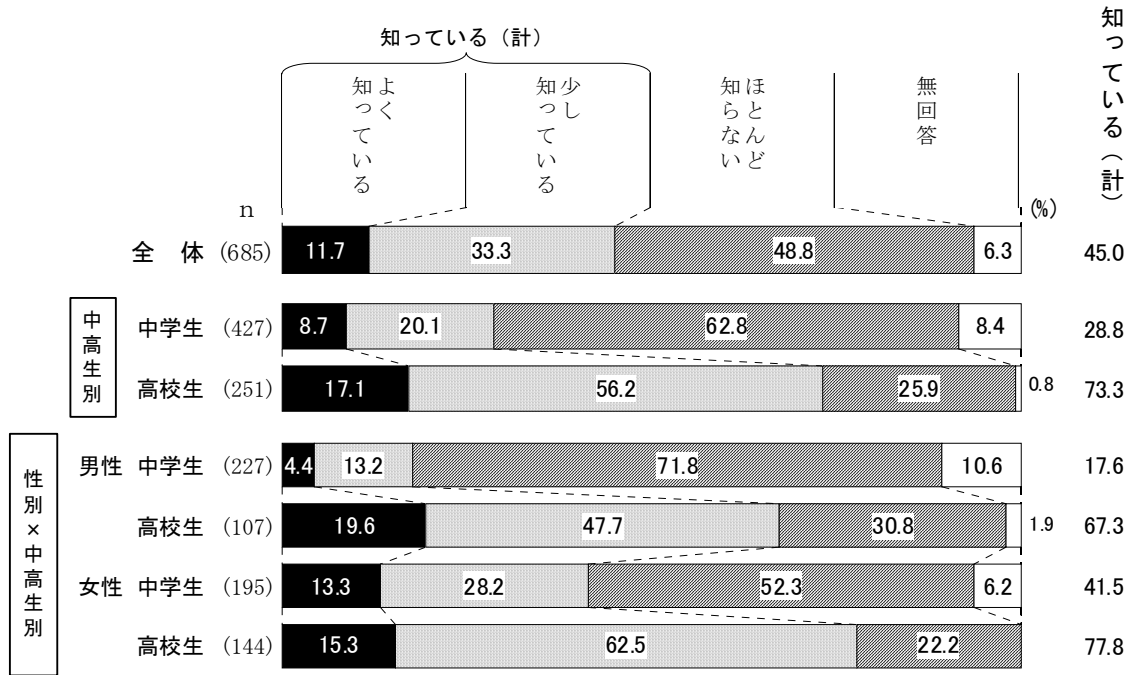
図表14-1 避妊について（中・高校生）



②中絶について

「知っている（計）」（45.0%）は4割台半ばで避妊の場合よりも低い。中高生別では、「知っている（計）」が高校生の73.3%に対して、中学生は28.8%となっている。性別×中高生別では、「知っている（計）」は中・高校生ともに女性が男性より高く、その差は中学生において特に大きい。

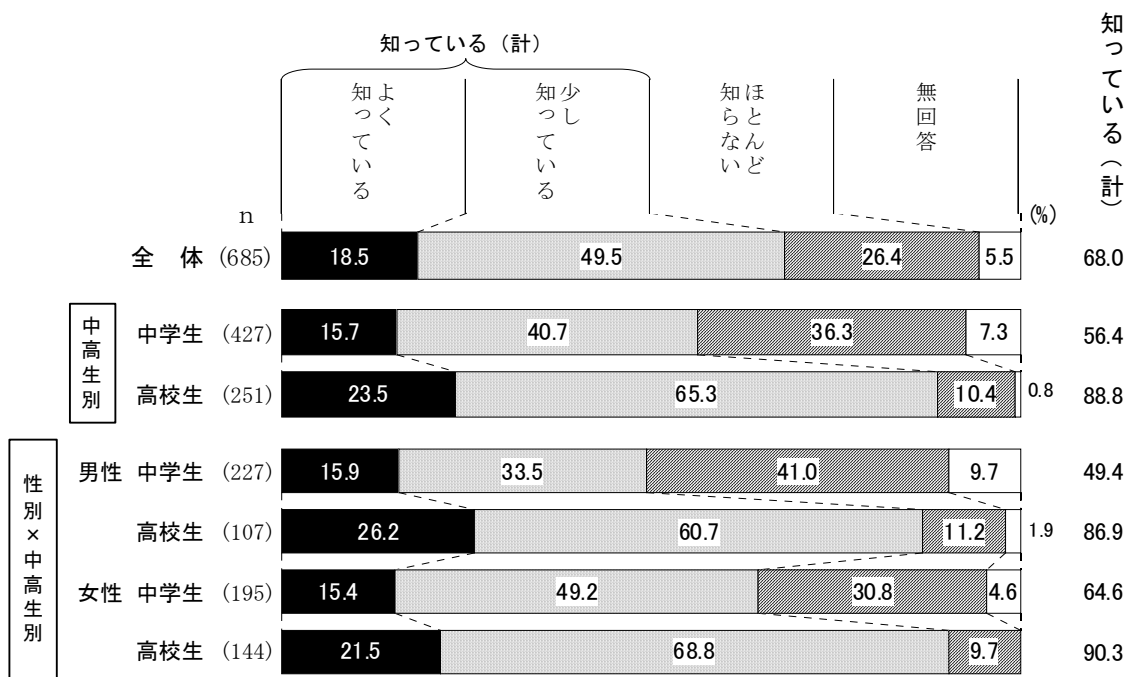
図表14-2 中絶について（中・高校生）



③性感染症について（エイズなど）

「知っている（計）」（68.0%）は約7割となっている。中高生別では、「知っている（計）」は中学生の56.4%に対して、高校生は88.8%と高い。性別×中高生別では、「知っている（計）」は高校生では男女間に大きな差はないが、中学生では女性（64.6%）が男性（49.4%）よりも高くなっている。

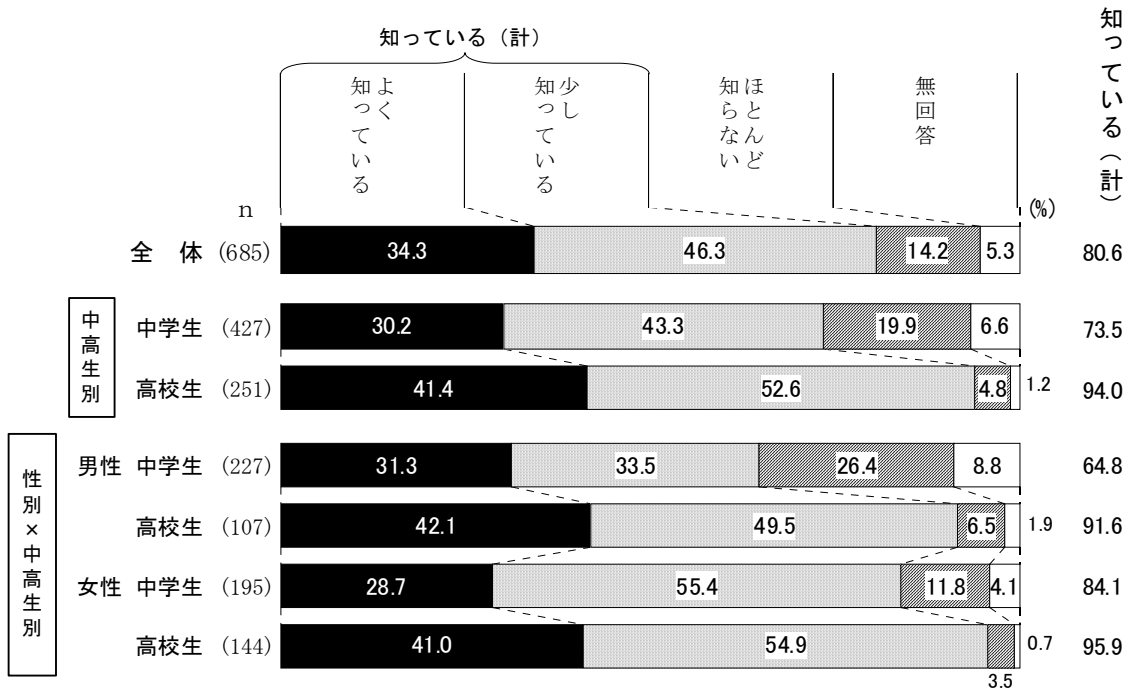
図表14-3 性感染症について（エイズなど）（中・高校生）



④シンナーや薬物が身体に与える影響について

「知っている（計）」（80.6%）は8割を占め、他の項目よりも高い。中高生別では、「知っている（計）」は中学生で73.5%、高校生で94.0%となっている。性別×中高生別では、「知っている（計）」は男性-中学生（64.8%）で6割台半ばと低い。

図表14-4 シンナーや薬物が身体に与える影響について（中・高校生）



14-1-1 避妊・中絶・性感染症・薬物等の情報源

14-1で「1. よく知っている」または「2. 少し知っている」を1つでも選んだ人にお聞きします。どのようにその情報を知りましたか。

(①~④それぞれあてはまるものすべてに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

4項目中3項目で「学校の授業・教科書」が最も高くなっている。一方、「②中絶について」は「テレビ」(43.5%)が「学校の授業・教科書」(39.0%)よりも高い。また、「①避妊について」や「②中絶について」では、「先輩・友人から」が比較的高くなっている。

①避妊について

「学校の授業・教科書」(49.9%)が約5割で、以下、「テレビ」(33.2%)、「先輩・友人から」(21.6%)の順となっている。中高生別では、中学生は「学校の授業・教科書」(16.3%)は6番目なのに対して、高校生では73.1%と最も高くなっている。性別×中高生別では、中学生は男性が「学校の授業・教科書」(23.3%)で女性(11.8%)よりも高く、逆に女性は「テレビ」(41.2%)や「親から」(12.9%)で男性より高くなっている。高校生は男性が「先輩・友人から」(26.4%)、女性は「テレビ」(34.7%)がそれぞれ高くなっている。

図表14-5 避妊について（中・高校生）

		(人、%)									
		n	・学 校の 教科 書の 授業	ネ イ ツ ン タ ー	テ レ ビ	雑 誌	か先 輩 ・ 友 人	専 門 書	親 か ら	そ の 他	無 回 答
中・高校生											
全体		361	49.9	15.0	33.2	16.6	21.6	4.2	8.6	14.4	1.9
生中 別高	中学生	147	16.3	17.7	37.4	17.0	27.2	4.1	9.5	22.4	2.7
	高校生	212	73.1	12.7	29.7	16.5	17.9	4.2	8.0	9.0	1.4
中高 生別 × 性別	男性 中学生	60	23.3	15.0	33.3	13.3	28.3	8.3	5.0	20.0	1.7
	高校生	91	76.9	17.6	23.1	13.2	26.4	5.5	8.8	5.5	1.1
	女性 中学生	85	11.8	20.0	41.2	20.0	25.9	1.2	12.9	24.7	2.4
	高校生	121	70.2	9.1	34.7	19.0	11.6	3.3	7.4	11.6	1.7

②中絶について

「テレビ」(43.5%)と「学校の授業・教科書」(39.0%)が4割前後で高く、「先輩・友人から」(16.2%)、「雑誌」(14.9%)が続いている。中高生別では、高校生は「学校の授業・教科書」(58.7%)が最も高いが、中学生(8.9%)では1割に満たない。しかし、他の項目ではいずれも中学生が上回っている。性別×中高生別では、中学生は男性が「学校の授業・教科書」(17.5%)で女性(4.9%)よりも高く、逆に女性は「親から」(11.1%)が男性(2.5%)より高くなっている。高校生は男性が「学校の授業・教科書」(75.0%)、女性は「テレビ」(49.1%)、「雑誌」(16.1%)でそれぞれ高い。

図表14-6 中絶について(中・高校生)

		n	・学 校の 授 業 の 書	ネ イ ツ ト タ ー	テ レ ビ	雑 誌	か 先 輩 ・ 友 人	専 門 書	親 か ら	そ の 他	無 回 答
(人、%)											
中・高校生											
全体		308	39.0	10.7	43.5	14.9	16.2	4.5	7.8	16.9	2.6
生中 別高	中学生	123	8.9	13.8	47.2	18.7	19.5	4.9	8.1	26.0	4.1
	高校生	184	58.7	8.7	40.8	12.5	14.1	4.3	7.6	10.9	1.6
中 高 生 別 性 別 ×	男性 中学生	40	17.5	12.5	47.5	20.0	22.5	15.0	2.5	20.0	2.5
	男性 高校生	72	75.0	13.9	27.8	6.9	13.9	6.9	9.7	5.6	1.4
	女性 中学生	81	4.9	14.8	48.1	18.5	17.3	-	11.1	29.6	3.7
	女性 高校生	112	48.2	5.4	49.1	16.1	14.3	2.7	6.3	14.3	1.8

③性感染症について(エイズなど)

「学校の授業・教科書」(66.3%)が6割台半ばで最も高く、「テレビ」(40.8%)がこれに続き、他の項目は1割以下となっている。中高生別では、高校生は「学校の授業・教科書」(86.5%)が特に高いが、中学生では「学校の授業・教科書」(47.3%)と「テレビ」(43.6%)はいずれも4割台である。性別×中高生別では、中学生は男性が「雑誌」(14.3%)や「先輩・友人から」(12.5%)で女性よりも高く、逆に女性は「テレビ」(50.8%)で高くなっている。高校生は男性が「インターネット」(15.1%)で女性(6.2%)よりも高い。

図表14-7 性感染症について(エイズなど)(中・高校生)

		n	・学 校の 授 業 の 書	ネ イ ツ ト タ ー	テ レ ビ	雑 誌	か 先 輩 ・ 友 人	専 門 書	親 か ら	そ の 他	無 回 答
(人、%)											
中・高校生											
全体		466	66.3	9.4	40.8	9.9	7.1	4.5	7.7	10.1	1.5
生中 別高	中学生	241	47.3	9.1	43.6	10.4	9.1	4.6	10.8	12.4	1.7
	高校生	223	86.5	9.9	37.7	9.4	4.9	4.5	4.5	7.6	1.3
中 高 生 別 性 別 ×	男性 中学生	112	49.1	8.0	35.7	14.3	12.5	8.0	8.0	11.6	1.8
	男性 高校生	93	88.2	15.1	35.5	9.7	6.5	6.5	3.2	6.5	1.1
	女性 中学生	126	46.0	10.3	50.8	7.1	5.6	1.6	13.5	13.5	1.6
	女性 高校生	130	85.4	6.2	39.2	9.2	3.8	3.1	5.4	8.5	1.5

④シンナーや薬物が身体に与える影響について

「学校の授業・教科書」(74.6%)が7割台半ばを占め、「テレビ」(44.7%)がこれに続き、他は1割未満である。中高生別では、「学校の授業・教科書」は高校生(92.4%)で9割を超えている。性別×中高生別では、中学生は「学校の授業・教科書」で女性(67.7%)が男性(54.4%)よりも高くなっている。高校生は男性が「インターネット」(13.3%)で高くなっている。

図表14-8 シンナーや薬物が身体に与える影響について(中・高校生)

			(人、%)								
		n	・学校 教科の 書 授 業	ネ イ ツ タ ー	テ レ ビ	雑 誌	か 先 輩 ・ 友 人	専 門 書	親 か ら	そ の 他	無 回 答
中・高校生											
全体		552	74.6	9.4	44.7	8.7	6.2	6.7	7.8	7.8	2.0
生中 別高	中学生	314	61.1	9.2	47.1	9.2	5.7	8.6	9.6	9.6	2.9
	高校生	236	92.4	9.3	41.1	8.1	6.8	3.8	5.5	5.5	0.8
中高 生別 × 性別	男性										
	中学生	147	54.4	9.5	44.9	11.6	8.2	11.6	9.5	9.5	3.4
	高校生	98	91.8	13.3	37.8	8.2	10.2	5.1	4.1	8.2	1.0
	女性										
中学生	164	67.7	8.5	48.8	7.3	3.7	6.1	9.8	9.8	2.4	
高校生	138	92.8	6.5	43.5	8.0	4.3	2.9	6.5	3.6	0.7	

15. 未成年の飲酒・喫煙について

15-1 喫煙の経験の有無

あなたは、今までに1回でも喫煙したことがありますか。(1つに○)

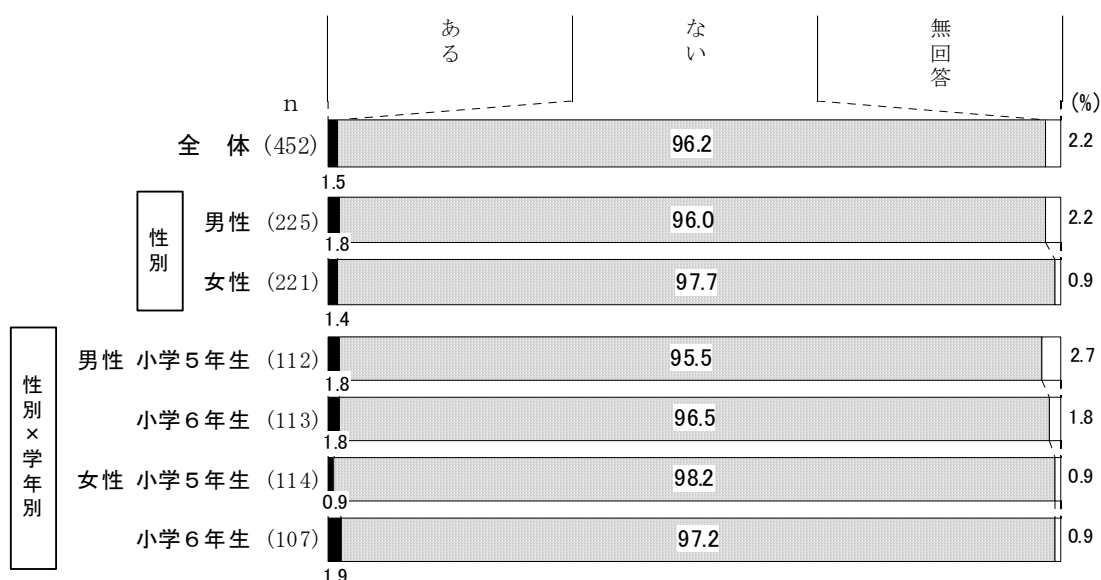
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

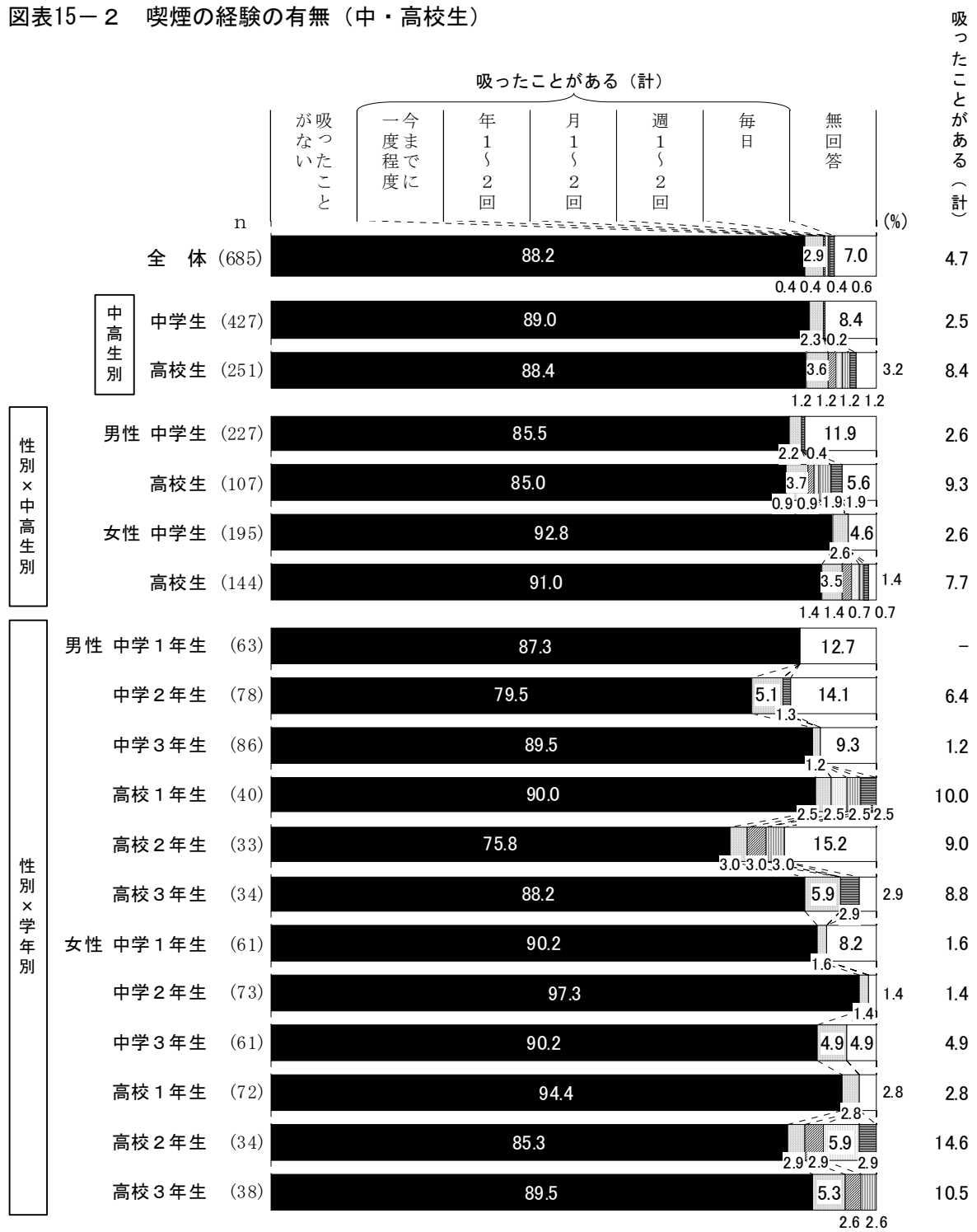
小学5・6年生については、喫煙経験が「ない」(96.2%)が9割台半ばとなっている。性別、性別×学年別では大きな差はない。

中・高校生については、「ない」(88.2%)は約9割で小学5・6年生よりも低く、「毎日」、「週1～2回」、「月1～2回」、「年1～2回」、「今までに一度程度」を合わせた「吸ったことがある(計)」が4.7%となっている。中高生別では、「吸ったことがある(計)」は高校生(8.4%)が中学生(2.5%)よりも高い。性別×中高生別では、「吸ったことがある(計)」は男女とも高校生が中学生よりも高くなっている。性別×学年別では、「吸ったことがある(計)」は男性では高校1年生以上、女性では高校2年生以上で1割前後と高い。

図表15-1 喫煙の経験の有無(小学5・6年生)



図表15-2 喫煙の経験の有無（中・高校生）



15-1-1 タバコを手に入れた場所

15-1で「1. ある」(小学5・6年)、「2. 今までに一度程度」～「6. 毎日」(中・高校生)と答えた人にお聞きします。どこでタバコを手に入れましたか。
(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、喫煙経験のある7人にタバコの入手先を聞いたところ、「自動販売機」と「家にあった」がそれぞれ2人となっている。

中・高校生では、「友だちにもらった」(27.3%)、「自動販売機」(24.2%)、「家にあった」(24.2%)の3つが高くなっている。

図表15-3 タバコを手に入れた場所 (小学5・6年生／中・高校生)

	n	自動販売機	タバコ屋	スーパー・コンビニ	家にあった	友だちにもらった	飲食店	駅の売店	その他	無回答
小学5・6年生 (人)										
全体	7	2	1	1	2	1	1	1	5	-
中・高校生 (%)										
全体	33	24.2	6.1	18.2	24.2	27.3	3.0	6.1	24.2	15.2

15-1-2 喫煙の健康への影響の認知

15-1で「1. ある」(小学5・6年)、「2. 今までに一度程度」～「6. 毎日」(中・高校生)と答えた人にお聞きします。喫煙の健康への影響について知っていますか。

(1つに〇)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

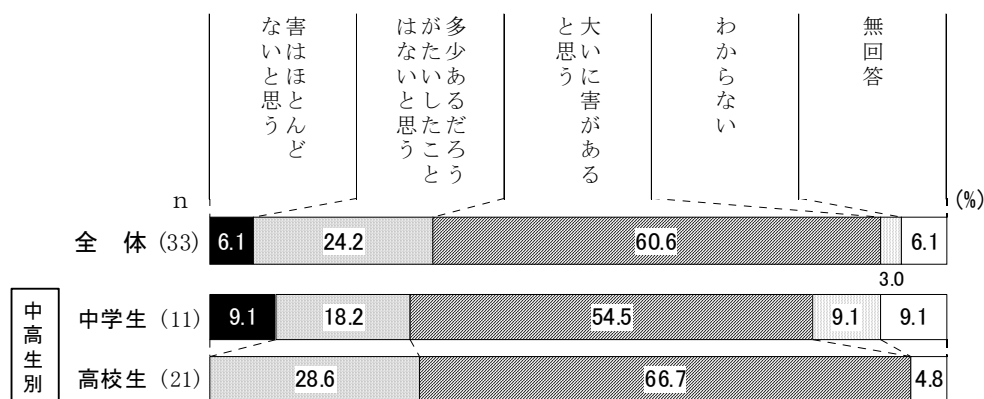
小学5・6年生については、「大いに害があると思う」が7人中4人となっている。

中・高校生については、「大いに害があると思う」(60.6%)が6割を占める。

図表15-4 喫煙の健康への影響の認知 (小学5・6年生)

		(人)			
	n	な害は いとほ うと ん ど	はが な た 少 い あ る だ ら う こ う	と大 思 い に 害 が あ る	わ か ら な い
小学5・6年生					
全 体	7	2	1	4	-

図表15-5 喫煙の健康への影響の認知 (中・高校生)



※中高生別についてはnが30未満のため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

15-2 飲酒の経験の有無

あなたは、今までに飲酒をしたことがありますか。(1つに○)

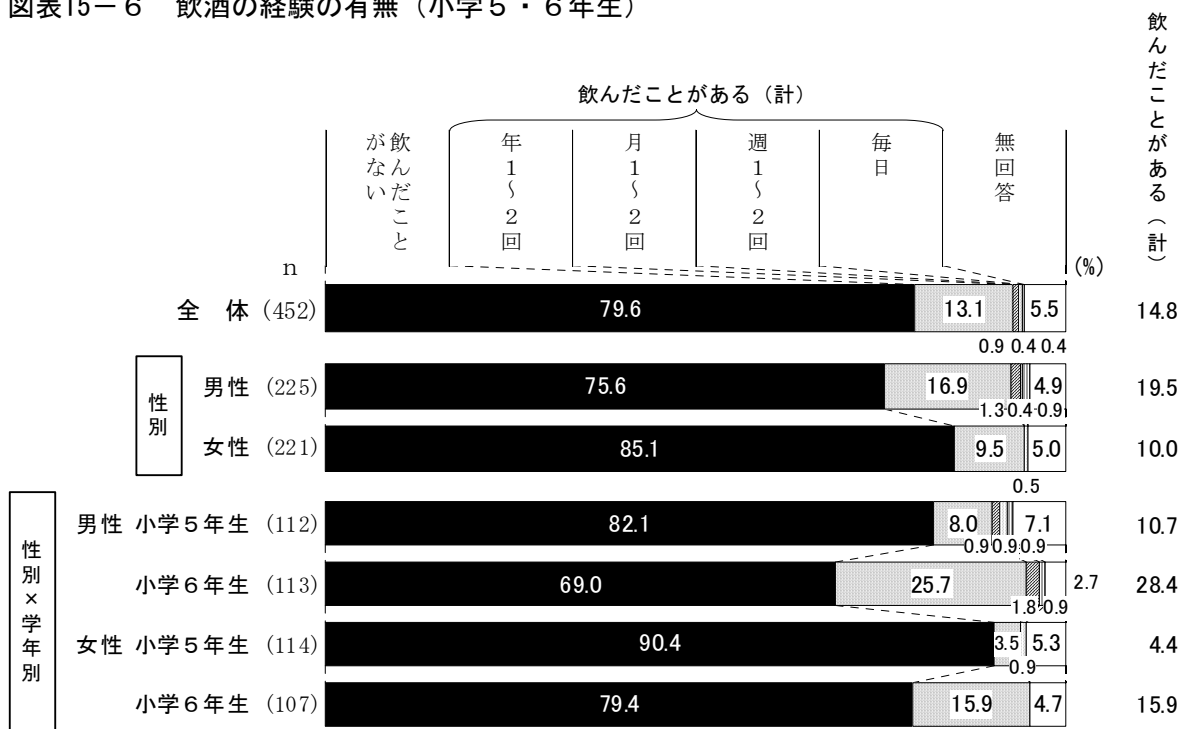
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

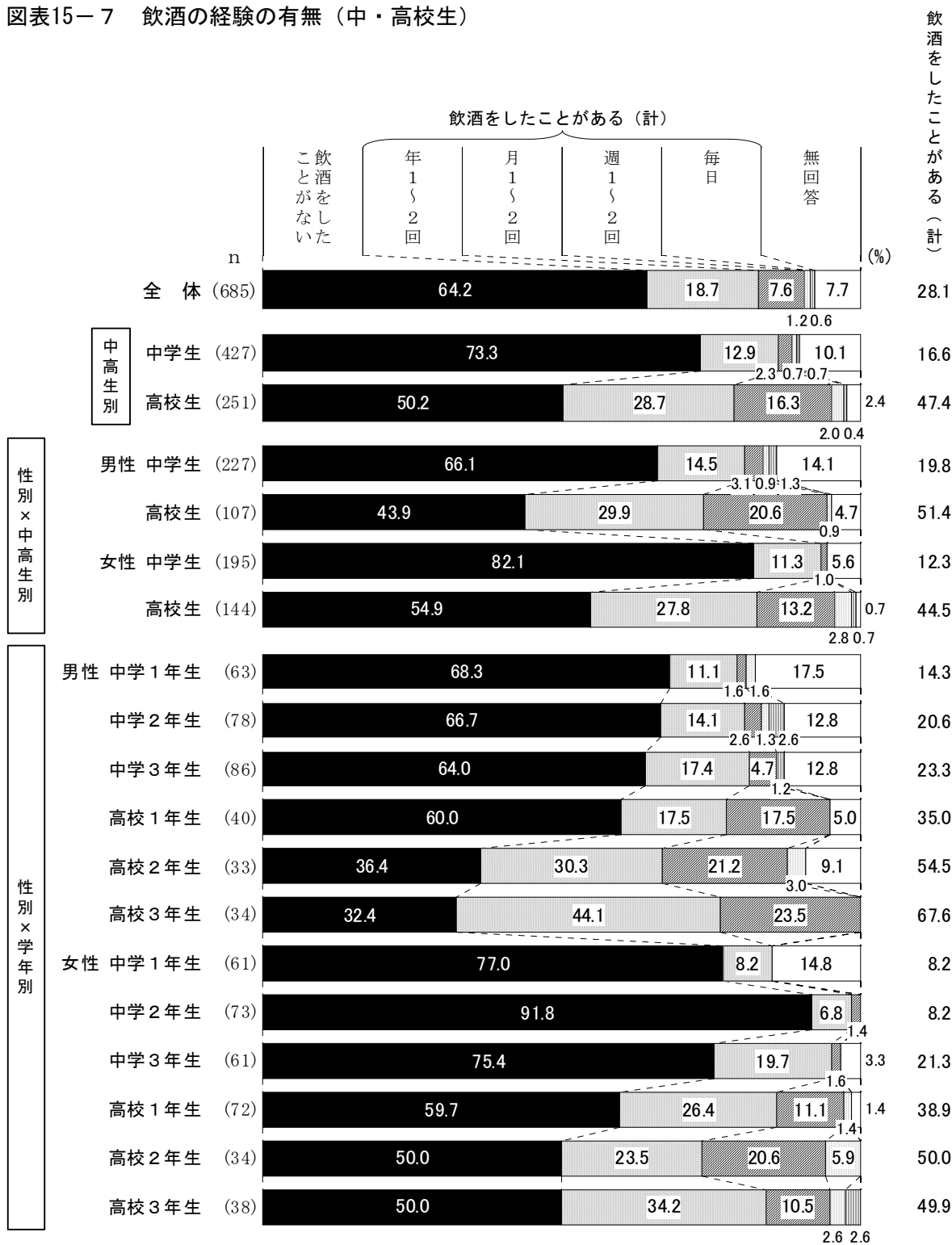
小学5・6年生については、「飲んだことがない」(79.6%)が約8割となっている。性別では、「毎日」、「週1～2回」、「月1～2回」、「年1～2回」を合わせた「飲んだことがある(計)」は、男性(19.5%)が女性(10.0%)の約2倍となっている。性別×学年別では、「飲んだことがある(計)」は男女とも小学6年生が高く、小学5・6年生とも男性が高い。

中・高校生については、「飲酒をしたことがない」(64.2%)が6割台半ばと小学5・6年生よりも約15ポイント低い。中高生別では、「飲酒をしたことがある(計)」は高校生(47.4%)で約5割と高い。性別×中高生別では、「飲酒をしたことがある(計)」は男女とも高校生が中学生よりも30ポイント以上高い。性別×学年別では、「飲酒をしたことがある(計)」は男性では高校2年生以上で5割を超え、女性も高校2年生以上で約5割となっている。

図表15-6 飲酒の経験の有無(小学5・6年生)



図表15-7 飲酒の経験の有無（中・高校生）



15-2-1 飲酒をした場所

15-2で「2. 年1～2回」から「5. 毎日」と答えた人にお聞きします。あなたはどのような場で飲酒をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、飲酒経験のある67人に、飲酒した場所を聞いたところ、「自宅で（正月等家族と過ごす中で）」（74.6%）が高く、「結婚式やお葬式などで」（19.4%）がこれに次いでいる。

中・高校生については、「自宅で（正月等家族と過ごす中で）」（65.1%）が6割台半ばと高く、以下、「冠婚葬祭」（20.8%）、「部屋で友だちと」（16.7%）と続いている。中高生別では、高校生は「部屋で友だちと」（26.1%）や「居酒屋」（16.8%）が中学生に比べて高い。性別×中高生別では、「部屋で友だちと」や「冠婚葬祭」は男性-高校生が女性-高校生よりも高く、「レストラン（行事等の打ち上げなど）」は、逆に女性-高校生（12.5%）が男性-高校生（7.3%）よりも高くなっている。

図表15-8 飲酒をした場所（小学5・6年生／中・高校生）

		(人、%)								
		n	冠 婚 葬 祭※ 1	自 宅 で (正 月 等 家 族 と 過 ご す 中 で) ※ 2	レ ス ト ラ ン (行 事 等 の 打 ち 上 げ な ど) ※ 2	居 酒 屋	部 屋 で 友 だ ち と	一 人 で	そ の 他	無 回 答
小学5・6年生										
全体		67	19.4	74.6	3.0	7.5	1.5	3.0	13.4	-
性別	男性	44	25.0	65.9	4.5	11.4	2.3	4.5	13.6	-
	女性	22	9.1	90.9	-	-	-	-	13.6	-
中・高校生										
全体		192	20.8	65.1	8.9	13.5	16.7	7.3	15.1	4.2
生中 別高	中学生	71	18.3	66.2	7.0	8.5	1.4	4.2	22.5	2.8
	高校生	119	22.7	64.7	10.1	16.8	26.1	9.2	10.1	5.0
中高 性別× 生別	男性 中学生	45	17.8	64.4	4.4	6.7	2.2	4.4	28.9	2.2
	男性 高校生	55	27.3	65.5	7.3	18.2	32.7	9.1	7.3	5.5
	女性 中学生	24	20.8	66.7	12.5	12.5	-	4.2	12.5	4.2
	女性 高校生	64	18.8	64.1	12.5	15.6	20.3	9.4	12.5	4.7

※1 小学生は「結婚式やお葬式などで」

※2 小学生は「レストラン」

※小学5・6年生の女性はnが30未満のため、性別については具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

15-2-2 飲酒の健康への影響の認知

15-2で「2. 年1~2回」~「5. 毎日」と答えた人にお聞きします。飲酒の健康への影響について知っていますか。(1つに〇)

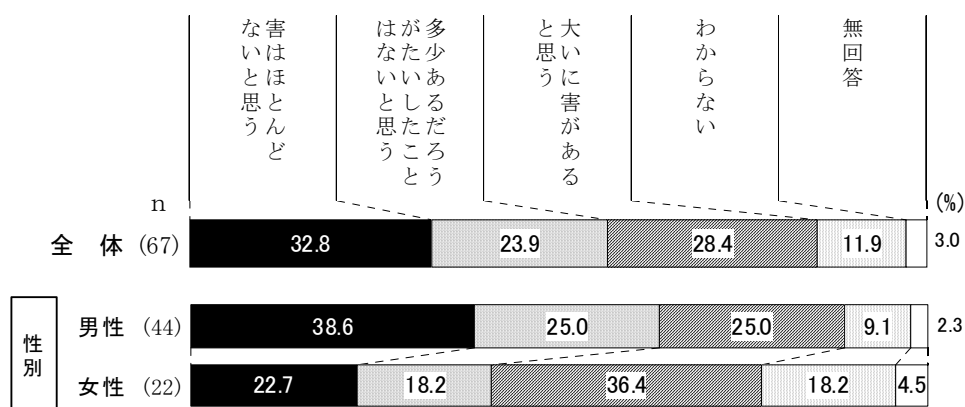
【対象：小学5・6年生/中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「害はほとんどないと思う」(32.8%)が3割を超えて最も高く、「大いに害があると思う」(28.4%)がこれに次いでいる。

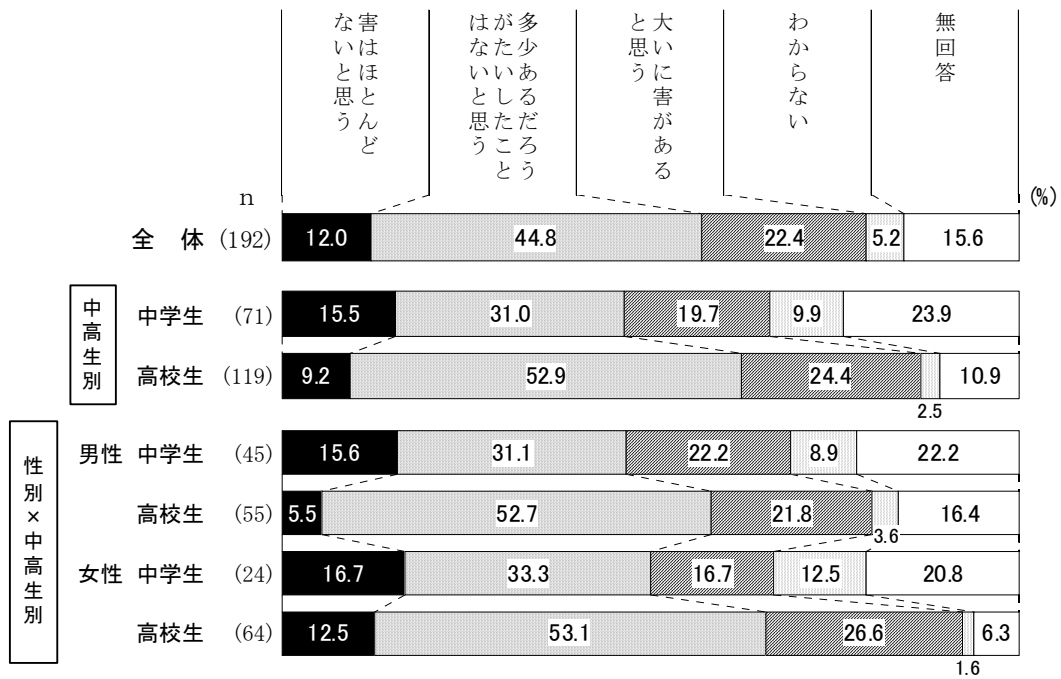
中・高校生については、「多少あるだろうがたいしたことはないと思う」(44.8%)が4割台半ばで最も高く、「大いに害があると思う」(22.4%)がこれに次ぐ。中高生別では、高校生は中学生に比べて「大いに害があると思う」(24.4%)や「多少あるだろうがたいしたことはないと思う」(52.9%)が高くなっている。性別×中高生別では、「多少あるだろうがたいしたことはないと思う」が男女とも高校生で5割を超えている。

図表15-9 飲酒の健康への影響の認知 (小学5・6年生)



※小学5・6年生の女性はnが30未満のため、性別については具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

図表15-10 飲酒の健康への影響の認知（中・高校生）



16. 将来の展望について

16-1 大人になることへの意向

あなたは、大人になりたいと思いますか。(1つに○)

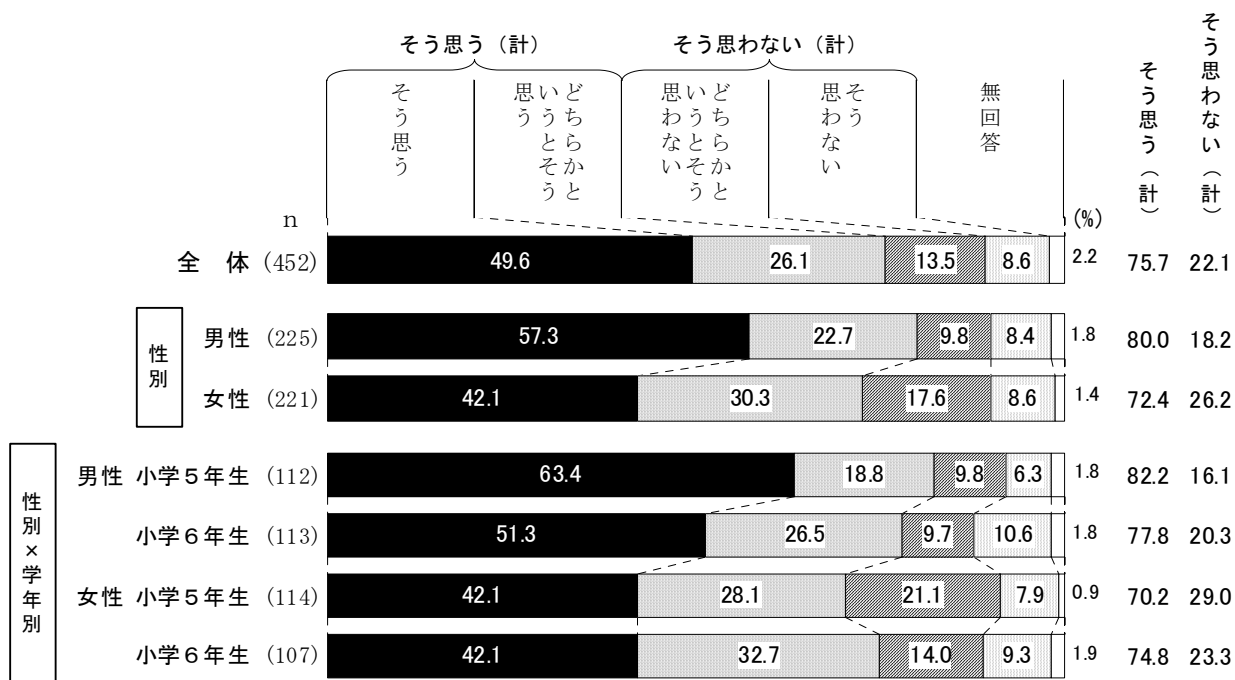
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

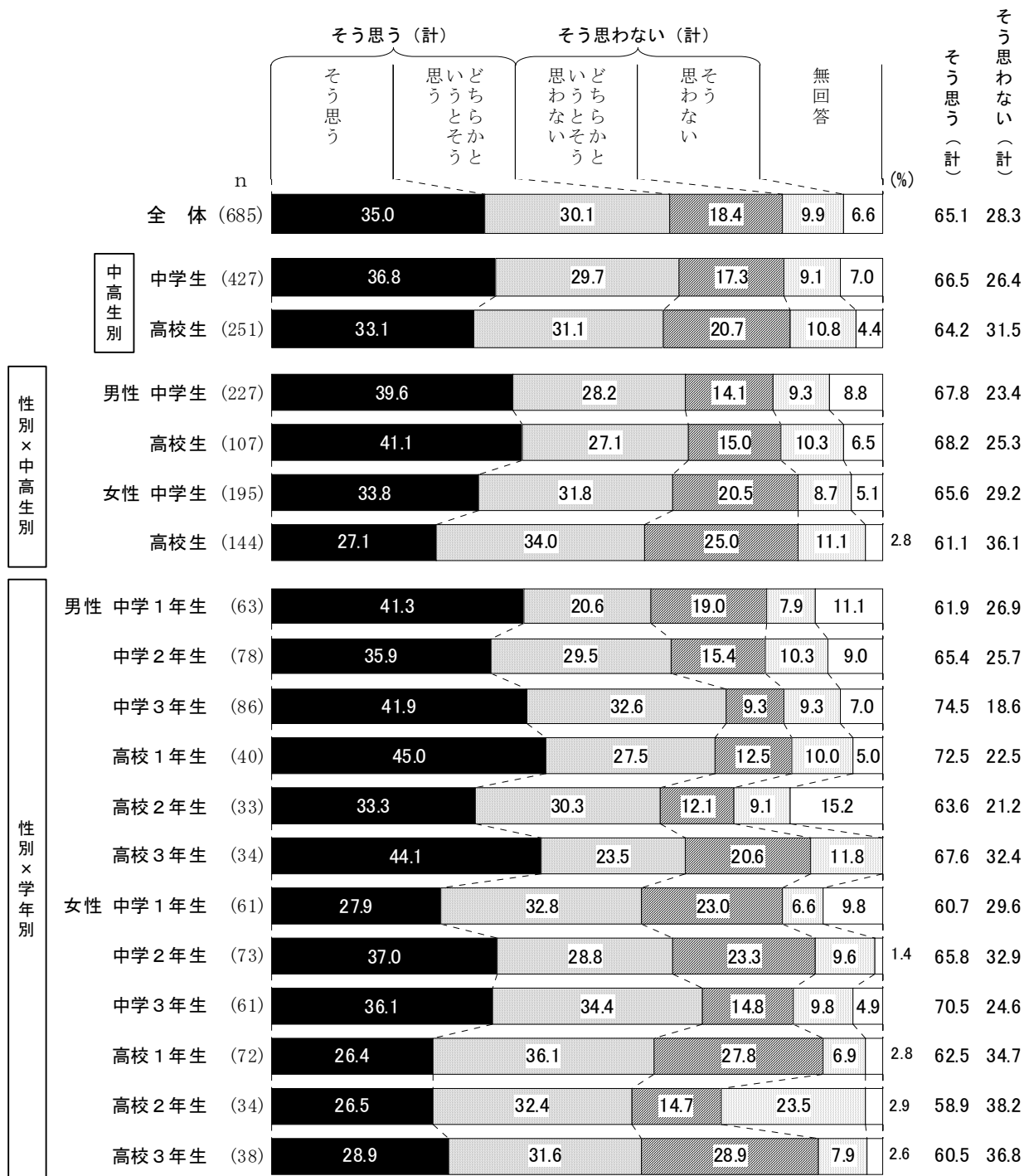
小学5・6年生については、「そう思う」(49.6%)が約5割を占める。これに「どちらかというと思う」(26.1%)を合わせた「そう思う(計)」(75.7%)は7割台半ばとなっている。性別では、「そう思う(計)」は男性(80.0%)が女性(72.4%)よりも高い。性別×学年別では、「そう思う(計)」は男性-小学5年生(82.2%)が女性-小学5年生(70.2%)よりも高くなっている。

中・高校生については、「そう思う(計)」(65.1%)が6割台半ばで小学5・6年生よりも約11ポイント低い。一方、「そう思わない」(9.9%)と「どちらかというと思わない」(18.4%)を合わせた「そう思わない(計)」(28.3%)は約3割である。中高生別では、中・高校生の方に大きな差はない。性別×中高生別では、「そう思う(計)」に大きな差はないが、「そう思う」に限れば女性-高校生(27.1%)で低くなっている。性別×学年別では、「そう思う(計)」は男女とも中学生は高学年になるほど高く、高校生になるとやや低くなる。

図表16-1 大人になることへの意向 (小学5・6年生)



図表16-2 大人になることへの意向（中・高校生）



16-1-1 大人になりたいと思わない理由

16-1で「3. どちらかというと思わない」または「4. そう思わない」と答えた人にお聞きします。大人になりたいと思わない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、大人になりたい意向を持っていない100人に、その理由を聞いたところ、「今が楽しいから」(77.0%)が約8割と特に高く、「仕事や家庭を持ち責任が重くなるから」(25.0%)、「大人は楽しそうに見えないから」(23.0%)がこれに次いでいる。性別では、「自分の時間が少なくなるから」は男性(26.8%)が女性(6.9%)より高い。

中・高校生については、「今が楽しいから」(64.9%)が特に高くなっており、「大人は楽しそうに見えないから」(38.7%)、「仕事や家庭を持ち責任が重くなるから」(38.1%)、「自分の時間が少なくなるから」(33.5%)が3割台となっている。中高生別では、「仕事や家庭を持ち責任が重くなるから」で中学生(42.5%)が高校生(31.6%)よりも高い。性別×中高生別では「仕事や家庭を持ち責任が重くなるから」が女性-中学生(45.6%)で高い。

図表16-3 大人になりたいと思わない理由（小学5・6年生／中・高校生）

		(人、%)							
		n	責任が重くなるから	自分の時間から	今が楽しいから	人生の選択肢が	大人は楽しそうに見えないから	その他	無回答
小学5・6年生									
全体		100	25.0	15.0	77.0	11.0	23.0	7.0	3.0
性別	男性	41	31.7	26.8	78.0	17.1	29.3	9.8	-
	女性	58	20.7	6.9	77.6	6.9	19.0	5.2	3.4
学年別×性別	男性 小学5年生	18	27.8	16.7	83.3	11.1	16.7	5.6	-
	小学6年生	23	34.8	34.8	73.9	21.7	39.1	13.0	-
	女性 小学5年生	33	18.2	6.1	84.8	6.1	12.1	6.1	-
	小学6年生	25	24.0	8.0	68.0	8.0	28.0	4.0	8.0
中・高校生									
全体		194	38.1	33.5	64.9	17.0	38.7	13.4	2.1
中高生別	中学生	113	42.5	35.4	69.0	16.8	38.1	14.2	3.5
	高校生	79	31.6	31.6	60.8	16.5	39.2	12.7	-
中高生別×性別	男性 中学生	53	37.7	45.3	66.0	22.6	45.3	13.2	1.9
	高校生	27	29.6	37.0	51.9	18.5	48.1	14.8	-
	女性 中学生	57	45.6	28.1	71.9	12.3	31.6	15.8	5.3
	高校生	52	32.7	28.8	65.4	15.4	34.6	11.5	-

※男性-小学5・6年生、女性-小学6年生はnが30未満のため、性別×学年別については具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

16-2 尊敬できる大人、モデルにしたいような大人の有無

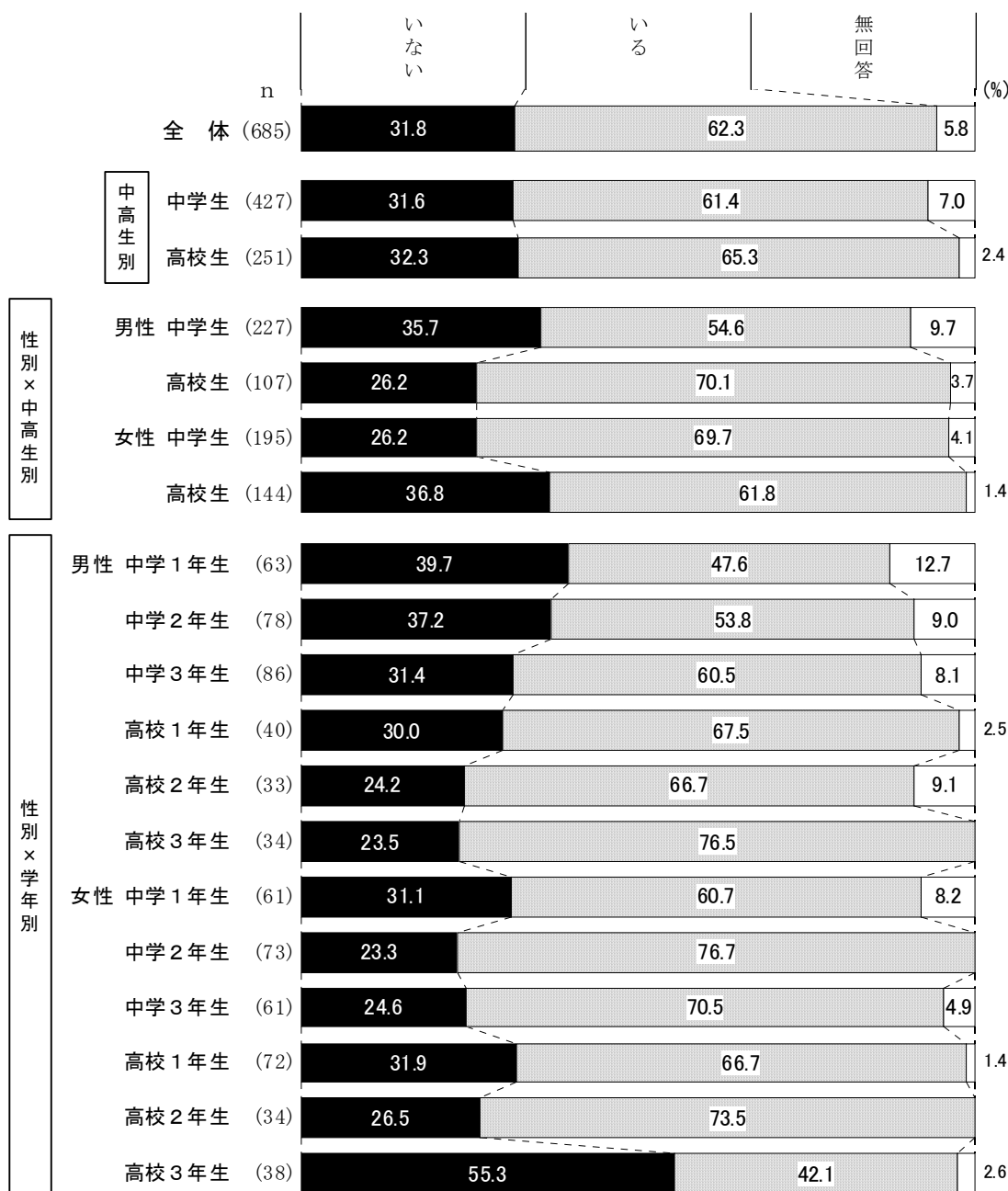
あなたは、尊敬できる大人、モデルにしたいような大人がいますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「いる」(62.3%)は6割を超えており、「いない」(31.8%)の約2倍となっている。中高生別では、中・高校生の間で大きな差はない。性別×中高生別では、「いる」は男性では高校生(70.1%)が高く、女性では中学生(69.7%)が高い。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「いる」も高い傾向にあるが、女性は中学2年生(76.7%)が最も高く、高校3年生(42.1%)が最も低くなっている。

図表16-4 尊敬できる大人、モデルにしたいような大人の有無(中・高校生)



16-3 子どもだと思いう期間

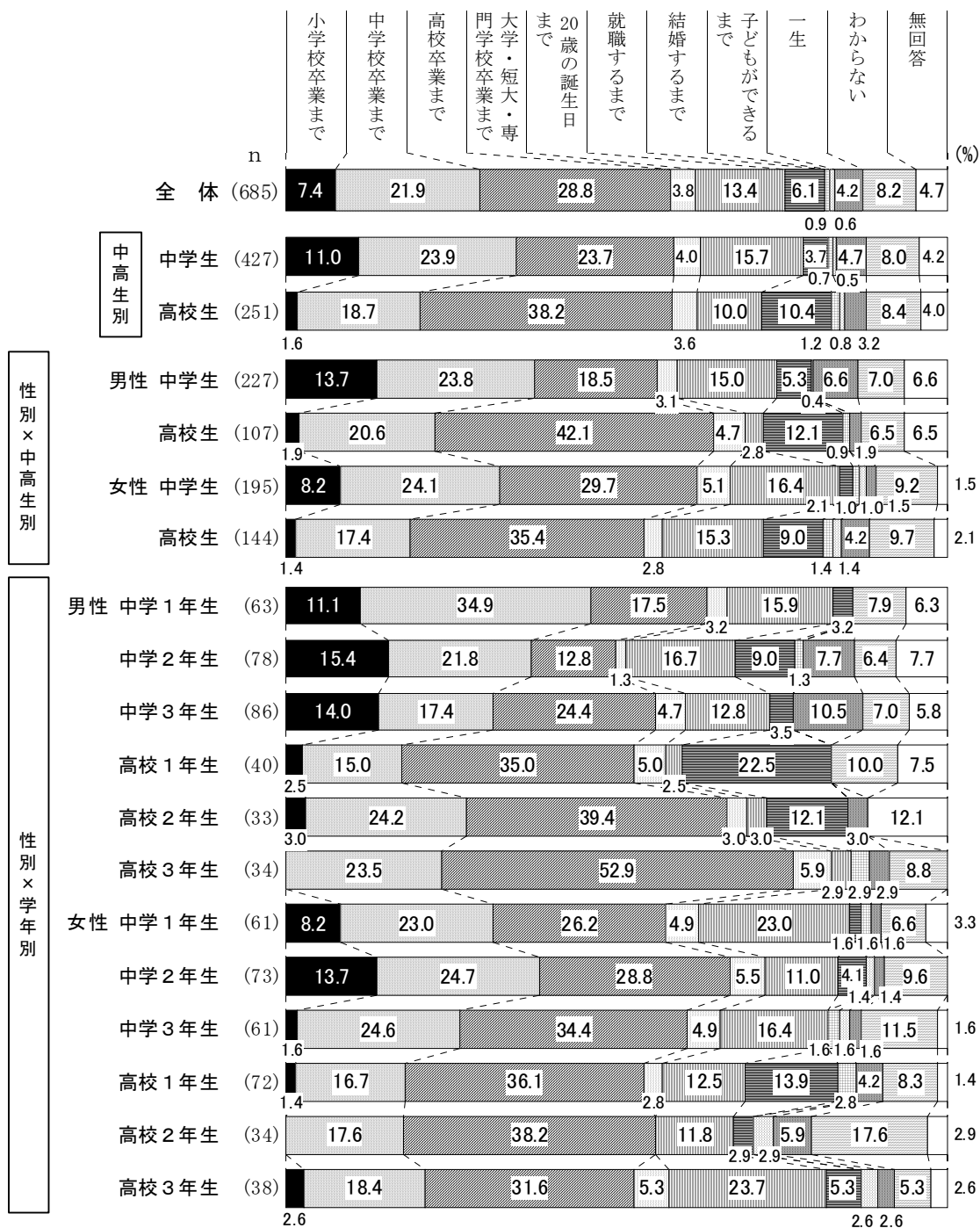
あなたは、いくつまでが子どもだと思えますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「高校卒業まで」(28.8%)が約3割、「中学校卒業まで」(21.9%)が2割を超えている。中高生別では、高校生は中学生に比べて「高校卒業まで」(38.2%)が高く、「小学校卒業まで」(1.6%)が低くなっている。性別×中高生別では、女性は中・高校生ともに「高校卒業まで」が最も高いが、男性は中学生では「中学校卒業まで」(23.8%)、高校生では「高校卒業まで」(42.1%)が最も高い。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「高校卒業まで」が高くなる傾向があり、高校3年生(52.9%)では5割を超える。女性は中・高校生とも「高校卒業まで」は男性ほど大きな差はなく、中学1年生や高校3年生では「20歳の誕生日まで」が2割以上と高い。

図表16-5 子どもだと思う期間（中・高校生）



16-4 選挙権を持つことに妥当な年齢

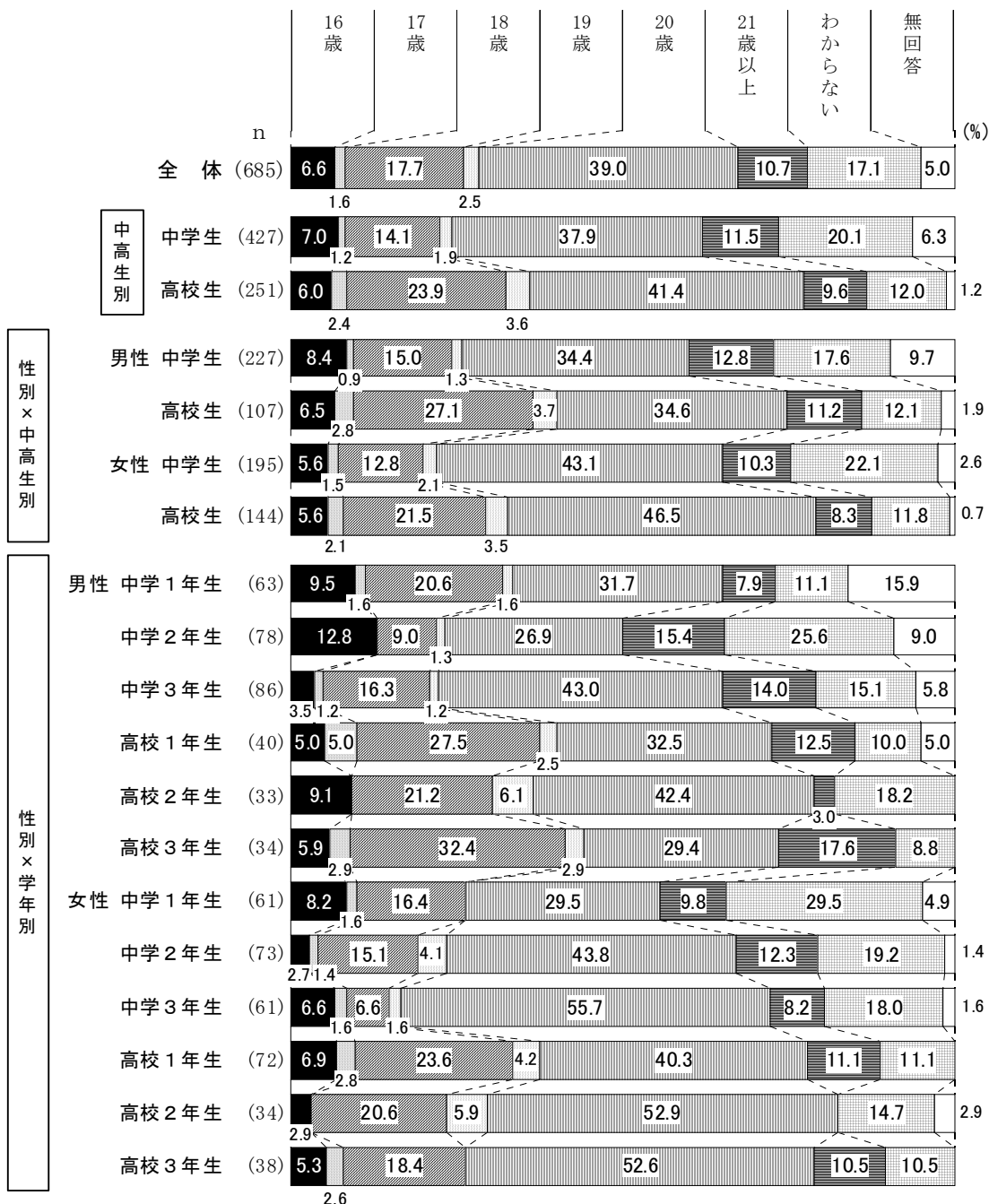
あなたは、何歳から選挙権を持つことが妥当だと思いますか。(1つに○)

【対象：中・高校生】

■全体の傾向：

「20歳」(39.0%)が約4割を占め、次いで「18歳」(17.7%)が約2割となっている。なお、20歳未満の累計は28.4%となっている。中高生別では、高校生は中学生に比べて「18歳」(23.9%)が高く、中学生は「わからない」(20.1%)が高くなっている。性別×中高生別では、「20歳」は男性は中・高校生とも3割台半ばだが、女性は中・高校生とも4割台半ばと高く、特に高校生(46.5%)で高い。性別×学年別では、「20歳」は女性の中学3年生(55.7%)、高校2・3年生で5割台と特に高い。

図表16-6 選挙権を持つことに妥当な年齢(中・高校生)



16-5 子どものうちにすべきこと

子どものうちにすべきことは何だと思いますか。(①～⑫それぞれ1つに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた「そう思う（計）」は、ほとんどの項目で9割を超え、「②友だちを作ること」（95.6%）が最も高く、「⑦常識を身につけること」（94.7%）、「④体力をつけること」（93.8%）、「⑫自分の考えや意見を身につけること」（93.8%）でも9割台半ばと高くなっている。一方、「⑥将来の進路を決定すること」（85.2%）と「⑧本を読むこと」（86.5%）は8割台半ばと低い。

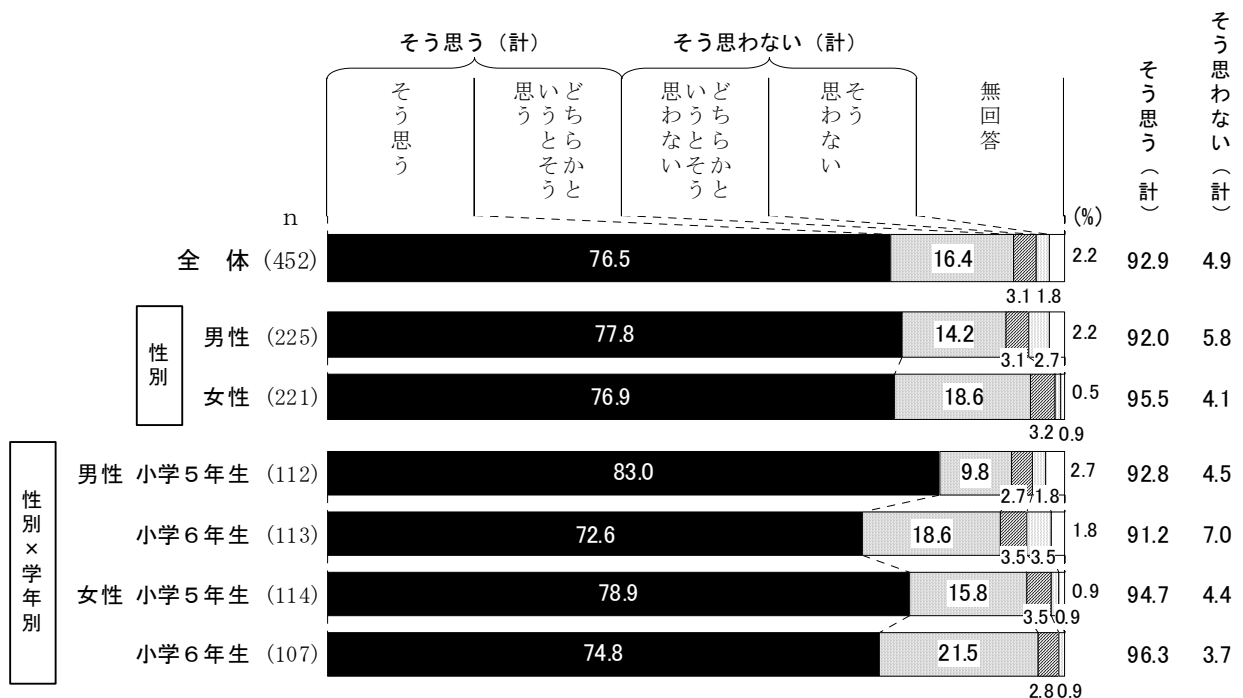
中・高校生については、「そう思う（計）」は全ての項目で小学5・6年生よりも低くなっている。「②友だちを作ること」（93.7%）が9割台半ばで最も高く、「⑨遊ぶこと」（92.9%）、「⑫自分の考えや意見を身につけること」（91.3%）、「④体力をつけること」（91.1%）、「⑦常識を身につけること」（91.1%）が9割を超えている。一方、「⑧本を読むこと」（70.8%）は7割、「⑥将来の進路を決定すること」（77.4%）は約8割と低い。

①勉強をすること

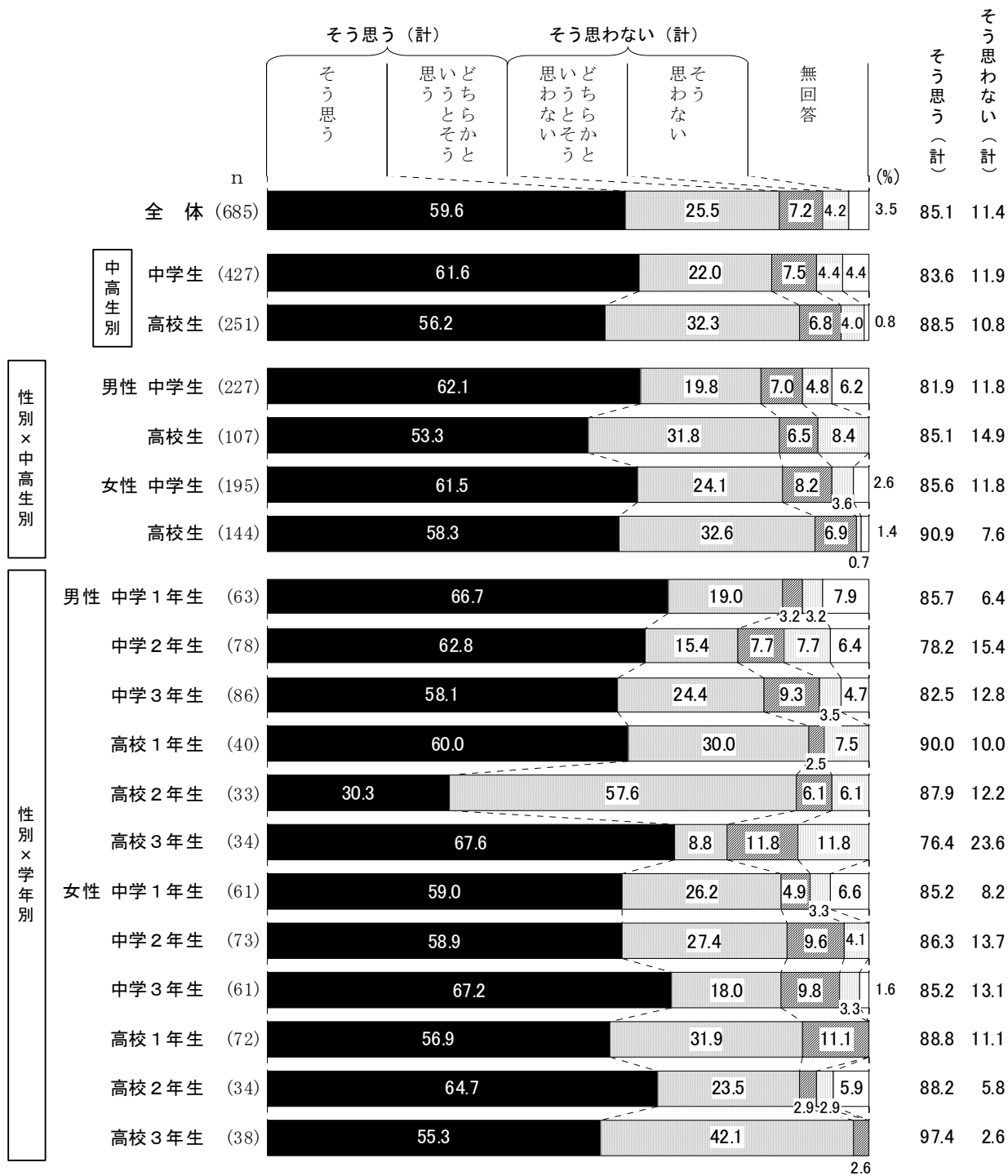
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（92.9%）は9割を超えている。性別、性別×学年別では、「そう思う（計）」に関して大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（85.1%）は8割台半ばで、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（88.5%）が中学生（83.6%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は女性-高校生（90.9%）で特に高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性-中学2年生（78.2%）や男性-高校3年生（76.4%）で7割台と低く、女性-高校3年生（97.4%）では特に高くなっている。

図表16-7 勉強をすること（小学5・6年生）



図表16-8 勉強をすること（中・高校生）

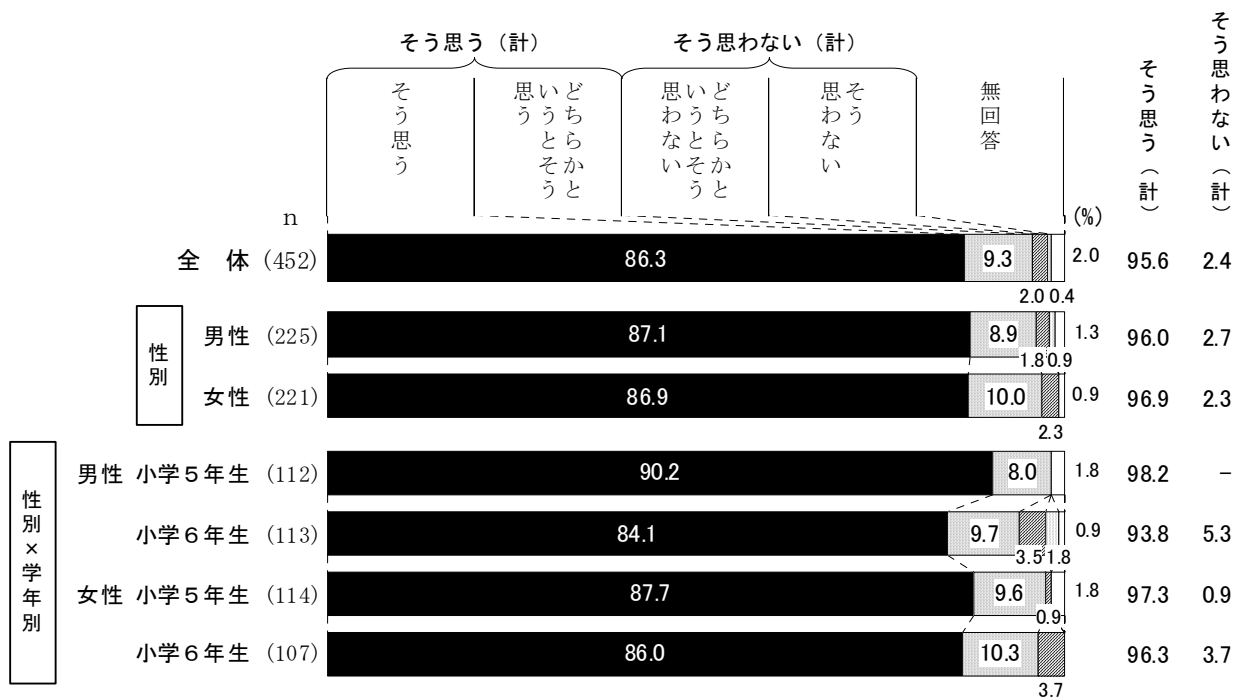


②友だちを作ること

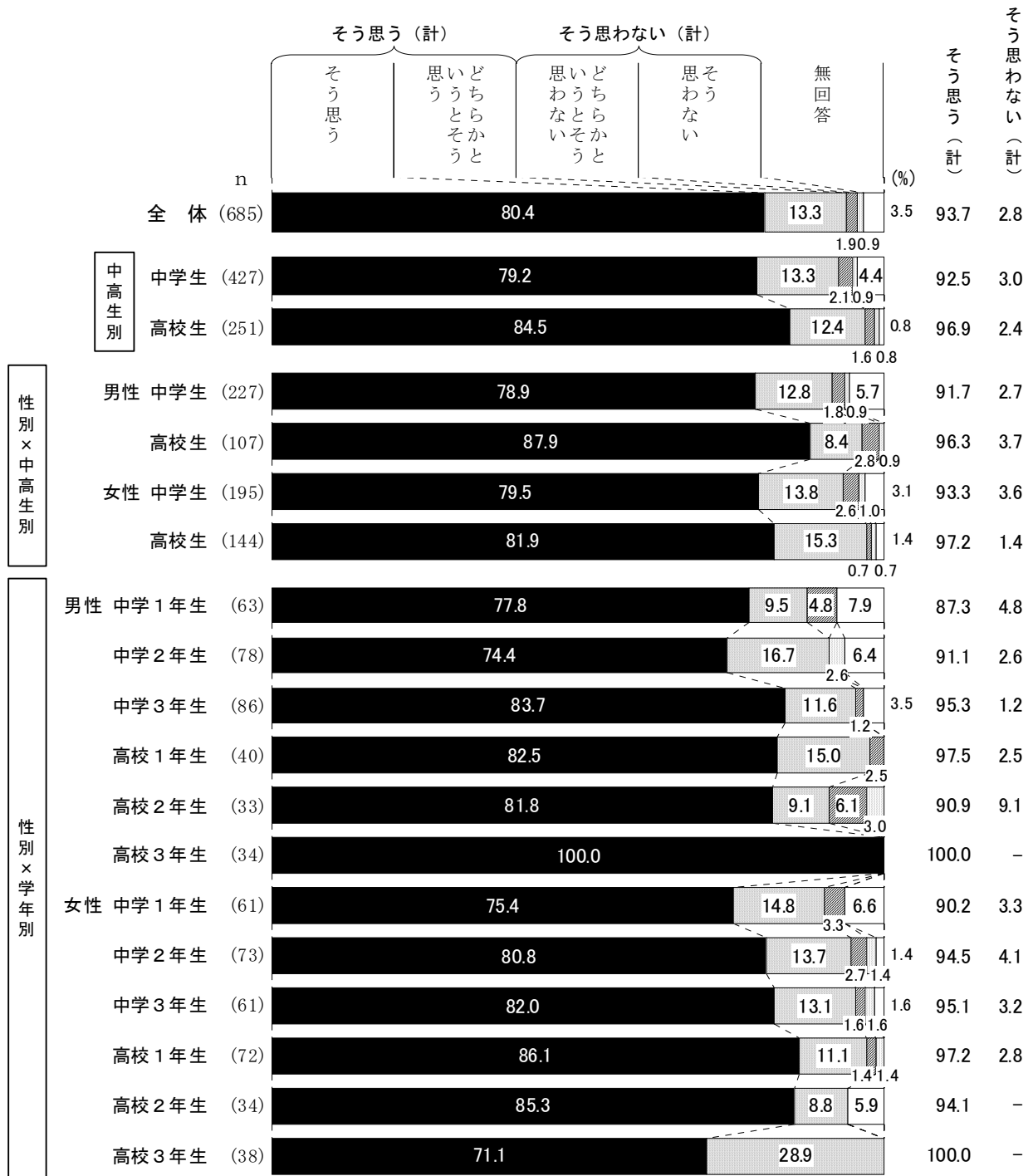
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（95.6%）は9割台半ばを占める。性別では、男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性-小学5年生（98.2%）が男性-小学6年生（93.8%）よりも高い。

中・高校生については、「そう思う（計）」（93.7%）は9割台半ばで、小学5・6年生と大きな差はない。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（96.9%）が中学生（92.5%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は女性-高校生（97.2%）が高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男女とも中学1年生で最も低く、高校3年生では100.0%となっている。

図表16-9 友だちを作ること（小学5・6年生）



図表16-10 友だちを作ること（中・高校生）

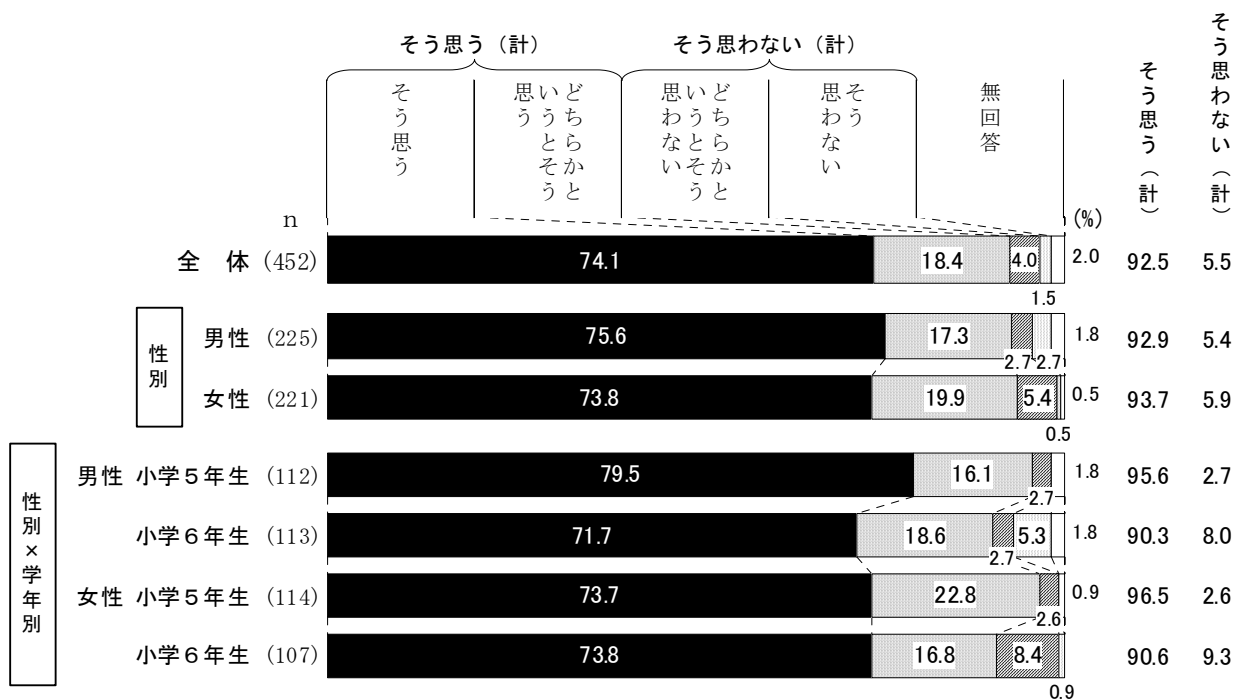


③自然とふれ合うこと

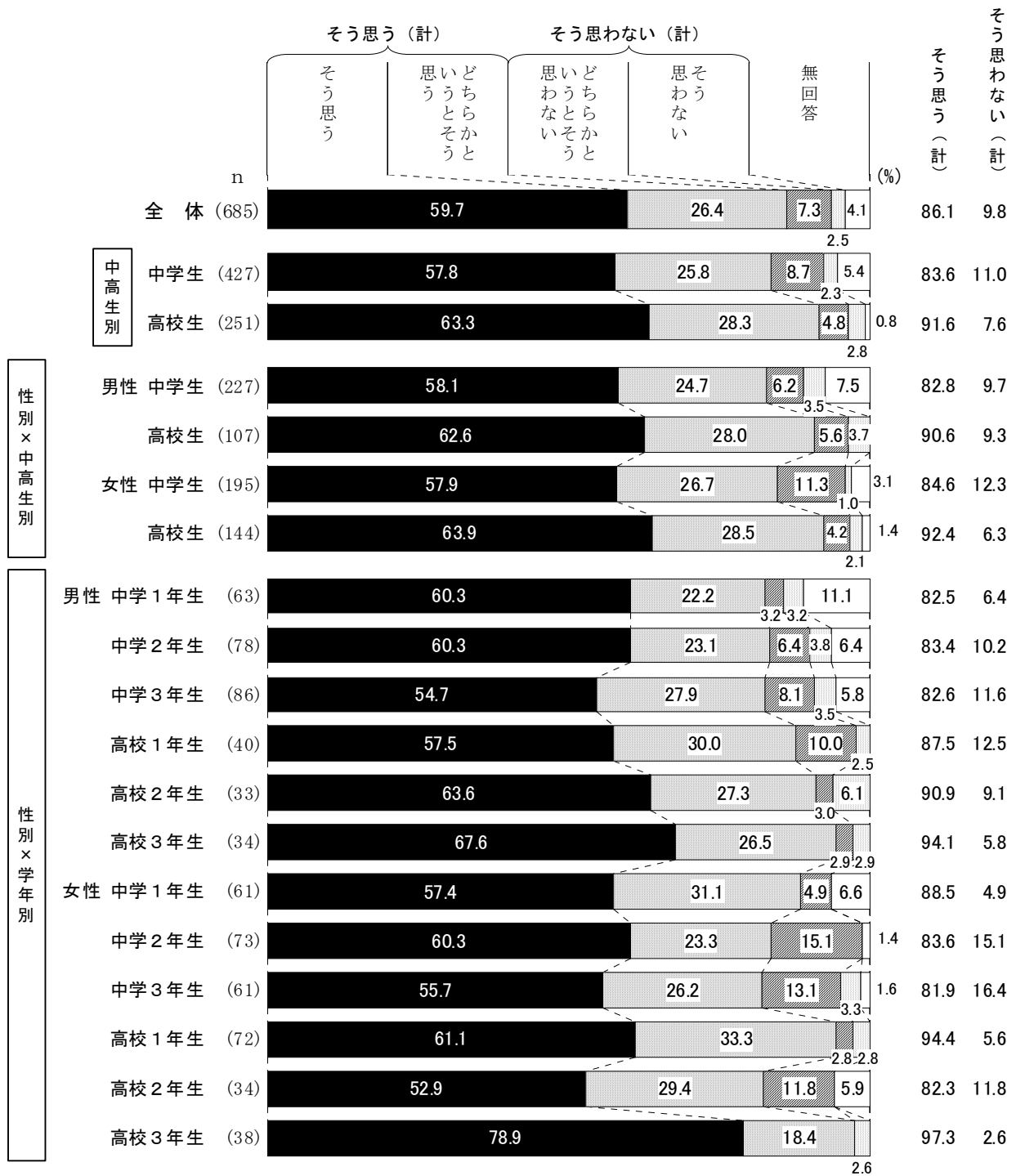
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（92.5％）は9割を超える。性別では、男女間で大きな差はない。性別×学年別では、「そう思う（計）」は女性-小学5年生（96.5％）が女性-小学6年生（90.6％）よりも高い。

中・高校生については、「そう思う（計）」（86.1％）は8割台半ばで、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（91.6％）が中学生（83.6％）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも高校生が中学生より高くなっている。性別×学年別では、男性-高校生は高学年になるほど「そう思う（計）」が高くなるが、女性は高校2年生（82.3％）が低い。

図表16-11 自然とふれ合うこと（小学5・6年生）



図表16-12 自然とふれ合うこと（中・高校生）

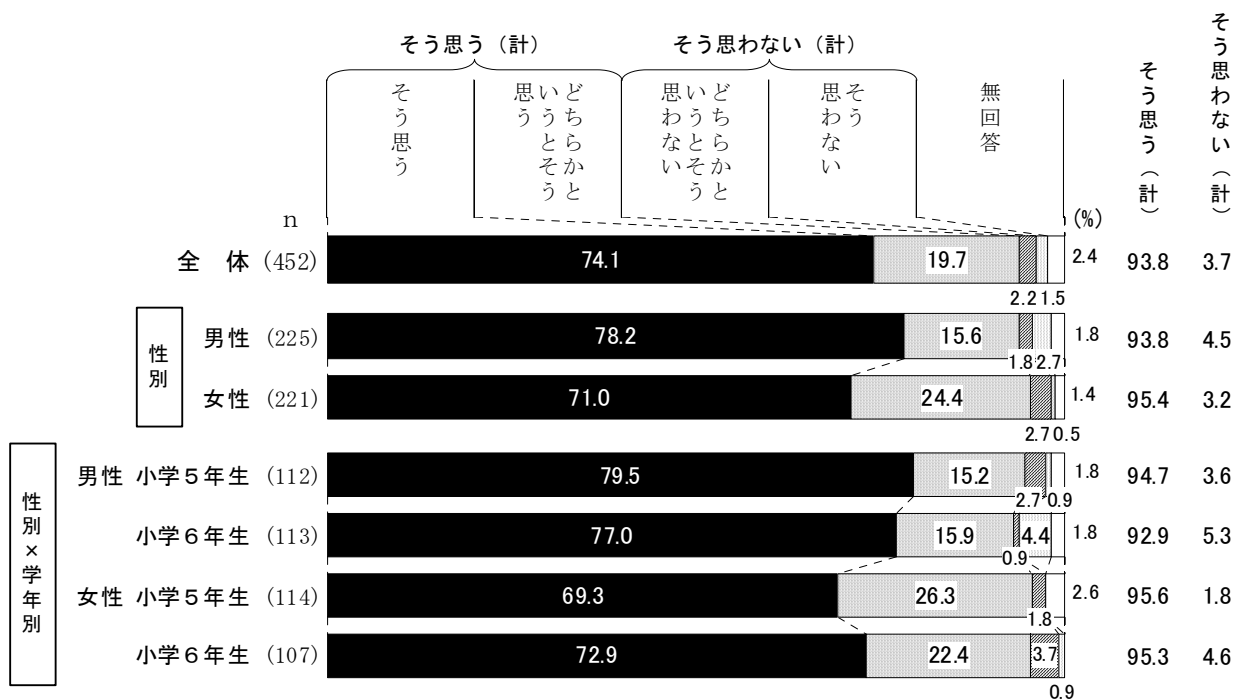


④体力をつけること

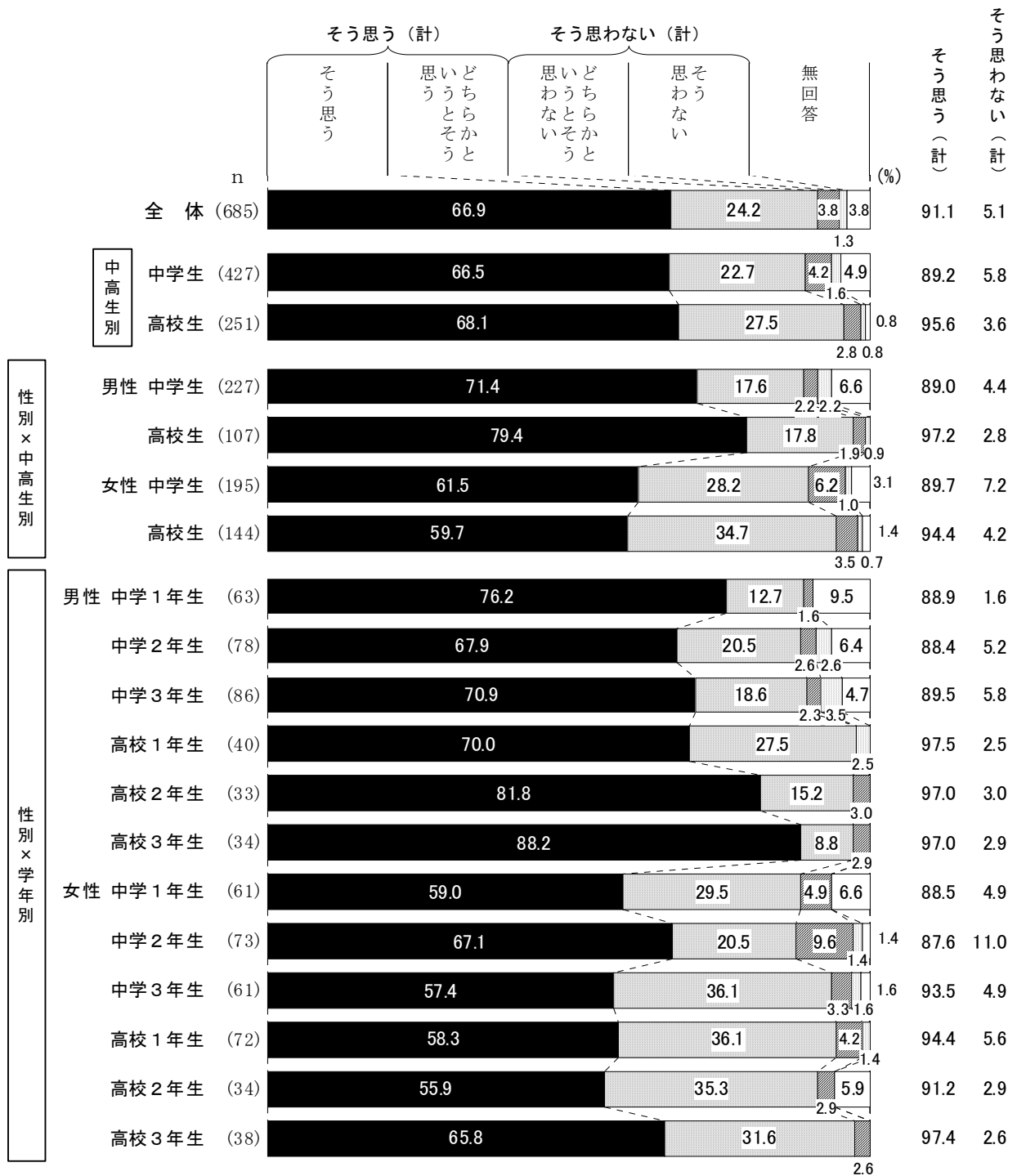
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（93.8%）は9割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」に関して男女間に大きな差はないものの、「そう思う」に限れば男性（78.2%）が女性（71.0%）よりも高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（91.1%）は9割を超えるが小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（95.6%）が中学生（89.2%）よりも高くなっている。性別×中高生別では、男性は「そう思う（計）」が中学生（89.0%）よりも高校生（97.2%）で高くなっている。性別×学年別では、男性は「そう思う（計）」が中学生の全学年で約9割、高校生の全学年で全数近くとなっている。

図表16-13 体力をつけること（小学5・6年生）



図表16-14 体力をつけること（中・高校生）

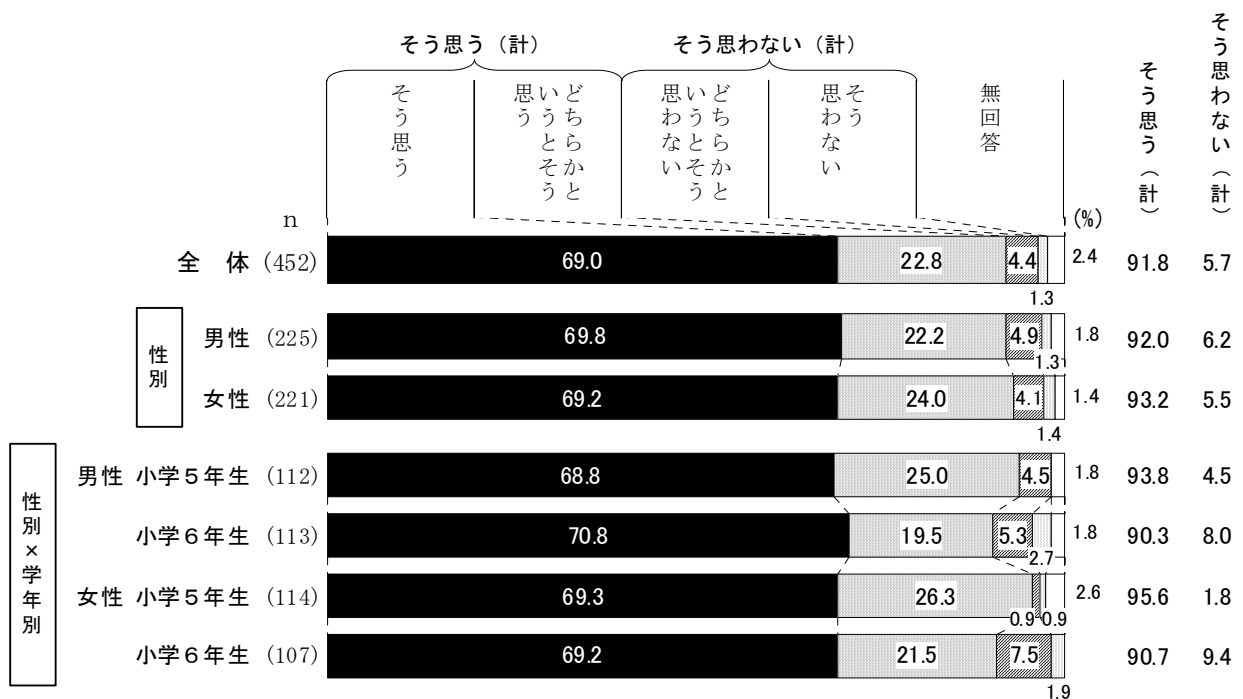


⑤特技を見つけること

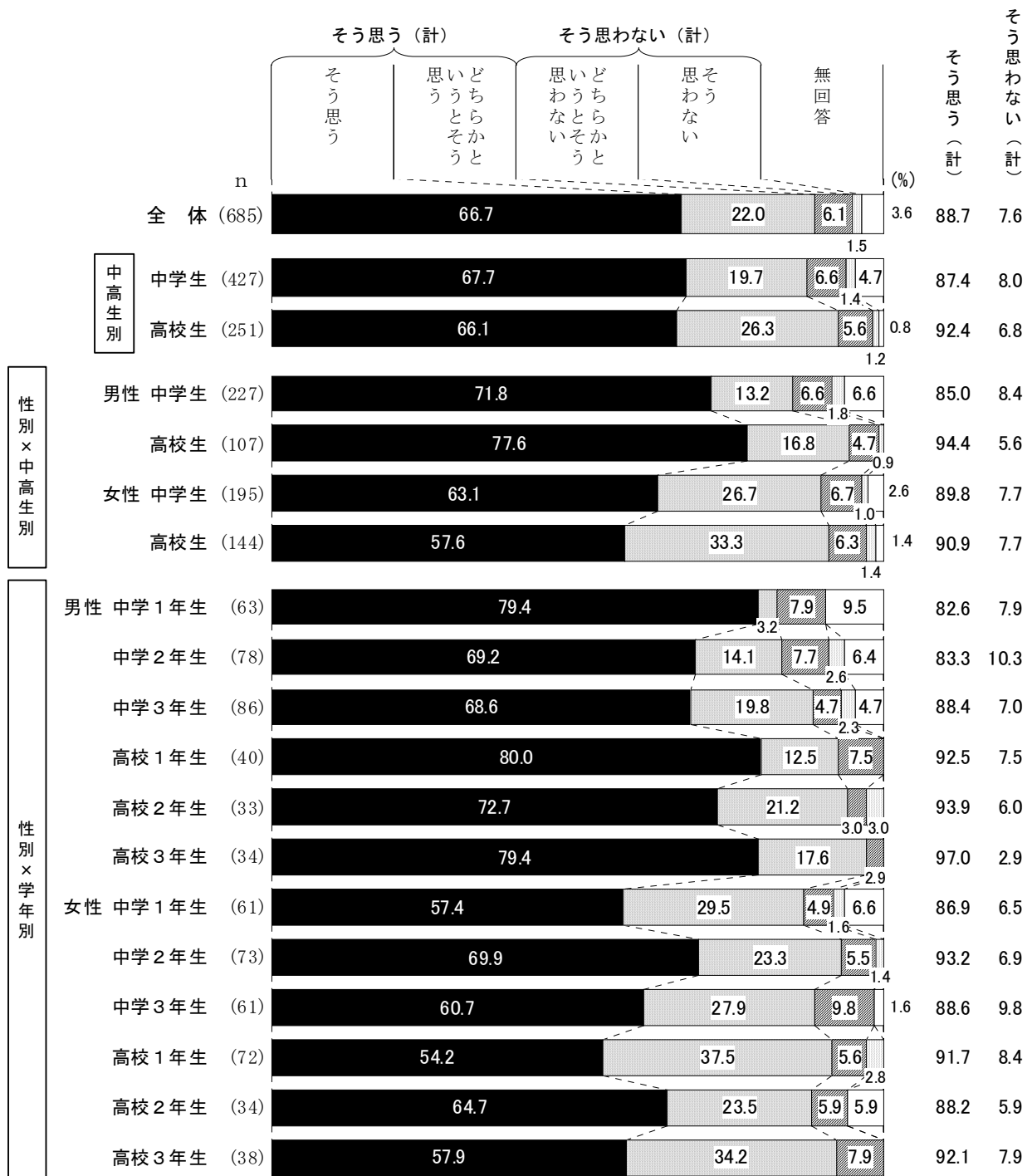
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（91.8%）が9割を超えている。性別、性別×学年別では、大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（88.7%）は約9割で、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（92.4%）が中学生（87.4%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」が男性-高校生（94.4%）で高くなっている。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「そう思う（計）」が高いものの、女性は中学2年生（93.2%）が最も高い。

図表16-15 特技を見つけること（小学5・6年生）



図表16-16 特技を見つけること（中・高校生）

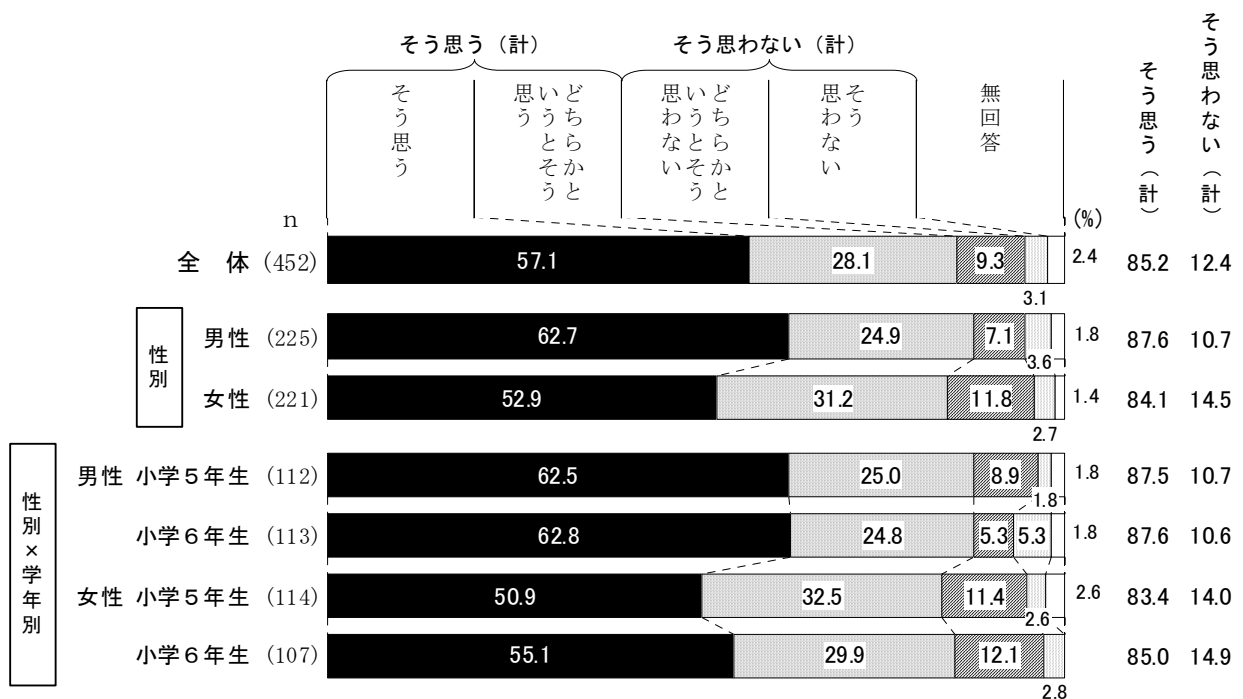


⑥将来の進路を決定すること

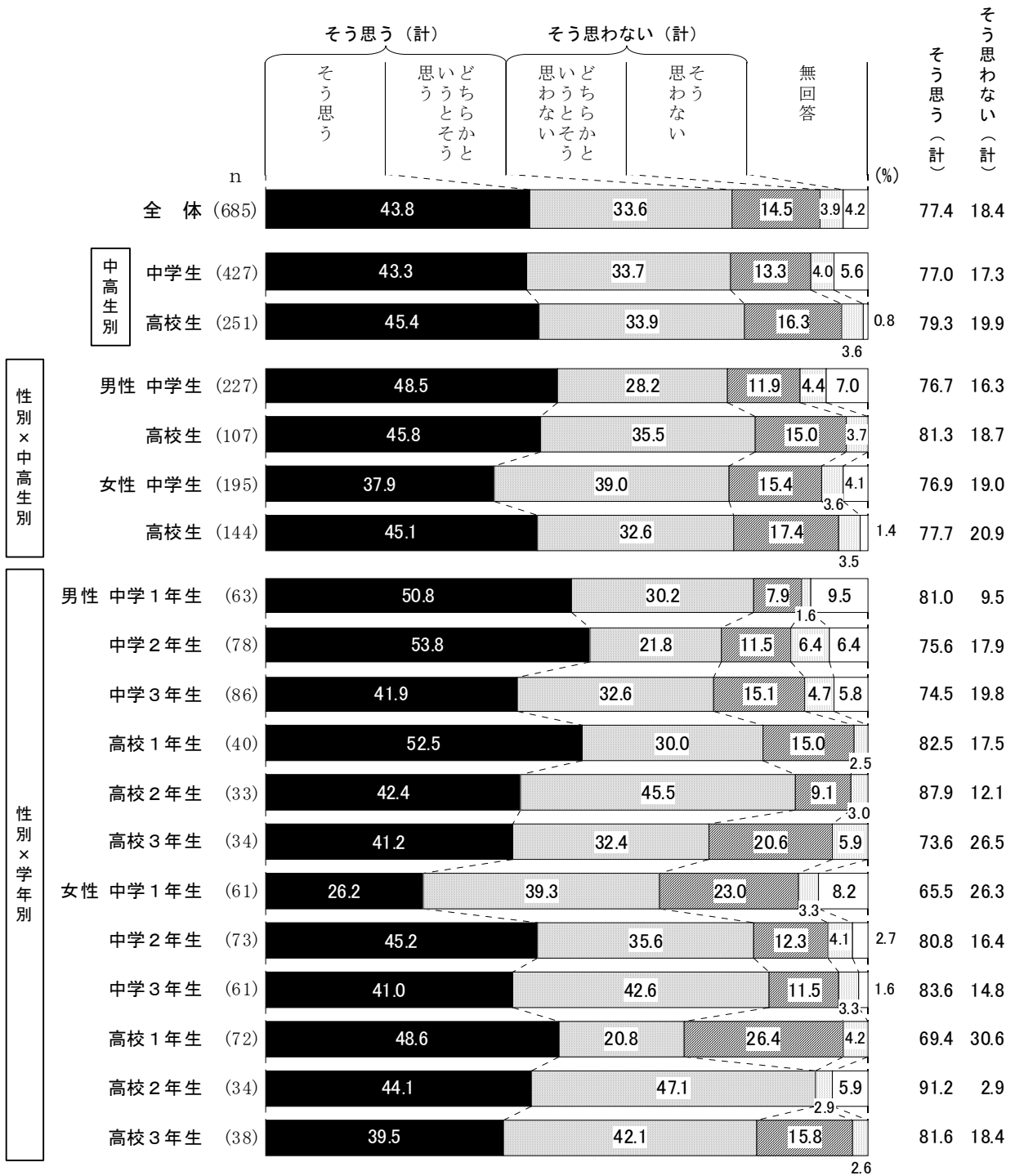
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（85.2%）が8割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は男女間で大きな差はないが、「そう思う」に限れば男性（62.7%）が女性（52.9%）よりも高くなっている。性別×学年別では、「そう思う（計）」に関して大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（77.4%）は約8割で、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、大きな差はない。性別×中高生別では、男性-中学生（76.7%）よりも男性-高校生（81.3%）が高い。性別×学年別では、男女とも「そう思う（計）」は高校2年生で最も高くなっている。

図表16-17 将来の進路を決定すること（小学5・6年生）



図表16-18 将来の進路を決定すること（中・高校生）

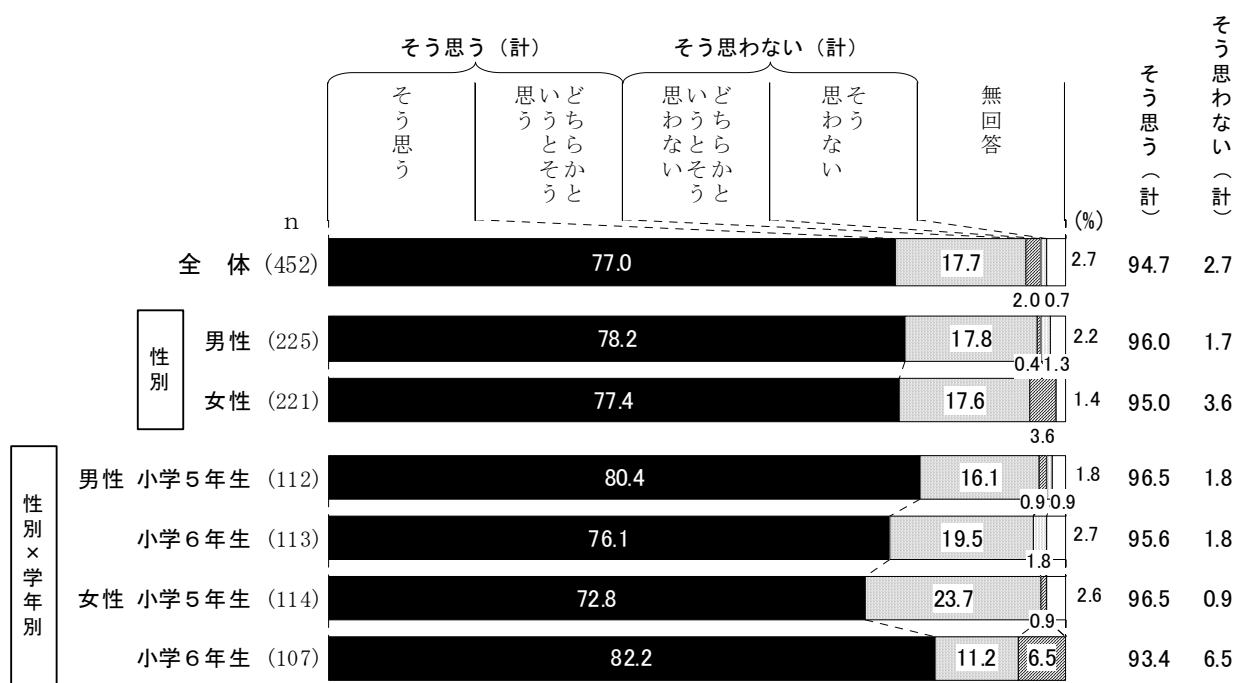


⑦常識を身につけること

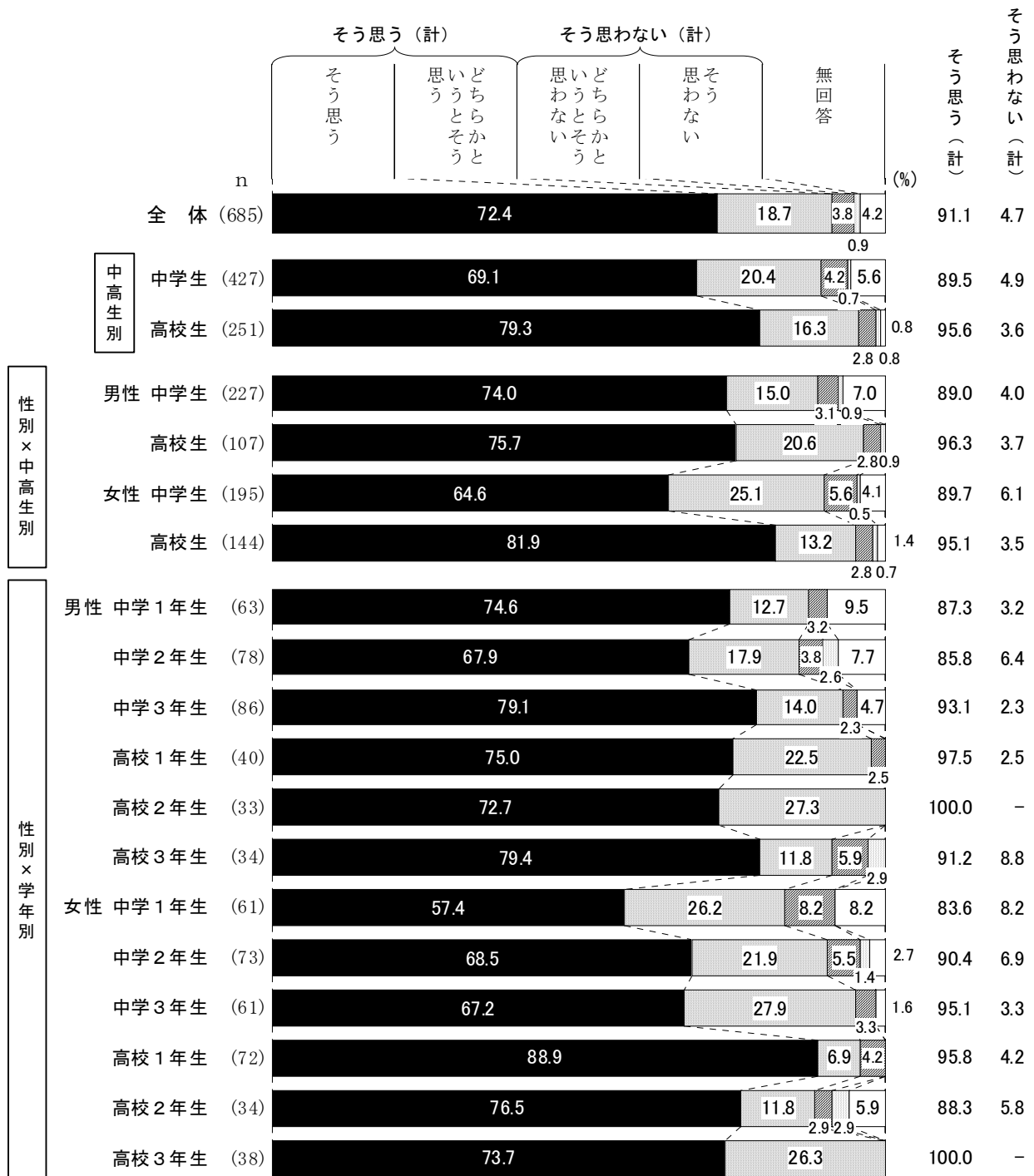
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（94.7%）が9割台半ばとなっている。性別、性別×学年別では、「そう思う（計）」に関して大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（91.1%）が9割を超えるが、小学5・6年生よりは低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（95.6%）が中学生（89.5%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも高校生が高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は女性-中学1年生（83.6%）が最も低く、男性では高校2年生、女性では高校3年生がともに100.0%と高い。

図表16-19 常識を身につけること（小学5・6年生）



図表16-20 常識を身につけること（中・高校生）

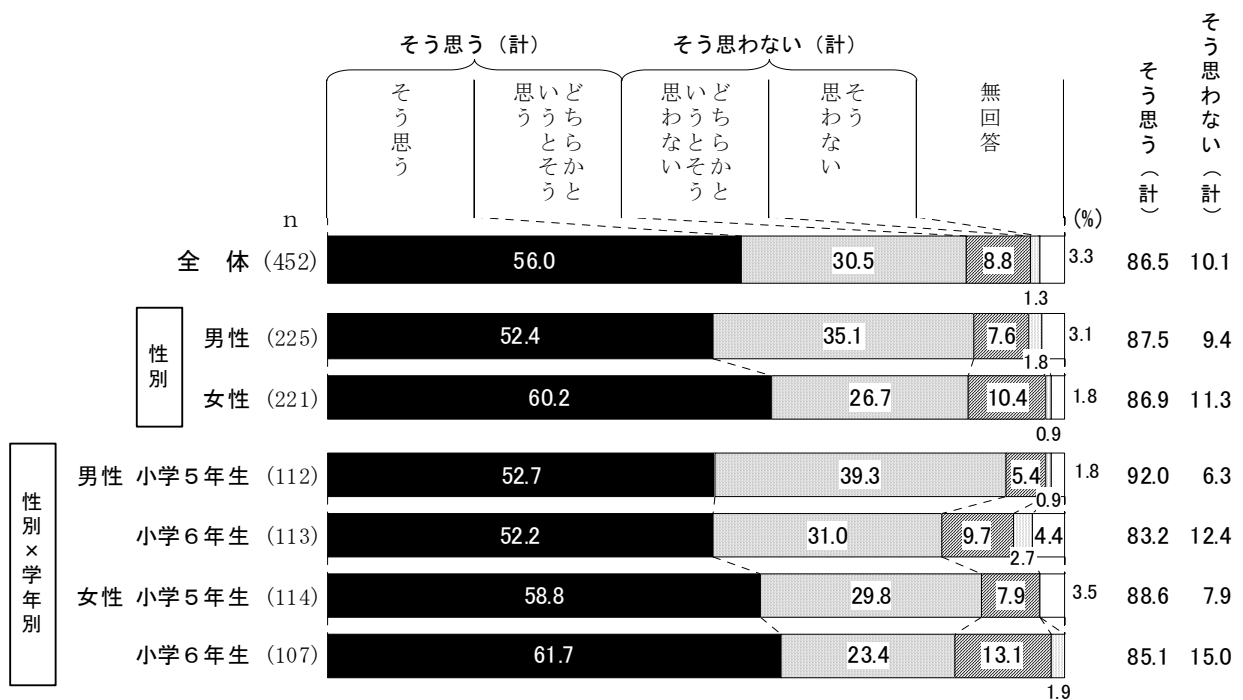


⑧本を読むこと

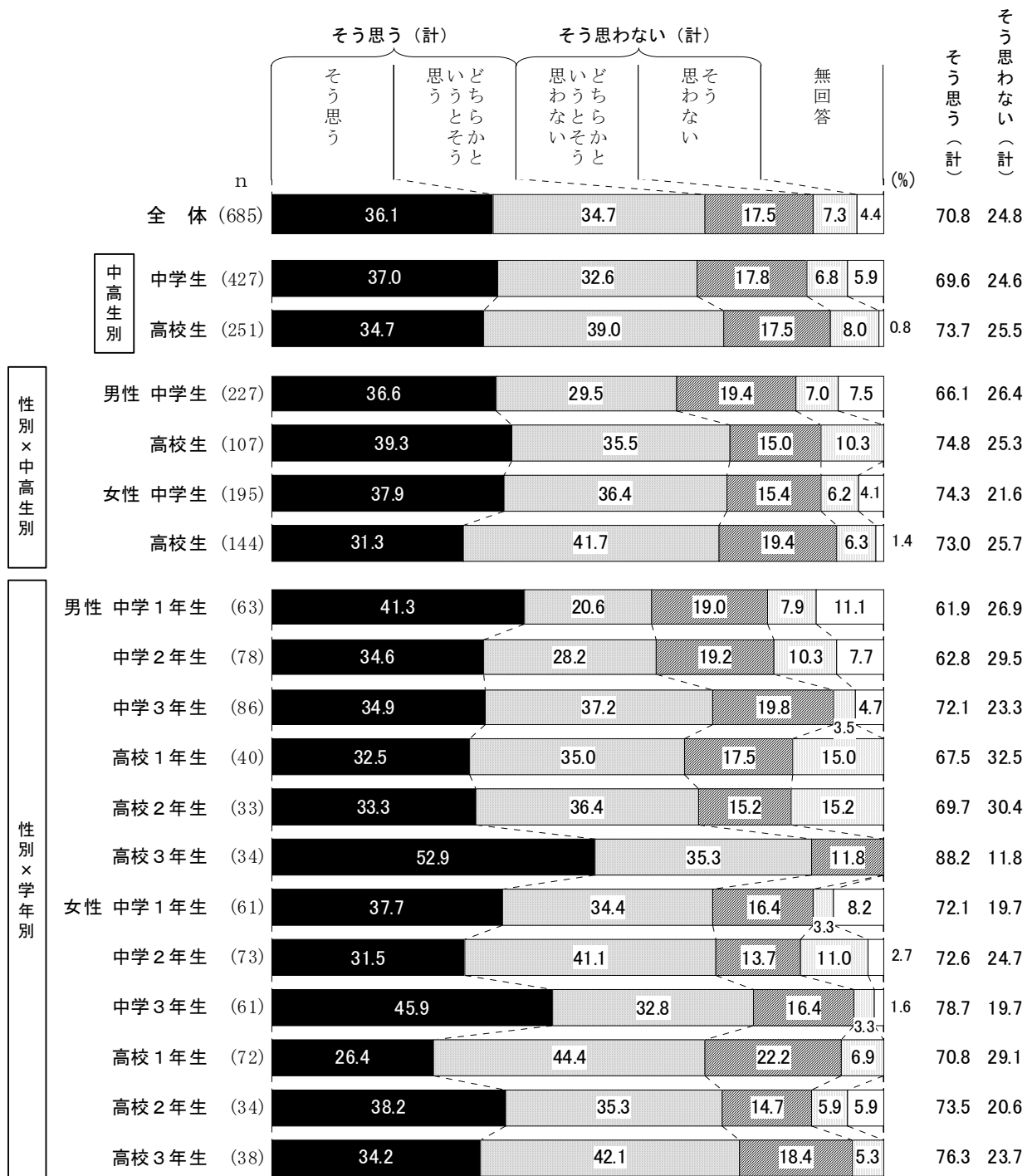
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（86.5%）が8割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」に関して男女間に大きな差はないが、「そう思う」に限れば女性（60.2%）が男性（52.4%）よりも高くなっている。性別×学年別では、男性-小学5年生（92.0%）が男性-小学6年生（83.2%）よりも高い。

中・高校生については、「そう思う（計）」（70.8%）が7割で、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（73.7%）が中学生（69.6%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男性-高校生（74.8%）が男性-中学生（66.1%）よりも高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性-高校3年生（88.2%）が特に高い。

図表16-21 本を読むこと（小学5・6年生）



図表16-22 本を読むこと（中・高校生）

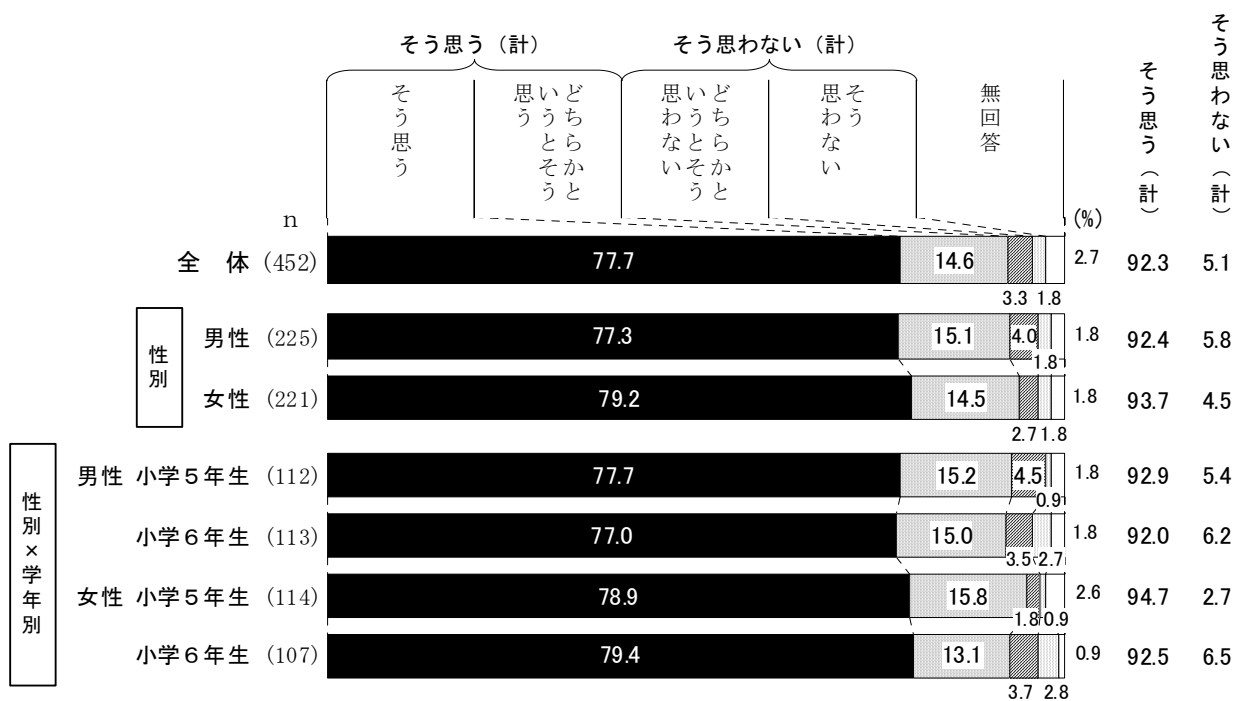


⑨遊ぶこと

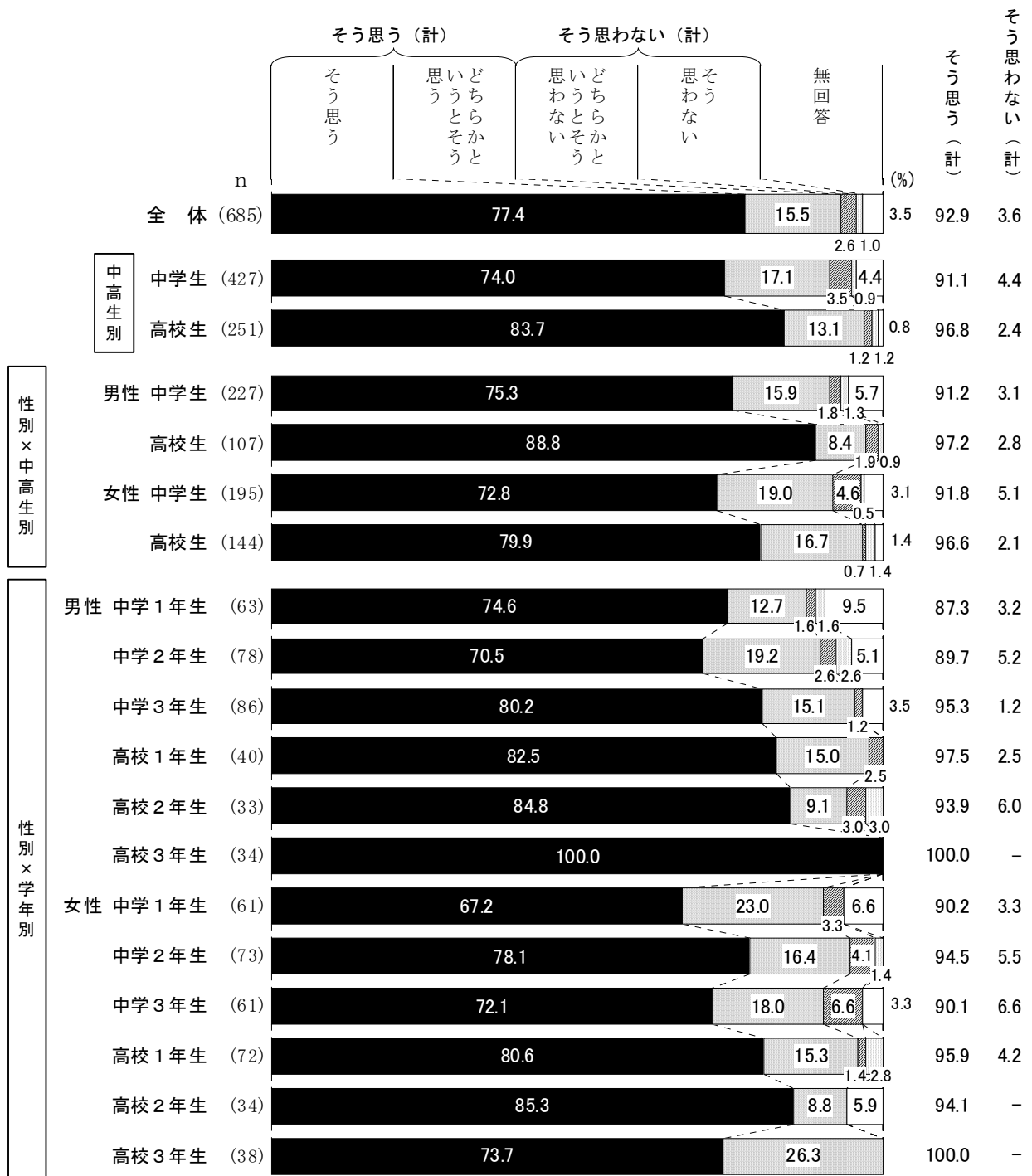
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（92.3%）が9割を超える。性別、性別×学年別では、大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（92.9%）が9割を超え、小学5・6年生と大きな差はない。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（96.8%）が中学生（91.1%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも高校生が中学生よりも高いが、中・高校生とも男女間に大きな差はない。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男女とも高校3年生が100.0%となっている。

図表16-23 遊ぶこと（小学5・6年生）



図表16-24 遊ぶこと（中・高校生）

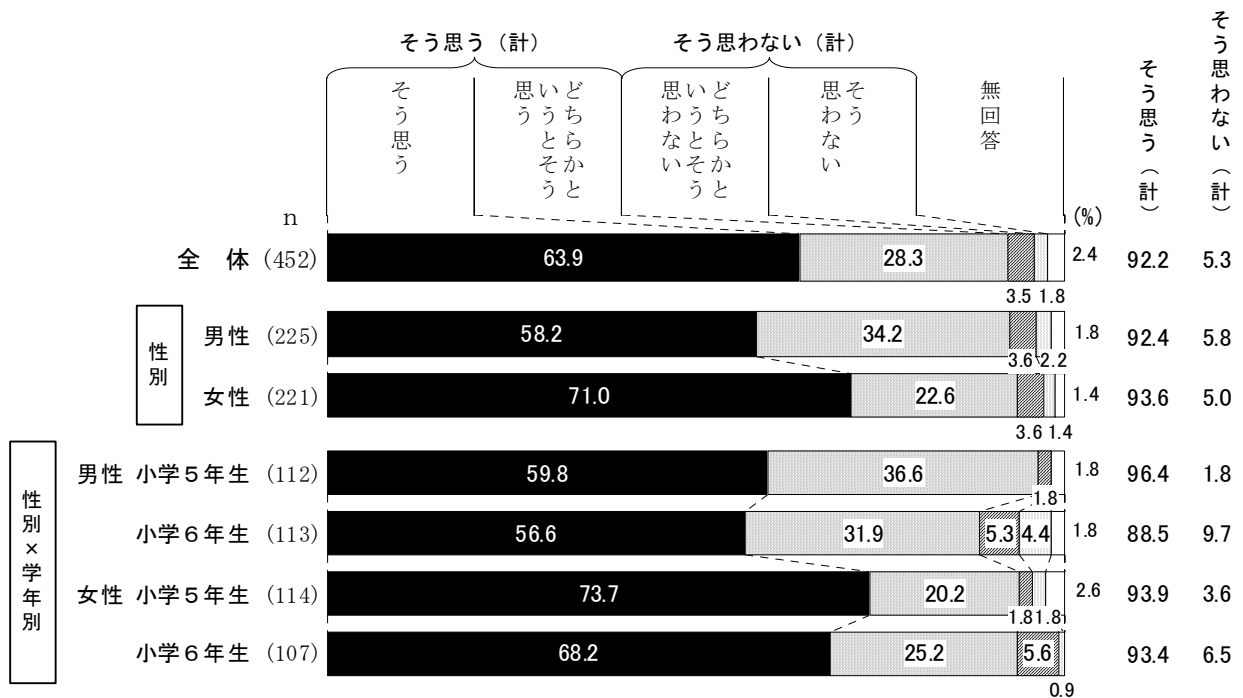


⑩料理や洗濯など身の回りのことができること

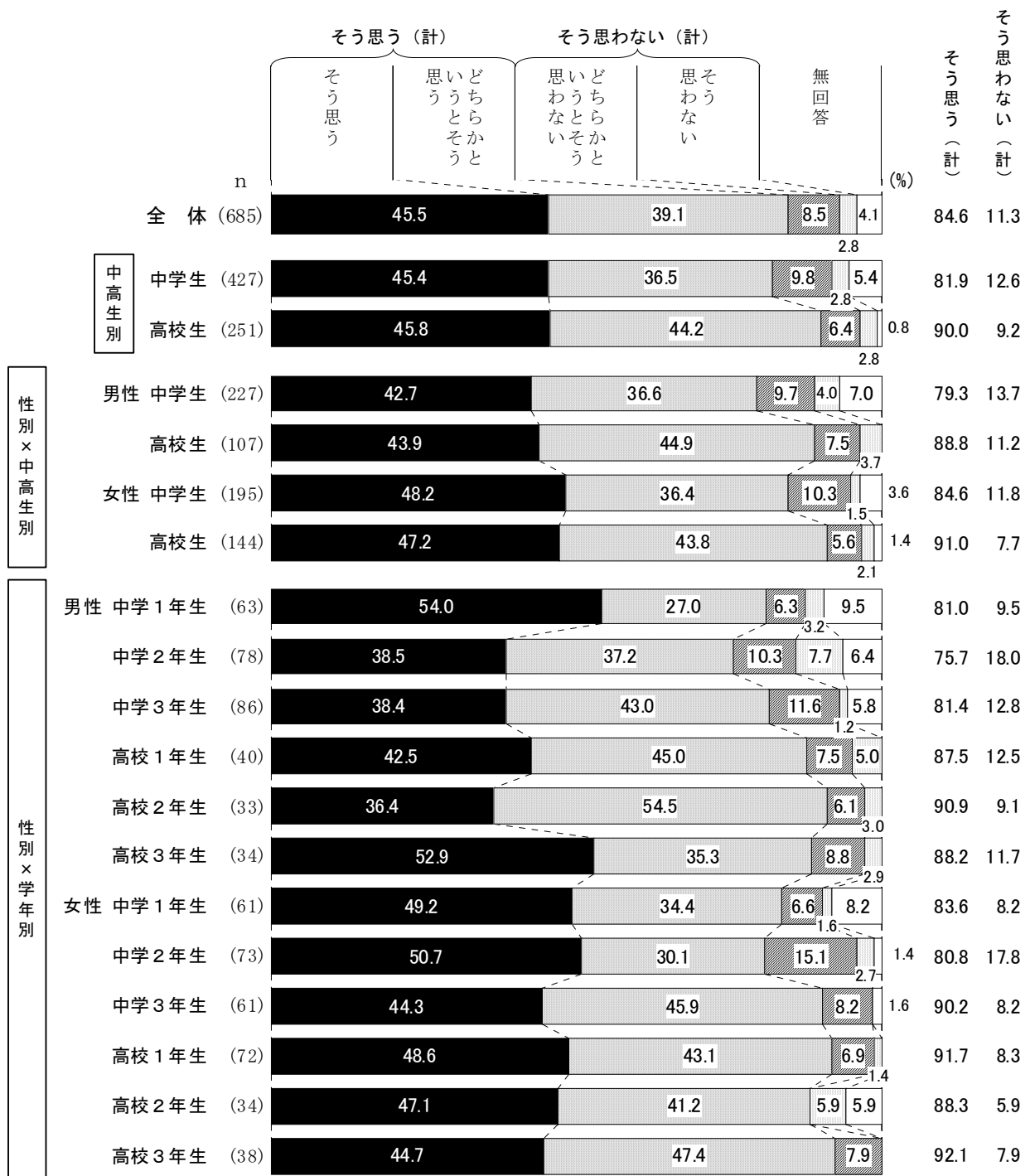
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（92.2%）が9割を超える。性別では、「そう思う（計）」に関して男女間に大きな差はないが、「そう思う」に限れば女性（71.0%）が男性（58.2%）よりも高くなっている。性別×学年別では、「そう思う（計）」が男性-小学6年生（88.5%）で低くなっている。

中・高校生については、「そう思う（計）」（84.6%）が8割台半ばで、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（90.0%）が中学生（81.9%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも高校生が高くなっている。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性では高校1年生以上、女性では中学3年生以上で9割前後と高くなっている。

図表16-25 料理や洗濯など身の回りのことができること（小学5・6年生）



図表16-26 料理や洗濯など身の回りのことができること（中・高校生）

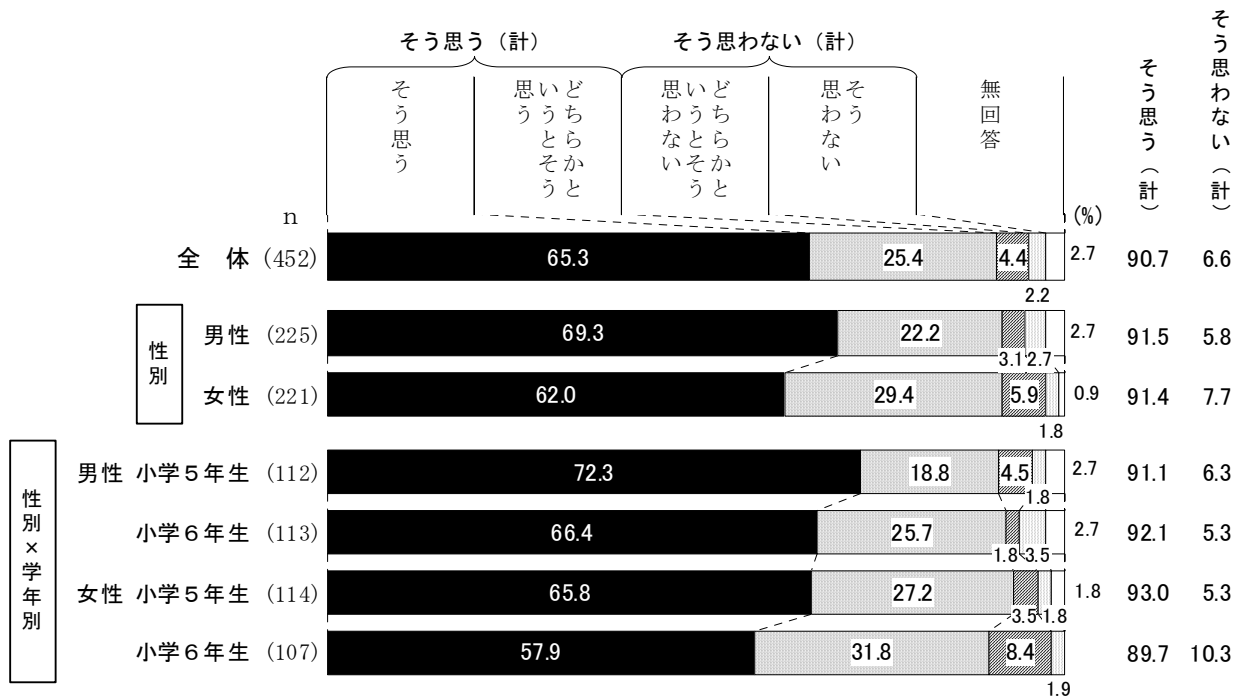


⑪社会のきまりやしきみを知ること

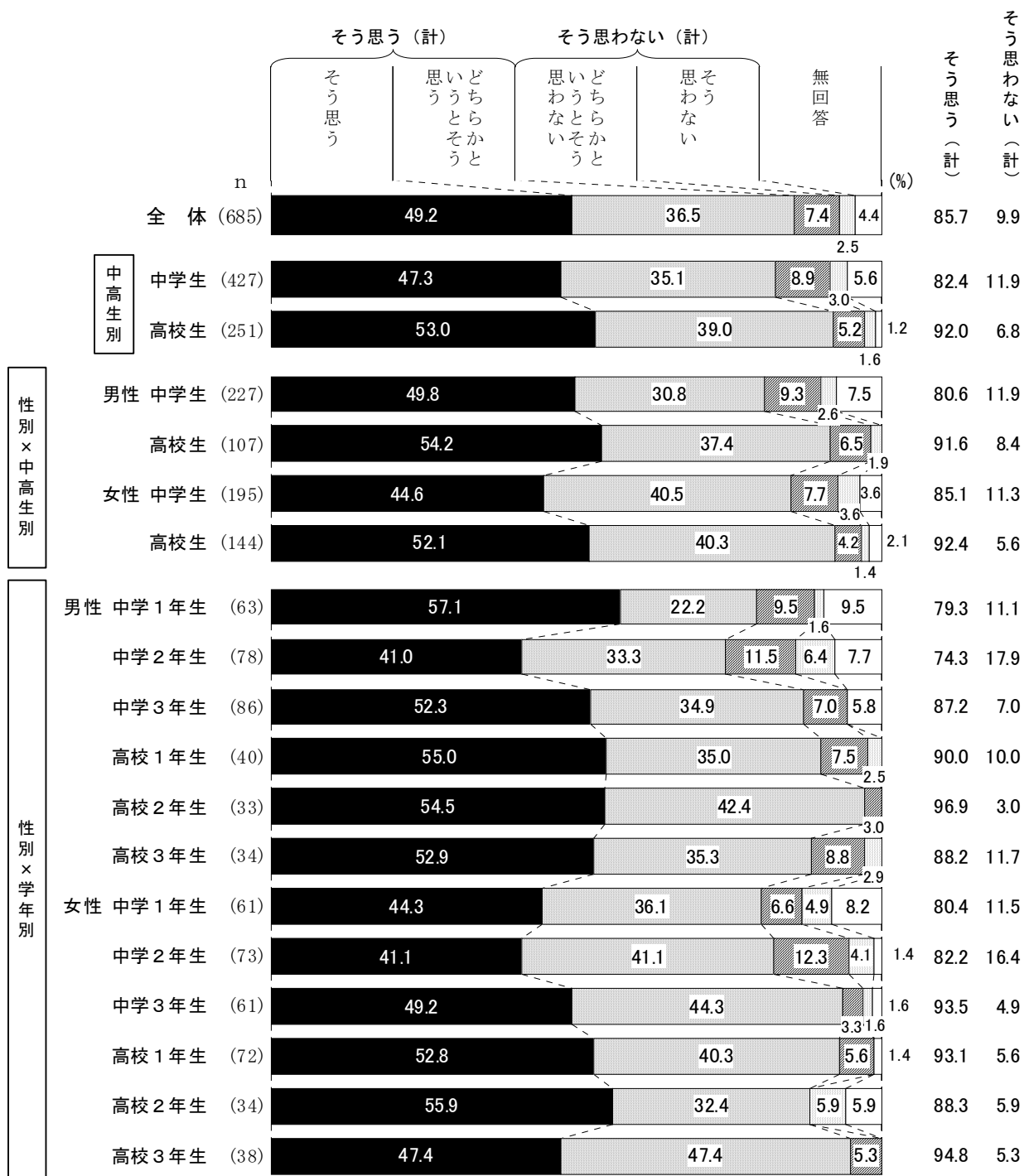
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（90.7%）が9割となっている。性別では、「そう思う（計）」に関して男女間に大きな差はないが、「そう思う」に限れば男性（69.3%）が女性（62.0%）よりも高くなっている。性別×学年別では、「そう思う（計）」に関して大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（85.7%）が8割台半ばで、小学5・6年生よりも低い。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（92.0%）が中学生（82.4%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも高校生が高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男性-高校2年生（96.9%）と女性-高校3年生（94.8%）が高い。

図表16-27 社会のきまりやしきみを知ること（小学5・6年生）



図表16-28 社会のきまりやしきみを知ること（中・高校生）

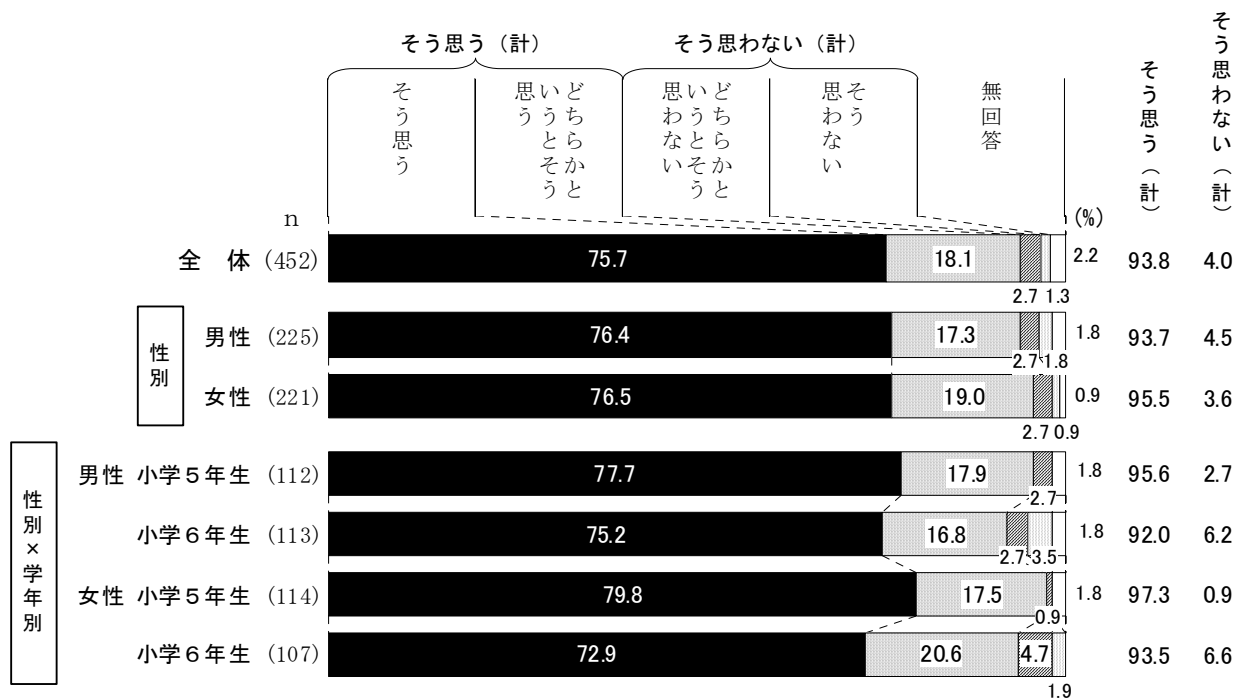


⑫自分の考えや意見を身につけること

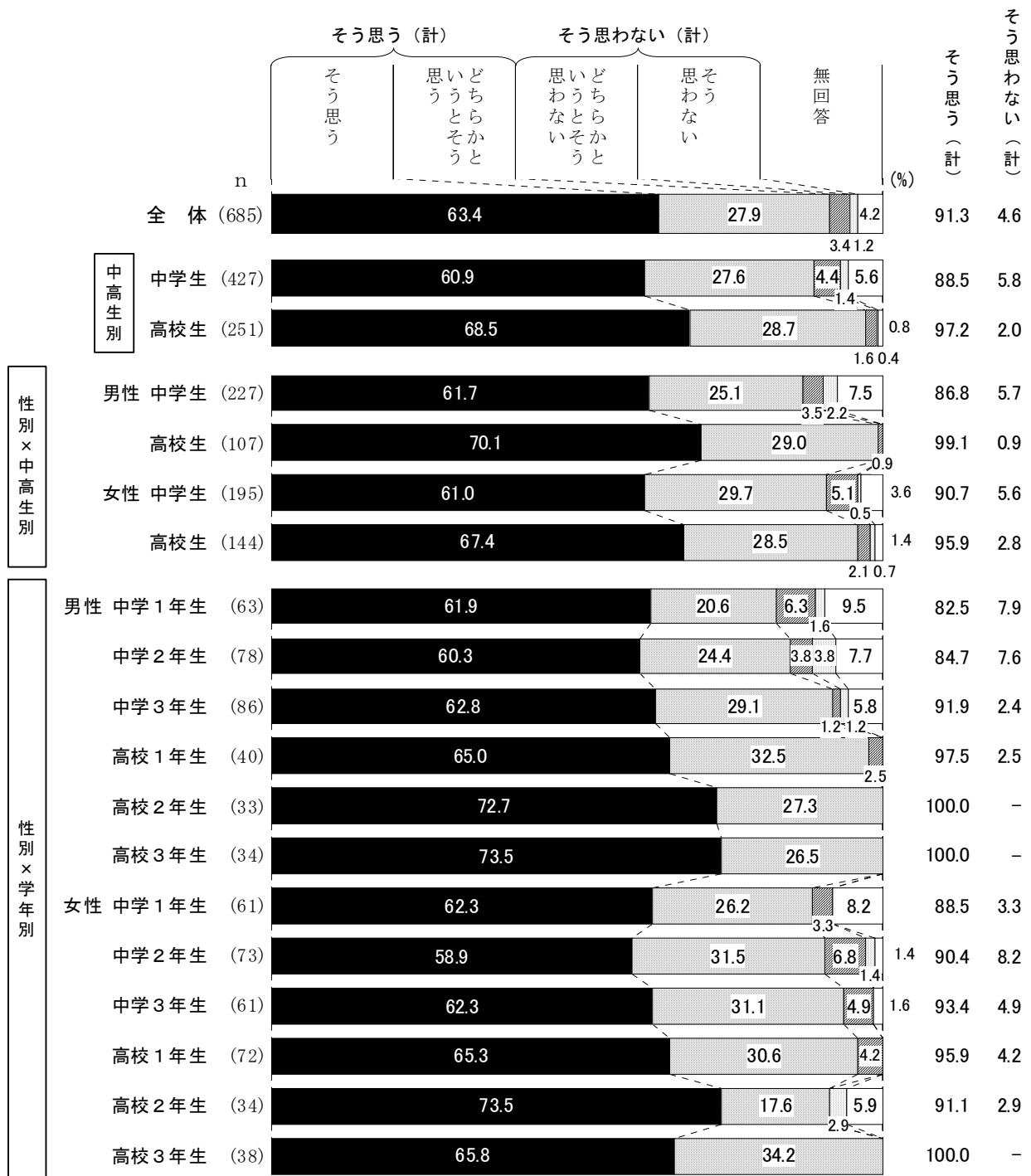
小学5・6年生については、「そう思う（計）」（93.8%）が9割台半ばとなっている。性別、性別×学年別では、「そう思う（計）」に関して大きな差はない。

中・高校生については、「そう思う（計）」（91.3%）が9割を超え、小学5・6年生と大きな差はない。中高生別では、「そう思う（計）」は高校生（97.2%）が中学生（88.5%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも高校生が高くなっている。性別×学年別では、女性-高校2年生（91.1%）以外で男女とも高学年になるほど「そう思う（計）」が高くなり、男性では高校2・3年生、女性では高校3年生が100.0%と高い。

図表16-29 自分の考えや意見を身につけること（小学5・6年生）



図表16-30 自分の考えや意見を身につけること（中・高校生）



16-6 将来なりたいものの有無

あなたは、将来なりたいものがありますか。(1つに○)

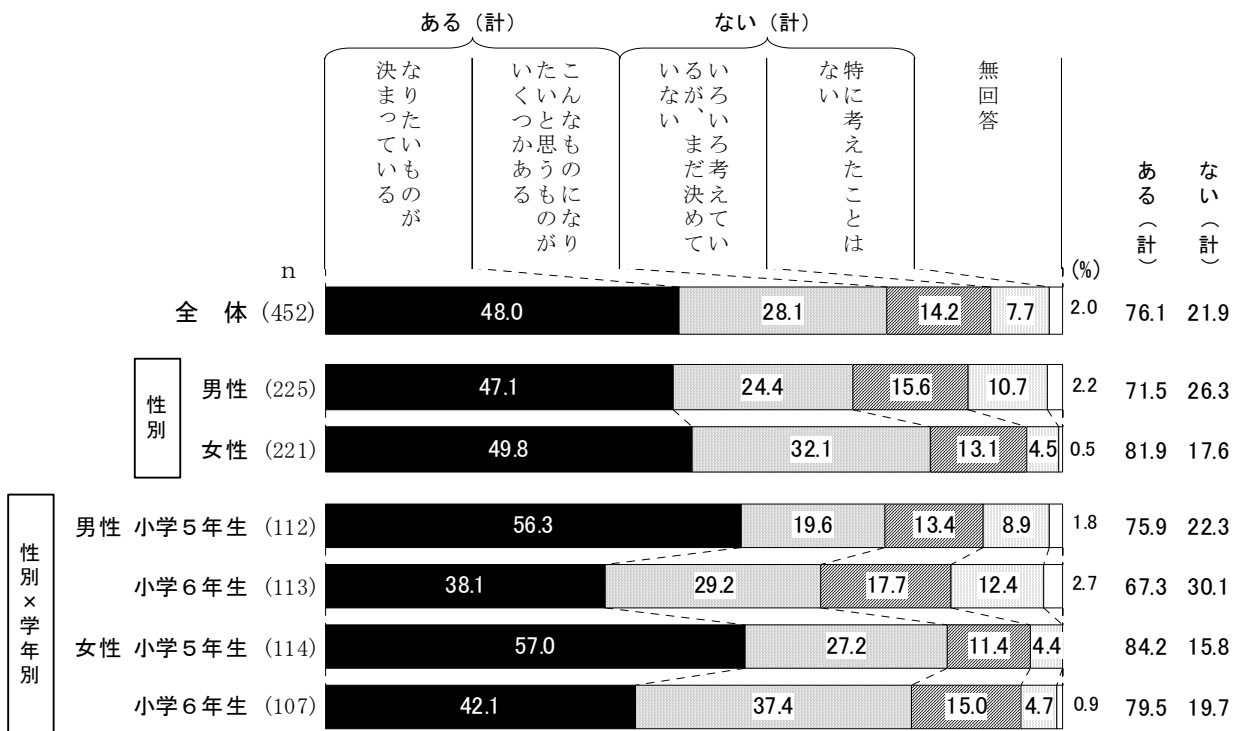
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

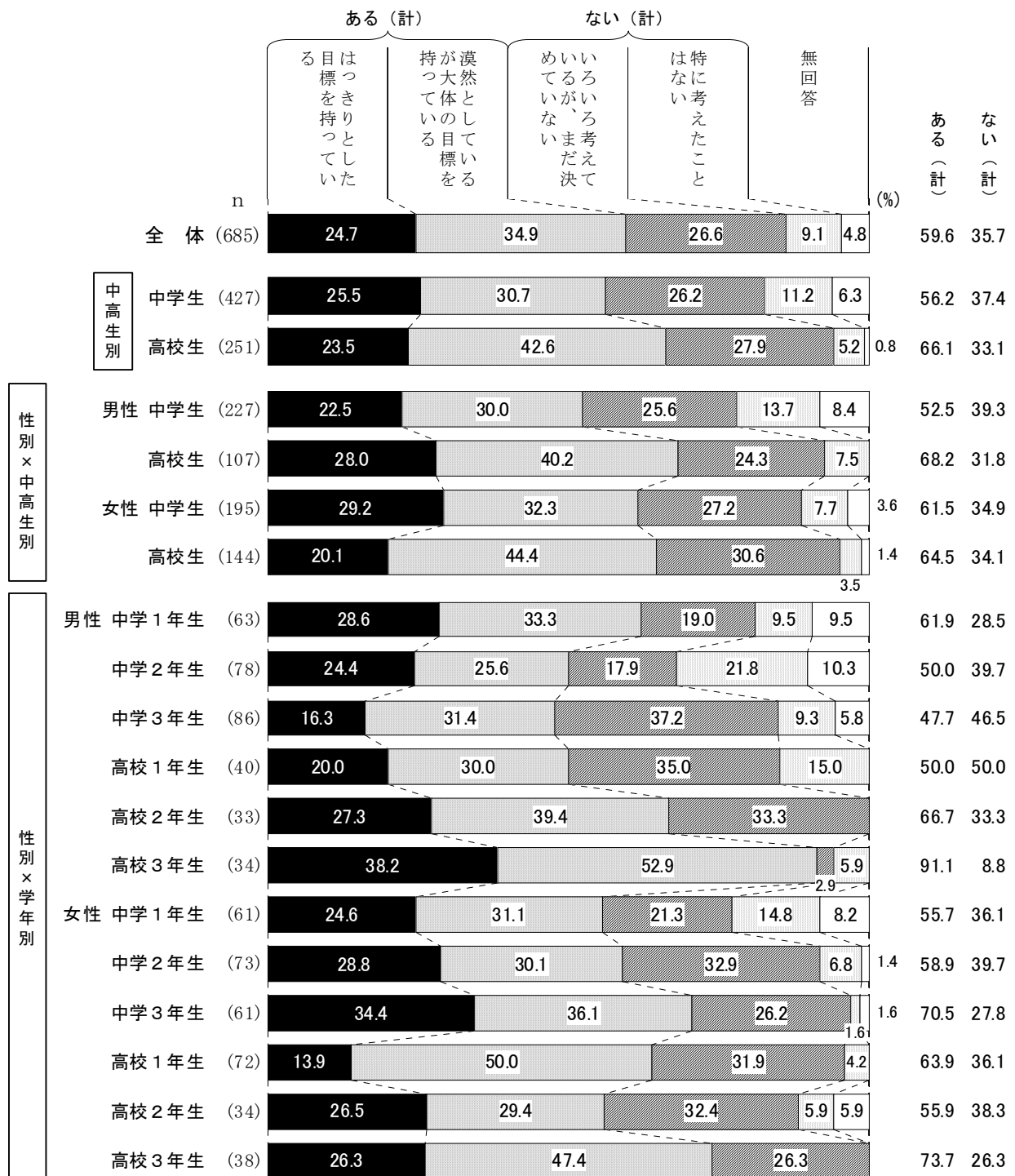
小学5・6年生については、「なりたいものが決まっている」(48.0%)が約5割を占め、これに「こんなものになりたいと思うものがいくつかある」(28.1%)を合わせた「ある(計)」(76.1%)は7割台半ばとなっている。一方、「いろいろ考えているが、まだ決めていない」(14.2%)と「特に考えたことはない」(7.7%)を合わせた「ない(計)」(21.9%)は2割を超える。性別では、「ある(計)」は女性(81.9%)が男性(71.5%)よりも高い。性別×学年別では、男女とも小学5年生が小学6年生よりも高い。

中・高校生については、「漠然としているが大体の目標を持っている」(34.9%)が3割台半ばで最も高く、これに「はっきりとした目標を持っている」(24.7%)を合わせた「ある(計)」(59.6%)は約6割となっている。中高生別では、「ある(計)」は高校生(66.1%)が中学生(56.2%)よりも高い。性別×中高生別では、「ある(計)」は男性-高校生(68.2%)で高くなっている。性別×学年別では、男性は「ある(計)」が中学2・3年生、高校1年生で約5割と低く、高校3年生(91.1%)では9割を超えて高い。

図表16-31 将来なりたいものの有無(小学5・6年生)



図表16-32 将来なりたいものの有無（中・高校生）



17. 区への意向について

17-1 永住（居住）意向

あなたは、杉並区に住み続けたいと思いますか（住んでいない人は住みたいと思いますか）。（1つに○）

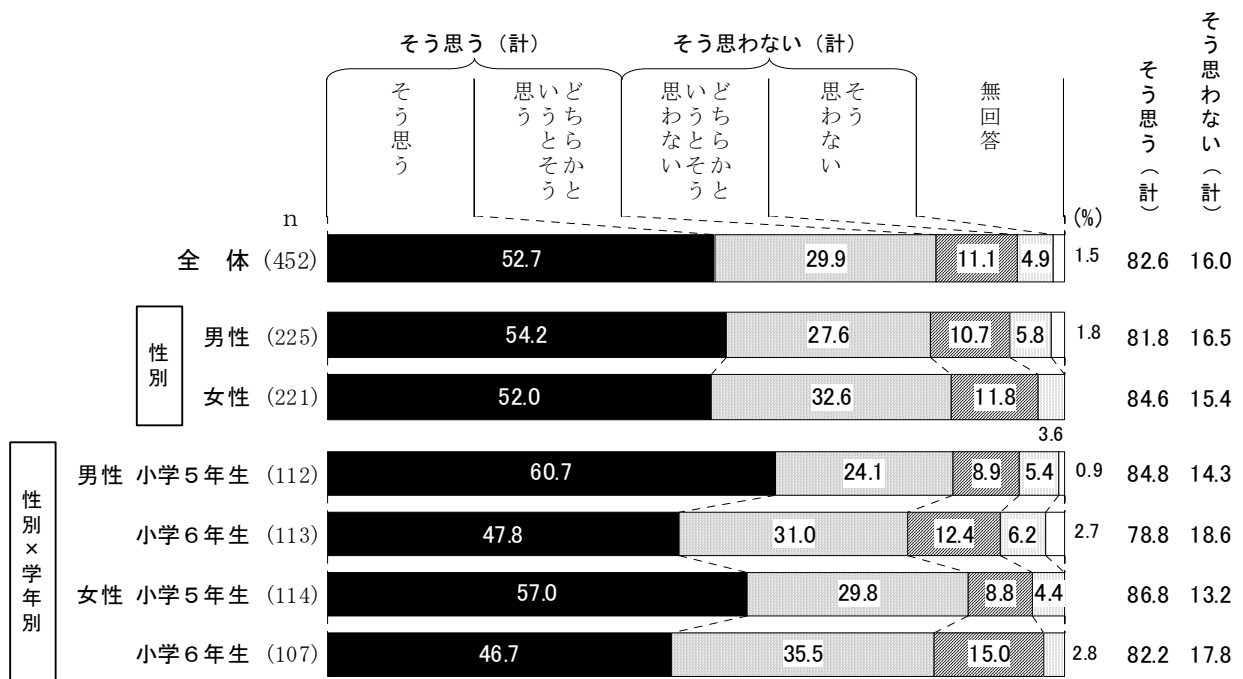
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

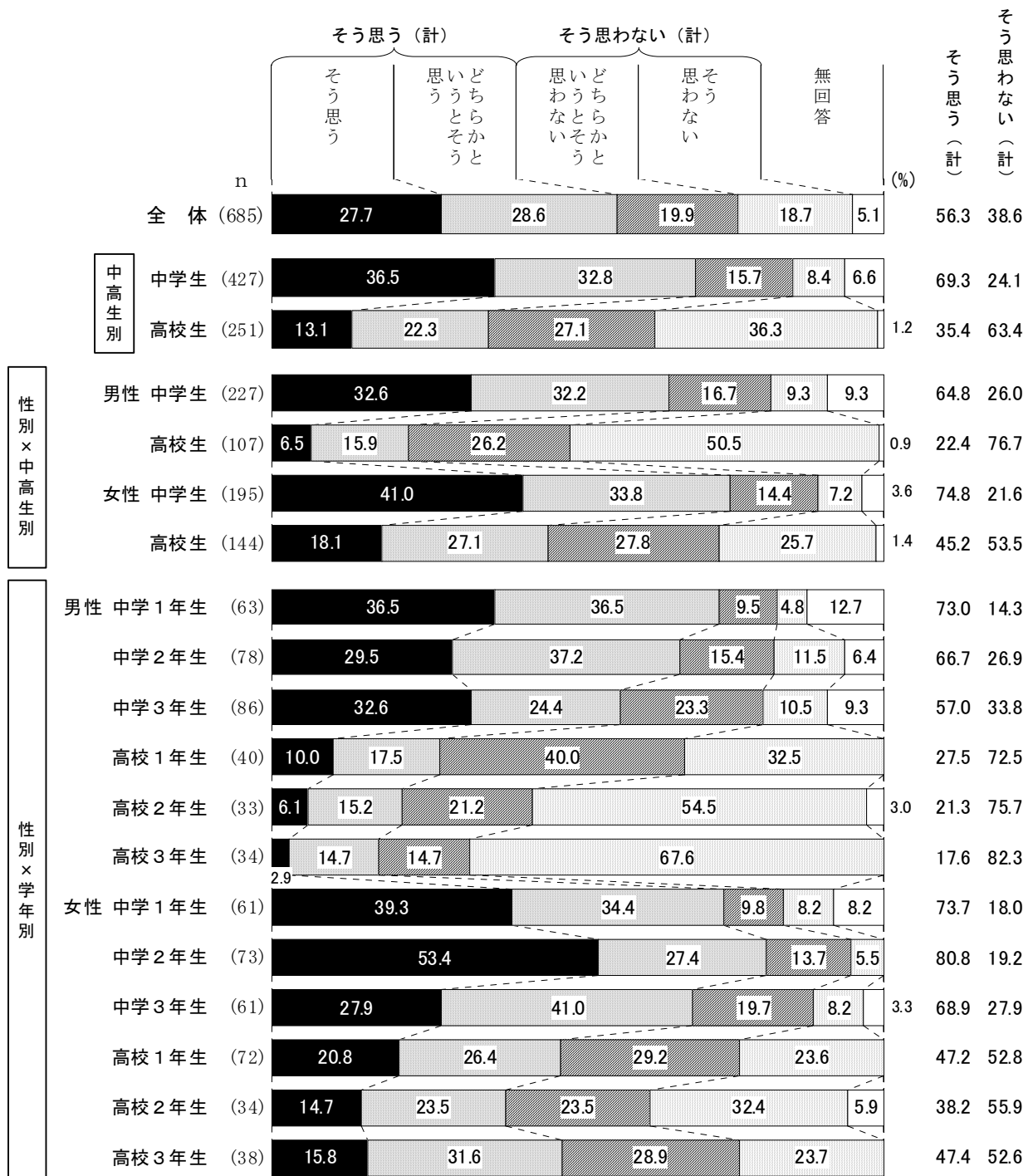
小学5・6年生については、「そう思う」（52.7%）が5割を超え、「どちらかというと思う」（29.9%）を合わせた「そう思う（計）」（82.6%）は8割を超える。性別では、「そう思う（計）」は女性（84.6%）が男性（81.8%）よりも高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は女性-小学5年生（86.8%）が高い。

中・高校生については、「どちらかというと思う」（28.6%）と「そう思う」（27.7%）がそれぞれ約3割で、「そう思う（計）」（56.3%）は5割台半ばとなっている。中高生別では、「そう思う（計）」は中学生（69.3%）が高校生（35.4%）よりも高い。性別×中高生別では、「そう思う（計）」は男女とも中学生が高く、特に女性-中学生は74.8%と高い。性別×学年別では、「そう思う（計）」は男女とも高学年になるほど低いものの、女性は中学2年生（80.8%）が最も高い。

図表17-1 永住（居住）意向（小学5・6年生）



図表17-2 永住（居住）意向（中・高校生）



17-2 利用経験がある区の施設

あなたは、この1年間に区の施設を利用したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

小学5・6年生については、「公園」(82.3%)が8割を超えて最も高く、以下、「児童館」(77.9%)、「図書館」(75.9%)、「学校以外の体育館やプール」(62.8%)、「公会堂」(54.4%)と続いている。性別では、「地域区民センター」は男性(21.3%)が高く、「公会堂」は女性(58.8%)が高くなっている。

中・高校生については、「公園」(52.6%)が最も高く、「図書館」(48.3%)、「児童館」(25.3%)、「学校以外の体育館やプール」(24.7%)と続いており、いずれも小学5・6年生に比べて低く、「利用したことがない」(23.4%)が2割を超えている。中高生別では、すべての施設で中学生が高校生よりも高く、高校生は「利用したことがない」(49.8%)が約5割となっている。性別×中高生別では、上位の施設で男女とも中・高校生間の差が大きい。「利用したことがない」は男性-高校生(55.1%)が男性-中学生(7.5%)よりも約48ポイント高くなっている。

図表17-3 利用経験がある区の施設（小学5・6年生／中・高校生）

		(人、%)														
		n	児童館	ゆう杉並	図書館	公会堂	育学校や以外の体	公園	セ科学センター	郷土博物館	セ地域区民	杉並会館	その他	が利用したことがない	無回答	
小学5・6年生																
全体		452	77.9	6.2	75.9	54.4	62.8	82.3	34.3	13.1	17.5	25.4	0.7	4.2	2.2	
性別	男性	225	79.1	6.7	76.0	51.1	63.6	83.1	33.8	15.6	21.3	28.4	1.3	4.9	1.3	
	女性	221	77.8	5.9	76.9	58.8	62.9	82.8	35.3	10.4	14.0	23.1	-	3.2	1.8	
中・高校生																
全体		685	25.3	7.9	48.3	7.7	24.7	52.6	8.9	4.7	12.7	5.3	1.8	23.4	6.0	
生中別高	中学生	427	36.3	8.2	65.3	8.7	32.8	65.3	12.4	5.6	15.9	6.1	0.9	8.0	7.0	
	高校生	251	7.2	7.6	20.3	6.4	11.6	31.9	3.2	3.2	7.6	4.0	3.2	49.8	2.8	
中高生別	性別×	男性 中学生	227	37.9	6.6	65.2	6.2	35.2	67.4	13.2	7.5	13.7	7.0	1.3	7.5	9.3
		高校生	107	5.6	3.7	14.0	3.7	9.3	24.3	1.9	0.9	6.5	4.7	2.8	55.1	4.7
	性別×	女性 中学生	195	34.4	9.7	65.6	11.3	30.3	63.1	11.3	3.1	18.5	4.6	0.5	8.2	4.1
		高校生	144	8.3	10.4	25.0	8.3	13.2	37.5	4.2	4.9	8.3	3.5	3.5	45.8	1.4

17-3 区の広報やポスター・チラシを見る頻度

あなたは、杉並区の広報（広報すぎなみ）や区の実施する講座等のポスター・チラシを見ていますか。（1つに○）

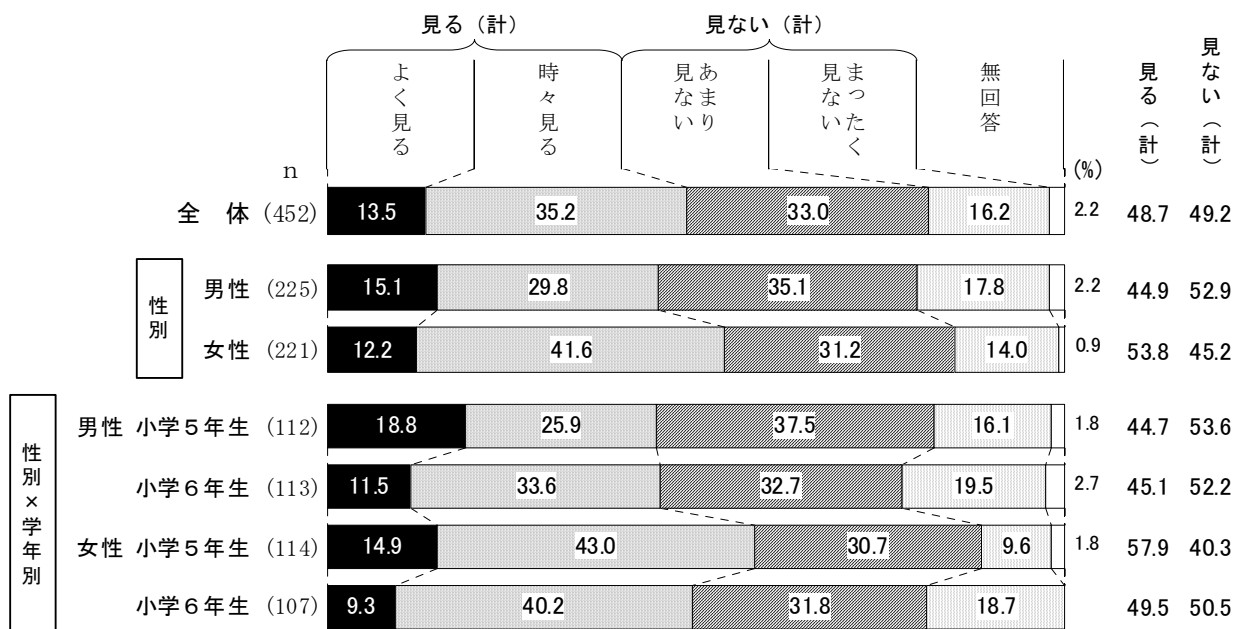
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

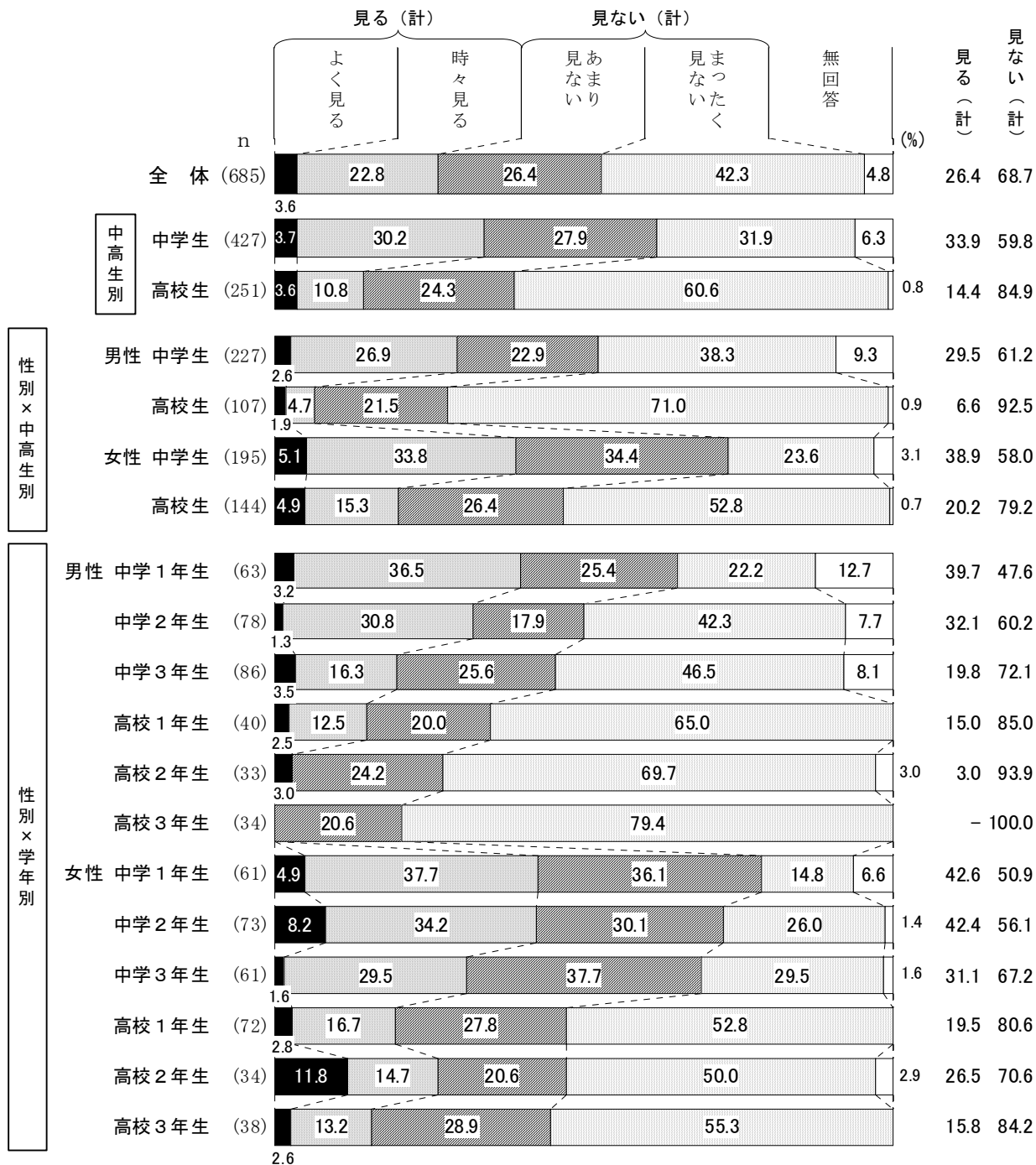
小学5・6年生については、「よく見る」（13.5%）と「時々見る」（35.2%）を合わせた「見る（計）」（48.7%）と、「まったく見ない」（16.2%）と「あまり見ない」（33.0%）を合わせた「見ない（計）」（49.2%）がほぼ同率となっている。性別では、「見る（計）」は女性（53.8%）が男性（44.9%）よりも高い。性別×学年別では、「見る（計）」は女性-小学5年生（57.9%）が高くなっている。

中・高校生については、「見ない（計）」（68.7%）が「見る（計）」（26.4%）を大きく上回っている。中高生別では、「見る（計）」は中学生（33.9%）が高校生（14.4%）よりも高い。性別×中高生別では、「見る（計）」は男女とも中学生が高く、特に女性-中学生（38.9%）が高くなっている。性別×学年別では、男性は高学年になるほど「見る（計）」が低い。女性も傾向は同じだが、中学1・2年生は4割を超えて高い。

図表17-4 区の広報やポスター・チラシを見る頻度（小学5・6年生）



図表17-5 区の広報やポスター・チラシを見る頻度（中・高校生）



17-4 区のホームページ、モバイルのページを見る頻度

あなたは、区のホームページ、区のモバイル（携帯電話用）のページを見たことがありますか。（1つに〇）

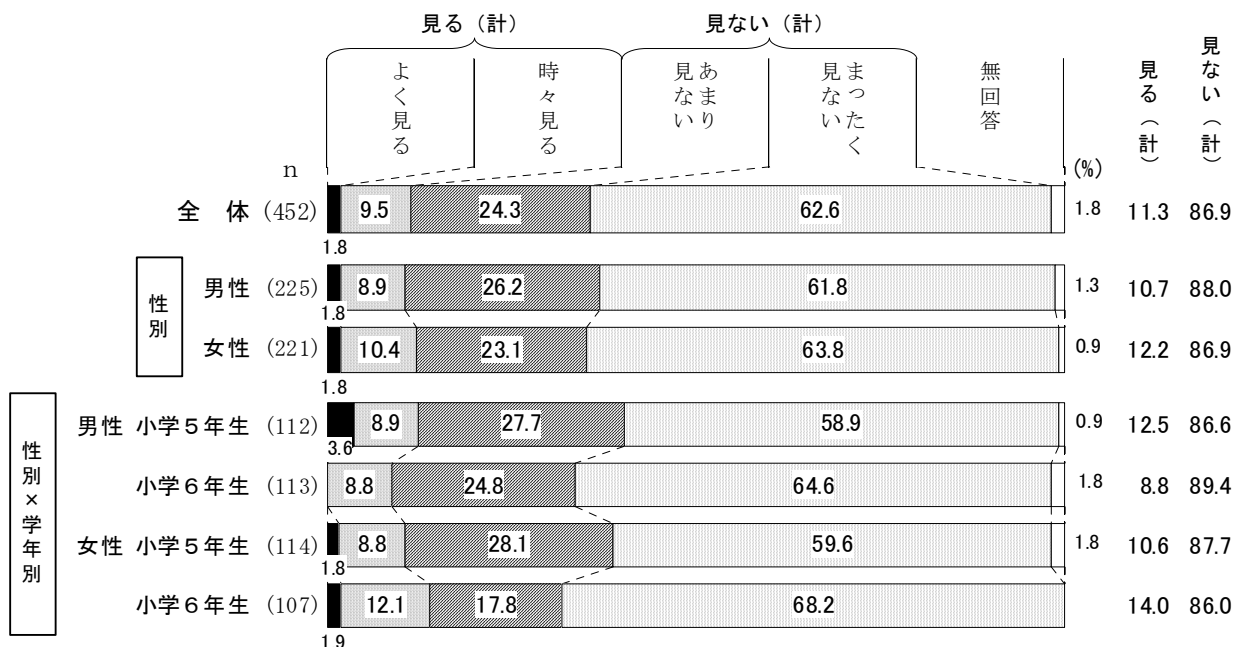
【対象：小学5・6年生／中・高校生】

■全体の傾向：

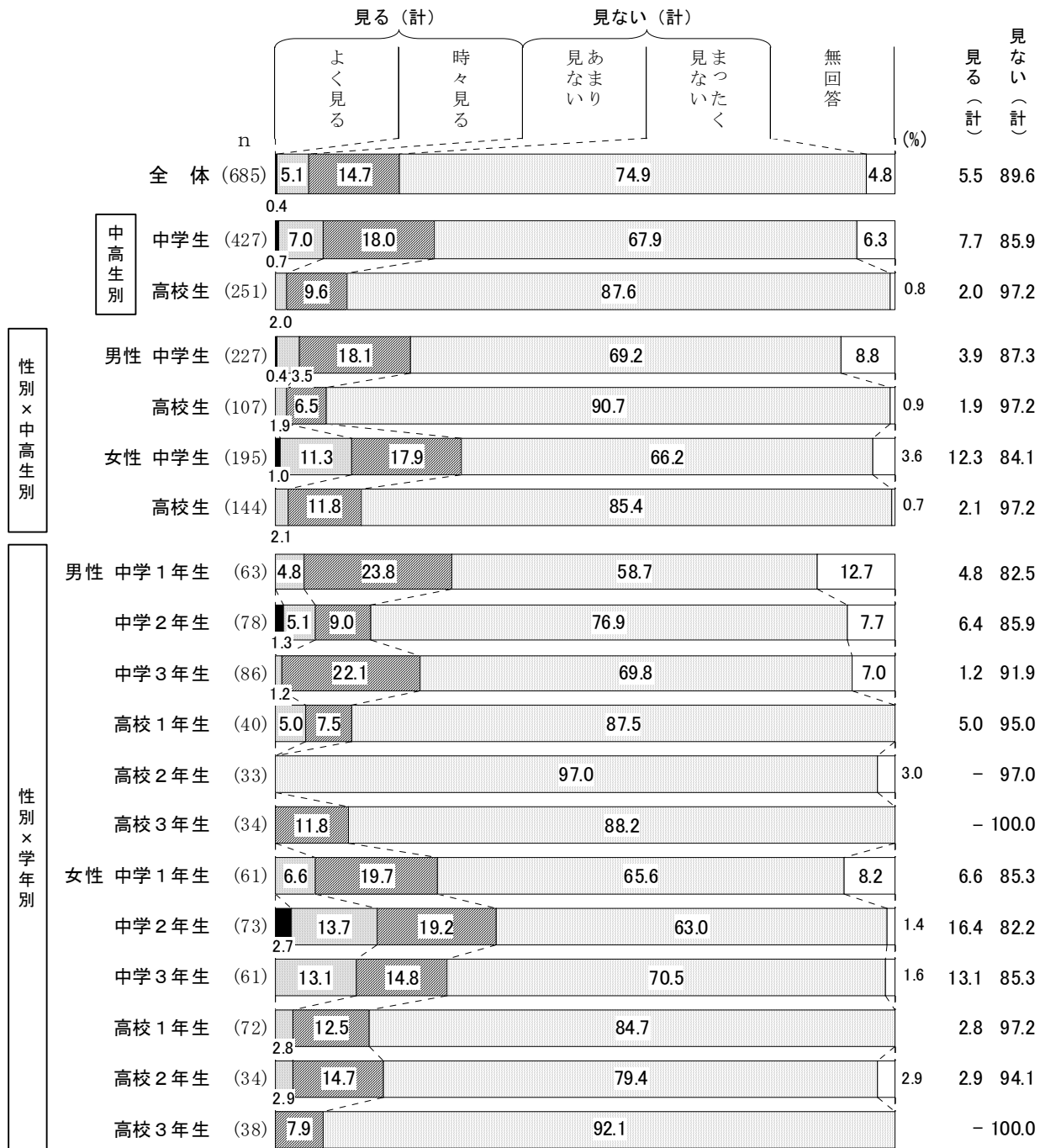
小学5・6年生については、「まったく見ない」（62.6%）が6割を超え、これに「あまり見ない」（24.3%）を合わせた「見ない（計）」（86.9%）では8割台半ばとなっている。一方、「よく見る」（1.8%）と「時々見る」（9.5%）を合わせた「見る（計）」（11.3%）は1割を超える。性別では、大きな差はない。性別×学年別では、「見る（計）」は女性-小学6年生が14.0%と高い。

中・高校生については、「見ない（計）」（89.6%）が約9割を占め、「見る（計）」（5.5%）は1割未満にとどまっている。中高生別では、「見る（計）」は中学生（7.7%）が高校生（2.0%）よりも高くなっている。性別×中高生別では、「見る（計）」は女性-中学生（12.3%）が女性-高校生（2.1%）よりも高い。性別×学年別では、「見る（計）」は女性の中学2・3年生で1割台半ばと、他よりも高くなっている。

図表17-6 区のホームページ、モバイルのページを見る頻度（小学5・6年生）



図表17-7 区のホームページ、モバイルのページを見る頻度（中・高校生）



17-5 区に実施してほしい青少年向け事業

区に実施してもらいたい青少年向け事業（中学生から29歳程度の方を対象）がありましたらお書き下さい。

【対象：小学5・6年生／中・高校生】

区に実施してほしい青少年向け事業について、自由記述形式で聞いたところ、全体で小学5・6年生203人、中・高校生75人が回答し、回答率は小学5・6年生44.9%、中・高校生10.9%となっている。内容により複数に分けた意見もあるので、全体の意見数は小学5・6年生286件、中・高校生84件となった。

■ 小学5・6年生

全体の傾向として、大半の意見が環境に関する要望、学校や各種施設に関する要望、催し物に関する要望 の3つに集約される。

環境に関する要望は、緑を増やすこと、CO₂の削減、温暖化対策、エコ活動、環境保全といった自然環境に関するものが多く、34件が挙げられている。また、たばこのポイ捨てやゴミ、公園のトイレといった町の美化に関するもの（18件）も多くなっている。

学校や各種施設に関する要望のうち学校に関するものは、校舎の建て替え、図書室の充実、屋内温水プール希望、スクールバス希望など（31件）である。特筆すべきは教室にクーラーを希望する意見で、22件の指摘がある。各種施設に関する要望は、体育館、グラウンド、プールといったスポーツ施設（14件）や遊園地、専門の施設でなくとも公園などに遊具やスペースを求める意見（29件）が目立つ。さらに図書館（13件）、児童館、科学館、美術館、動物園、水族館といった文化施設に対する要望（13件）も多くなっている。

催し物に関する要望では、祭りの開催を希望する意見（11件）を始め、スポーツ、音楽、自然に関するイベントや各種講習会など（29件）が多く挙げられている。

上記3分類以外にも、商店や映画館といった商業施設に関するもの（19件）、行政一般に関するもの（19件）、学校教育の内容や体制に関するもの（13件）などがある。

図表17-8 区に実施してほしい青少年向け事業（小学5・6年生）

内 容	件 数
スポーツ施設	14
公園・遊び場	29
文化施設	13
図書館	13
イベント、講習等	29
祭り	11
学校の環境、施設	31
クーラー設置	22
教育体制、内容	13
環境	34
町の美化	18
安全・安心	9
商業施設	19
行政一般	19
物価や税金の引き下げ	5
その他	7
計	286

主な意見の抜粋を以下に掲載する。

スポーツ施設

- ・ スポーツができる所を増やす。
- ・ スポーツ用の体育館を作ってもらいたいです。
- ・ スポーツをするためのグラウンド（野球）をもっと作ってほしい。
- ・ バッティングセンターを作ってほしい。
- ・ 面白いプール等があるといいです（流れるプール等）。
- ・ ウォータースライダーなどがあるプールを作ってほしいです。
- ・ プールを温水にしてほしい。
- ・ 室内プールがあればいいなと思います。
- ・ フットサル場。バスケット場。

公園・遊び場

- ・ 子どもが思いきり遊ぶ場所を作ってほしい。

- ・ 公園を増やしてほしい。
- ・ きれいな公園をたくさん作ってほしい。
- ・ 楽しい、緑のたくさんある広い公園があったらうれしい。
- ・ ビルだけじゃなく、たくさんの公園を作ってほしい。いろんな所に自然を増やしてほしい。
- ・ 公園に遊具を置いてほしい、増やしてほしい。
- ・ みんなと楽しく遊べる大きい公園。
- ・ 遊具のたくさんある広い公園。
- ・ 大きい公園（大きなアスレチック、花畑、野球場などもあり）。
- ・ アスレチックのある公園があるといいと思います。
- ・ もっと公園を作ってほしい（スポーツのできる）。
- ・ バットとボールが使える公園を作ってほしい。
- ・ 公園にバスケットのゴールを付けてほしい。
- ・ 原っぱ公園にグラウンドや遊具を作ってほしい。
- ・ 原っぱ公園のドッグランをなくしてほしい。
- ・ 犬と入れる公園を少し増やしてほしいです。
- ・ 公園、空き地を作ってもらいたい。特に空き地を作ってもらいたい（空き地が今ないから）。
緑（木）がたくさんある公園。
- ・ テーマパーク・遊園地を作ってほしい。
- ・ 子ども一人でも行ける遊園地を作ってほしい。

文化施設

- ・ 安全で大きな児童館。
- ・ ほっとする施設を作ってほしい。
- ・ 区の施設を増やしてほしい。
- ・ いろいろな遊びをできる場所があってほしい。
- ・ 杉並アニメーションミュージアムのような施設を増やす。
- ・ 桃井にペンギンがいる水族館がほしい。
- ・ 動物園と水族館が混ざったところを造ってほしい。両方を見に行けたら楽しそう。できれば遊園地ほどではないが、少し遊具があってほしい。
- ・ 科学館の場所を増やしてほしい。
- ・ 科学館のような、無料で実験をしたり、知識を身につけることのできるようなものを増やしてほしいと思います。
- ・ 昆虫類や甲殻類や多足類、クモ類などの節足動物がいる博物館。

図書館

- ・ 図書館を増やしてほしい。
- ・ 図書館の本を増やしてほしい。
- ・ 図書館を増やし、CDを多種入れてほしい。
- ・ 図書館の自由スペース、自習スペースを広くしてほしい。

イベント・講習等

- ・ 大人も子供も楽しめるイベントがあったらいいと思う。
- ・ 子供のスポーツ大会など。
- ・ スポーツ教室（以前、上草プールの屋上でやっていたので）。
- ・ 自由に、杉並区にいる虫などを観察する会。
- ・ 自然を観察する。
- ・ エコな活動を企画する。
- ・ 小さい子でもできる範囲の、小さいゴミ拾い活動。
- ・ 杉並区でよく採れる野菜を調べる体験。
- ・ 区が主催のクラシック音楽のコンサートを公会堂でたくさんやってほしい。
- ・ 杉並アニメーションミュージアムで声優さんのトークショーなどやってほしい。
- ・ 塾に通っている子が興味を持つような催し物を作ってほしい（考古学）。
- ・ 学校対抗運動会。
- ・ 「なみすけ」型の気球があったらいいと思います。
- ・ カードなどの大会を開いてほしい。
- ・ 児童館などで、本格的なダンス講座などを開いてほしい。
- ・ 杉並区と他の区との交流会。
- ・ 他の区の小学校との交流がしてみたい。
- ・ 区内の、違う学校の6年生などと遊んだりする機会があればいいな、と思います。
- ・ 国際交流などのイベントをしてほしい。
- ・ 区のタイムカプセルを埋める。応募の中で当たった人だけが掘り出す。

祭り

- ・ 祭りを増やしてほしい。

学校の環境、施設

- ・ 学校を新しく、きれいにしてほしい。
- ・ 教室を広くしてもらいたい。
- ・ 学校の図書室の本を増やしてほしい。
- ・ 図書館司書が学校の図書室にいるといいと思います。
- ・ 学校のプールを屋内（温水）プールにしてほしい。
- ・ エレベーターを付けてほしい。
- ・ 冷水機を増やしてほしい。
- ・ 遠い人にはスクールバスを付けてもらいたい。
- ・ 杉並区のバスをもっと増やしてほしい。理由はバスで通学したら便利だから。
- ・ 渡り廊下を増やすこと。
- ・ 机がもう少し広ければいいな。

- ・ 食費が上がってもいいから、味を工夫してほしい。意見を直接言うことができる施設を作ってほしい。
- ・ 学校を芝生にしてほしい。

クーラー設置

- ・ 学校の教室にクーラーを付けてほしい。
- ・ 扇風機ではなく、クーラーにしてほしい。

教育体制、内容

- ・ 静かに教室で本を読める時間がほしい。
- ・ 子ども向けの政治や社会などの本や雑誌を作ってほしい。
- ・ 学校の体育の時間にラグビーなどのスポーツをもっと取り入れてほしい。
- ・ 学校に頼み、バスケット大会やサッカー大会を開く。
- ・ 体育を減らしてほしい（特にプール）。
- ・ 学校の終了時刻を早めてほしい。
- ・ 勉強する時はたくさんして、休みは長くしてほしい。
- ・ あまり厳しくない予習、復習塾を作ってほしい。受験をなくしてほしい。
- ・ 区などで、受験対策などの案やコツの本を配ってほしい。
- ・ パソコンの授業を増やしてほしい。

環境

- ・ もっと緑を増やしてほしい。
- ・ 木や植物をたくさん植えてほしい。
- ・ もっと森や動物が暮らせる自然を増やせ。
- ・ 緑を更に増やすこと（学校の校庭等を芝生にすることは反対）。
- ・ 川や池など、自然を増やしてほしい。
- ・ エコ活動の呼びかけ。
- ・ 環境についての条例を定めてほしい。
- ・ 夜などに杉並区全体で消灯をして、CO₂を出さないようにする。
- ・ 空気をきれいにして下さい。

町の美化

- ・ 道にポイ捨てをさせないようにしてほしい。
- ・ 年に1、2回町のゴミ拾い（土、日に）。
- ・ やはり杉並区はゴミが多いので、全面的にみんなを誘ってゴミ拾いのボランティア活動をたくさんやり、杉並区をきれいにする。
- ・ ごみの分別をもう少し分かりやすくしてほしいです。
- ・ 公園のトイレをきれいにしてほしい。
- ・ 善福寺川をもっとキレイにしてほしい。

安全・安心

- ・ もっと安全に気を付けてほしい。
- ・ 小学生の安全を守るため、杉並区全部の小学校に防犯カメラを設置する。
- ・ 安全な生活を送れるように、防犯のものをいくつか付けてほしい（家、学校など）。
- ・ 車が飛び出してくるような所や、人がよく歩いて車も通る所には、ミラー（大きな）を付けた方が車も人も安心すると思います。

商業施設

- ・ この近くに大きいデパートができてほしい。
- ・ 家の近くに、ファッション系のお店、ショッピングモールなどを作ってほしい。
- ・ ゲーム屋と本屋を増やす。
- ・ 映画館を作ってほしい。
- ・ スポーツショップ。

行政一般

- ・ 歩道を広くしてほしい。
- ・ 上井草の駅の所の踏切をどうにかしてほしい。
- ・ 公衆トイレの整備、充実、洋式化。
- ・ 医療費無料を、中3から高3までにしてほしい。
- ・ 病院のサービスを大人にもしてほしい。
- ・ 出会い系サイトなど裏サイトを止めてほしいです。その理由は、今それで苦しんでいる人が自分の身の回りにも何人かいて、それを抱えている人がいるからです。
- ・ 杉並ニュースで、これからやる事などを伝えてほしい。
- ・ 杉並区のキャラクターは「なみすけ」とあと「なみすけの兄」とかがあったらいいと思う。
- ・ 杉並区をもっと日本中に広める（テレビ）。

物価や税金の引き下げ

- ・ 消費税を下げてほしい。

■ 中・高校生

全体の傾向として、スポーツ施設に関する要望（21件）、文化施設に関する要望（16件）、イベント、祭り、講習等に関する要望（14件）の3つが多くなっている。

スポーツ施設に関する要望として、テニスやバスケットボールができる場所や施設を希望する意見が多く、さらに和田堀公園競技場への照明設置希望も目立っている。

文化施設に関する要望として、児童館の増設希望、図書館やスタジオなどのスペースを希望する意見が多くなっている。

イベント、祭り、講習等に関する要望は、祭りに代表される行事や、スポーツ、音楽に関するイベントが多い。

この他にも、行政一般に関すること（9件）、クーラー設置などの学校環境に関する要望（7件）がある。

図表17-9 区に実施してほしい青少年向け事業（中・高校生）

内 容	件 数
スポーツ施設	21
文化施設	16
イベント、祭り、講習等	14
学校の環境、施設	7
環境	5
行政一般	9
その他	12
計	84

主な意見の抜粋を以下に掲載する。

スポーツ施設

- ・自由にスポーツができる運動場を増やしてほしい。
- ・体育館やテニスコート、グラウンドなど、もっと近くに作ってほしい。
- ・陸上競技場を作ってほしい。
- ・サッカー場を作ってほしい。
- ・運動場（テニスコート）を作ってほしい。
- ・区民だけしか使えないテニスコートなどの運動施設がほしい。
- ・バスケットができる場所を増やしてほしい。
- ・バスケットが自由に出来る体育館や公園の数を増やしてほしい。リングの高さは中学生以上のリングで3m65cmにしてほしい。

- ・ もっと体育館を増やして毎日バスケットボールをしたい。体育館はあるけれど、実施している日にちが少なすぎる。月に4回位は使いたい。
- ・ 和田堀公園競技場にライトを付けてほしい。夜にサッカーをしていると全く周りが見えない。それに、周辺に明るい所が少ないので危険だと思う。

文化施設

- ・ ゆう杉並のような施設をもっと作ってほしい。
- ・ 個人スペースのある勉強の場。
- ・ 自習室のあるきれいな図書館。
- ・ バンドなどで使える無料のスタジオ。
- ・ 高校生のバンド活動を応援して下さい。お金がないのでスタジオに行けません。
- ・ 自由に色んな活動ができる施設。
- ・ テーマ（本、バスケ等色々）の情報交換の場。

イベント、祭り、講習等

- ・ 祭りなどの行事を増やしてほしいです。
- ・ 杉並区運動会。
- ・ サッカー選手など、元Jリーガーを集めてサッカー教室をやってほしい。
- ・ 区内で結成したバンドのライブの場を持ってほしい。

学校の環境、施設

- ・ 学校にクーラーを付けてほしい。
- ・ できれば学校を天然芝にしてほしい。
- ・ すべての小中高等学校のグラウンドを芝にしてほしいです。
- ・ 学生の気持ちをよく分かっている人がいる相談室があればいいと思います。

環境

- ・ もっと緑を増やす。
- ・ 商店街付近のゴミ拾いなどをするといい。最近汚い気がするから。

行政一般

- ・ 楽しい杉並区にしてください。
- ・ たばこ、酒を全面禁止にする。
- ・ 青少年向けではないけど、不審者の取り締まりを強化した方がいいと思う。このところ不審者が多い。いざとなった時のために学校や施設にボディーガードみたいな人を配置しておくのも手だと思う。

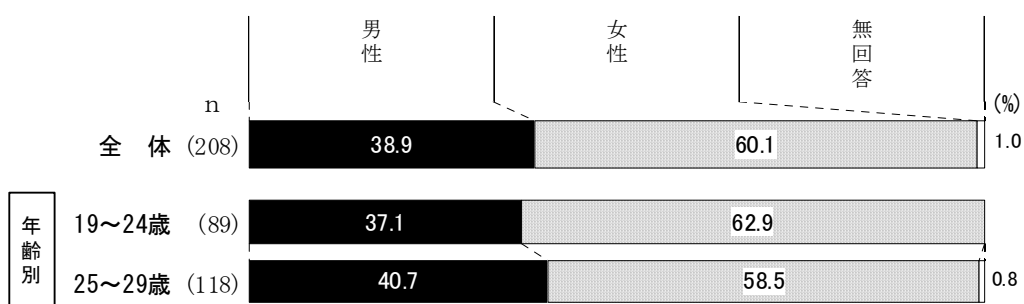
青少年

1. 調査対象者・家族の状況について

1-1 性別

性別を聞いたところ、「男性」(38.9%)の約4割に対して、女性(60.1%)は6割となっている。年齢別では、年代による男女比の片寄りは見られない。

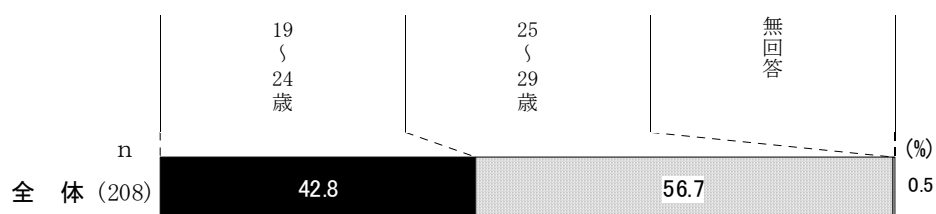
図表1-1 性別



1-2 年齢

年齢を聞いたところ、「19~24歳」(42.8%)が4割を超え、「25~29歳」(56.7%)は5割台半ばとなっている。

図表1-2 年齢



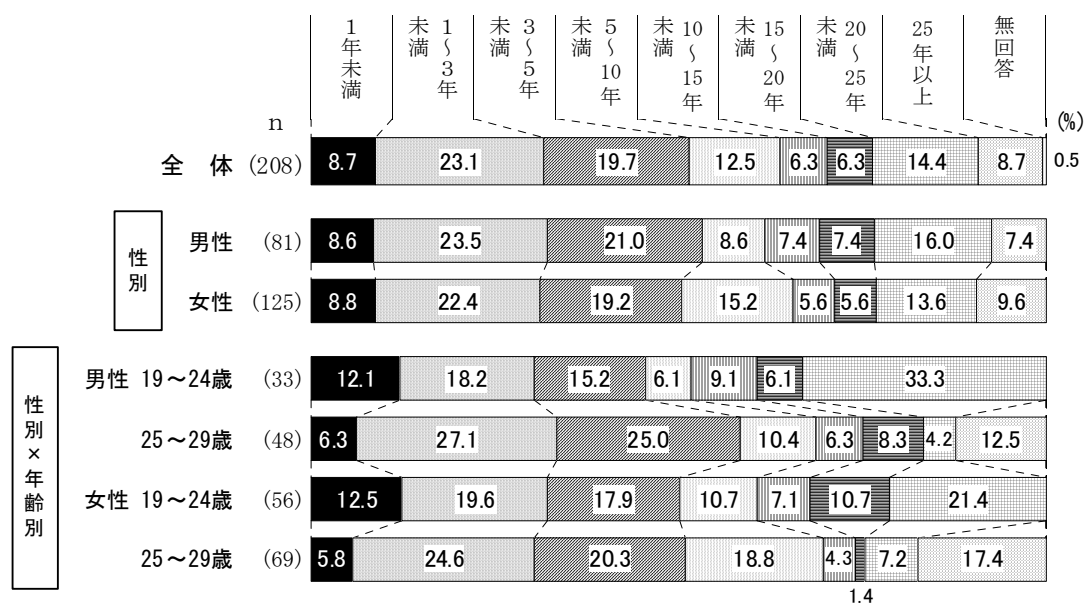
1-3 居住年数

問3 あなたは杉並に何年住んでいますか。(枠内に記入)

■全体の傾向：

居住年数を聞いたところ、「1～3年未満」(23.1%)が2割台半ばで最も高く、「3～5年未満」(19.7%)が約2割、「20～25年未満」(14.4%)が1割台半ばと続いている。5年未満の累計(51.5%)は5割を超える。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、男女とも19～24歳は「20～25年未満」が最も高く、25～29歳は「1～3年未満」が最も高くなっている。

図表1-3 居住年数



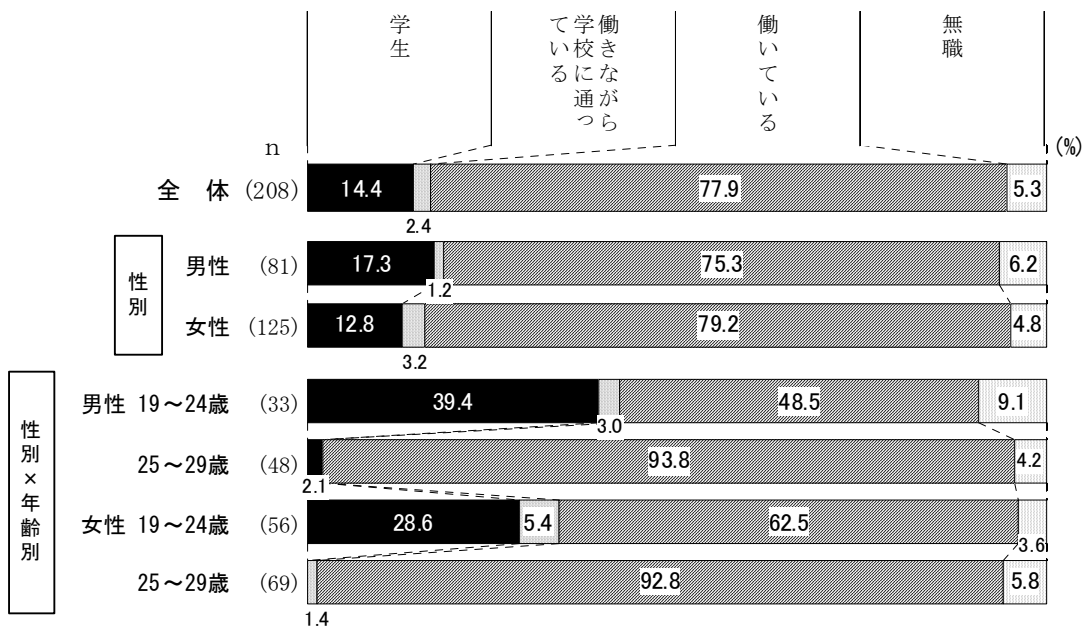
1-4 現在の状況

問4 現在あなたは学生ですか。それとも働いていますか。(1つに○)

■全体の傾向：

現在の状況について聞いたところ、「働いている」(77.9%)が約8割を占め、「学生」(14.4%)が1割台半ばとなっている。性別では、「学生」で男性(17.3%)が女性(12.8%)より高く、「働いている」では女性が男性よりも高い。性別×年齢別では、「学生」は男女とも19～24歳が高く、男性25～29歳は2.1%、女性25～29歳は0.0%となっている。

図表1-4 現在の状況



1-5 同居している人

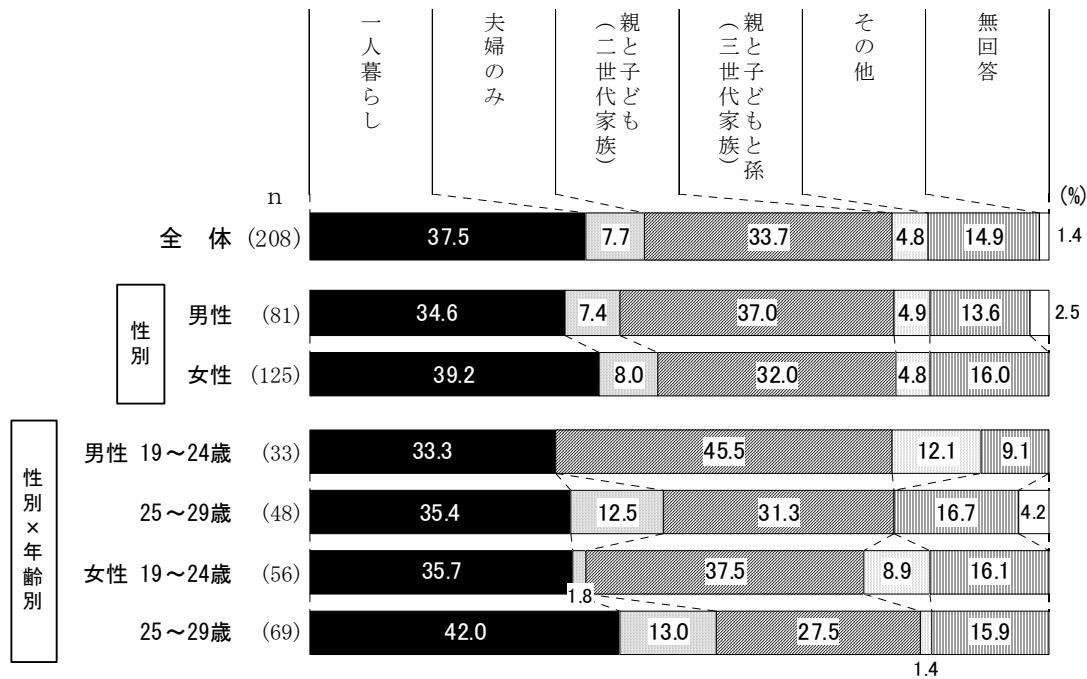
問5 一緒に暮らしている人は誰ですか。(1つに○)

※仕事や入院で一時的に別に暮らしている場合も一緒に暮らしているとします。

■全体の傾向：

同居している人について聞いたところ、「一人暮らし」(37.5%)と「親と子ども(二世世代家族)」(33.7%)がそれぞれ3割台と高い。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、男女とも「夫婦のみ」は25~29歳、「親と子ども(二世世代家族)」は19~24歳がそれぞれ高い。一方、「一人暮らし」は女性25~29歳で42.0%と高い。

図表1-5 同居している人



1-5-1 同居している理由

問5-1 問5で家族と同居していると答えた人にお聞きします。同居している理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

同居している理由を聞いたところ、「今の生活で不自由がないから」(37.0%)が約4割、「独立のためにお金をためる必要があるから」(24.4%)と「経済的に苦しいから」(23.6%)がそれぞれ2割台半ばとなっている。性別では、「経済的に苦しいから」で女性(28.9%)が男性(15.7%)よりも高い。性別×年齢別では、「学生だから」は男女とも19～24歳で高く、「経済的に苦しいから」と「独立のためにお金をためる必要があるから」は女性19～24歳でそれぞれ高い。

図表1-6 同居している理由

		(人、%)									
		n	経済的に苦しいから	独立のためにお金をためる必要があるから	親が反対するから	家事が負担に感じるから	今の生活で不自由がないから	親の身の回りの世話をしているから	親の仕事を継いだから	学生だから	無回答
全体		127	23.6	24.4	3.9	12.6	37.0	2.4	0.8	19.7	30.7
性別	男性	51	15.7	25.5	2.0	7.8	31.4	2.0	2.0	25.5	31.4
	女性	76	28.9	23.7	5.3	15.8	40.8	2.6	-	15.8	30.3
年齢別×性別	男性 19～24歳	22	13.6	18.2	-	9.1	40.9	4.5	-	50.0	13.6
	25～29歳	29	17.2	31.0	3.4	6.9	24.1	-	3.4	6.9	44.8
	女性 19～24歳	36	38.9	33.3	5.6	19.4	41.7	5.6	-	33.3	11.1
	25～29歳	40	20.0	15.0	5.0	12.5	40.0	-	-	-	47.5

1-6 最後に通った（現在通っている）学校

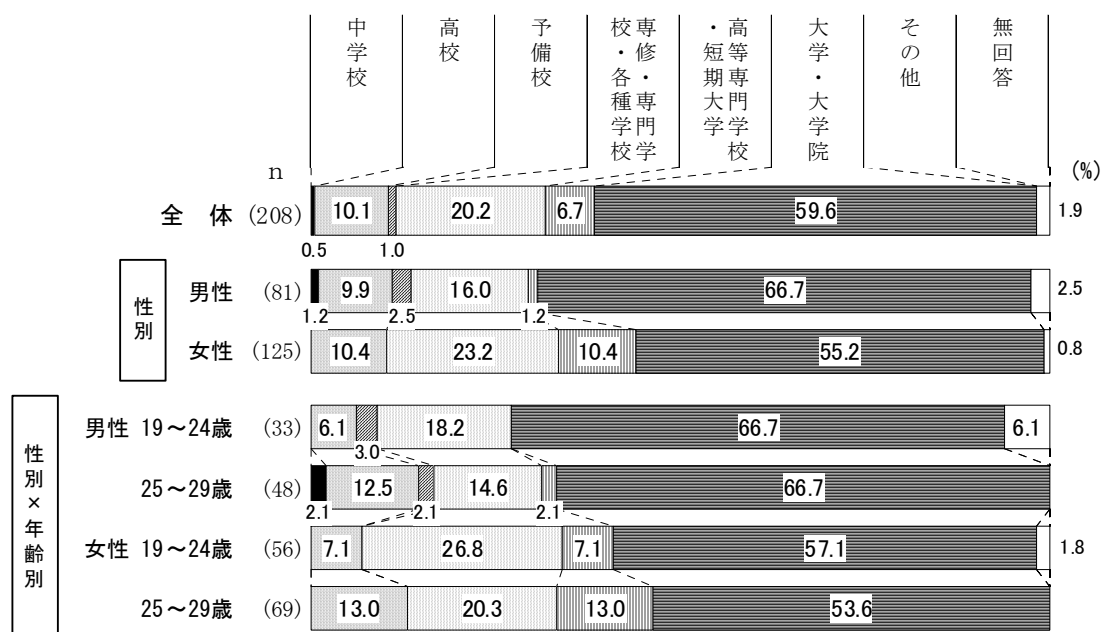
問6 あなたが最後に通った学校あるいは現在通っている学校を選んでください。

(1つに〇)

■全体の傾向：

最後に通った学校あるいは現在通っている学校について聞いたところ、「大学・大学院」(59.6%)が約6割で最も高く、以下、「専修・専門学校・各種学校」(20.2%)、「高校」(10.1%)と続いている。性別では、「高等専門学校・短期大学」は女性(10.4%)が男性(1.2%)よりも高くなっている。性別×年齢別では、「高等専門学校・短期大学」は女性25～29歳(13.0%)が女性19～24歳(7.1%)よりも高い。

図表1-7 最後に通った（現在通っている）学校



2. 仕事について

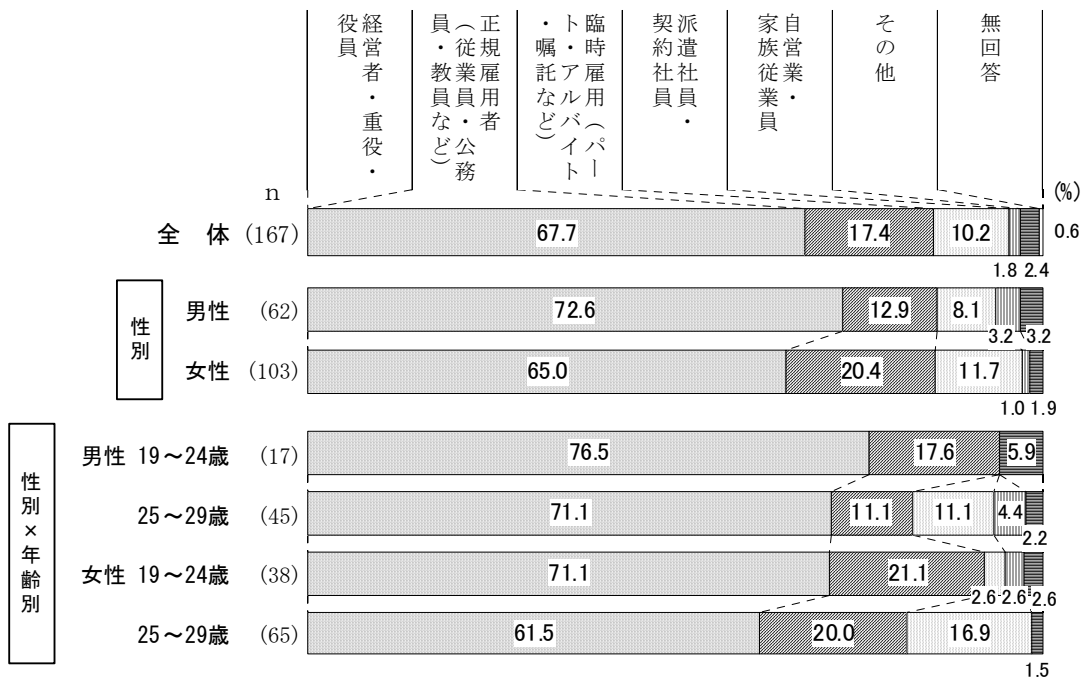
2-1 職業

問7 あなたの職業は次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

■全体の傾向：

職業について聞いたところ、「正規雇用者（従業員・公務員・教員など）」（67.7%）が約7割を占め、「臨時雇用（パート・アルバイト・嘱託など）」（17.4%）が約2割となっている。性別では、「正規雇用者（従業員・公務員・教員など）」で男性（72.6%）が女性（65.0%）よりも高く、逆に「臨時雇用（パート・アルバイト・嘱託など）」では女性（20.4%）が男性（12.9%）より高い。性別×年齢別では、「派遣社員・契約社員」は女性25～29歳（16.9%）が女性19～24歳（2.6%）よりも高くなっている。

図表 2-1 職業



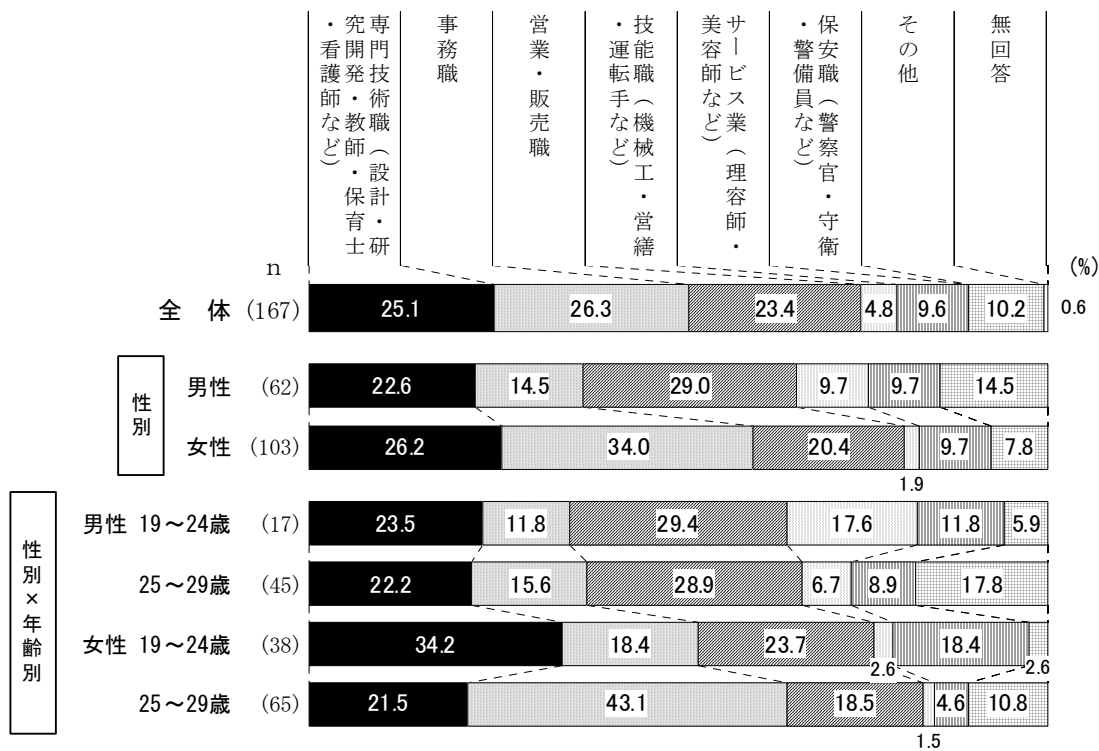
2-2 現在の仕事内容

問8 現在の仕事内容はどれですか。(1つに〇)

■全体の傾向：

現在の仕事内容について聞いたところ、「事務職」(26.3%)、「専門技術職(設計・研究開発・教師・保育士・看護師など)」(25.1%)、「営業・販売職」(23.4%)がそれぞれ2割台半ばとなっている。性別では、「事務職」は女性(34.0%)で高く、「技能職(機械工・営繕・運転手など)」は男性(9.7%)で高くなっている。性別×年齢別では、「事務職」は女性25~29歳(43.1%)が女性19~24歳(18.4%)よりも高く、「サービス業(理容師・美容師など)」については逆に、女性19~24歳(18.4%)が女性25~29歳(4.6%)よりも高くなっている。

図表2-2 現在の仕事内容



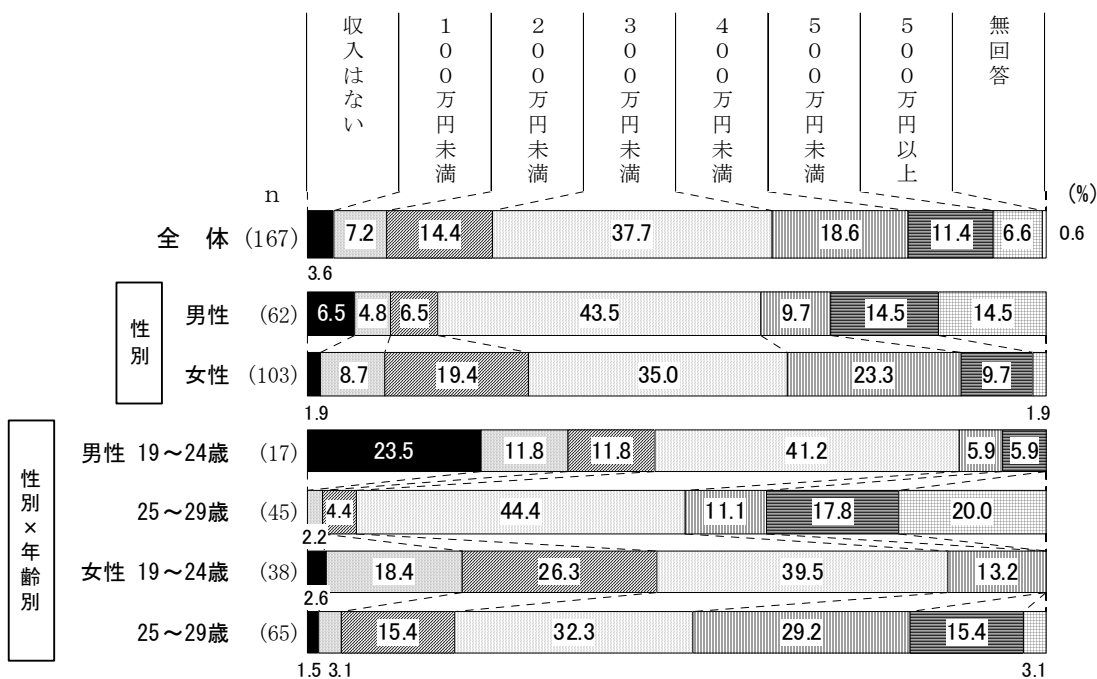
2-3 昨年の年収

問9 あなたの昨年の年収はどれくらいですか。(1つに○)

■全体の傾向：

昨年の年収について聞いたところ、「300万円未満」(37.7%)が約4割を占め、以下、「400万円未満」(18.6%)、「200万円未満」(14.4%)と続いている。性別では、「200万円未満」や「400万円未満」は女性が高いが、「500万円以上」は男性(14.5%)で高くなっている。性別×年齢別では、「100万円未満」は女性では19～24歳(18.4%)が25～29歳(3.1%)よりも高いが、「400万円未満」では25～29歳(29.2%)が19～24歳(13.2%)よりも高い。

図表2-3 昨年の年収



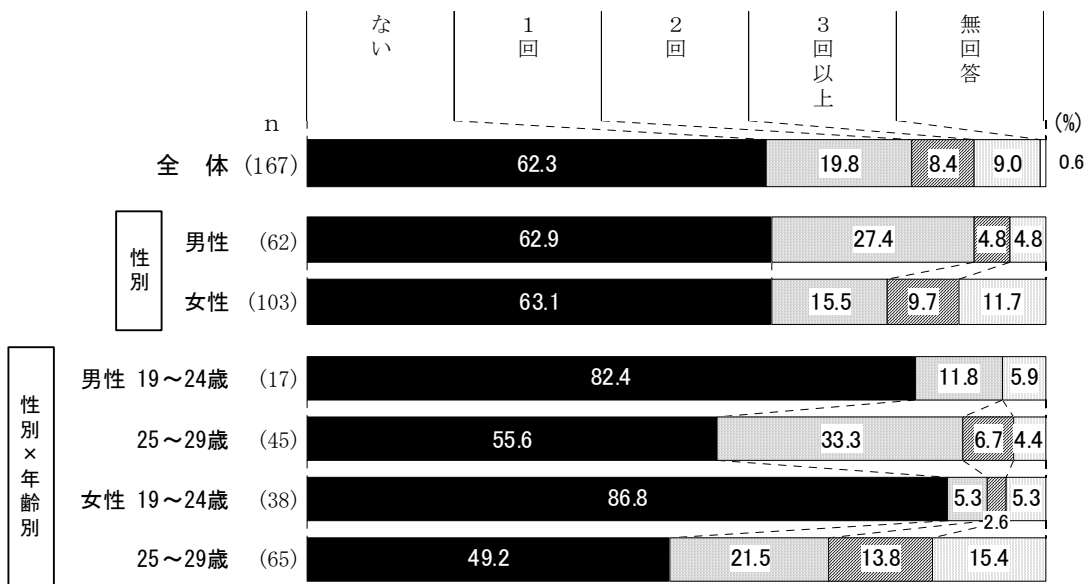
2-4 転職経験の有無

問10 今までに転職をしたことがありますか。(1つに○)

■全体の傾向：

転職の経験の有無について聞いたところ、「ない」(62.3%)が6割を超え、「1回」(19.8%)、「3回以上」(9.0%)がこれに続いている。性別では、「1回」は男性(27.4%)が女性(15.5%)よりも高い。性別×年齢別では、女性の場合「ない」は19～24歳(86.8%)が25～29歳(49.2%)よりも高く、「1回」、「2回」、「3回」はいずれも25～29歳が19～24歳よりも高くなっている。男女間では「3回以上」で女性25～29歳(15.4%)が男性25～29歳(4.4%)よりも高い。

図表2-4 転職経験の有無



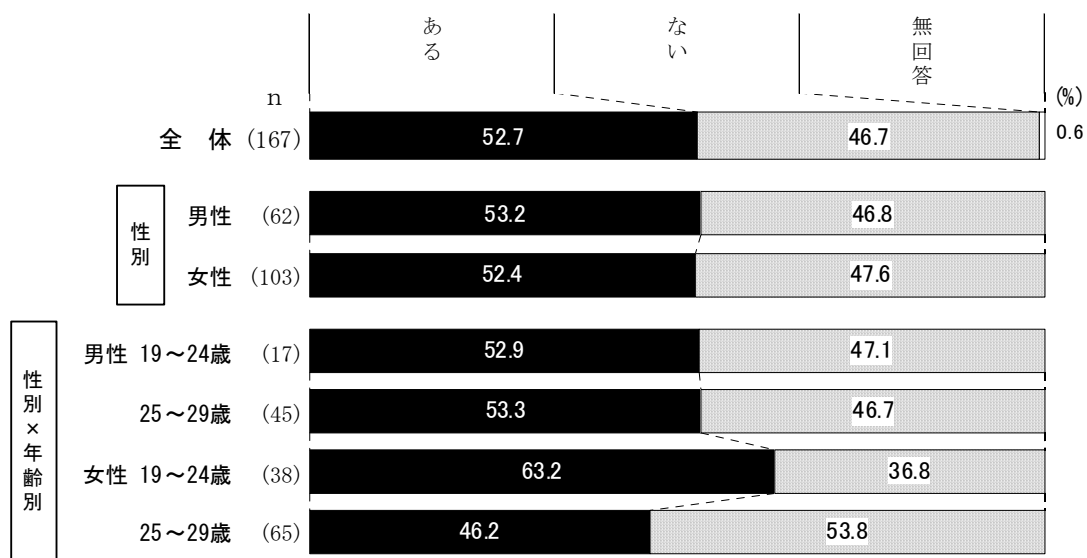
2-5 今後の転職意向

問11 今後仕事を変えるつもりはありますか。(1つに○)

■全体の傾向：

今後の転職意向について聞いたところ、「ある」(52.7%)が5割を超えており、「ない」(46.7%)は4割台半ばとなっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「ある」は女性19～24歳(63.2%)が女性25～29歳(46.2%)よりも高い。

図表2-5 今後の転職意向



3. 生活実態について

3-1 普段の生活の満足度

問12 次の各項目について、満足度をお答えください。(①～⑭それぞれ1つに○)

■全体の傾向：

普段の生活の満足度について聞いたところ、「満足（計）」（「満足している」と「まあ満足している」の合計）は「②友人関係」（89.0%）と「①家庭生活」（85.6%）で8割台と高く、「⑤今住んでいる地域との関わり」（75.5%）が7割台半ばとなっている。一方、「④今の社会」（34.1%）は3割台半ばで特に低い。

在学中の方の場合は、「⑨学校の友人」（91.4%）と「⑦学校の生活」（85.7%）で高く、「⑩現在の教育制度」（51.5%）で低くなっている。

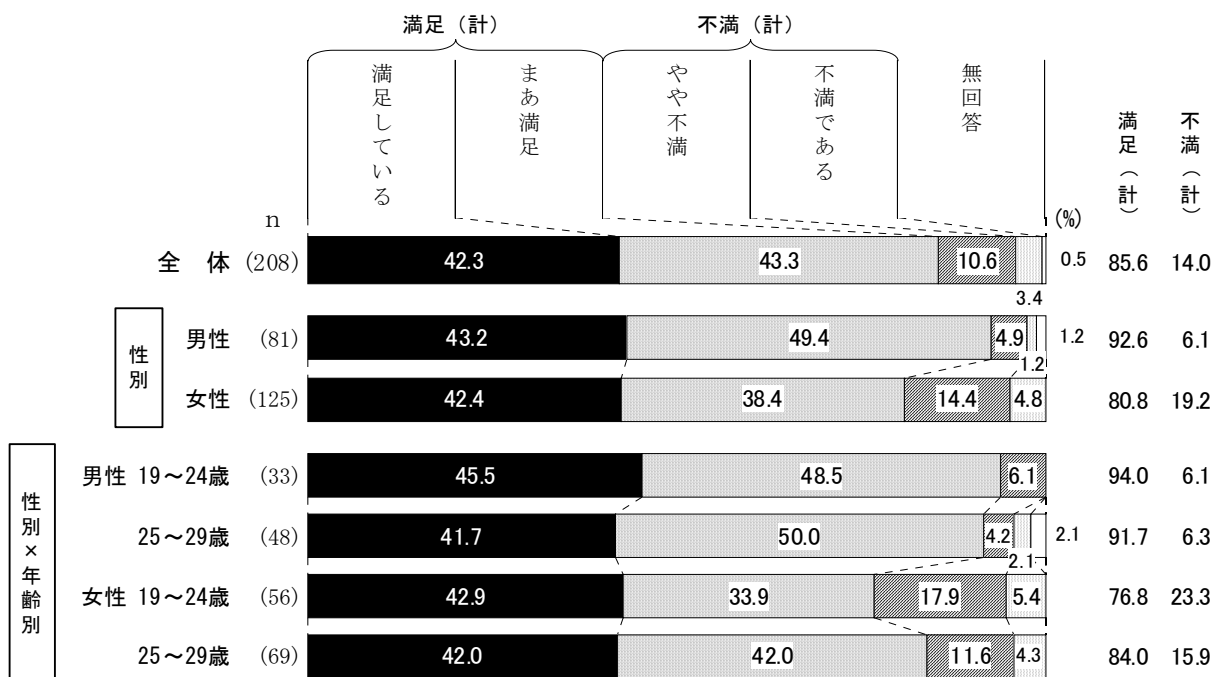
働いている方の場合は、「⑭職場の人間関係」（77.2%）、「⑪職場の生活」（71.3%）、「⑫仕事の内容」（70.1%）が7割台だが、「⑬現在の収入」（38.9%）は約4割と低い。

【全 員】

①家庭生活

「満足（計）」（85.6%）は8割台半ばとなっている。性別では、「満足（計）」は男性（92.6%）が女性（80.8%）よりも高い。性別×年齢別では、「満足（計）」は男性19～24歳（94.0%）が女性19～24歳（76.8%）よりも高くなっている。

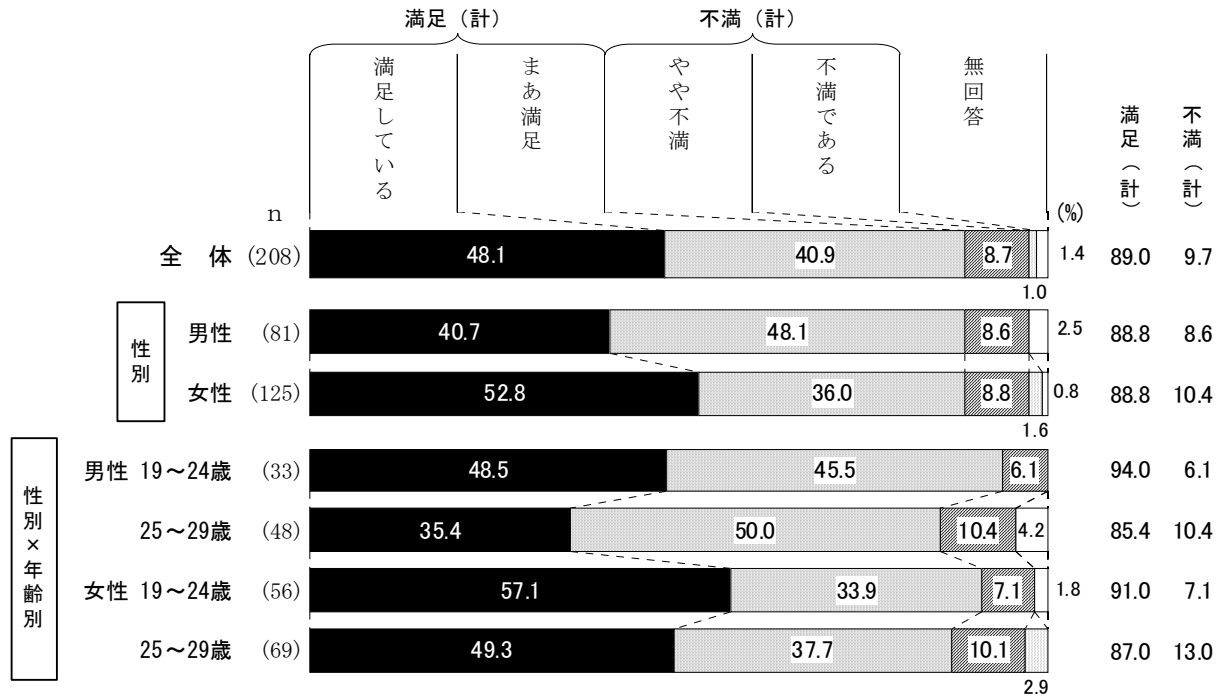
図表 3-1 家庭生活



②友人関係

「満足（計）」（89.0％）は約9割となっている。性別では、「満足（計）」では男女とも88.8％で同率となっているが、「満足している」に限れば、女性（52.8％）が男性（40.7％）よりも高い。性別×年齢別では、男女とも19～24歳が高くなっている。

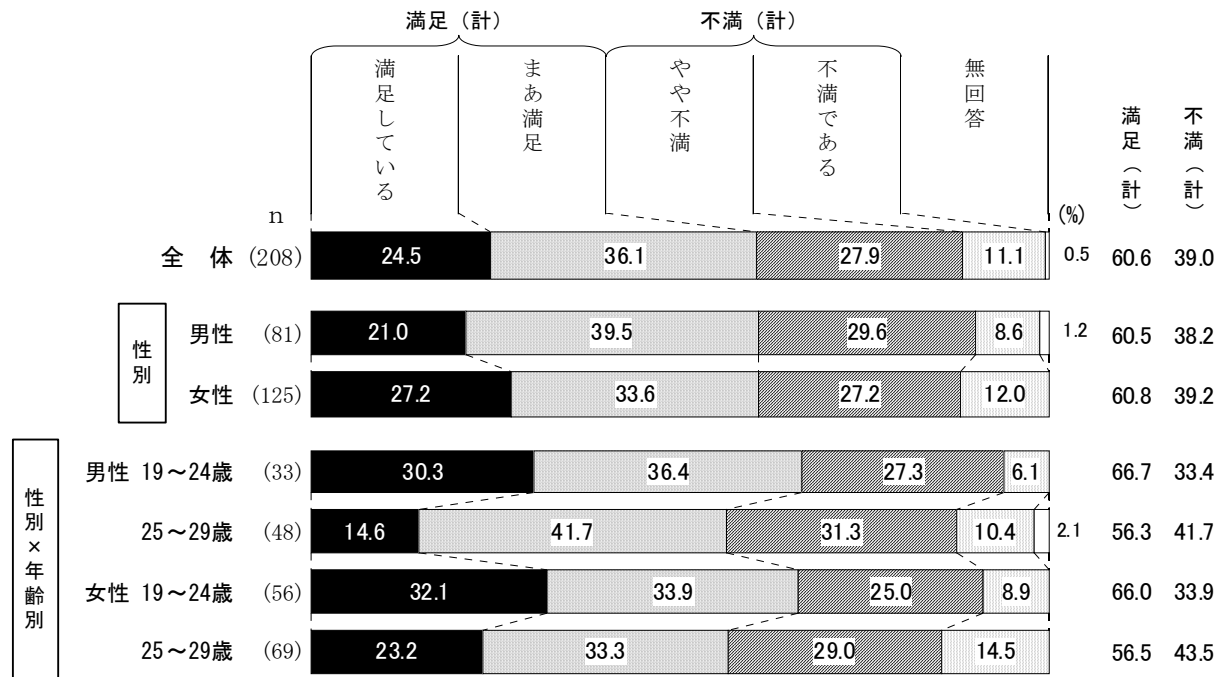
図表 3－2 友人関係



③現在の生活水準

「満足（計）」（60.6％）は6割となっている。性別では、「満足（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「満足（計）」は男女とも19～24歳が25～29歳よりも高くなっている。

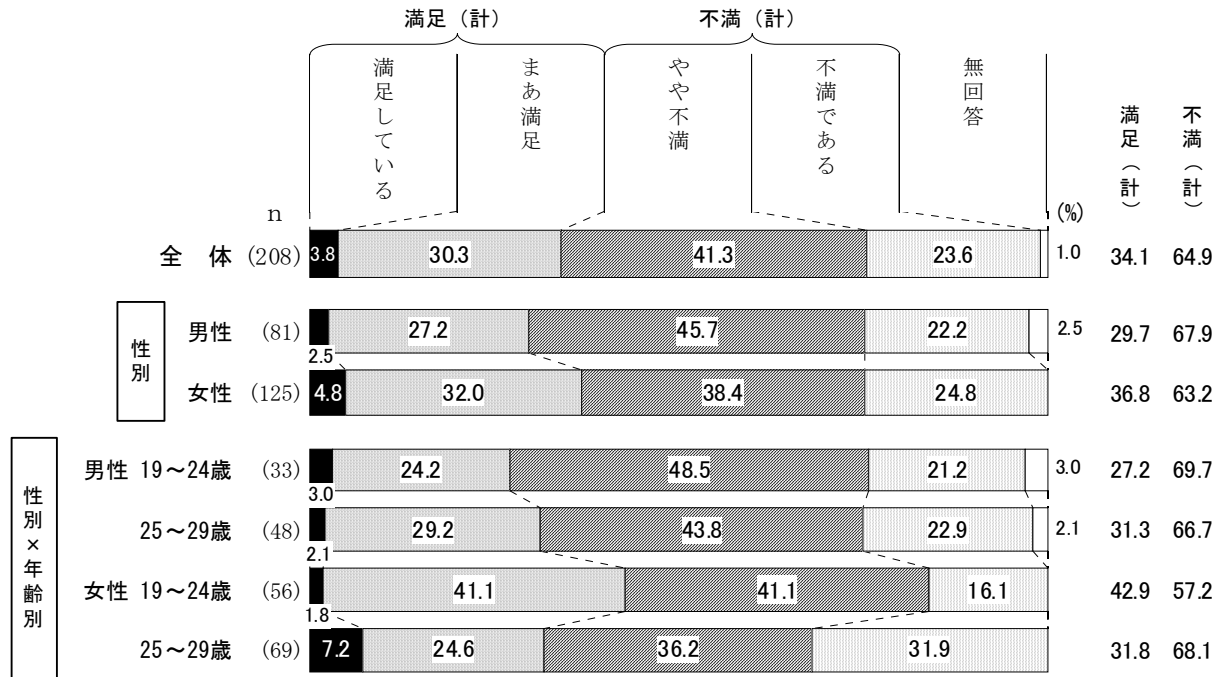
図表 3-3 現在の生活水準



④今の社会

「満足（計）」（34.1%）は3割台半ばで全項目中最も低い。性別では、「満足（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「満足（計）」は女性19～24歳（42.9%）が女性25～29歳（31.8%）よりも高くなっている。

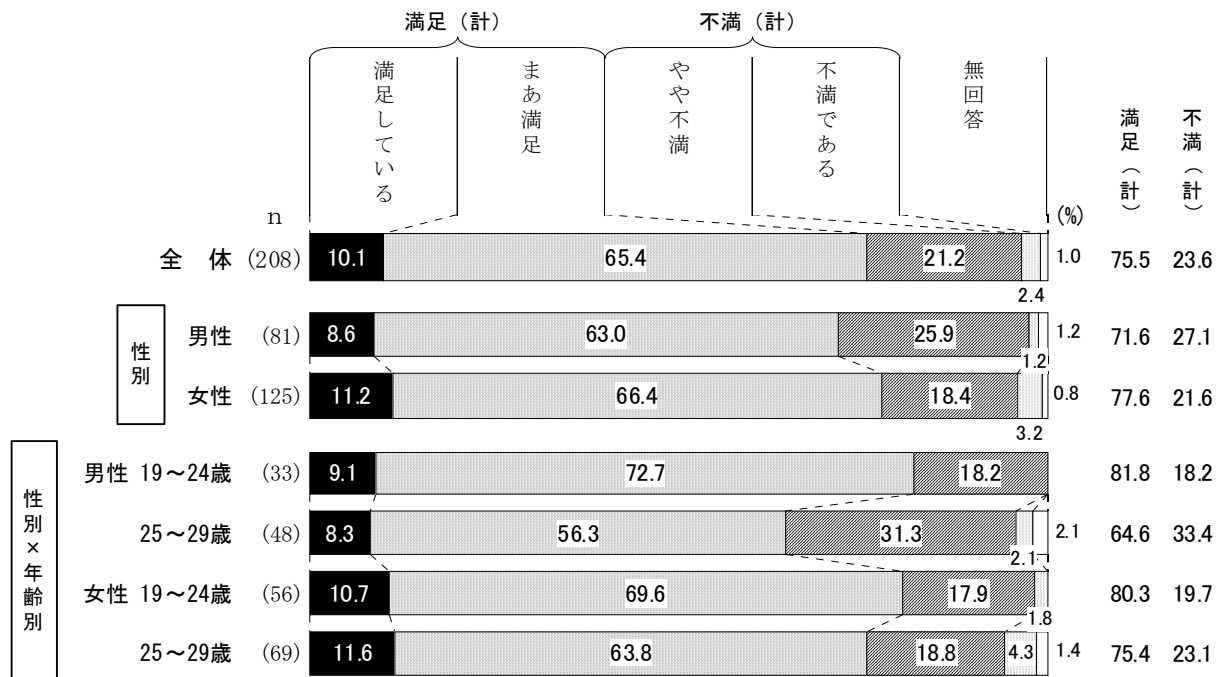
図表3-4 今の社会



⑤今住んでいる地域との関わり

「満足（計）」（75.5%）は7割台半ばとなっている。性別では、「満足（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「満足（計）」は男性19～24歳（81.8%）が男性25～29歳（64.6%）よりも高くなっている。

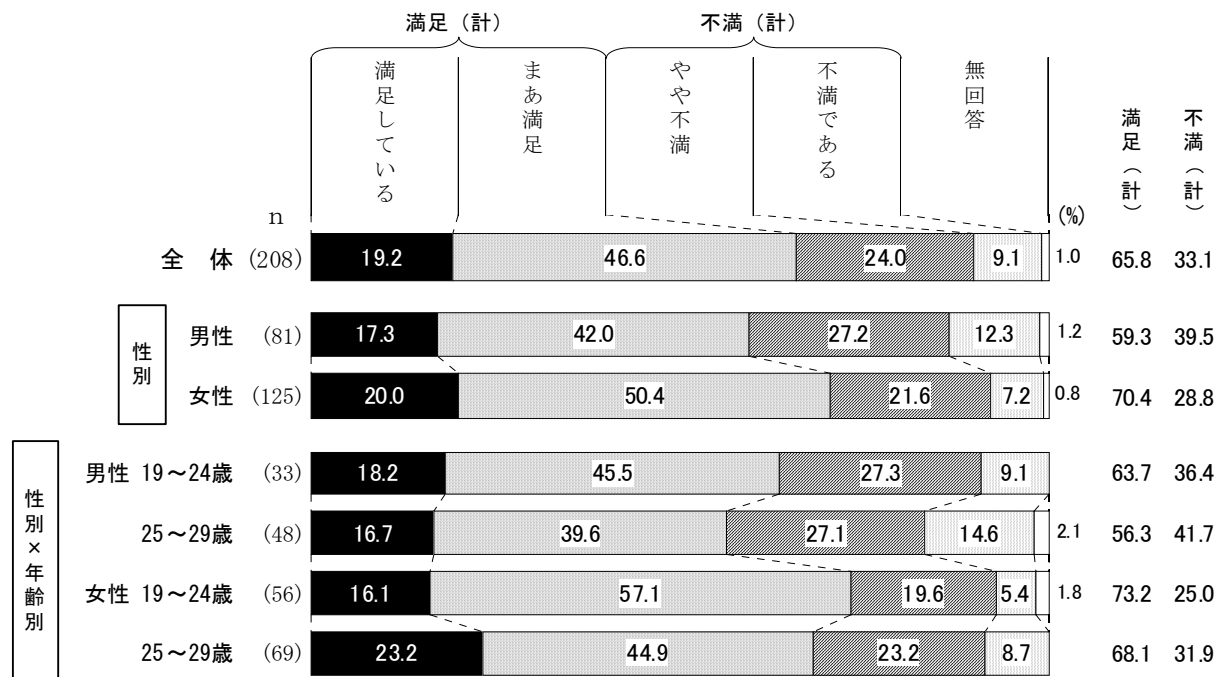
図表 3-5 今住んでいる地域との関わり



⑥今の自分の生き方

「満足（計）」（65.8%）は6割台半ばとなっている。性別では、「満足（計）」は女性（70.4%）が男性（59.3%）より高くなっている。性別×年齢別では、「満足（計）」は女性19～24歳（73.2%）が高い。

図表3-6 今の自分の生き方

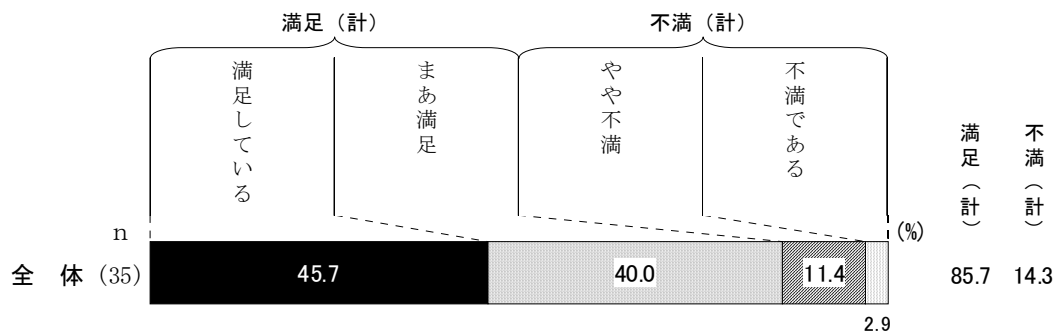


【在学中の方】

⑦学校の生活

「満足（計）」（85.7％）は8割台半ばを占めている。

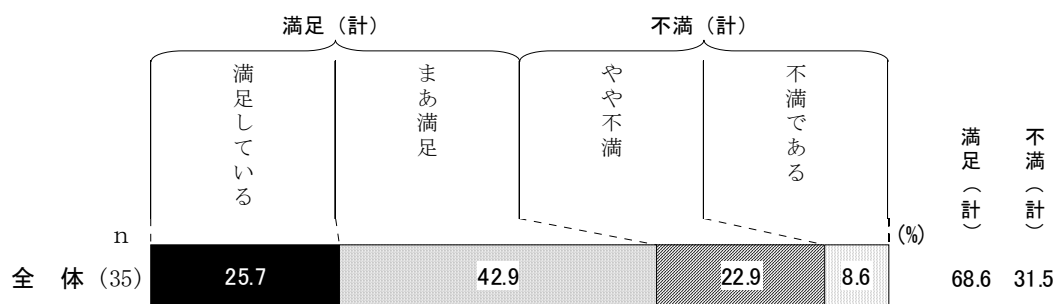
図表 3－7 学校の生活



⑧学校の授業

「満足（計）」（68.6％）は約7割となっている。

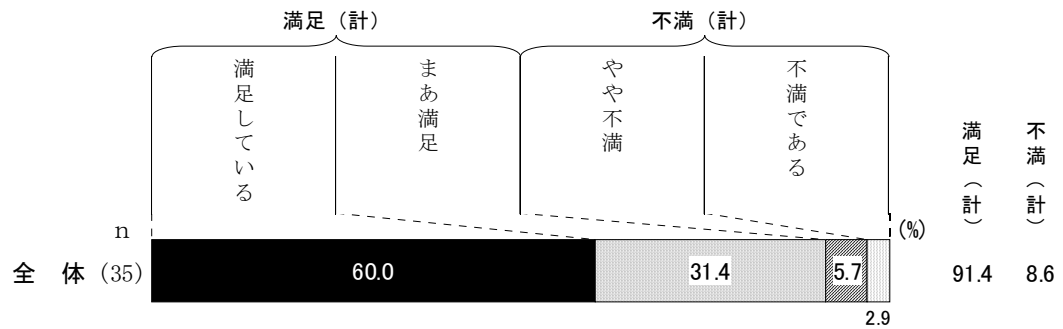
図表 3－8 学校の授業



⑨学校の友人

「満足（計）」（91.4%）は9割を超えて高く、「満足している」（60.0%）に限っても6割を占めている。

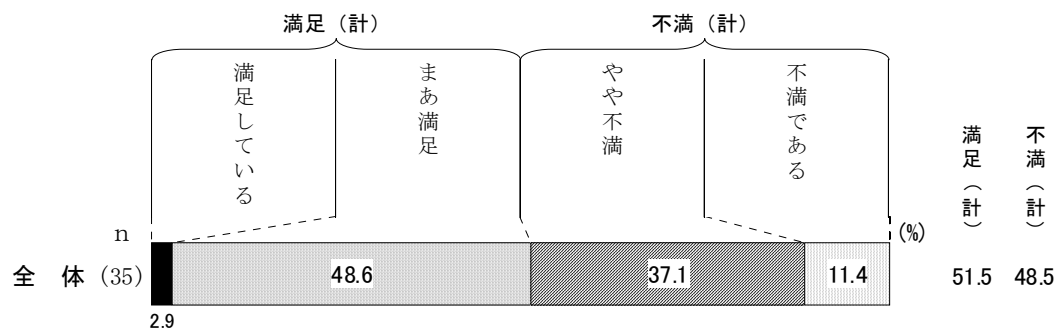
図表 3-9 学校の友人



⑩現在の教育制度

「満足（計）」（51.5%）は5割を超えるが、「満足している」（2.9%）に限れば全項目中最も低くなっている。

図表 3-10 現在の教育制度

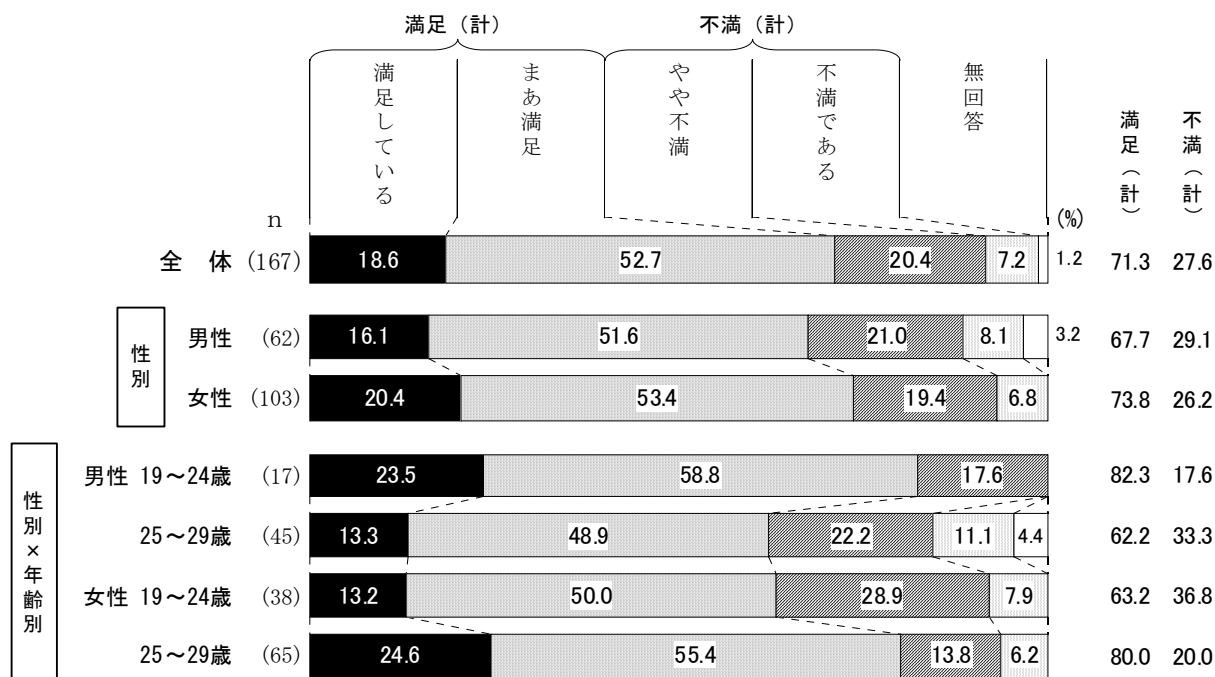


【働いている方】

①職場の生活

「満足（計）」（71.3%）は7割を超える。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「満足（計）」は女性25～29歳（80.0%）が高くなっている。

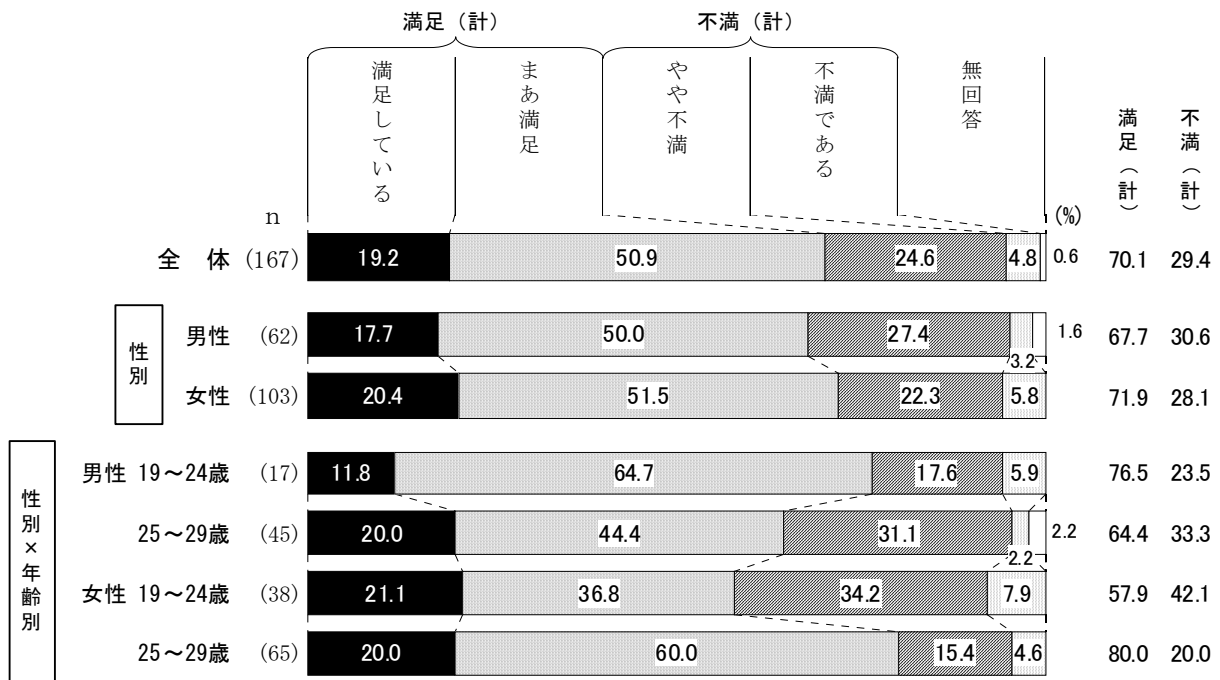
図表 3-11 職場の生活



⑫仕事の内容

「満足（計）」（70.1%）は7割となっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「満足（計）」は女性25～29歳（80.0%）が高くなっている。

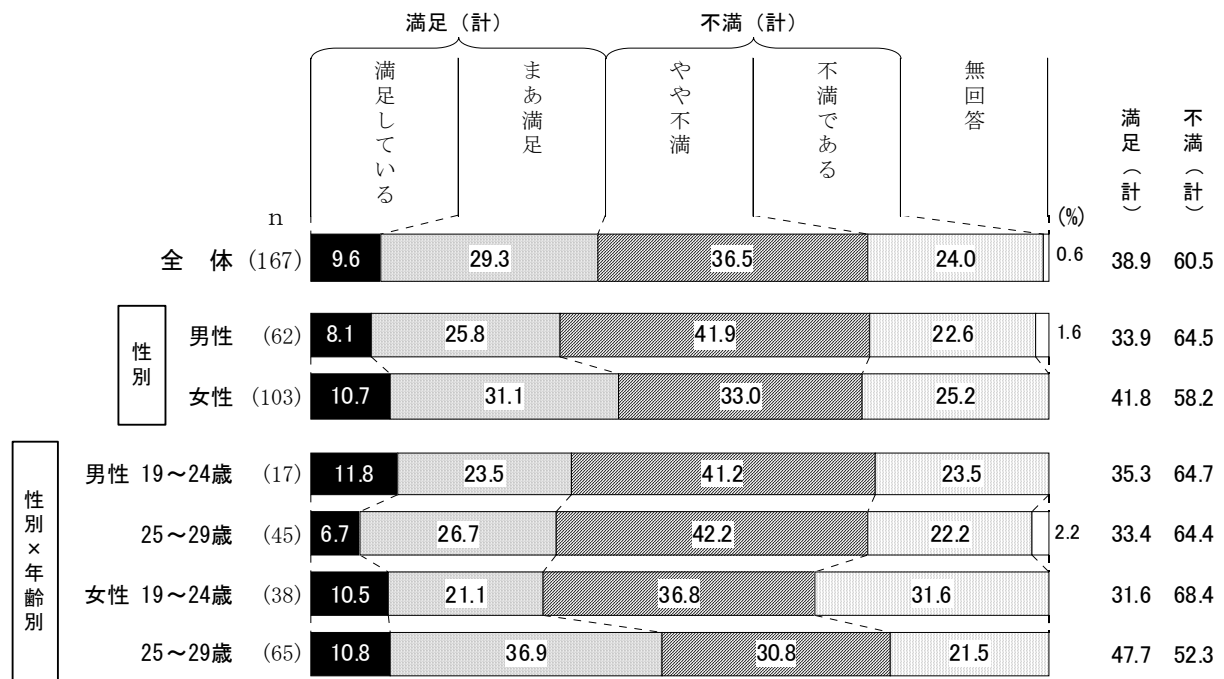
図表 3-12 仕事の内容



⑬現在の収入

「満足（計）」（38.9%）は約4割となっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「満足（計）」は女性25～29歳（47.7%）が女性19～24歳（31.6%）よりも高くなっている。

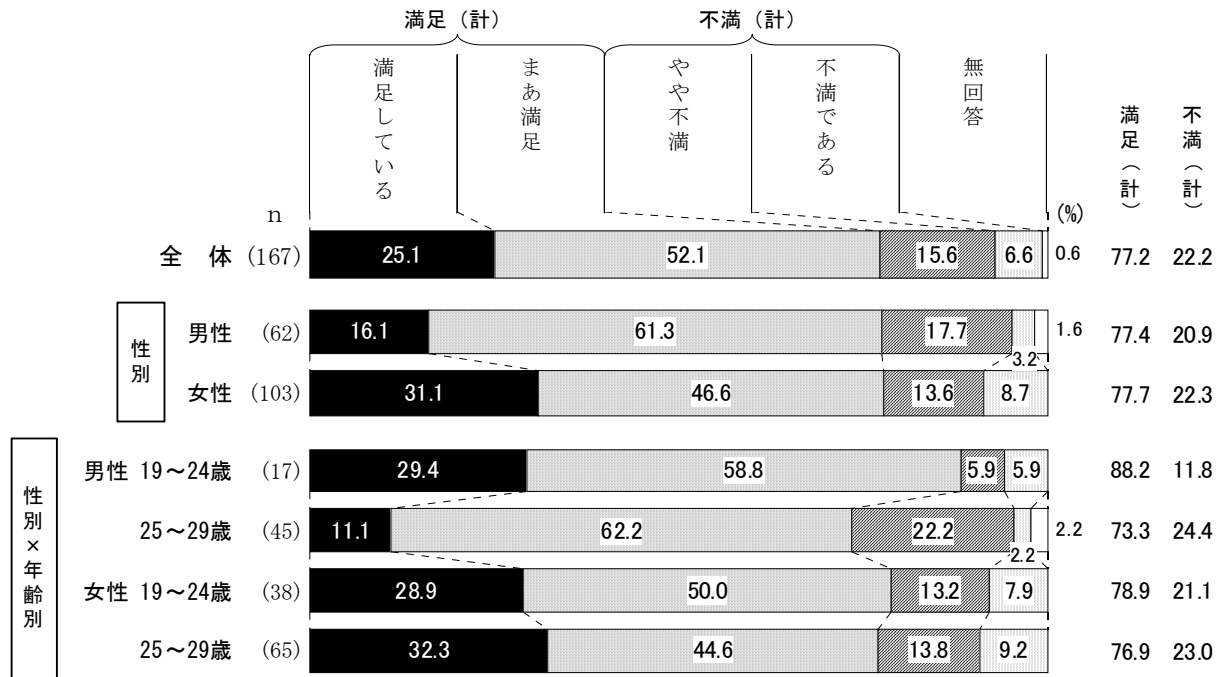
図表 3-13 現在の収入



⑭職場の人間関係

「満足（計）」（77.2%）は約8割となっている。性別では、「満足（計）」は大きな差はないが、「満足している」に限れば女性（31.1%）が男性（16.1%）よりも高い。性別×年齢別では、「満足（計）」に大きな差はない。

図表 3-14 職場の人間関係



3-2 充実感を感じる時

問13 あなたはどのような時に充実感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

充実感を感じる時について聞いたところ、「気のおけない友だちや仲間と一緒に過ごしている時」(74.5%)と「人に感謝をされた時」(71.6%)の2つで7割を超えて高く、次いで「仕事で評価をされた時」(62.5%)で6割を超えている。一方、「社会のために役立つことをしている時」(34.6%)と「勉強に打ち込んで成果が出た時」(34.6%)は3割台半ばと低い。性別では、「スポーツや趣味で成果が出た時」は男性(51.9%)で高く、「家族とくつろいだり、一緒に過ごしたりしている時」は女性(62.4%)で高くなっている。性別×年齢別では、「一人でくつろいでいる時」は男性では19～24歳(69.7%)が25～29歳(45.8%)よりも高く、「勉強に打ち込んで成果が出た時」は19～24歳(45.5%)が25～29歳(25.0%)よりも高い。「勉強に打ち込んで成果が出た時」は女性では19～24歳(44.6%)が25～29歳(27.5%)よりも高く、「スポーツや趣味で成果が出た時」についても19～24歳(42.9%)が25～29歳(26.1%)よりも高い。

図表3-15 充実感を感じる時

		(人、%)											
		n	社会のために役立つことをしている時	仕事で評価をされた時	勉強に打ち込んで成果が出た時	スポーツや趣味で成果が出た時	家族とくつろいだり、一緒に過ごしている時	気のおけない友だちや仲間と一緒に過ごしている時	人に感謝をされた時	一人でくつろいでいる時	その他	充実感を感じる時はない	無回答
全体		208	34.6	62.5	34.6	40.9	54.3	74.5	71.6	56.3	3.8	1.4	1.4
性別	男性	81	33.3	60.5	33.3	51.9	42.0	69.1	70.4	55.6	3.7	1.2	3.7
	女性	125	36.0	63.2	35.2	33.6	62.4	77.6	72.0	56.0	4.0	1.6	-
年齢別×性別	男性 19～24歳	33	39.4	57.6	45.5	51.5	36.4	75.8	78.8	69.7	3.0	-	-
	25～29歳	48	29.2	62.5	25.0	52.1	45.8	64.6	64.6	45.8	4.2	2.1	6.3
	女性 19～24歳	56	33.9	60.7	44.6	42.9	55.4	82.1	66.1	57.1	5.4	1.8	-
	25～29歳	69	37.7	65.2	27.5	26.1	68.1	73.9	76.8	55.1	2.9	1.4	-

4. 規範意識について

4-1 規範意識

問14 次の意見をどう思いますか。(①～⑫それぞれ1つに○)

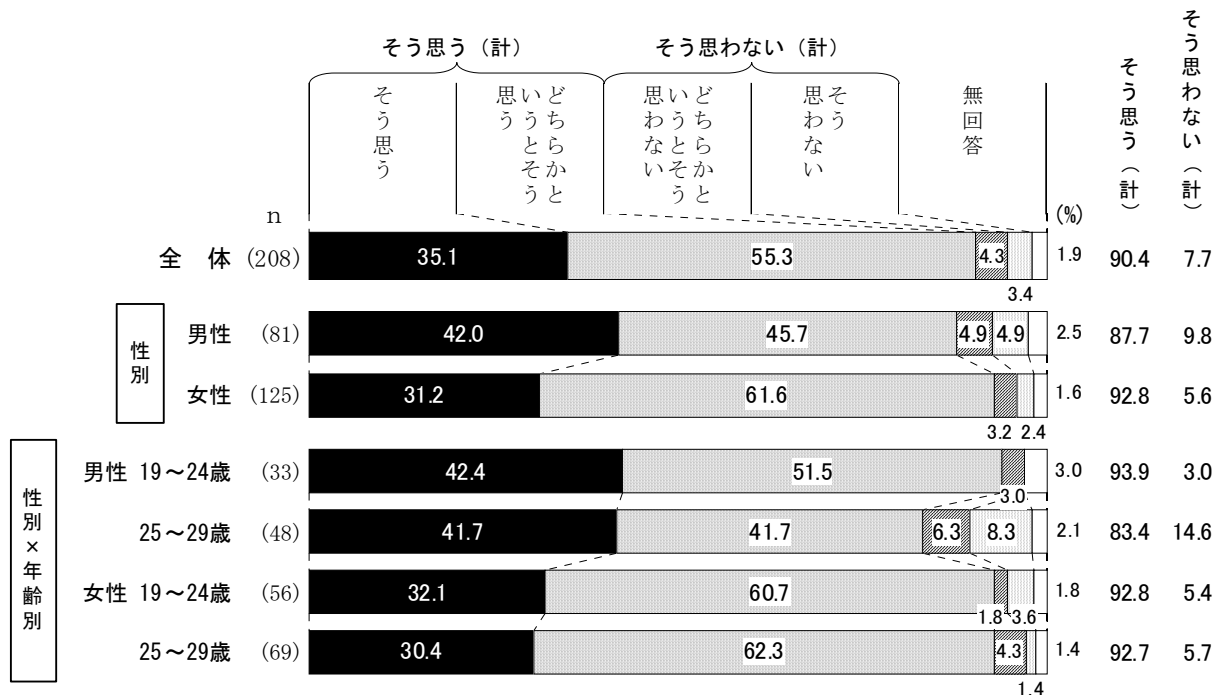
■全体の傾向：

規範意識について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた「そう思う（計）」は、「②自分の気持ちを言葉に表して相手の理解を求める努力は、人間関係を良好に保つ上で重要なことだと思う」（94.2%）、「①社会の秩序を守るためには、多少いやな思いをしても法に従わなければならない」（90.4%）、「⑥何事も努力することが重要である」（90.3%）の3つで9割以上、「⑩人から頼りにされたいと思う」（83.7%）で8割台半ばと高くなっている。一方、「そう思わない」と「どちらかというと思わない」を合わせた「そう思わない（計）」は、「⑫周りの人と同じでなければいやだ」（92.3%）で9割を超え、「④人に見つからなければルールを破っても構わない」（80.3%）で8割、「③自分が損をしてまで他人を助ける必要はない」（75.5%）、「⑩自分は一人ぼっちだと感じる」（74.5%）でそれぞれ7割台半ばと高くなっている。

①社会の秩序を守るためには、多少いやな思いをしても法に従わなければならない

「そう思う（計）」（90.4%）が9割を占める。性別では、「そう思う（計）」は女性（92.8%）が男性（87.7%）よりも高い。性別×年齢別では、「そう思わない（計）」は男性19～24歳（3.0%）に比べ、男性25～29歳（14.6%）が高い。

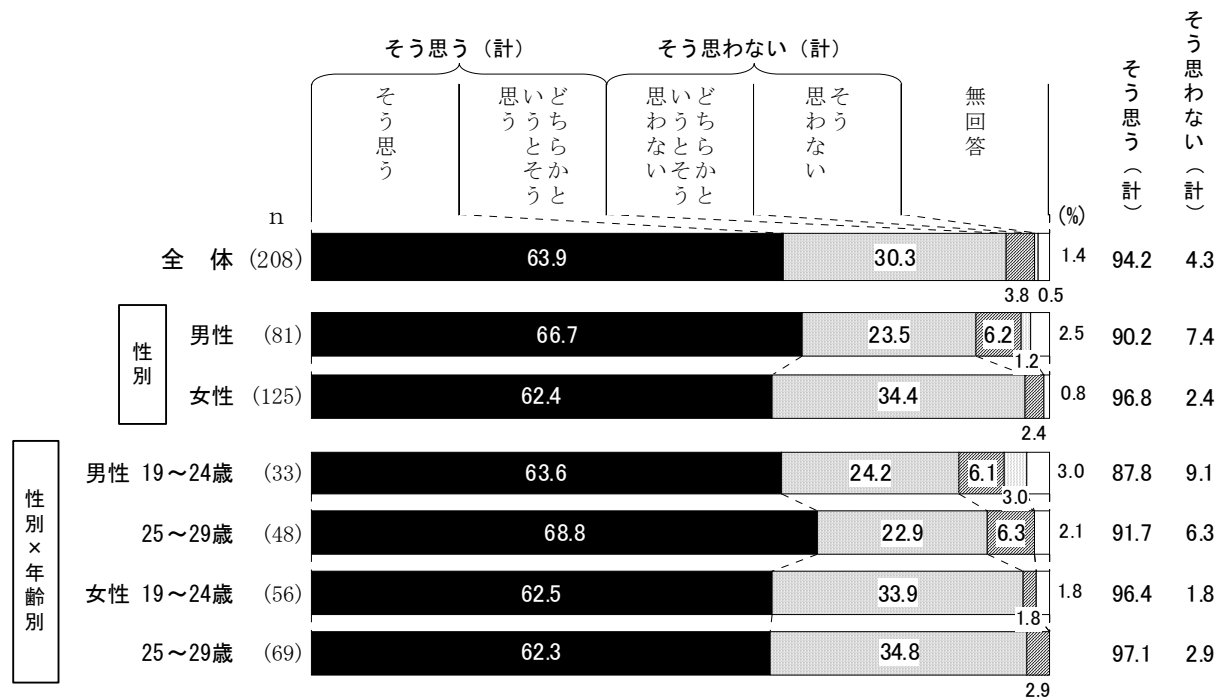
図表4-1 社会の秩序を守るためには、多少いやな思いをしても法に従わなければならない



②自分の気持ちを言葉に表して相手の理解を求める努力は、人間関係を良好に保つ上で重要なことだと思う

「そう思う（計）」（94.2％）が9割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、男女とも19～24歳に比べ、25～29歳が高くなっている。

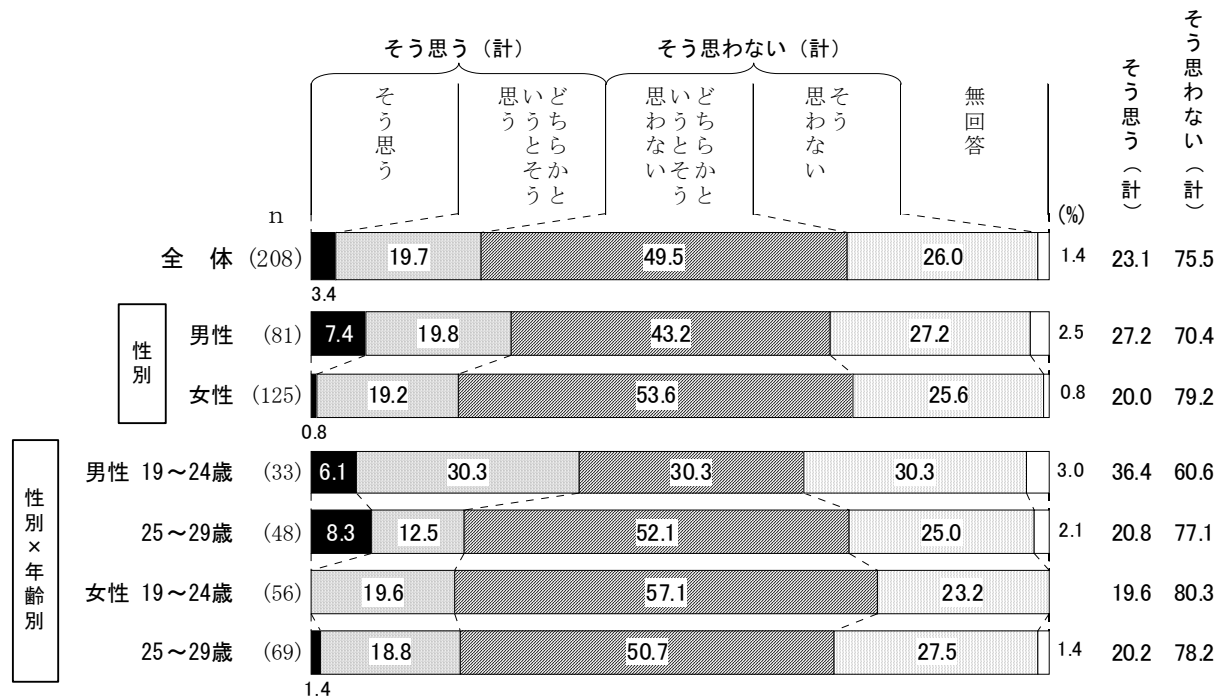
図表4-2 自分の気持ちを言葉に表して相手の理解を求める努力は、人間関係を良好に保つ上で重要なことだと思う



③自分が損をしてまで他人を助ける必要はない

「そう思う（計）」（23.1%）が2割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は女性（20.0%）より男性（27.2%）が高い。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は男性19～24歳（36.4%）が高くなっている。

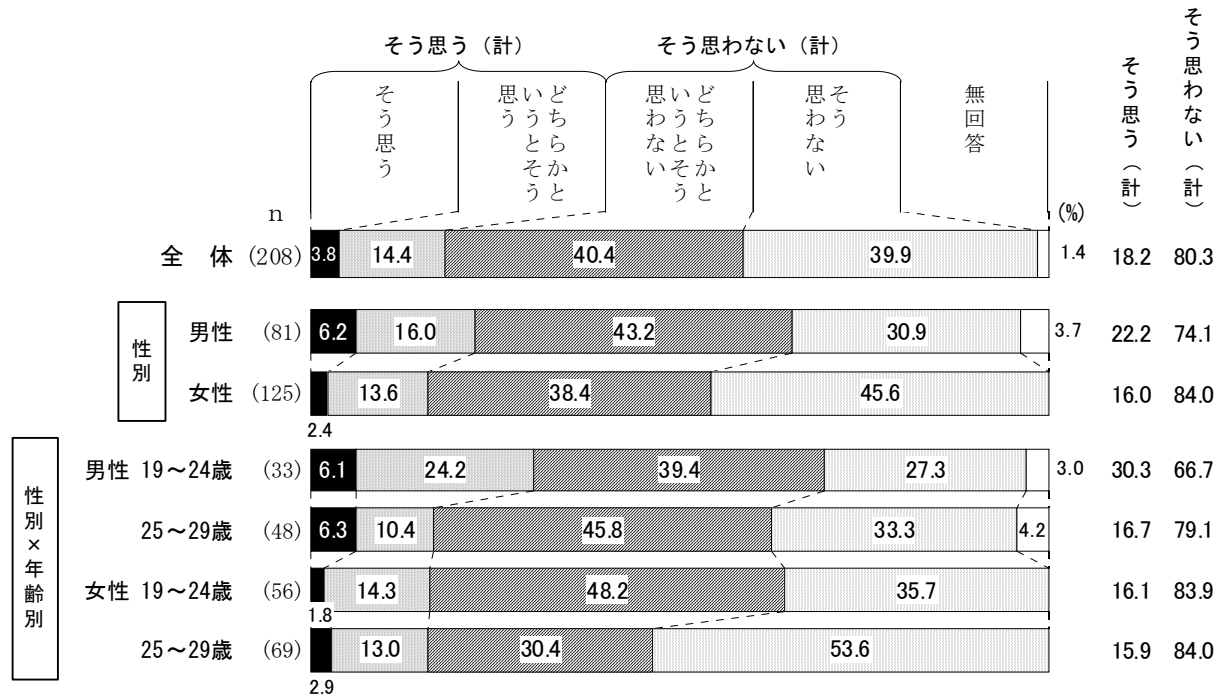
図表4-3 自分が損をしてまで他人を助ける必要はない



④人に見つからなければルールを破っても構わない

「そう思う（計）」(18.2%) が約 2 割となっている。性別では、「そう思う（計）」は男性 (22.2%) が女性 (16.0%) よりも高い。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は男性19～24歳 (30.3%) が高い。

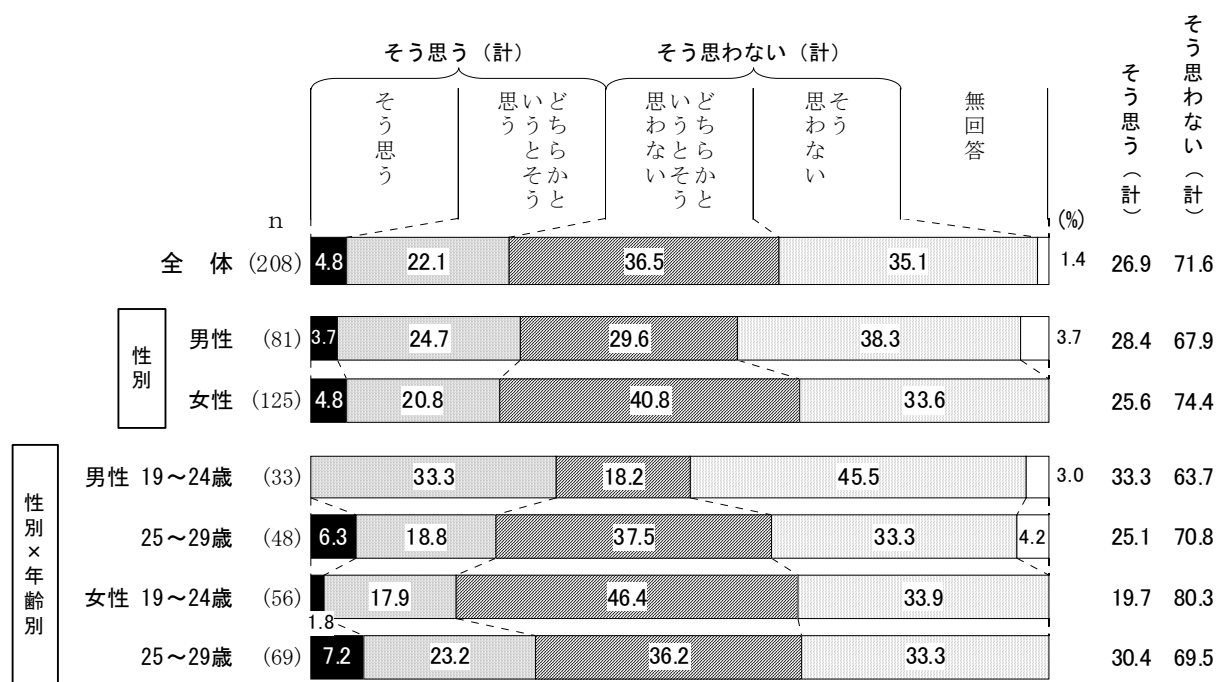
図表 4-4 人に見つからなければルールを破っても構わない



⑤将来のことはわからないので、人生は今は楽しければそれでいい

「そう思う（計）」（26.9%）が2割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は男性は19～24歳（33.3%）が25～29歳（25.1%）よりも高いが、女性は25～29歳（30.4%）が19～24歳（19.7%）よりも高い。

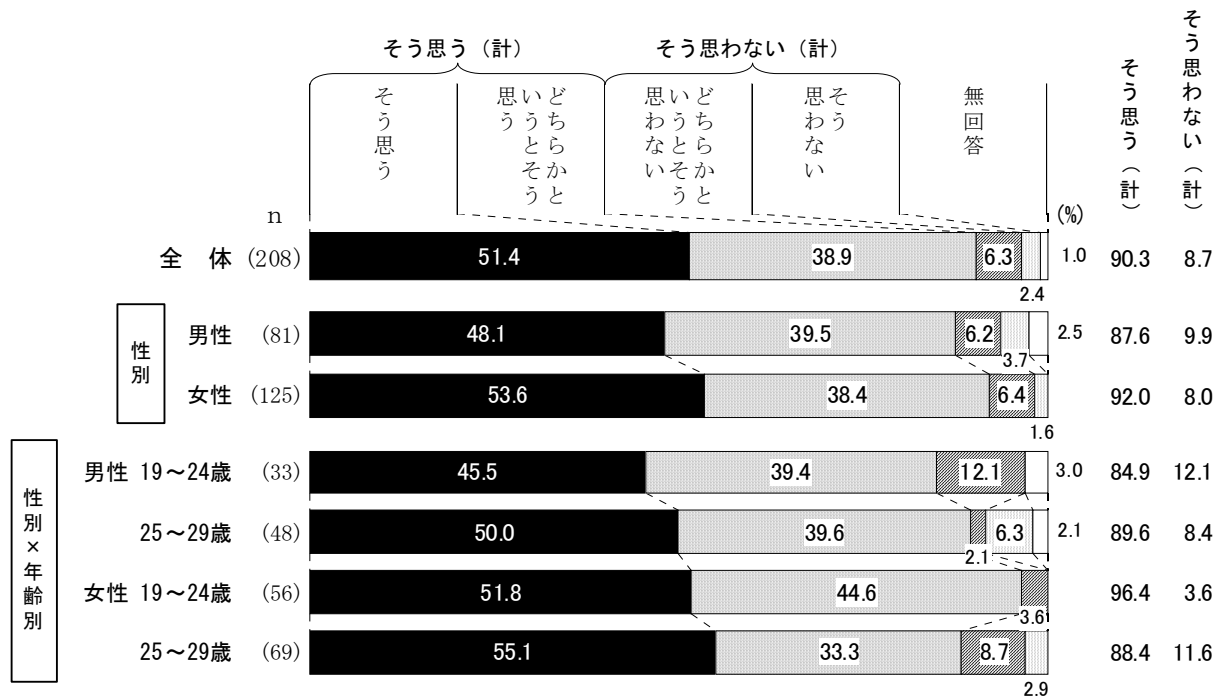
図表4-5 将来のことはわからないので、人生は今は楽しければそれでいい



⑥何事も努力することが重要である

「そう思う（計）」（90.3%）が9割を占める。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性19～24歳（96.4%）が男性19～24歳（84.9%）よりも高くなっている。

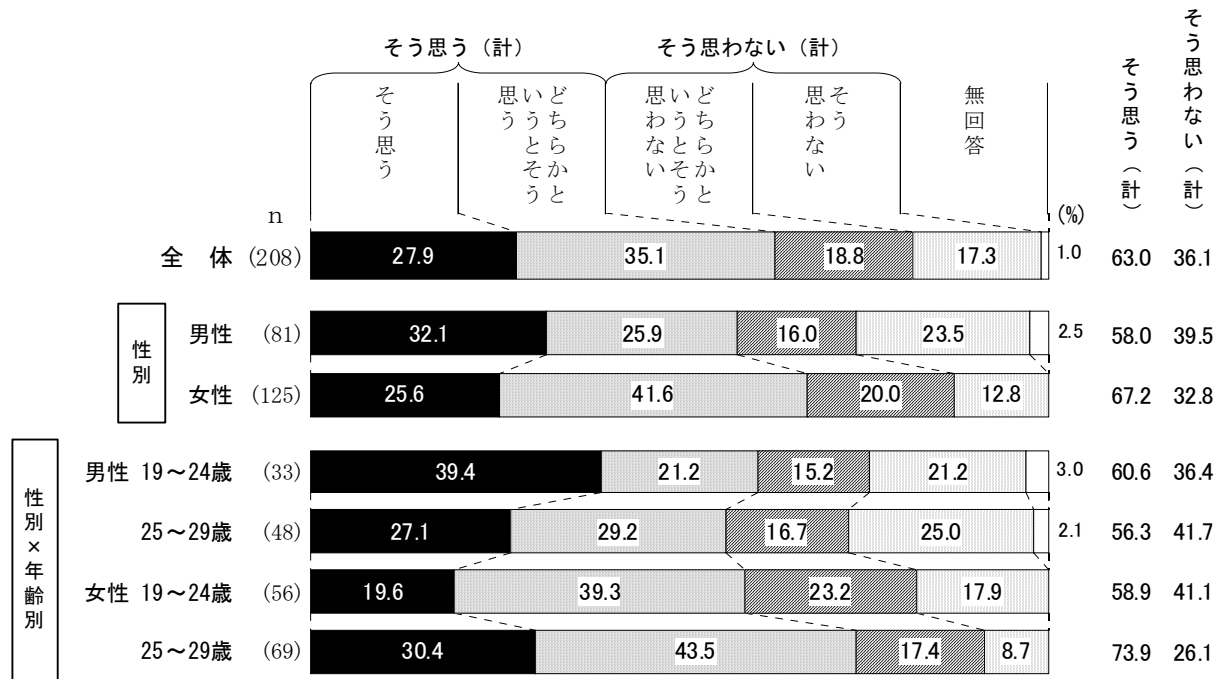
図表4-6 何事も努力することが重要である



⑦定職についてこそ一人前だ

「そう思う（計）」（63.0%）が6割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性25～29歳（73.9%）が高くなっている。

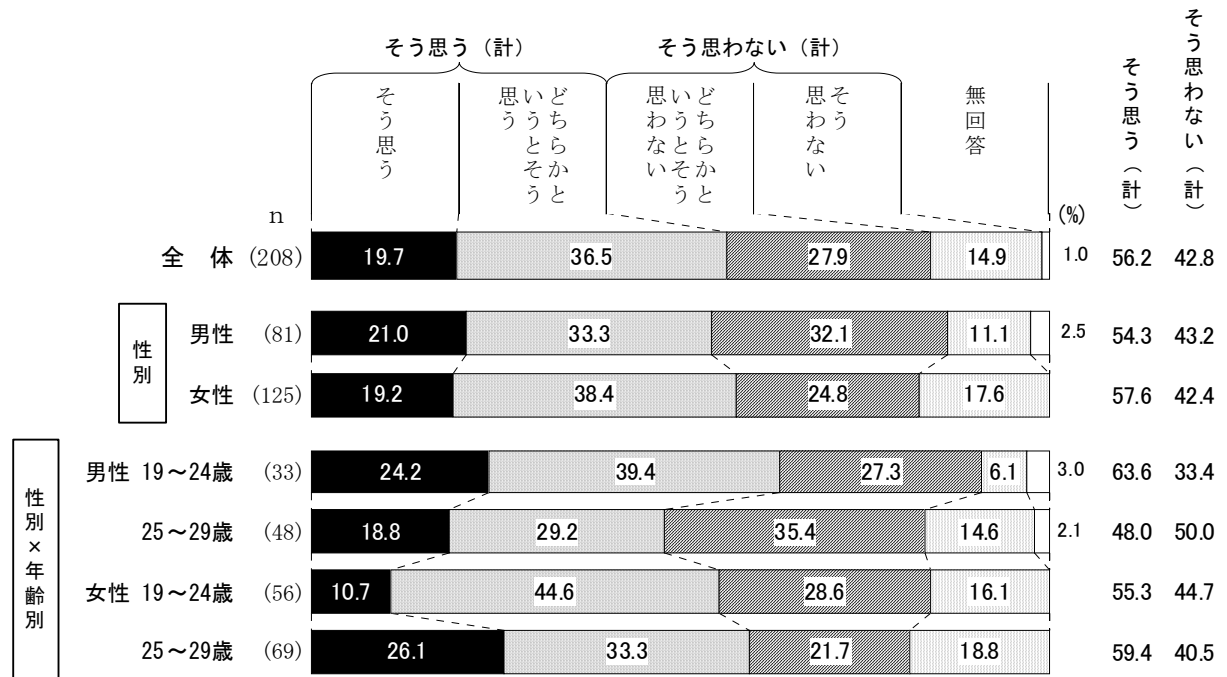
図表 4-7 定職についてこそ一人前だ



⑧お金は何よりも大切だ

「そう思う（計）」（56.2%）が5割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は男性19～24歳（63.6%）が男性25～29歳（48.0%）よりも高い。

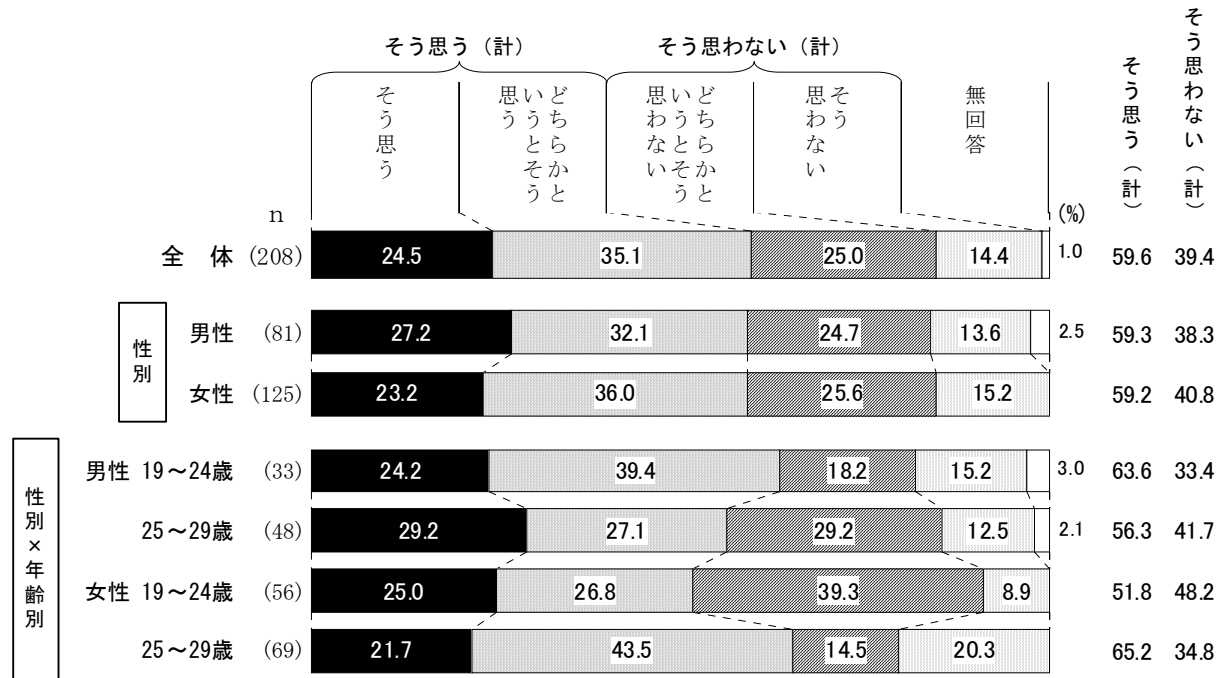
図表4-8 お金は何よりも大切だ



⑨自分には誰にも負けない良さがある

「そう思う（計）」（59.6%）が約6割となっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性25～29歳（65.2%）が女性19～24歳（51.8%）よりも高い。

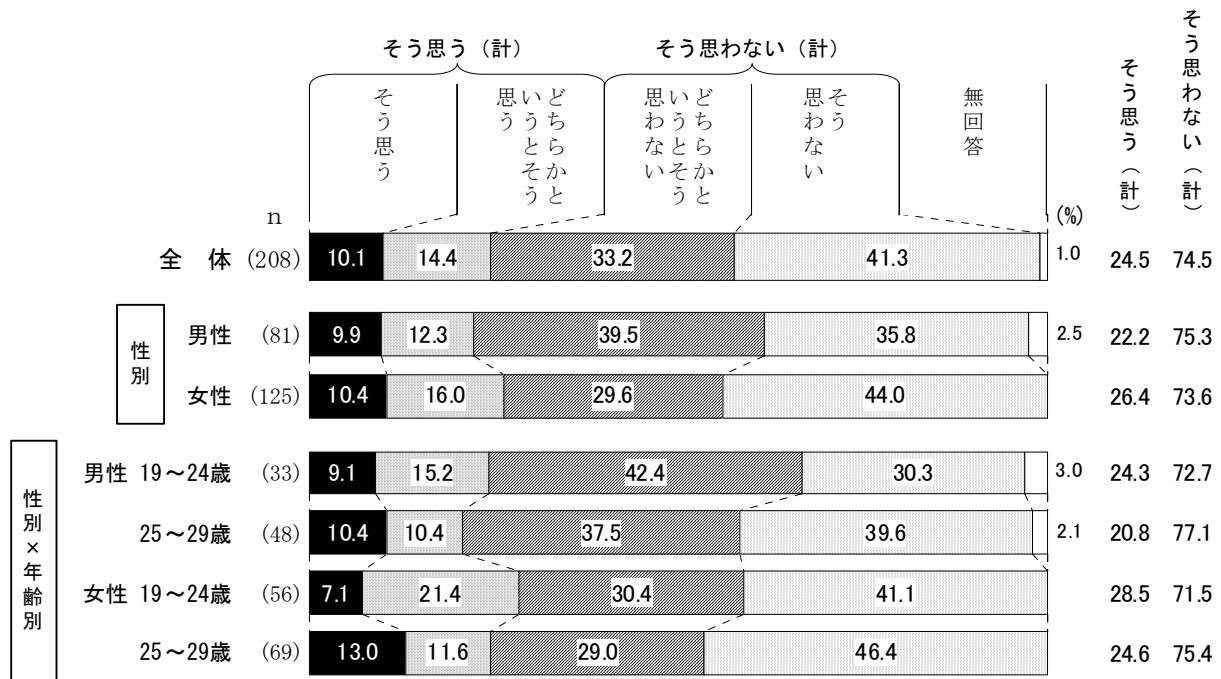
図表4-9 自分には誰にも負けない良さがある



⑩自分は一人ぼっちだと感じる

「そう思う（計）」（24.5%）が2割台半ばとなっている。性別、性別×年齢別では、「そう思う（計）」は男女間に大きな差はない。

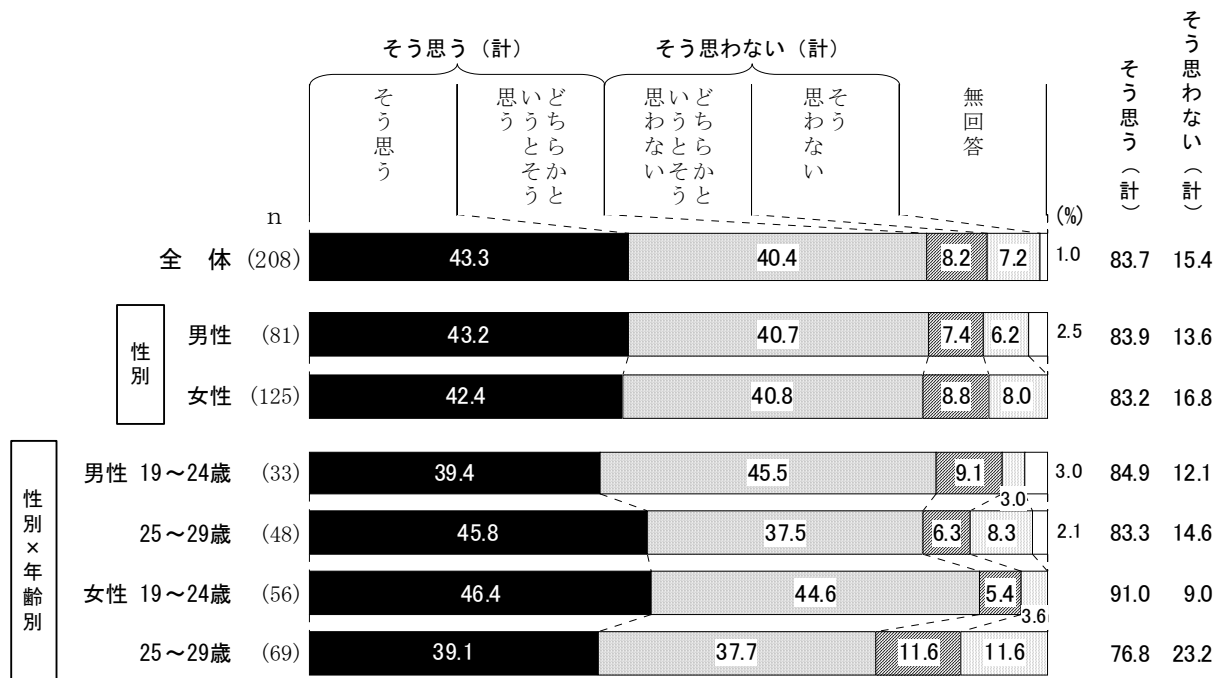
図表4-10 自分は一人ぼっちだと感じる



⑪人から頼りにされたいと思う

「そう思う（計）」（83.7%）が8割台半ばとなっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性19～24歳（91.0%）が女性25～29歳（76.8%）よりも高くなっている。

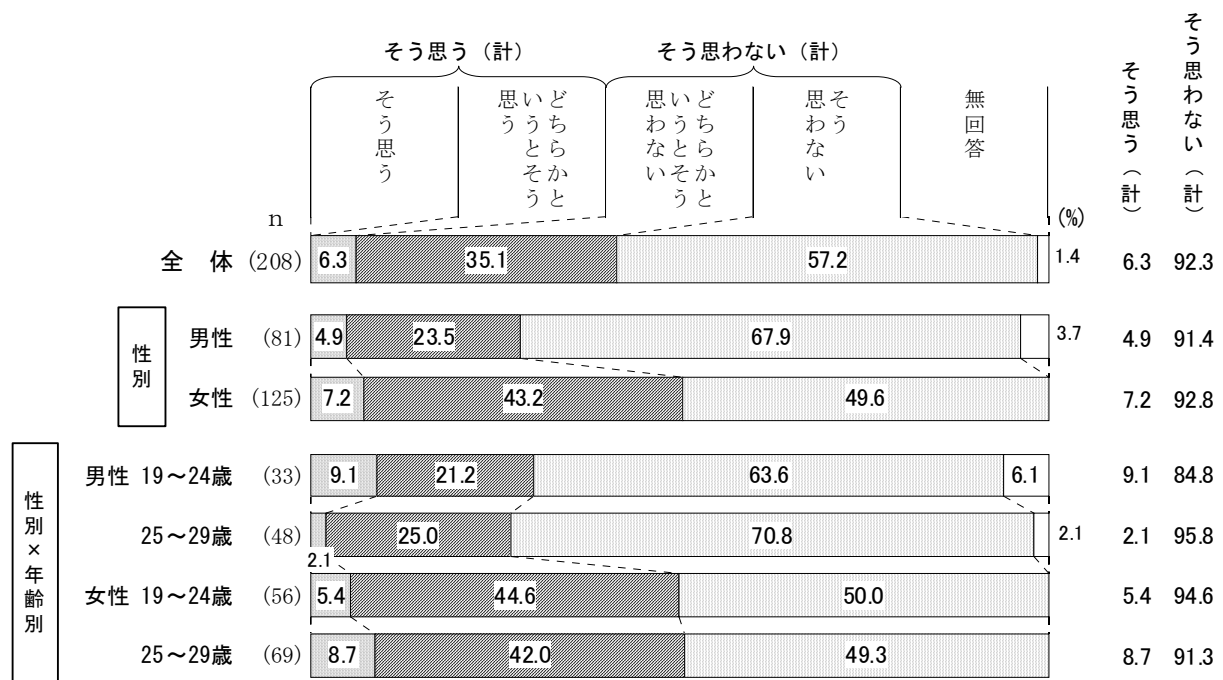
図表4-11 人から頼りにされたいと思う



⑫周りの人と同じでなければいやだ

「そう思う（計）」は6.3%である。性別では、「そう思う（計）」および「そう思わない（計）」は大きな差はないが、「そう思わない」に限れば男性（67.9%）が女性（49.6%）よりも高くなっている。性別×年齢別では、「そう思わない（計）」は男性25～29歳（95.8%）が男性19～24歳（84.8%）よりも高くなっている。

図表4-12 周りの人と同じでなければいやだ



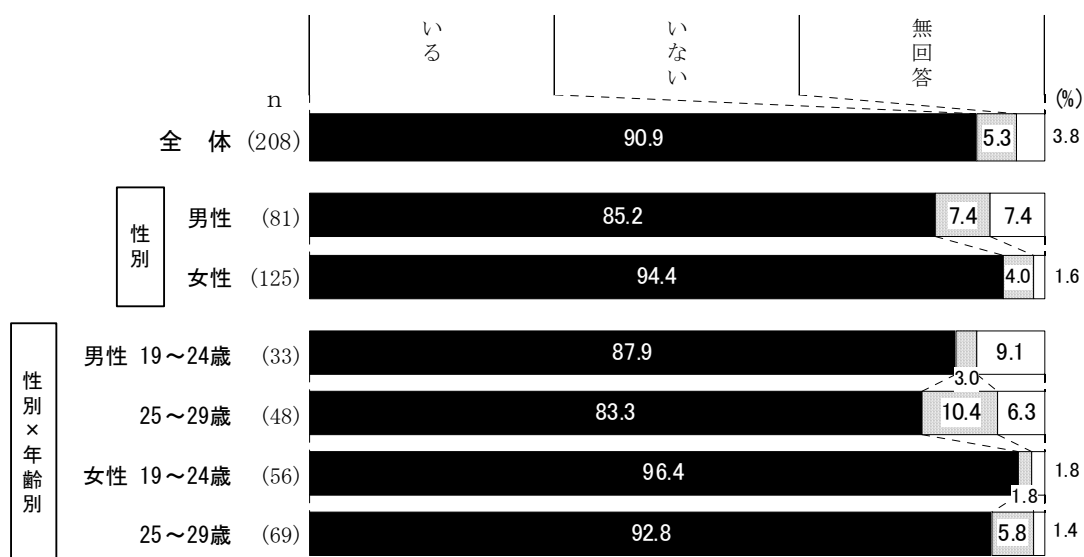
4-2 親しい友人の有無

問15 あなたには現在、親しい友人がいますか。(1つに○)

■全体の傾向：

親しい友人の有無について聞いたところ、「いる」は90.9%、「いない」は5.3%となっている。性別では、「いる」は女性(94.4%)が男性(85.2%)よりも高くなっている。一方、性別×年齢別では、「いる」は男女とも19～24歳が高くなっている。「いない」は男性25～29歳(10.4%)で高い。

図表4-13 親しい友人の有無



4-3 友人とのつき合い方に関する意識

問16 あなたの友人とのつき合い方についてお伺いします。(①～⑥それぞれ1つに〇)

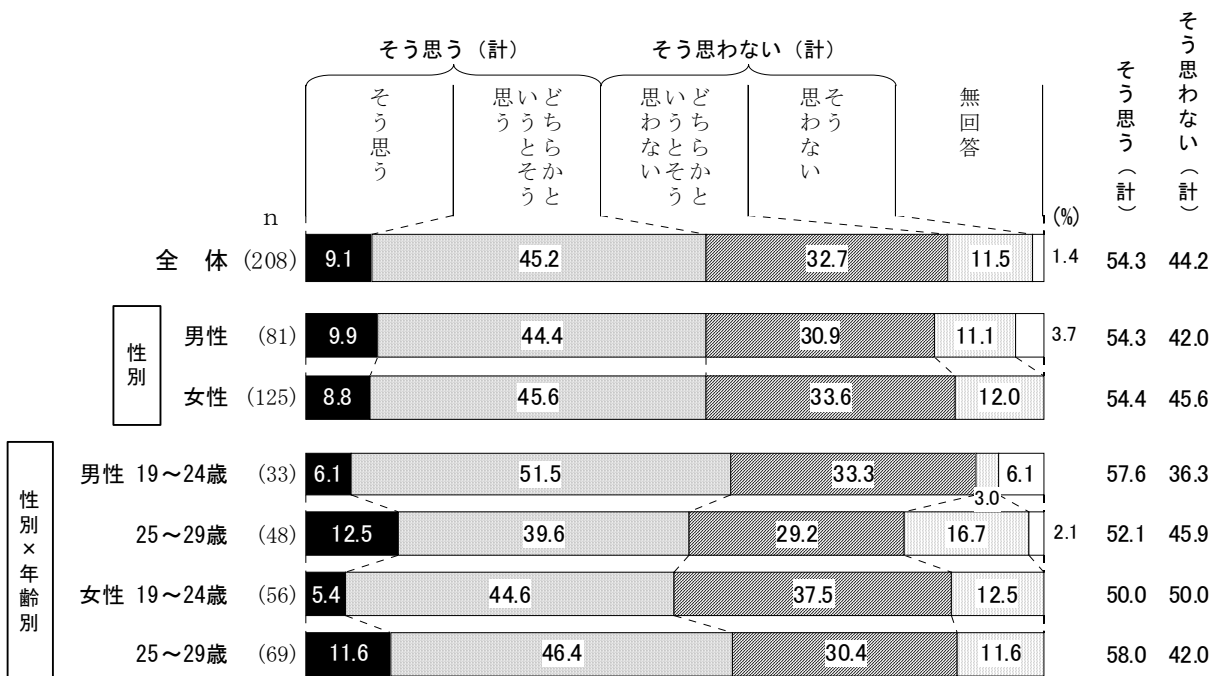
■全体の傾向：

友人とのつき合い方に関する意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた「そう思う（計）」は、「⑤友人のほとんどは、学校や職場で知り合った人だ」（79.8%）と「②浅く広くより、少数の友人と深いつき合い方を大切にしている」（77.9%）で約8割、「⑥学校や職場以外の人を増やしたい」（70.2%）で7割となっている。一方、「③特定の少数の友人より多方面の友人とつき合うほうだ」（26.4%）は2割台半ばと低い。

①友人というより一人であるほうが気持ちが落ち着く

「そう思う（計）」（54.3%）が5割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、男性では19～24歳（57.6%）が25～29歳（52.1%）よりも高く、女性では25～29歳（58.0%）が19～24歳（50.0%）よりも高くなっている。

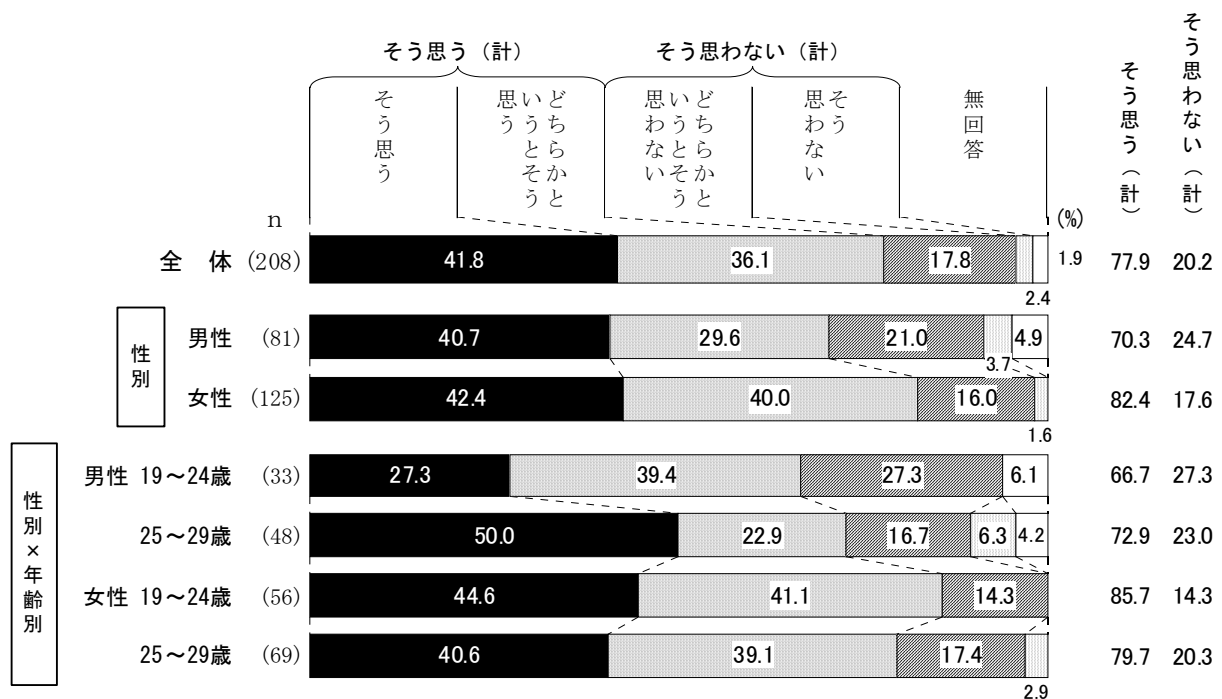
図表4-14 友人というより一人であるほうが気持ちが落ち着く



②浅く広くより、少数の友人と深いつき合い方を大切にしている

「そう思う (計)」(77.9%) が約8割となっている。性別では、「そう思う (計)」は女性 (82.4%) が男性 (70.3%) よりも高い。性別×年齢別では、「そう思う (計)」は男性は25～29歳 (72.9%) が19～24歳 (66.7%) よりも高いが、女性は19～24歳 (85.7%) が25～29歳 (79.7%) よりも高くなっている。

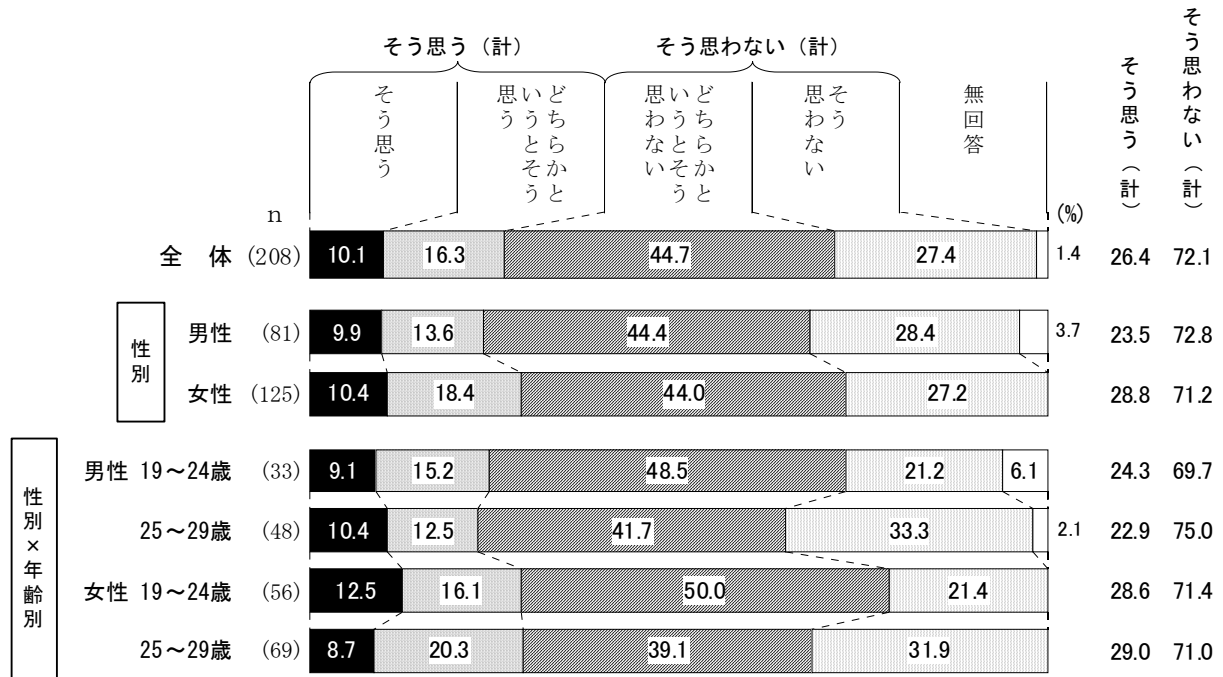
図表4-15 浅く広くより、少数の友人と深いつき合い方を大切にしている



③特定の少数の友人より多方面の友人とつき合うほうだ

「そう思う（計）」（26.4%）が2割台半ばとなっている。性別では、「そう思う（計）」は女性（28.8%）が男性（23.5%）よりも高くなっている。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性25～29歳（29.0%）が男性25～29歳（22.9%）よりも高くなっている。

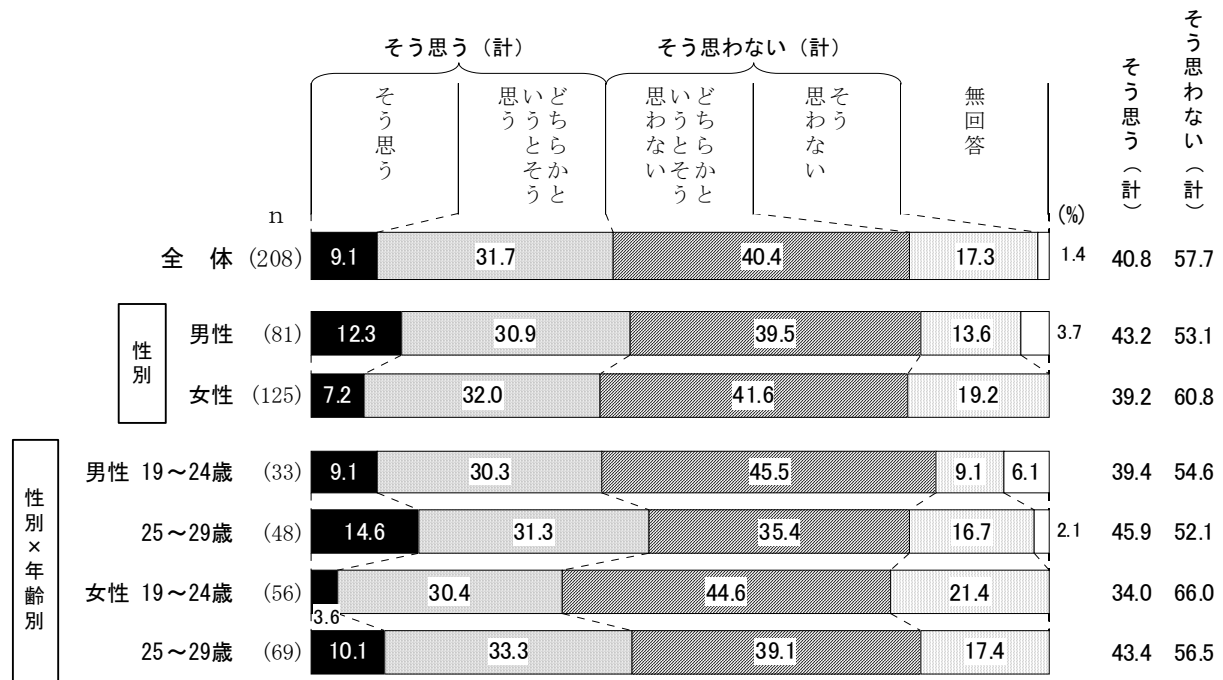
図表4-16 特定の少数の友人より多方面の友人とつき合うほうだ



④友人関係はあっさりしていてお互い深入りしない

「そう思う（計）」（40.8%）が4割となっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は男女とも25～29歳が19～24歳よりも高い。

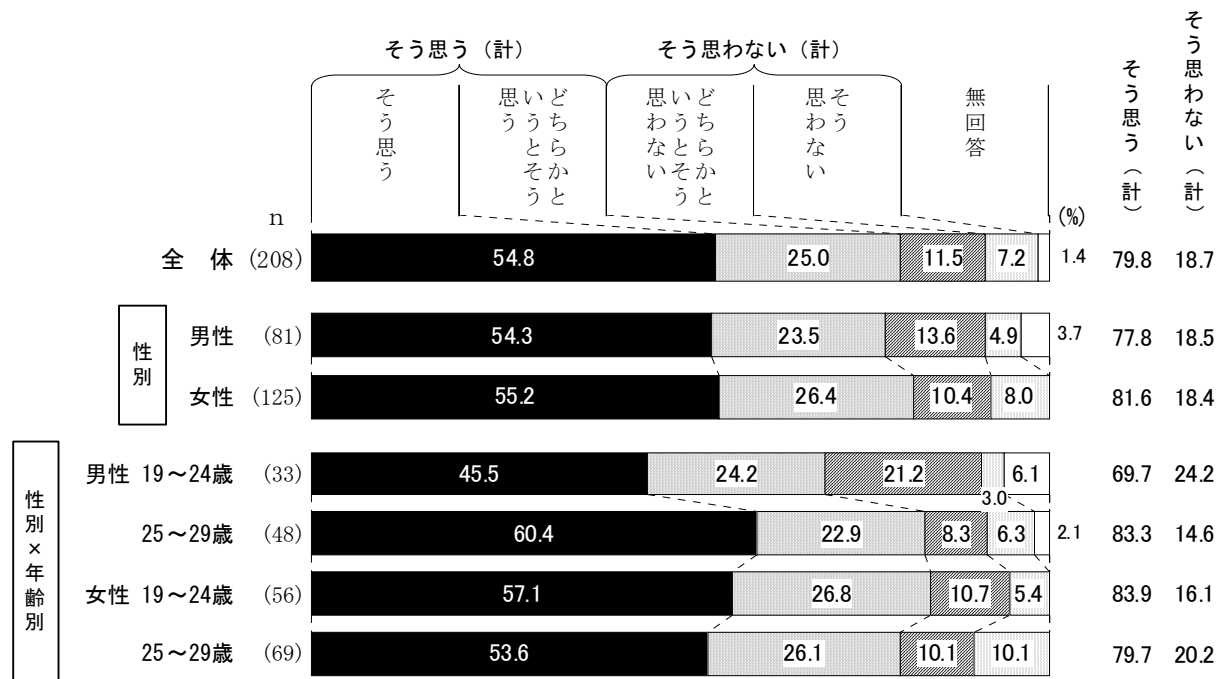
図表4-17 友人関係はあっさりしていてお互い深入りしない



⑤友人のほとんどは、学校や職場で知り合った人だ

「そう思う（計）」（79.8%）が約8割となっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性19～24歳（83.9%）が男性19～24歳（69.7%）よりも高くなっている。

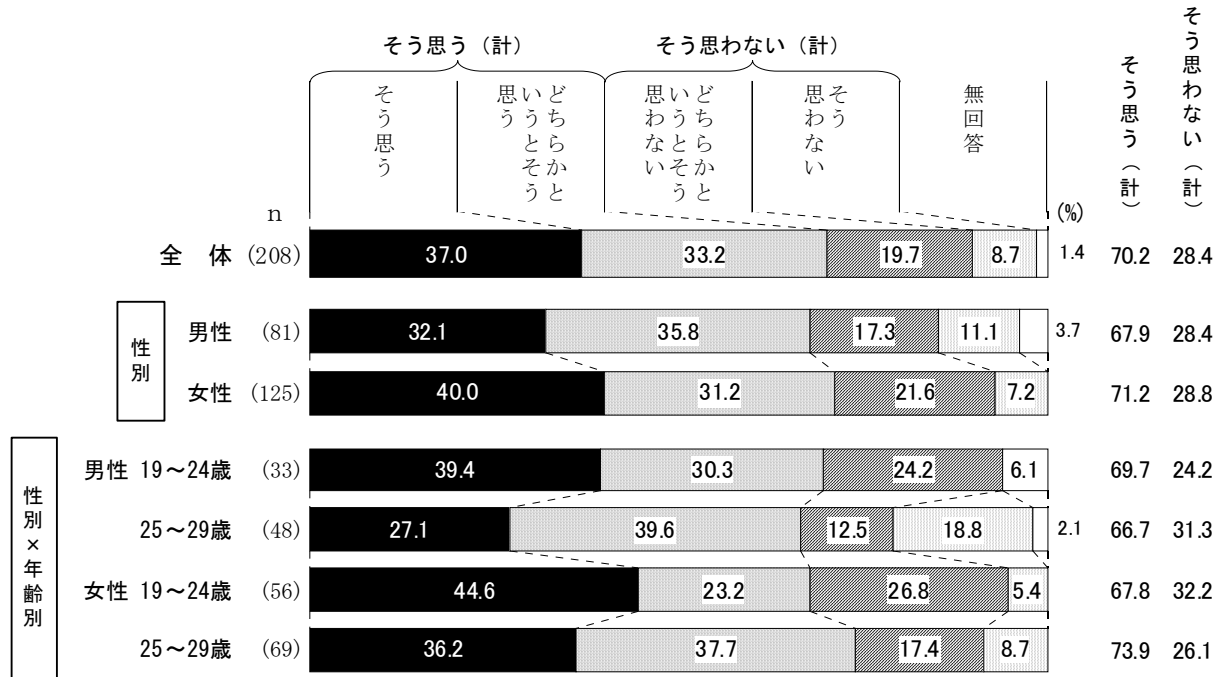
図表4-18 友人のほとんどは、学校や職場で知り合った人だ



⑥学校や職場以外の人を増やしたい

「そう思う（計）」（70.2%）が7割となっている。性別では、「そう思う（計）」は大きな差はないが、「そう思う」に限れば女性（40.0%）が男性（32.1%）よりも高い。性別×年齢別では、「そう思う（計）」は女性25～29歳（73.9%）が男性25～29歳（66.7%）よりも高くなっている。

図表4-19 学校や職場以外の人を増やしたい



5. 自主性について

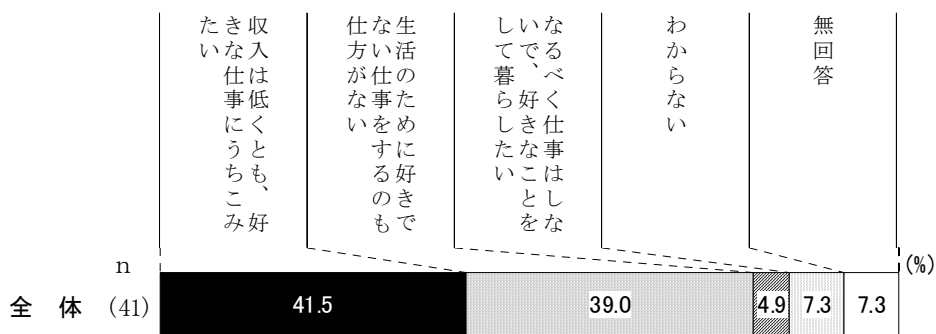
5-1 将来働くことへの意向

問17 現在、働いていない人にお聞きします。将来自分が働くことについてどのように考えていますか。(1つに〇)

■全体の傾向：

将来働くことへの意向を聞いたところ、「収入は低くとも、好きな仕事にうちこみたい」(41.5%)と「生活のために好きでない仕事をするのも仕方がない」(39.0%)が4割前後で拮抗している。

図表5-1 将来働くことへの意向



5-2 働いている理由

問18 現在、働いている人にお聞きします。働いている理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

働いている理由を聞いたところ、「生活のために働かざるをえないから」(65.3%)が6割台半ばで最も高く、次いで「仕事をするのが当然だから」(48.5%)、「将来にそなえて」(41.9%)となっている。性別では、「仕事をするのが当然だから」、「自分の能力を活かしたいから」で女性が男性よりも高くなっている。性別×年齢別では、「収入がいいから」で女性25～29歳(12.3%)が女性19～24歳(2.6%)よりも高い。

図表5-2 働いている理由

		(人、%)									
		n	る生活を えな ない ため に働 かざ る	だ仕事 か事 をす する のが 当然	た自分 か の能 力を 活 かし	収入 が い い か ら	将来 に そ な え て	ら仕事 めを 通 じ た て 社 会 か	なん と な く	そ の 他	無 回 答
全 体		167	65.3	48.5	32.9	8.4	41.9	23.4	5.4	12.6	6.0
性 別	男 性	62	64.5	41.9	25.8	8.1	41.9	22.6	6.5	14.5	6.5
	女 性	103	65.0	52.4	35.9	8.7	40.8	24.3	4.9	10.7	5.8
年 性 別 × 年 齢 別	男性 19～24歳	17	64.7	47.1	23.5	11.8	58.8	23.5	17.6	11.8	5.9
	25～29歳	45	64.4	40.0	26.7	6.7	35.6	22.2	2.2	15.6	6.7
	女性 19～24歳	38	60.5	52.6	44.7	2.6	34.2	23.7	5.3	18.4	13.2
	25～29歳	65	67.7	52.3	30.8	12.3	44.6	24.6	4.6	6.2	1.5

5-3 現在の悩みの内容

問19 あなたには現在悩みがありますか。(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

現在の悩みの内容を聞いたところ、「将来のこと」(68.8%)が約7割で最も高く、以下、「お金のこと」(50.5%)、「会社や仕事のこと」(46.2%)、「自分自身の生き方、性格について」(43.8%)となっており、「特にない」(8.7%)は1割未満である。性別では、「将来のこと」、「自分自身の生き方、性格について」で女性が男性よりも高い。性別×年齢別では、男性は「会社や仕事のこと」で25～29歳(58.3%)が19～24歳(30.3%)よりも高い。女性は「学校や勉強のこと」は19～24歳(21.4%)が25～29歳(5.8%)よりも高いが、「自分の健康」は25～29歳(34.8%)が19～24歳(21.4%)よりも高くなっている。

図表5-3 現在の悩みの内容

		(人、%)											
		n	(友人関係 含む)	家族関係	会社や仕事のこと	学校や勉強のこと	自分自身の生き方、 性格について	自分の健康	将来のこと	お金のこと	その他	特にない	無回答
全体		208	26.9	14.9	46.2	12.5	43.8	30.3	68.8	50.5	1.9	8.7	4.3
性別	男性	81	24.7	12.3	46.9	12.3	37.0	30.9	61.7	48.1	3.7	7.4	4.9
	女性	125	28.0	16.0	45.6	12.8	48.0	28.8	72.8	52.0	0.8	9.6	4.0
年齢別×性別	男性 19～24歳	33	27.3	12.1	30.3	18.2	39.4	27.3	60.6	39.4	6.1	12.1	6.1
	25～29歳	48	22.9	12.5	58.3	8.3	35.4	33.3	62.5	54.2	2.1	4.2	4.2
	女性 19～24歳	56	30.4	12.5	39.3	21.4	41.1	21.4	67.9	48.2	-	10.7	7.1
	25～29歳	69	26.1	18.8	50.7	5.8	53.6	34.8	76.8	55.1	1.4	8.7	1.4

5-3-1 現在の悩みの相談相手

問19-1 問19で1つでも悩みがあると答えた人にお聞きします。あなたは悩みについて誰（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

■全体の傾向：

現在の悩みの相談相手について聞いたところ、「友人」（76.8%）が7割台半ばで最も高く、「家族」（59.1%）が約6割、それ以外の相談相手はいずれも1割未満となっている。性別では、「友人」、「家族」で女性が男性よりも高くなっている。性別×年齢別では、「友人」で男性の25～29歳（75.0%）が19～24歳（66.7%）より高く、女性では19～24歳（87.0%）が25～29歳（74.2%）より高い。

図表5-4 現在の悩みの相談相手

		(人、%)										
		n	友人	家族	学校の先生	区や民間の相談所	医師	電話で相談するところ	のインターネット上	その他	誰にも相談しない	無回答
全体		181	76.8	59.1	1.7	0.6	5.5	-	2.8	8.8	12.7	1.1
性別	男性	71	71.8	54.9	1.4	-	4.2	-	2.8	12.7	15.5	-
	女性	108	79.6	62.0	1.9	0.9	6.5	-	2.8	5.6	11.1	1.9
年齢別×性別	男性 19～24歳	27	66.7	55.6	3.7	-	3.7	-	-	7.4	22.2	-
	25～29歳	44	75.0	54.5	-	-	4.5	-	4.5	15.9	11.4	-
	女性 19～24歳	46	87.0	63.0	2.2	-	8.7	-	-	4.3	6.5	2.2
	25～29歳	62	74.2	61.3	1.6	1.6	4.8	-	4.8	6.5	14.5	1.6

6. 将来について

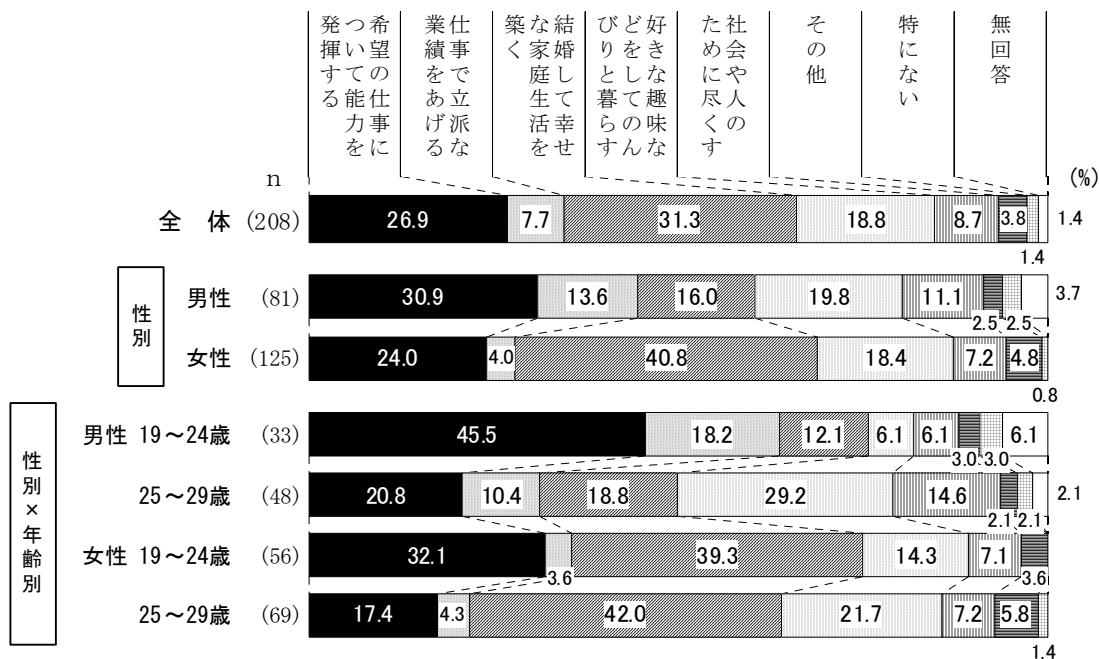
6-1 将来の夢

問20 あなたの将来の夢はどのようなことですか。考えに近いものを選んでください。
(1つに○)

■全体の傾向：

将来の夢について聞いたところ、「結婚して幸せな家庭生活を築く」(31.3%)が3割を超えて最も高く、以下「希望の仕事について能力を発揮する」(26.9%)、「好きな趣味などをしてのんびりと暮らす」(18.8%)の順となっている。性別では、「仕事で立派な業績をあげる」で男性(13.6%)が女性(4.0%)よりも高く、「結婚して幸せな家庭生活を築く」では女性(40.8%)が男性(16.0%)よりも高くなっている。性別×年齢別では、男性は「希望の仕事について能力を発揮する」で19～24歳(45.5%)が25～29歳(20.8%)よりも高く、「好きな趣味などをしてのんびりと暮らす」では逆に25～29歳(29.2%)が19～24歳(6.1%)よりも高い。女性では、「希望の仕事について能力を発揮する」で19～24歳(32.1%)が25～29歳(17.4%)よりも高い。

図表6-1 将来の夢



7. 結婚について

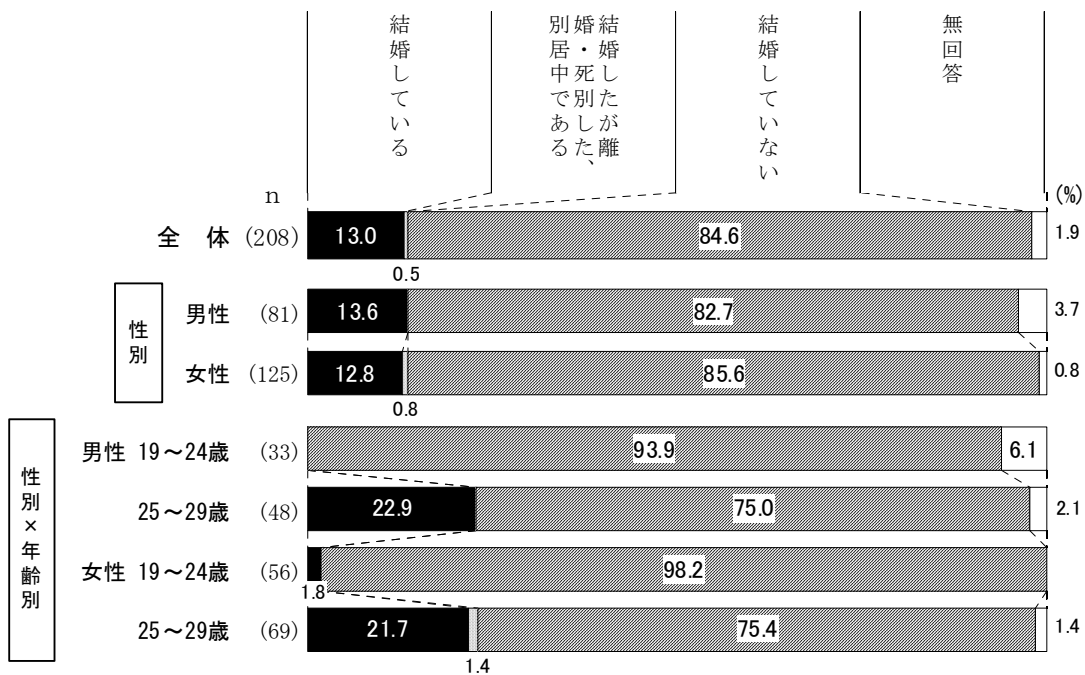
7-1 結婚状況

問21 あなたは現在、結婚していますか。(1つに○)

■全体の傾向：

結婚状況について聞いたところ、「結婚していない」(84.6%)が8割台半ばを占め、「結婚している」(13.0%)は1割台半ばとなっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、男女とも19~24歳は「結婚している」が低いものの、男女とも25~29歳では2割を超えている。

図表 7-1 結婚状況



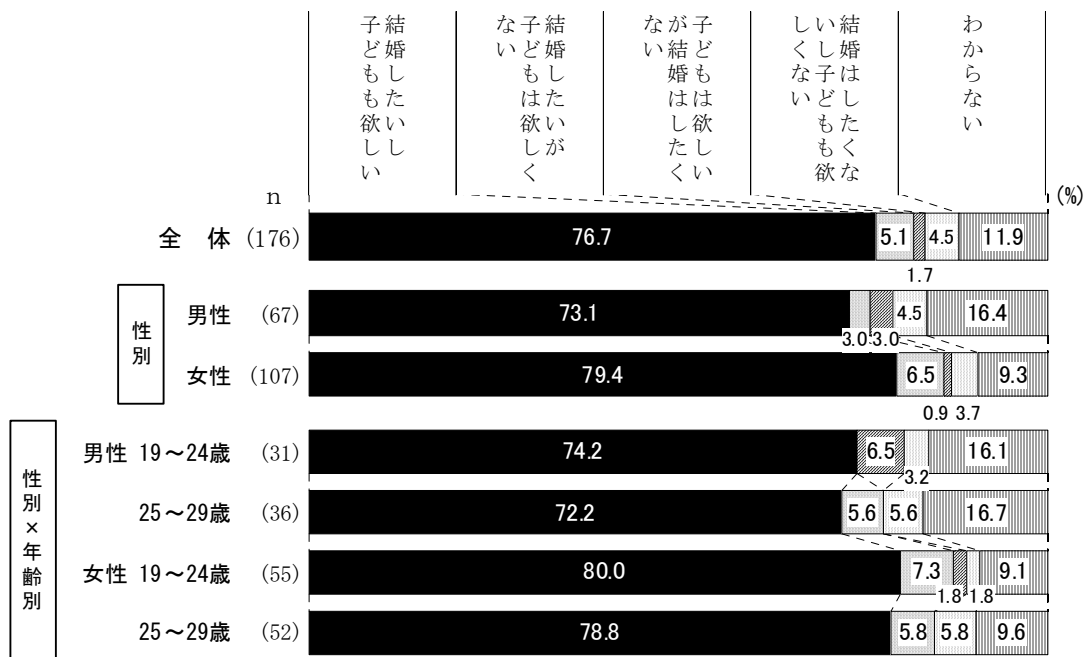
7-1-1 結婚と子どもについての意識

問21-1 問21で「3. 結婚していない」と答えた人にお聞きします。あなたは結婚と子どもについてどのように考えていますか。(1つに〇)

■全体の傾向：

結婚していない人に、結婚と子どもについての意識を聞いたところ、「結婚したい子どもも欲しい」(76.7%)が7割台半ばで高くなっている。性別では、男性(73.1%)より女性(79.4%)が高い。性別×年齢別では、大きな差はない。

図表7-2 結婚と子どもについての意識



8. 地域について

8-1 参加経験のある区や地域の行事

問22 区や地域では次にあげるような行事が行われていますが、参加したことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

参加したことがある区や市域の行事について聞いたところ、「参加したことはない」(69.7%)が約7割を占め、行事の中では「町内の行事(お祭り、盆踊り)」(25.5%)が2割台半ばで最も高い。性別では、「町内の行事(お祭り、盆踊り)」で女性(31.2%)が男性(17.3%)よりも高い。性別×年齢別では、男性は「各種のスポーツ教室・大会」で19～24歳(12.1%)が25～29歳(2.1%)よりも高く、女性は「町内の行事(お祭り、盆踊り)」で19～24歳(39.3%)が25～29歳(24.6%)よりも高くなっている。

図表8-1 参加経験のある区や地域の行事

		(人、%)							
		n	各種のスポーツ教室・大会	各種の青少年向け講座	区民コンサートなど音楽イベント	(町内の行事(お祭り、盆踊り))	国際交流やボランティア活動	その他	参加したことはない
全体		208	4.8	1.0	2.9	25.5	1.4	1.0	69.7
性別	男性	81	6.2	1.2	1.2	17.3	1.2	1.2	75.3
	女性	125	4.0	0.8	3.2	31.2	1.6	0.8	66.4
性別×年齢別	男性 19～24歳	33	12.1	-	-	9.1	-	3.0	78.8
	25～29歳	48	2.1	2.1	2.1	22.9	2.1	-	72.9
	女性 19～24歳	56	3.6	1.8	-	39.3	3.6	-	60.7
	25～29歳	69	4.3	-	5.8	24.6	-	1.4	71.0

8-1-1 参加したことがない理由

問22-1 問22で「7. 参加したことはない」と答えた人にお聞きします。参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

参加したことがない理由を聞いたところ、「行事が行われていることを知らないため」(66.2%)が6割台半ばで最も高く、「時間がない、合わないから」(46.9%)がこれに次いでいる。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「行事に関心がないから」は女性19～24歳(32.4%)が高くなっている。

図表8-2 参加したことがない理由

(人、%)

		n	合時間 合わない から	こ行事 を知行 らわな れて たい める	か行事 に関 心が ない	そ の 他	無 回 答
全 体		145	46.9	66.2	24.1	5.5	0.7
性 別	男 性	61	47.5	67.2	24.6	6.6	1.6
	女 性	83	47.0	65.1	24.1	4.8	-
年 性 別 × 年 齢 別	男性 19～24歳	26	46.2	65.4	26.9	3.8	3.8
	25～29歳	35	48.6	68.6	22.9	8.6	-
	女性 19～24歳	34	47.1	64.7	32.4	2.9	-
	25～29歳	49	46.9	65.3	18.4	6.1	-

9. 区政について

9-1 利用経験がある区の施設

問23 あなたは次の区の施設をこの1年間に利用したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

■全体の傾向：

利用経験がある区の施設について聞いたところ、「公園」(39.4%)と「図書館」(35.1%)が3割台で高く、「地域区民センターや区民事務所」(13.0%)と「学校以外の体育館やプール」(11.5%)が1割を超えている。なお、「利用したことがない」(31.3%)は3割を超えている。性別では、「図書館」は女性(39.2%)が男性(29.6%)より高い。性別×年齢別では、「図書館」は女性25～29歳(36.2%)より女性19～24歳(42.9%)が高い。

図表9-1 利用経験がある区の施設

		(人、%)											
		n	児童館	ゆう杉並	図書館	公会堂	学校以外の体育館やプール	公園	郷土科学博物館	地域区民センターや区民事務所	杉並会館	その他	利用したことがない
全体		208	3.4	0.5	35.1	6.3	11.5	39.4	0.5	13.0	1.9	2.4	31.3
性別	男性	81	-	-	29.6	3.7	11.1	40.7	1.2	12.3	1.2	1.2	33.3
	女性	125	5.6	0.8	39.2	7.2	11.2	39.2	-	12.8	2.4	3.2	30.4
年齢別×性別	男性 19～24歳	33	-	-	27.3	3.0	15.2	33.3	-	18.2	3.0	-	39.4
	25～29歳	48	-	-	31.3	4.2	8.3	45.8	2.1	8.3	-	2.1	29.2
	女性 19～24歳	56	1.8	1.8	42.9	10.7	12.5	41.1	-	12.5	1.8	3.6	26.8
	25～29歳	69	8.7	-	36.2	4.3	10.1	37.7	-	13.0	2.9	2.9	33.3

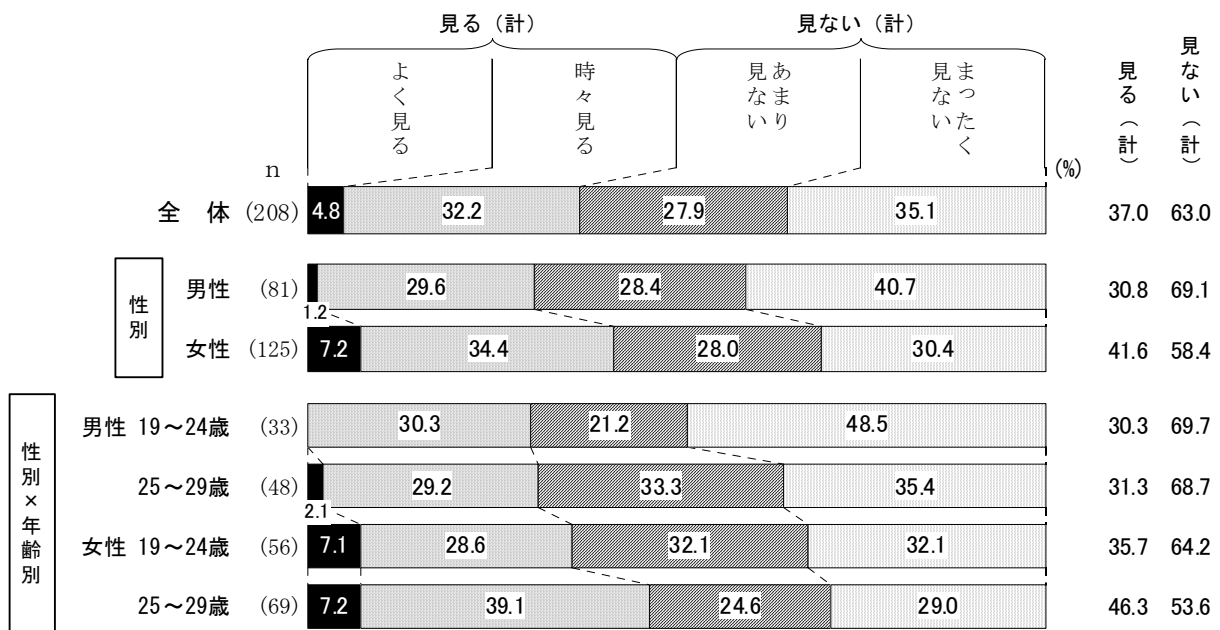
9-2 区の広報やポスター・チラシを見る頻度

問24 あなたは杉並区の広報（広報すぎなみ）や区の実施する講座等のポスター・チラシを見ていますか。（1つに〇）

■全体の傾向：

区の広報やポスター・チラシを見る頻度について聞いたところ、「見る（計）」（「よく見る」と「時々見る」の合計）の37.0%に対して、「見ない（計）」（「まったく見ない」と「あまり見ない」の合計）は63.0%となっている。性別では、「見る（計）」は女性（41.6%）が男性（30.8%）より高い。性別×年齢別では、「見る（計）」は女性25～29歳（46.3%）が女性19～24歳（35.7%）よりも高い。

図表9-2 区の広報やポスター・チラシを見る頻度



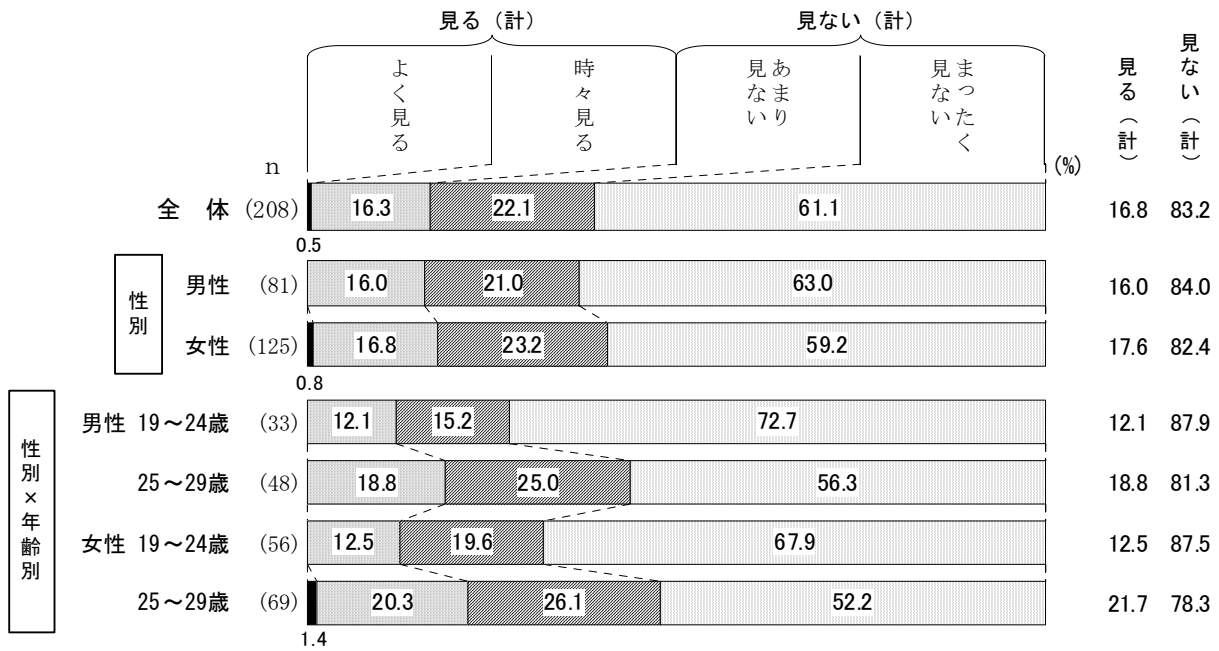
9-3 区のホームページ、モバイルのページを見る頻度

問25 あなたは区のホームページ、区のモバイル（携帯電話用）のページを見たことがありますか。（1つに○）

■全体の傾向：

区のホームページ、モバイルのページを見る頻度について聞いたところ、「見る（計）」（「よく見る」と「時々見る」の合計）の16.8%に対して、「見ない（計）」（「まったく見ない」と「あまり見ない」の合計）は83.2%と高くなっている。性別では、大きな差はない。性別×年齢別では、「見る（計）」は女性25～29歳が21.7%と高い。

図表9-3 区のホームページ、モバイルのページを見る頻度



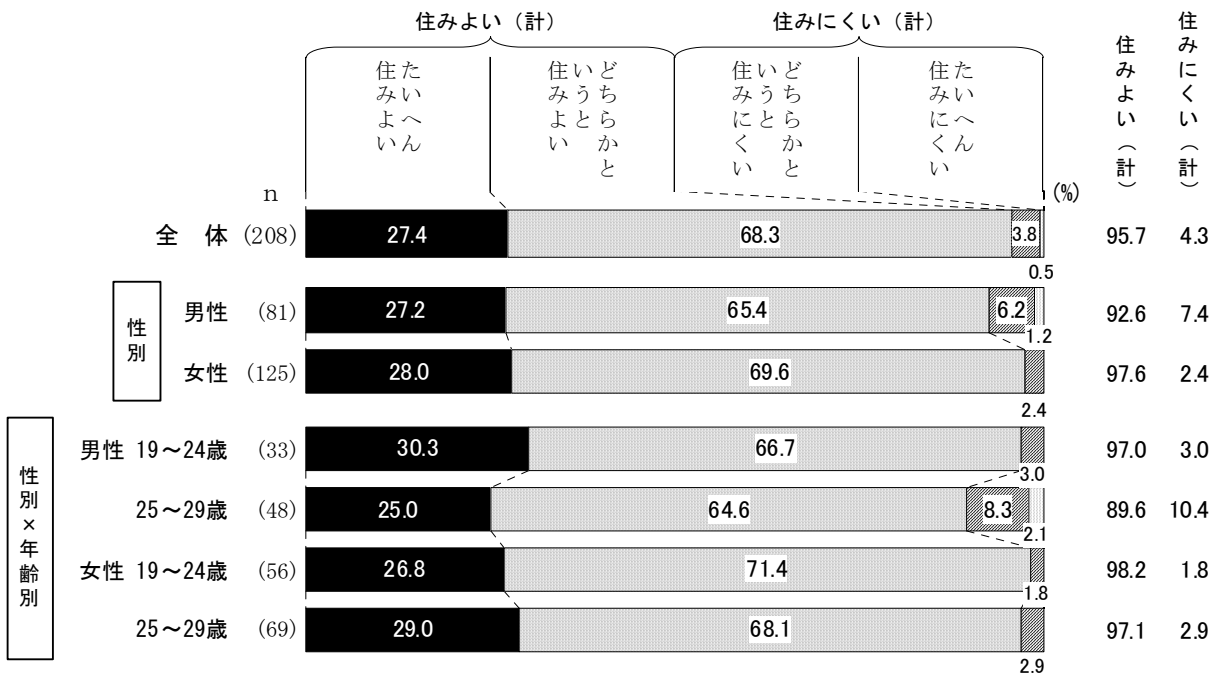
9-4 住みよさ

問26 あなたは杉並区を住みよいところだと思いますか。(1つに○)

■全体の傾向：

杉並区の住みよさについて聞いたところ、「どちらかというに住みよい」(68.3%)が約7割を占め、これに「たいへん住みよい」(27.4%)を合わせた「住みよい(計)」は95.7%と9割台半ばを占めている。性別では、「住みよい(計)」は大きな差はない。性別×年齢別では、「住みにくい」と「どちらかというに住みにくい」を合わせた「住みにくい(計)」は男性25～29歳で10.4%と高い。

図表9-4 住みよさ



9-5 区に実施してほしい青少年向け事業

問27 区に実施してもらいたい青少年向け事業（中学生から29歳程度の方を対象）がありましたらお書き下さい。

区に実施してほしい青少年向け事業について、自由記述形式で聞いたところ、全体で66人が回答し、回答率は31.7%となっている。内容により複数に分けた意見もあるので、全体の意見数は100件となった。

全体の傾向として、イベント、講習、ボランティア等に関する要望（36件）が特に多く、就職・仕事関係（12件）がこれに次いでいる。

イベント、講習、ボランティア等に関する要望として、文化・教養、ビジネス、語学、パソコン、資格取得などの講座や、スポーツ、芸術等のイベント、さらにはボランティアを通じた交流など多様なものが挙がっている。また、これらの開催に関連して、平日の夜間や土日開講を希望する意見（7件）もある。

就職・仕事関係では、求人情報や就職セミナーにとどまらず、会社説明会、就職体験、企業誘致、起業サポートなどの意見が出されている。

この他にも、生活支援（7件）や、物価や税金の引き下げ（7件）といった切実な要望、行政一般に関するもの（6件）、健康診断の実施（5件）などが挙げられている。

図表 9-5 区に実施してほしい青少年向け事業

内 容	件 数
スポーツ施設	4
文化施設	2
イベント、講習、ボランティア等	36
開講時間の考慮	7
就職・仕事	12
健康診断	5
ポイ捨て禁止、禁煙	2
安全・安心	2
子育て支援	3
生活支援	7
行政一般	6
物価や税金の引き下げ	7
その他	7
計	100

主な意見の抜粋を以下に掲載する。

スポーツ施設

- ・ 体育館などの施設を増やしてほしい。
- ・ プールを早朝に開放してほしいです。
- ・ ボディピアスしていても追い出されない公共施設。
- ・ 若い人達でバレーをしたい。

文化施設

- ・ 図書館での学習スペース。
- ・ 青少年が交流できる場所や、自主的活動で利用できる会議スペースや宿泊施設を作してほしい。

イベント、講習、ボランティアなど

- ・ もっと気軽に参加できるようなカルチャースクールのようなもの。分野もたくさんあるといいです。
- ・ 書道・茶道・着付けのような教養講座。
- ・ 日本や地球にある伝統芸能や歴史といったものを知る機会。
- ・ 専門家による青少年の人生、将来についてのアドバイスのサービス。
- ・ ビジネス的な講座。
- ・ ワークスクールなど。
- ・ 夜間の青少年向け講座。
- ・ 無料または低額にて参加可能な英会話レッスンや技術講座など。
- ・ 無料資格支援（資格取得の為の無償講座（通信制含む））。
- ・ UNIXやLinuxを無料もしくは安価で教えてくれるセミナー、専門知識を教えてくれる教室。
- ・ なぜ税金が必要なのか、何に使用するのか、分かるように教えてくれる教室。
- ・ 法律相談。
- ・ 異業種交流会。
- ・ お見合いパーティー。
- ・ 区運営のフットサルコートを作るなどして大会を開いたり、地域とつながりを持てるものしてほしい。
- ・ 音楽活動の推進（クラシック）。
- ・ 有名な演奏家など、通常では高額を払わねば参加できないコンサート。
- ・ 芸術、とりわけ音楽や美術といったものの事業が活発になればと感じている。音楽のコンクール等の開催。
- ・ ドッグスクールや動物に関わるようなイベントがあれば、もっと楽しいのと思います。
- ・ 成人式のイベントをもっと楽しくしてほしい。記念品がほしかった。
- ・ 区主催の青少年によるボランティア活動等。

- ・ 国際交流やボランティア活動を通して、幅広い交流を持てる機会の提供。
- ・ 区の中で行っているボランティア活動について、広報やホームページに一覧で見られるようなものがあるといいと思います。
- ・ 青少年向けの文化交流。
- ・ 町内会も含め、地域の活動に参加しやすいイベントなどがあるといい。
- ・ 区内での青少年同士の意見交換会等を行って行って、その結果地域貢献等が出来たら、自分達も地域貢献が出来ているという満足感になり、より地域との関わり合いができると思う。もう少し広げると、(財)世界青少年交流協会(WYVEA)などから様々な情報交換を行ってみたいと思う。
- ・ 自転車の乗り方に対する指導。

開講時間の考慮

- ・ 平日の夜や土日に語学教室をもっと開催してほしいです。
- ・ カルチャースクールを、働いている人向けの時間帯にしてほしいです。
- ・ 夜19:00以降STARTの教室(パソコン・ネイル・英会話・ヨガetc)。
- ・ 色々な行事など、参加してみたいなあという気持ちはありますが、土・日も仕事があることが多く、参加することが出来ないのが現状です。
- ・ 1回限りの教室や毎週行けなくても問題ない教室があると参加しやすいと思います。お料理教室、手話教室など。
- ・ 地域区民センターなどで、若年者向けのお茶やお花、料理教室があるといいと思います。夜間(19~21時)だと学生でも参加しやすいのではないかと思います。
- ・ スポーツクラブのスタジオプログラム(ヨガ、HIPHOPダンス)などのようなものに安く参加できればいいと思う(仕事帰りの夜とか、休日とかに)。

就職・仕事

- ・ 求人関係。
- ・ ニートやフリーターへ仕事を紹介するなど。
- ・ 区内の会社の求人に対して、区民対象の会社説明会や面接など。
- ・ 杉並区内の企業等に一定期間体験就職等をする機会。
- ・ 杉並区内の企業と提携して就職セミナー的なものを行ったらどうかと思います。
- ・ 学生と就職したばかりの新社会人との間で、就職に関する情報交換の場が設けられれば学生達にとって大変有益であると思います。
- ・ 区在住の企業人・知識人による、各年齢・学歴に対応した就職セミナーや懇談会。
- ・ これくらいの年齢の人は、自分の将来についてとても悩む時期です。そして、自分が何に合っているのか、どんな能力があるのかをととても不安になりながら考えます。そのため、その人の能力や適性を知るためのセミナーや、様々な人々の職業や仕事に対する考え方を知るための講演会などをしたり、または、その講演会の運営を実際に区民の人々にやらせてみるという事をやってもらえると嬉しいです。
- ・ ベンチャー支援事業(ex.ベンチャー起業家支援、起業家と出資者のマッチングetc.)。

- ・ 起業サポート事業、融資会議など。
- ・ 青少年が参加しやすい行事をもっと作ってほしい。アルバイトでも何でも区政に代わる仕事を若い人達にやってもらおうべきだと思う。社会に出る機会を作ってほしい。
- ・ 大学を卒業後、一度社会に出て就職した会社を退職した第2新卒と呼ばれる人たちにインターンシップのような職業体験が出来る機会を作っていただけたらと思います。

健康診断

- ・ 健康診断（特に婦人科系）。もうやっているとしたら、もう少し分かりやすく打ち出してほしい。
- ・ 女性特有の病気に対する婦人科検診。
- ・ 今は、20歳以上の女性は各年に子宮ガン検診を1000円で受けられますが、それ以外に検診がありません。アルバイトの人は会社で検診を受ける機会がないので、健康診断をもっと受けられる様に種類を増やしてほしいです。若い女性に多いと言われるようになってきた子宮筋腫の検診・乳ガン検診・一般的な血液検査・尿検査などの健康診断等々、実施していただきたいです。
- ・ 会社で健康診断を受ける事が出来ない人達への健康診断無料実施。
- ・ 検診などの実施。非正規雇用、小規模会社に勤務の場合、きちんとした健康診断、ドックなど皆無。特に、若年者のかかりやすい疾患などに特化し、検診の実施とその案内を行ってほしい。

ポイ捨て禁止、禁煙

- ・ 禁煙運動。タバコのポイ捨てに対する処罰。
- ・ タバコの路上喫煙が多いので取り締まりを厳しくして頂きたい。

安全・安心

- ・ 若い人が防犯のボランティアをしたら良いと思います。例えば巡回など。
- ・ 居住地域にどういった人が住んでいるのか分からないのが不安。

子育て支援

- ・ 保育園の充実（無許可でなく公営で）、出産・子育てにかかる諸経費の軽減などの子育て支援。
- ・ 育児施設。
- ・ 杉並区としての助成についてや、出産、育児に関する各種事業についての説明会、勉強会があるとありがたいです。

生活支援

- ・ 住宅援助（月1万円とかでも）。
- ・ 区民住宅みたいな、安い家賃で入れる部屋を増やして下さい。

- ・ 公営住宅・家賃補助などで、所得の低い若者でも生活できる条件を作ってほしい。銭湯代補助なども。街づくりにもいいと思います。
- ・ 1人暮らしをしている人対象の割引等。生活が少し楽になると助かります。
- ・ 結婚、育児等に関わる出費等。

行政一般

- ・ フリーターでも社会人として認め、厚生年金を。
- ・ 住基ネットをスタートしてほしい。
- ・ 環境分野での政策を充実させてほしい。(これ以上道路はいらない。路面電車の復活を。無料の自転車置き場を駅前などに作ってほしい。自転車専用道路を作ってほしい。)

物価や税金の引き下げ

- ・ 区民税が高い。
- ・ 事業をしていただくより、低収入の人に対して住民税が少なくなるというようなことをしていただき、生活や将来の不安が少なくなればいいと思います。
- ・ 税金等の負担を引き下げるための対抗事業。長く充実した生活を送るために、新しい何かを模索するのではなく、今あるものを改善していく方が重要だと思います、税金のムダ使いはないと本気で言えますように。

その他

- ・ 学校にカウンセラーを導入する。
- ・ 課外授業で一日体験で仕事をさせる。

杉並区青少年実態調査報告書

登録印刷物番号

20 - 0055

平成 20 年度版

平成 20 年 9 月

発行 杉並区保健福祉部児童青少年課

杉並区荻窪 1 丁目56番 3 号 TEL (03) 3393 4760

実施 株式会社サーベイリサーチセンター

荒川区西日暮里 2 丁目40番10号 TEL (03) 3802 6711 (代)